

平成25年度

# 市民意識調査結果報告書

～五所川原市に関するアンケート～

調査時期 平成25年8月

報告書作成 平成26年2月

五所川原市



# 目 次

I 調査の概要	1
I-1. 調査の目的と実施概要	3
I-2. 回答者の属性	6
II 集計結果の分析	15
II-1. 集計結果の見方	17
II-2. 施策の満足度・重要度	19
II-3. 普段の生活について	70
II-4. 地域活動やまちづくりの取組について	84
II-5. 定住意向	88
II-6. まちづくりのキーワード	89
II-7. 五所川原市が目指す姿と取組	91
III 自由意見	147
1. 都市基盤	150
2. 産業	155
3. 保健・医療・福祉	161
4. 居住環境	166
5. 教育文化	172
6. 行政経営など	174
IV 参考資料①	195
IV-1. 市民意識調査票（五所川原市に関するアンケート調査票）	197
IV-2. アンケート集計表（設問ごとの単純集計結果）	205
V 参考資料②	221
V. 中・高校生アンケート調査について	223



# I 調査の概要



# I-1. 調査の目的と実施概要

## 1. 調査の目的

五所川原市総合計画（基本構想・後期基本計画）に基づく各種施策に対する市民の認識（満足度や重要度）を調査することによって、当市が現在抱える課題や将来的に市が進むべき方向性などについて、住民意識の全体的な傾向を把握し、行財政改革の推進や五所川原市総合計画の見直し・策定のための基礎資料とすることを目的とします。

## 2. 調査の実施概要

調査地域	五所川原市全域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）																									
調査対象	市内に在住する満20歳以上の男女3,000人																									
抽出方法	住民基本台帳（平成25年8月1日現在）から無作為抽出。 なお、3地域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）の人口割合をもって、調査対象者数を比例配分し、各地域ともに調査対象者数を年齢階層ごと、性別ごとに均等配分しています。 【五所川原市の各地域における人口（調査対象者数）とその割合】																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>五所川原地域</th> <th>金木地域</th> <th>市浦地域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>46,992人</td> <td>9,795人</td> <td>2,376人</td> <td>59,163人</td> </tr> <tr> <td>（調査対象人口）</td> <td>(38,850人)</td> <td>(8,505人)</td> <td>(2,085人)</td> <td>(49,440人)</td> </tr> <tr> <td>（調査対象者数）</td> <td>(2,358人)</td> <td>(516人)</td> <td>(126人)</td> <td>(3,000人)</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>78.6%</td> <td>17.2%</td> <td>4.2%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>		五所川原地域	金木地域	市浦地域	合計	人口	46,992人	9,795人	2,376人	59,163人	（調査対象人口）	(38,850人)	(8,505人)	(2,085人)	(49,440人)	（調査対象者数）	(2,358人)	(516人)	(126人)	(3,000人)	割合	78.6%	17.2%	4.2%	100.0%
	五所川原地域	金木地域	市浦地域	合計																						
人口	46,992人	9,795人	2,376人	59,163人																						
（調査対象人口）	(38,850人)	(8,505人)	(2,085人)	(49,440人)																						
（調査対象者数）	(2,358人)	(516人)	(126人)	(3,000人)																						
割合	78.6%	17.2%	4.2%	100.0%																						
調査方法	アンケート調査票の郵送配布、郵送回収（無記名・自記式）																									
調査時期	平成25年8月12日（月）～8月30日（金）																									

## 3. 調査票の配布・回収結果

今回のアンケート調査票の配布数は、2,990通でそのうち宛所不明などによって未到達となった調査票数は10通（五所川原地域9通、金木地域1通）となっています。

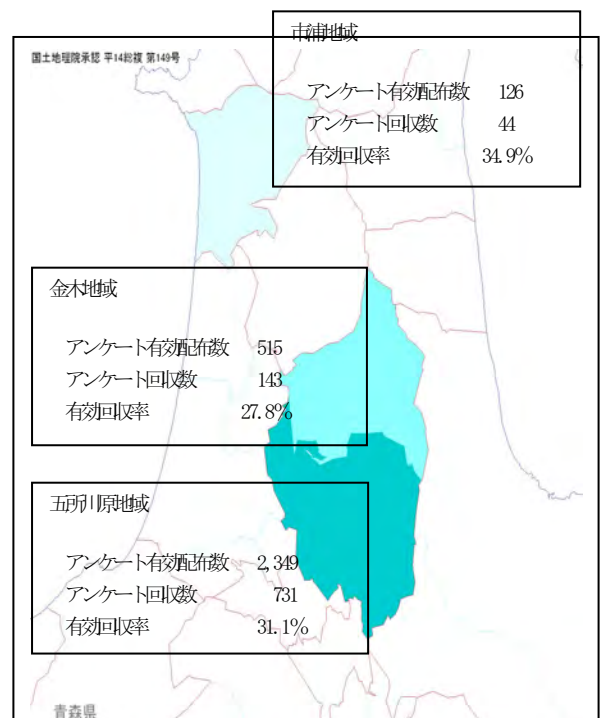
回収数は921通で、有効回収率は、返送された調査票数を除き30.8%となっています。

平成23年調査と比較して、総回答者数は278人増加（9.3%）しています。

居住地域別、性別、年齢階層別の配布・回収数及び回収率は表-1のとおりです。

なお、居住地域、性別、年齢階層を問う設問において、一部未回答の設問があるため、総回収数と設問それぞれにおける回答数とは一致しない場合があります。

また、今回のアンケート調査実施にあたり、調査対象者の抽出方法や必要な調査票の配布数は次の考え方から決定しています。



**【参考 アンケート調査と標本数について】**

一般的にアンケート調査を行う場合、理想的には全数調査が望ましいと考えられますが、調査対象が多い場合には、調査に要する時間や労力（費用）を軽減するために、母集団の一部分を抽出して調査することがあります。

当然のことながら、母集団から一部分を抽出する際には、標本抽出による偏りを防ぐため、①ランダムに、②一定間隔ごとに、③母集団の傾向を反映した形で抽出されます。

また、少ない標本数では、標本誤差が大きくなるため、信頼できるデータを得るためには、必要な標本数を把握しておかなければなりません。

このことから、本アンケート調査の必要標本数の理論値と必要配布数について、次のとおり算出しています。

単純無作為抽出法による標本調査の標本誤差Fは次式によって求められます。

$$|p - P| < 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \frac{(1 - P)P}{n}} \equiv F \dots\dots\dots \text{①式}$$

F：標本誤差（目標値 3%）

N：母集団の成員数（本アンケート調査：49,440人）

n：標本数

P：母集団の調査事項に対する調査結果の比率

（回答比率50%（P=0.5）で標本誤差Fが最大となることから、P=0.5とする。）

p：標本の調査事項に対する調査結果の比率

①式をもとに、次式から標本数nを算出します。

$$n = \left(\frac{2}{F}\right)^2 (1 - P)P \times \frac{N}{N + \left(\frac{2}{F}\right)^2 (1 - P)P - 1} \dots\dots\dots \text{②式}$$

②式から、標本誤差3%以内に必要とされる標本数は、1,087となります。

平成23年度調査においては、回収率が40.1%であったことから、今回調査でも同率を想定した場合、必要なアンケート配布数は2,711となります。

なお、標本誤差Fは、回答比率Pと標本数nによって、次表のとおり推移します。

（標本誤差F）

		回答比率P				
		(10%)	(20%)	(30%)	(40%)	(50%)
標本数 n	100	5.9%	7.8%	9.0%	9.6%	9.8%
	500	2.6%	3.5%	4.0%	4.3%	4.4%
	1,000	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
	1,500	1.5%	2.0%	2.3%	2.5%	2.5%
	2,000	1.3%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%
	2,500	1.2%	1.6%	1.8%	1.9%	2.0%
	3,000	1.1%	1.4%	1.6%	1.8%	1.8%



【表-1 配布数・回収数（率）（居住地域別、性別、年齢階層別）】

			20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	年齢不明	合計
五所川原地域	男	配布数	195	194	196	196	196	196	-	1,173
		回収数	38	25	43	65	63	63	1	298
		回収率	19.5%	12.9%	21.9%	33.2%	32.1%	32.1%	-	25.4%
	女	配布数	194	197	197	196	196	196		1,176
		回収数	38	59	49	65	60	53	1	325
		回収率	19.6%	29.9%	24.9%	33.2%	30.6%	27.0%	-	27.6%
	性別不明	回収数	13	17	25	6	15	32	0	
	小計	配布数	389	391	393	392	392	392		2,349
		回収数	89	101	117	136	138	148	2	731
回収率		22.9%	25.8%	29.8%	34.7%	35.2%	37.8%	-	<b>31.1%</b>	
金木地域	男	配布数	43	43	43	43	43	43		258
		回収数	9	7	10	12	12	15	0	65
		回収率	20.9%	16.3%	23.3%	27.9%	27.9%	34.9%	-	25.2%
	女	配布数	42	43	43	43	43	43		257
		回収数	6	12	15	9	10	8	0	60
		回収率	14.3%	27.9%	34.9%	20.9%	23.3%	18.6%	-	23.3%
	性別不明	回収数	3	4	1	0	5	5	0	
	小計	配布数	85	86	86	86	86	86		515
		回収数	18	23	26	21	27	28	0	143
回収率		21.2%	26.7%	30.2%	24.4%	31.4%	32.6%	-	<b>27.8%</b>	
市浦地域	男	配布数	11	11	11	10	10	10		63
		回収数	2	3	2	3	4	4	0	18
		回収率	18.2%	27.3%	18.2%	30.0%	40.0%	40.0%	-	28.6%
	女	配布数	11	11	11	10	10	10		63
		回収数	1	4	5	4	1	4	0	19
		回収率	9.1%	36.4%	45.5%	40.0%	10.0%	40.0%	-	30.2%
	性別不明	回収数	1	0	1	2	2	1	0	
	小計	配布数	22	22	22	20	20	20		126
		回収数	4	7	8	9	7	9	0	44
回収率		18.2%	31.8%	36.4%	45.0%	35.0%	45.0%	-	<b>34.9%</b>	
地域不明	男	回収数	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	回収数	0	0	0	0	0	0	0	0
	性別不明	回収数	0	0	0	0	0	0	2	2
	小計		1	0	0	0	0	0	2	3
全地域	男	配布数	249	248	250	249	249	249		1,494
		回収数	50	35	55	80	79	82	1	382
		回収率	20.1%	14.1%	22.0%	32.1%	31.7%	32.9%	-	<b>25.6%</b>
	女	配布数	247	251	251	249	249	249		1,496
		回収数	45	75	69	78	71	65	1	404
		回収率	18.2%	29.9%	27.5%	31.3%	28.5%	26.1%	-	<b>27.0%</b>
	性別不明	回収数	17	21	27	8	22	38	2	135
	合計	配布数	496	499	501	498	498	498		2,990
		回収数	112	131	151	166	172	185	4	921
回収率		<b>22.6%</b>	<b>26.3%</b>	<b>30.1%</b>	<b>33.3%</b>	<b>34.5%</b>	<b>37.1%</b>	-	<b>30.8%</b>	

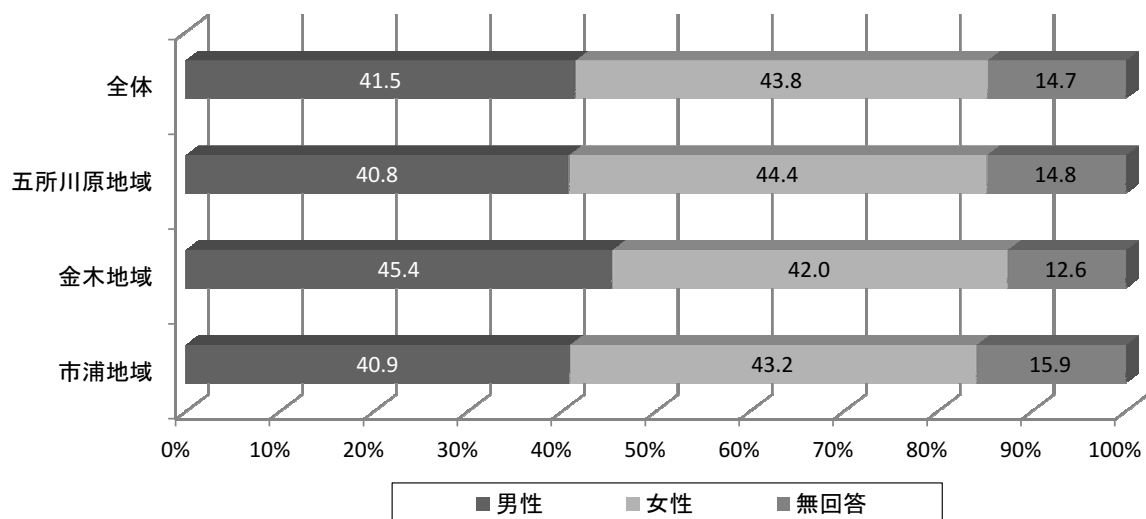
アンケート回収率を居住地域別に比較すると、市浦地域の回収率（34.9%）が最も高く、続いて五所川原地域（31.1%）、そして金木地域（27.8%）が最も低い回収率となっています。また、男女別に比較すると、女性の回収率（27.0%）が男性（25.6%）を上回っています。年齢階層別に比較すると、70歳代以上の回収率（37.1%）が最も高く、続いて60歳代（34.5%）、50歳代（33.3%）と続き、最も回収率の低い年齢階層が20歳代（22.6%）となっています。

## I-2. 回答者の属性

### (1) 性別

アンケート回答者 921 人のうち、男性が 382 人 (41.5%)、女性が 404 人 (43.8%) (性別不明者 135 人 (14.7%)) となっています。

【図-1 アンケート回答者の性別構成】



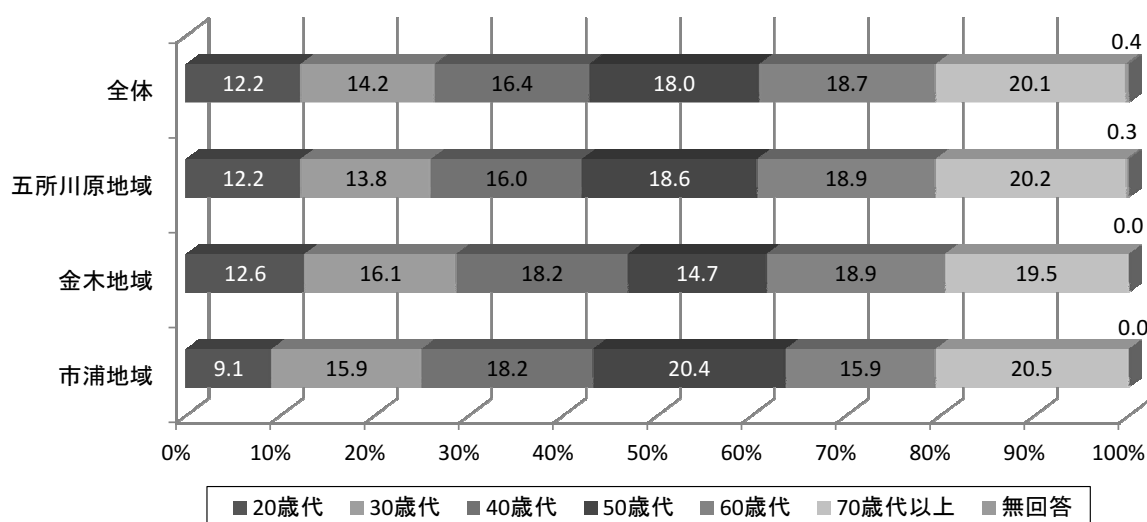
【表-2 性別構成 (居住地域別、年齢別)】

		合計	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	382 (41.5)	404 (43.8)	135 (14.7)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	298 (40.8)	325 (44.4)	108 (14.8)
	金木地域	143 (100.0)	65 (45.4)	60 (42.0)	18 (12.6)
	市浦地域	44 (100.0)	18 (40.9)	19 (43.2)	7 (15.9)
年齢	20歳代	112 (100.0)	50 (44.6)	45 (40.2)	17 (15.2)
	30歳代	131 (100.0)	35 (26.7)	75 (57.3)	21 (16.0)
	40歳代	151 (100.0)	55 (36.4)	69 (45.7)	27 (17.9)
	50歳代	166 (100.0)	80 (48.2)	78 (47.0)	8 (4.8)
	60歳代	172 (100.0)	79 (45.9)	71 (41.3)	22 (12.8)
	70歳代以上	185 (100.0)	82 (44.4)	65 (35.1)	38 (20.5)

## (2) 年齢

アンケート回答者 921 人のうち、20 歳代が 112 人 (12.2%)、30 歳代が 131 人 (14.2%)、40 歳代が 151 人 (16.4%)、50 歳代が 166 人 (18.0%)、60 歳代が 172 人 (18.7%)、70 歳代以上が 185 人 (20.1%) (年齢不明 4 人 (0.4%)) となっています。

【図-2 アンケート回答者の年齢構成】



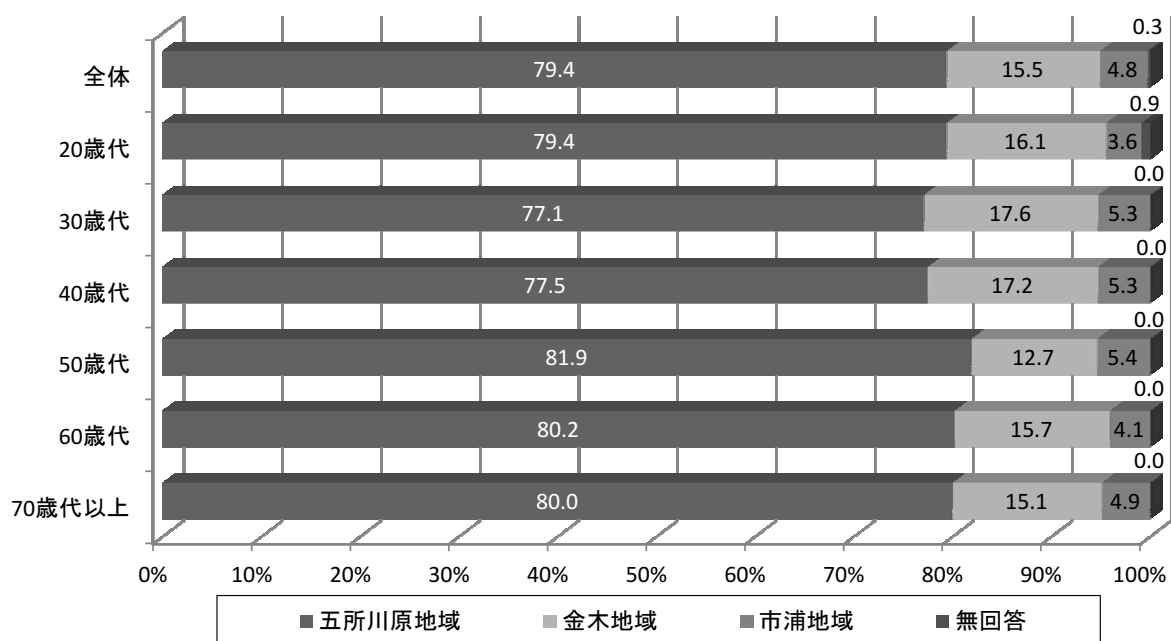
【表-3 年齢構成 (居住地域別、性別)】

		合計	20歳代 (%)	30歳代 (%)	40歳代 (%)	50歳代 (%)	60歳代 (%)	70歳代以上 (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	112 (12.2)	131 (14.2)	151 (16.4)	166 (18.0)	172 (18.7)	185 (20.1)	4 (0.4)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	89 (12.2)	101 (13.8)	117 (16.0)	136 (18.6)	138 (18.9)	148 (20.2)	2 (0.3)
	金木地域	143 (100.0)	18 (12.6)	23 (16.1)	26 (18.2)	21 (14.7)	27 (18.9)	28 (19.5)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	4 (9.1)	7 (15.9)	8 (18.2)	9 (20.4)	7 (15.9)	9 (20.5)	0 (0.0)
性別	男性	382 (100.0)	50 (13.1)	35 (9.2)	55 (14.4)	80 (20.9)	79 (20.7)	82 (21.4)	1 (0.3)
	女性	404 (100.0)	45 (11.1)	75 (18.6)	69 (17.1)	78 (19.3)	71 (17.6)	65 (16.1)	1 (0.2)

### (3) お住まいの地域

アンケート回答者 921 人のうち、五所川原地域に居住している方が 731 人 (79.4%)、金木地域に居住している方が 143 人 (15.5%)、市浦地域に居住している方が 44 人 (4.8%) (居住地域不明者 3 人 (0.3%)) となっています。

【図-3 アンケート回答者の居住地の構成】



【表-4 居住地の構成 (年齢別、性別)】

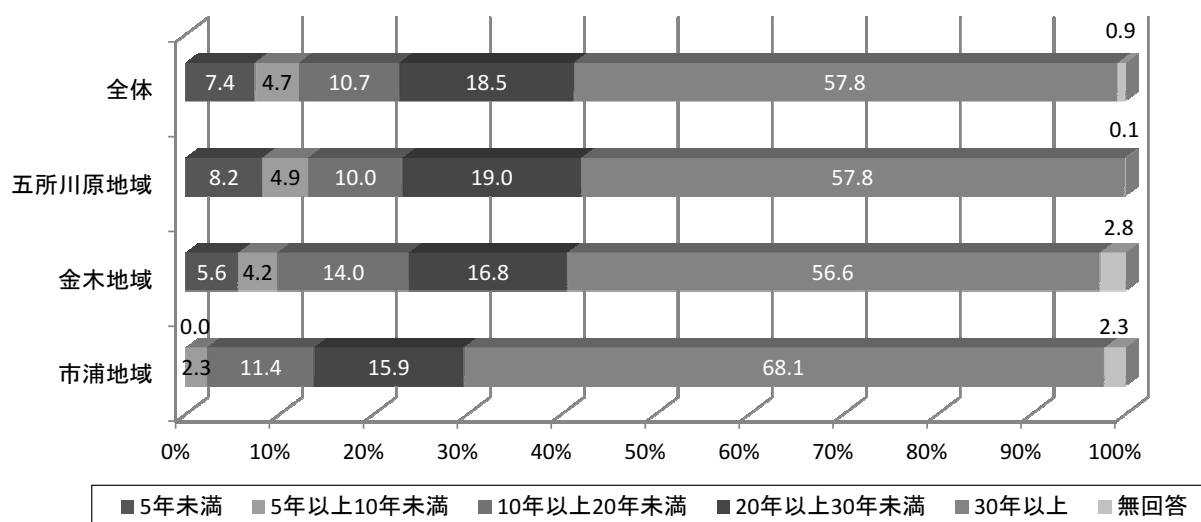
		合計	五所川原地域 (%)	金木地域 (%)	市浦地域 (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	731 (79.4)	143 (15.5)	44 (4.8)	3 (0.3)
年齢	20歳代	112 (100.0)	89 (79.4)	18 (16.1)	4 (3.6)	1 (0.9)
	30歳代	131 (100.0)	101 (77.1)	23 (17.6)	7 (5.3)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	117 (77.5)	26 (17.2)	8 (5.3)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	136 (81.9)	21 (12.7)	9 (5.4)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	138 (80.2)	27 (15.7)	7 (4.1)	0 (0.0)
	70歳代以上	185 (100.0)	148 (80.0)	28 (15.1)	9 (4.9)	0 (0.0)
	性別	男性	382 (100.0)	298 (78.0)	65 (17.0)	18 (4.7)
女性		404 (100.0)	325 (80.4)	60 (14.9)	19 (4.7)	0 (0.0)

#### (4) 五所川原市での居住年数

回答者の五所川原市での居住年数は、「30年以上」(57.8%)が最も多く、次いで「20年以上30年未満」(18.5%)、「10年以上20年未満」(10.7%)、「5年未満」(7.4%)と続いています。

年齢別では、20歳代、30歳代で「5年未満」の割合が約20%と他の年代と比べて高い点が特徴的です。

【図-4 アンケート回答者の居住年数の構成】



【表-5 居住年数の構成（居住地域別、年齢別、性別）】

		合計	5年未満 (%)	5年以上10年未満 (%)	10年以上20年未満 (%)	20年以上30年未満 (%)	30年以上 (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	68 (7.4)	43 (4.7)	99 (10.7)	170 (18.5)	533 (57.8)	8 (0.9)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	60 (8.2)	36 (4.9)	73 (10.0)	139 (19.0)	422 (57.8)	1 (0.1)
	金木地域	143 (100.0)	8 (5.6)	6 (4.2)	20 (14.0)	24 (16.8)	81 (56.6)	4 (2.8)
	市浦地域	44 (100.0)	0 (0.0)	1 (2.3)	5 (11.4)	7 (15.9)	30 (68.1)	1 (2.3)
	年齢	20歳代	112 (100.0)	19 (17.0)	9 (8.0)	20 (17.9)	62 (55.3)	1 (0.9)
	30歳代	131 (100.0)	25 (19.1)	18 (13.7)	13 (9.9)	19 (14.5)	56 (42.8)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	8 (5.3)	8 (5.3)	33 (21.9)	30 (19.9)	71 (46.9)	1 (0.7)
	50歳代	166 (100.0)	8 (4.8)	4 (2.4)	17 (10.2)	35 (21.1)	101 (60.9)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	6 (3.5)	2 (1.2)	7 (4.1)	16 (9.3)	141 (81.9)	0 (0.0)
	70歳代以上	185 (100.0)	2 (1.1)	2 (1.1)	9 (4.9)	8 (4.3)	161 (87.0)	3 (1.6)
性別	男性	382 (100.0)	25 (6.5)	16 (4.2)	42 (11.0)	66 (17.3)	230 (60.2)	3 (0.8)
	女性	404 (100.0)	34 (8.4)	23 (5.7)	41 (10.1)	77 (19.1)	228 (56.5)	1 (0.2)

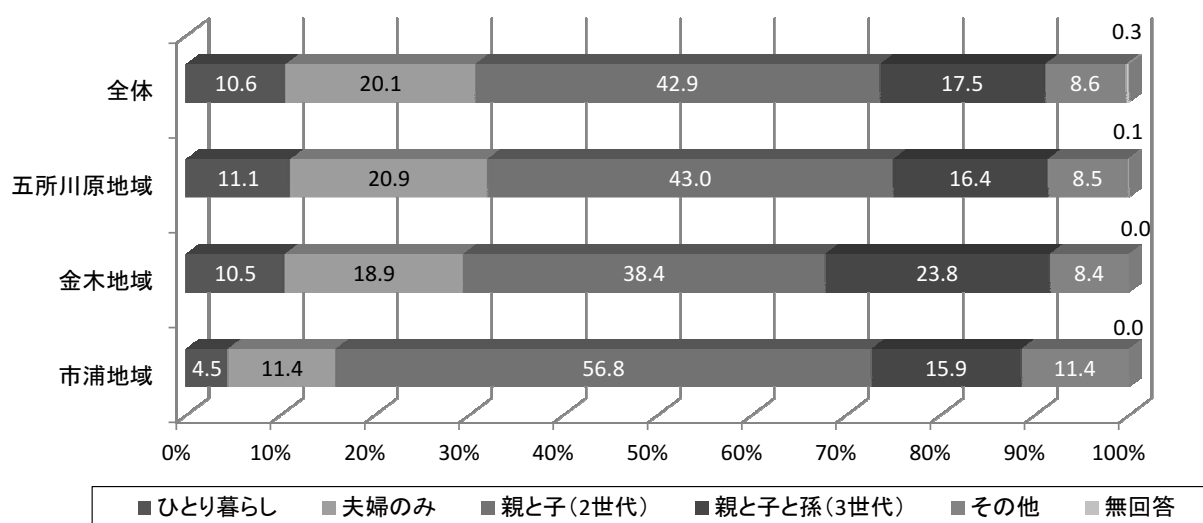
## (5) 家族構成

回答者の家族構成は、「親と子（2世代）」（42.9%）が最も多く、次いで「夫婦のみ」（20.1%）、「親と子と孫（3世代）」（17.5%）、「ひとり暮らし」（10.6%）と続いています。

地域別にみると、他の地域と比べて金木地域では「親と子と孫（3世代）」の割合が高く、市浦地域では「親と子（2世代）」の割合が高くなっています。

年齢別における特徴としては、20歳代の「親と子と孫（3世代）」の割合が27.7%と他の年代と比べて高くなっていることがあげられます。

【図-5 アンケート回答者の家族構成】



【表-6 家族構成（居住地域別、年齢別、性別）】

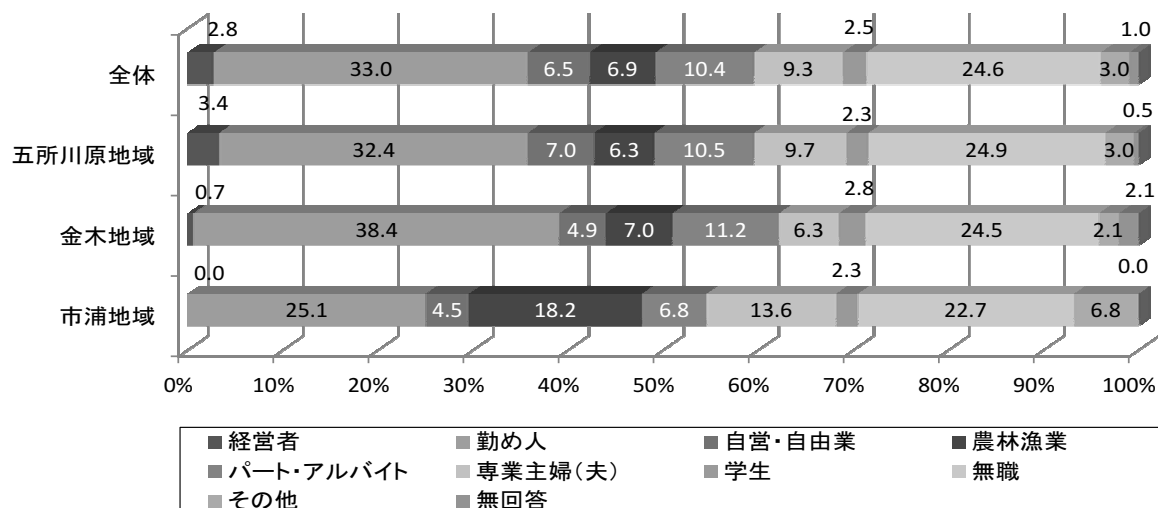
		合計	ひとり暮らし (%)	夫婦のみ (%)	親と子 (%)	親と子と孫 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	98 (10.6)	185 (20.1)	395 (42.9)	161 (17.5)	79 (8.6)	3 (0.3)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	81 (11.1)	153 (20.9)	314 (43.0)	120 (16.4)	62 (8.5)	1 (0.1)
	金木地域	143 (100.0)	15 (10.5)	27 (18.9)	55 (38.4)	34 (23.8)	12 (8.4)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	2 (4.5)	5 (11.4)	25 (56.8)	7 (15.9)	5 (11.4)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	6 (5.4)	3 (2.7)	57 (50.8)	31 (27.7)	15 (13.4)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	6 (4.6)	12 (9.2)	74 (56.4)	24 (18.3)	15 (11.5)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	11 (7.3)	9 (6.0)	94 (62.2)	28 (18.5)	9 (6.0)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	19 (11.4)	23 (13.9)	78 (46.9)	24 (14.5)	22 (13.3)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	24 (14.0)	67 (38.9)	46 (26.7)	27 (15.7)	8 (4.7)	0 (0.0)
	70歳代以上	185 (100.0)	31 (16.8)	71 (38.3)	46 (24.9)	26 (14.1)	10 (5.4)	1 (0.5)
性別	男性	382 (100.0)	42 (11.0)	88 (23.0)	166 (43.5)	58 (15.2)	28 (7.3)	0 (0.0)
	女性	404 (100.0)	37 (9.2)	73 (18.1)	176 (43.5)	77 (19.1)	40 (9.9)	1 (0.2)

## (6) 職業

回答者の職業は、「勤め人」(33.0%)が最も多く、次いで「無職」(24.6%)、「パート・アルバイト」(10.4%)、「専業主婦(夫)」(9.3%)と続いています。

地域別にみると、市浦地域では他の地域と比べて「農林漁業」の割合が高くなっています。

【図-6 アンケート回答者の職業構成】



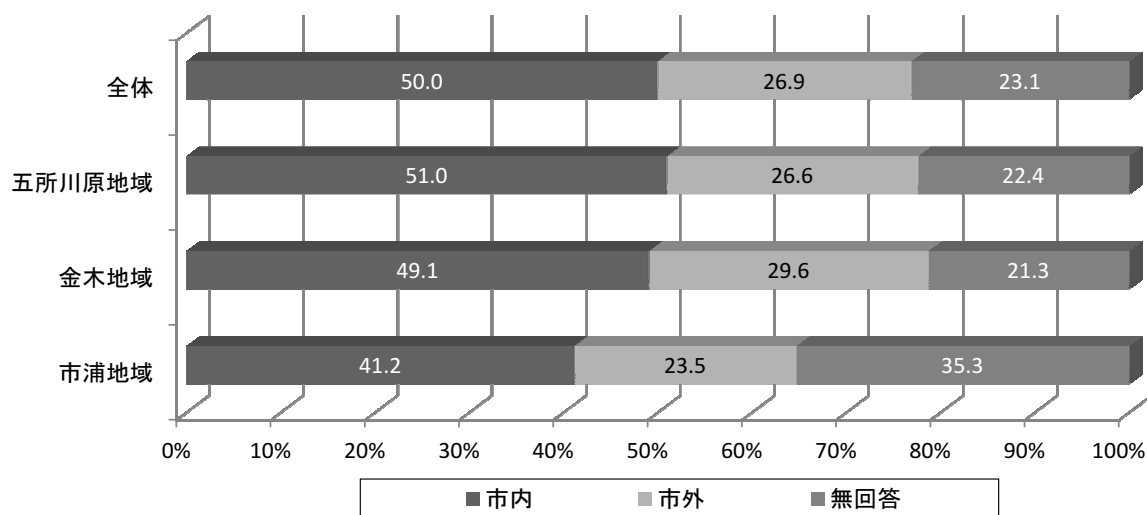
【表-7 職業構成(居住地域別、年齢別、性別)】

		合計	経営者 (%)	勤め人 (%)	自営・自由業 (%)	農林漁業 (%)	パート・アルバイト (%)	専業主婦(夫) (%)	学生 (%)	無職 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	26 (2.8)	302 (33.0)	60 (6.5)	64 (6.9)	96 (10.4)	86 (9.3)	23 (2.5)	227 (24.6)	28 (3.0)	9 (1.0)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	25 (3.4)	236 (32.4)	51 (7.0)	46 (6.3)	77 (10.5)	71 (9.7)	17 (2.3)	182 (24.9)	22 (3.0)	4 (0.5)
	金木地域	143 (100.0)	1 (0.7)	55 (38.4)	7 (4.9)	10 (7.0)	16 (11.2)	9 (6.3)	4 (2.8)	35 (24.5)	3 (2.1)	3 (2.1)
	市浦地域	44 (100.0)	0 (0.0)	11 (25.1)	2 (4.5)	8 (18.2)	3 (6.8)	6 (13.6)	1 (2.3)	10 (22.7)	3 (6.8)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	1 (0.9)	51 (45.6)	2 (1.8)	0 (0.0)	12 (10.7)	9 (8.0)	22 (19.6)	13 (11.6)	2 (1.8)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	0 (0.0)	76 (57.9)	6 (4.6)	3 (2.3)	16 (12.2)	15 (11.5)	1 (0.8)	11 (8.4)	3 (2.3)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	5 (3.3)	72 (47.7)	10 (6.6)	3 (2.0)	28 (18.5)	8 (5.3)	0 (0.0)	14 (9.3)	9 (6.0)	2 (1.3)
	50歳代	166 (100.0)	8 (4.8)	80 (48.3)	11 (6.6)	13 (7.8)	21 (12.7)	16 (9.6)	0 (0.0)	10 (6.0)	7 (4.2)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	6 (3.5)	22 (12.8)	19 (11.0)	25 (14.5)	14 (8.1)	20 (11.6)	0 (0.0)	62 (36.1)	2 (1.2)	2 (1.2)
	70歳代以上	185 (100.0)	5 (2.7)	1 (0.5)	12 (6.5)	20 (10.8)	5 (2.7)	18 (9.7)	0 (0.0)	116 (62.8)	5 (2.7)	3 (1.6)
性別	男性	382 (100.0)	16 (4.2)	149 (38.9)	31 (8.1)	32 (8.4)	11 (2.9)	1 (0.3)	12 (3.1)	111 (29.1)	14 (3.7)	5 (1.3)
	女性	404 (100.0)	8 (2.0)	109 (27.1)	22 (5.4)	23 (5.7)	74 (18.3)	76 (18.8)	8 (2.0)	76 (18.8)	7 (1.7)	1 (0.2)
通勤・通学先	市内	347 (100.0)	24 (6.9)	170 (48.9)	38 (11.0)	21 (6.1)	77 (22.2)	5 (1.4)	2 (0.6)	0 (0.0)	8 (2.3)	2 (0.6)
	市外	187 (100.0)	1 (0.5)	130 (69.6)	5 (2.7)	2 (1.1)	17 (9.1)	1 (0.5)	21 (11.2)	0 (0.0)	10 (5.3)	0 (0.0)

## (7) 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「市内」が50.0%、「市外」が26.9%となっています。  
 年齢別にみると、20歳代では「市外」が49.5%と高くなっています。  
 なお、回答割合は、職業が「無職」の方(227人)を除いた694人を母数として計算  
 しています。

【図-7 アンケート回答者の通勤・通学先の構成】



【表-8 通勤・通学先の構成(居住地域別、年齢別、性別)】

		合計	市内 (%)	市外 (%)	無回答 (%)	非該当
全体		694 (100.0)	347 (50.0)	187 (26.9)	160 (23.1)	227
居住地域	五所川原地域	549 (100.0)	280 (51.0)	146 (26.6)	123 (22.4)	182
	金木地域	108 (100.0)	53 (49.1)	32 (29.6)	23 (21.3)	35
	市浦地域	34 (100.0)	14 (41.2)	8 (23.5)	12 (35.3)	10
年齢	20歳代	99 (100.0)	42 (42.4)	49 (49.5)	8 (8.1)	13
	30歳代	120 (100.0)	63 (52.5)	43 (35.8)	14 (11.7)	11
	40歳代	137 (100.0)	81 (59.1)	44 (32.1)	12 (8.8)	14
	50歳代	156 (100.0)	93 (59.6)	37 (23.7)	26 (16.7)	10
	60歳代	110 (100.0)	45 (40.9)	11 (10.0)	54 (49.1)	62
	70歳代以上	69 (100.0)	22 (31.9)	3 (4.3)	44 (63.8)	116
性別	男性	271 (100.0)	137 (50.6)	96 (35.4)	38 (14.0)	111
	女性	328 (100.0)	168 (51.2)	62 (18.9)	98 (29.9)	76

※非該当の部分には、無職と回答した人の数を反映させています。



職業別に通勤・通学先をみると、経営者の方は92.4%が「市内」、学生の方は91.3%が「市外」となっています。また、勤め人の方では、43.0%が「市外」となっています。

【表-9 通勤・通学先の構成（職業別）】

		合計	市内 (%)	市外 (%)	無回答 (%)	非該当
全体		694 100.0	347 50.0	187 26.9	160 23.1	227
職業	経営者	26 (100.0)	24 (92.4)	1 (3.8)	1 (3.8)	0
	勤め人	302 (100.0)	170 (56.3)	130 (43.0)	2 (0.7)	0
	自営・自由業	60 (100.0)	38 (63.4)	5 (8.3)	17 (28.3)	0
	農林漁業	64 (100.0)	21 (32.8)	2 (3.1)	41 (64.1)	0
	パート・アルバイト	96 (100.0)	77 (80.2)	17 (17.7)	2 (2.1)	0
	専業主婦（夫）	86 (100.0)	5 (5.8)	1 (1.2)	80 (93.0)	0
	学生	23 (100.0)	2 (8.7)	21 (91.3)	0 (0.0)	0
	無職	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	227
	その他	28 (100.0)	8 (28.6)	10 (35.7)	10 (35.7)	0



## Ⅱ 集計結果の分析



## Ⅱ-1. 集計結果の見方

---

この調査の集計結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文・グラフ中では省略した簡易表示を用いています（次頁参照）。
- 「満足度指数」および「重要度指数」は、次のとおり算出しています。

### ■満足度指数

各施策の満足度に対する回答に対し、「満足している」に5点、「どちらかといえば満足している」に4点、「ふつう」に3点、「やや不満である」に2点、「不満である」に1点を与え、その合計を各施策の回答数（無回答を除く）で割った値です。

### ■重要度指数

各施策の重要度に対する回答に対し、「重要である」に5点、「やや重要である」に4点、「ふつう」に3点、「あまり重要ではない」に2点、「重要ではない」に1点を与え、その合計を各施策の回答数（無回答を除く）で割った値です。

## ■選択肢の簡易表示

選択肢の表現	簡易表示
1 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること	中心市街地整備による活性化
2 歩道や公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと	利用しやすい歩道・公園整備
3 公共施設（病院・福祉施設・歩道など）に手すりの設置や段差の解消が施されており、利用しやすいこと	公共施設のバリアフリー化
4 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること	安全で快適な道路の整備
5 バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと	公共交通の利便性
6 省エネルギー対策や新エネルギーの導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること	省エネ推進・新エネ導入
7 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること	農林水産業の振興
8 農水産物のブランド化や地域観光資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること	新産業の育成と地域経済活性化
9 買い物などの利便性に優れた、魅力ある商店街が形成されていること	魅力ある商店街の形成
10 新たな企業立地が進むなど、工業の振興が図られていること	工業の振興
11 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること	観光振興による活性化
12 職業訓練や働く場所を増やしたりすること	雇用対策の推進
13 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること	診療体制の充実
14 健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること	健康づくりの推進
15 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること	高齢者福祉の充実
16 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること	子育て支援の充実
17 障がいを持つ方への福祉サービスや相談体制が整っていること	障がい者福祉の充実
18 道路の除雪がうまく行われ、安全に通行できること	雪対策の推進
19 市営住宅が整備されていること	快適な市営住宅の整備
20 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること	衛生的な居住環境の整備
21 災害が起きても対応できる体制が整備されていること	災害に対応できる体制整備
22 豊かな自然が保たれ、自然に親しめる場所が身近にあること。また、環境保全に積極的に取り組まれていること	豊かな自然環境の保全
23 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること	消防・救急・交通・防犯体制の整備
24 消費生活に関する苦情や被害等の相談体制が整備されていること	消費者の安全安心の確保
25 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること	快適な学習環境の整備
26 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること	生涯学習の機会創出
27 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること	地域ぐるみでの学校運営支援
28 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること	スポーツ活動の機会創出
29 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること	芸術文化活動の振興
30 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと	広報広聴活動の推進
31 ボランティアや民間の非営利活動団体などの活動が活発で、行政との協働によってまちづくりが進められていること	住民協働によるまちづくり
32 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること	積極的なコミュニティ活動
33 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること	男女共同参画意識の醸成
34 都会の人に移住してもらったり、外国人との異文化交流をすることによって地域を活性化させること	地域間・国際交流の推進
35 市民が満足できるような窓口サービスが行われていること	快い窓口サービスの実施
36 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること	広域行政の推進
37 市の財政基盤が安定していること	財政基盤の安定

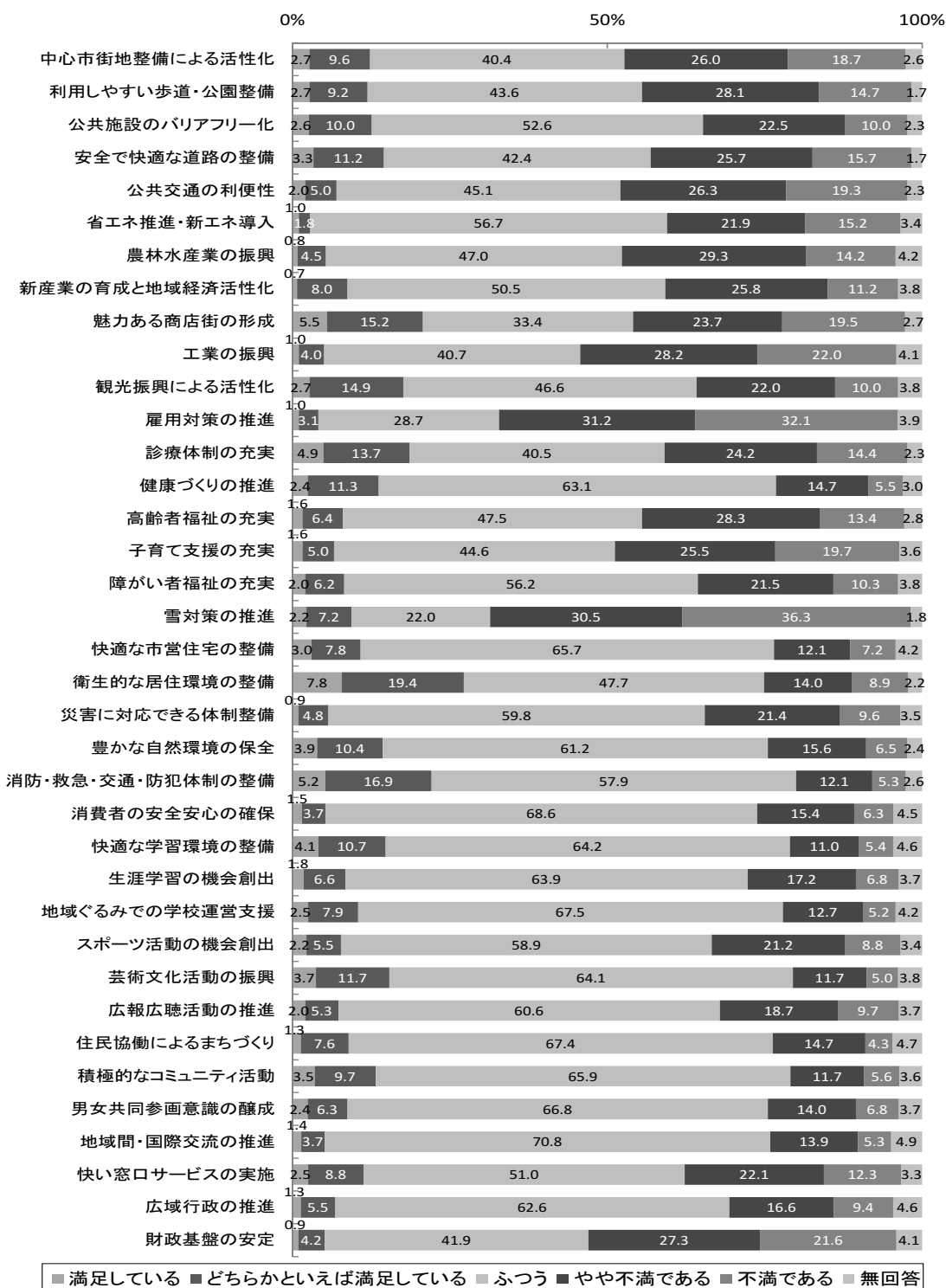
## Ⅱ-2. 施策の満足度・重要度

### (1) 現在の五所川原市について（施策ごとの満足度）

五所川原市総合計画（後期基本計画）に基づく37項目の施策の現状について、満足度の割合を調査したところ、以下のとおりとなっています。

#### ①満足度の割合

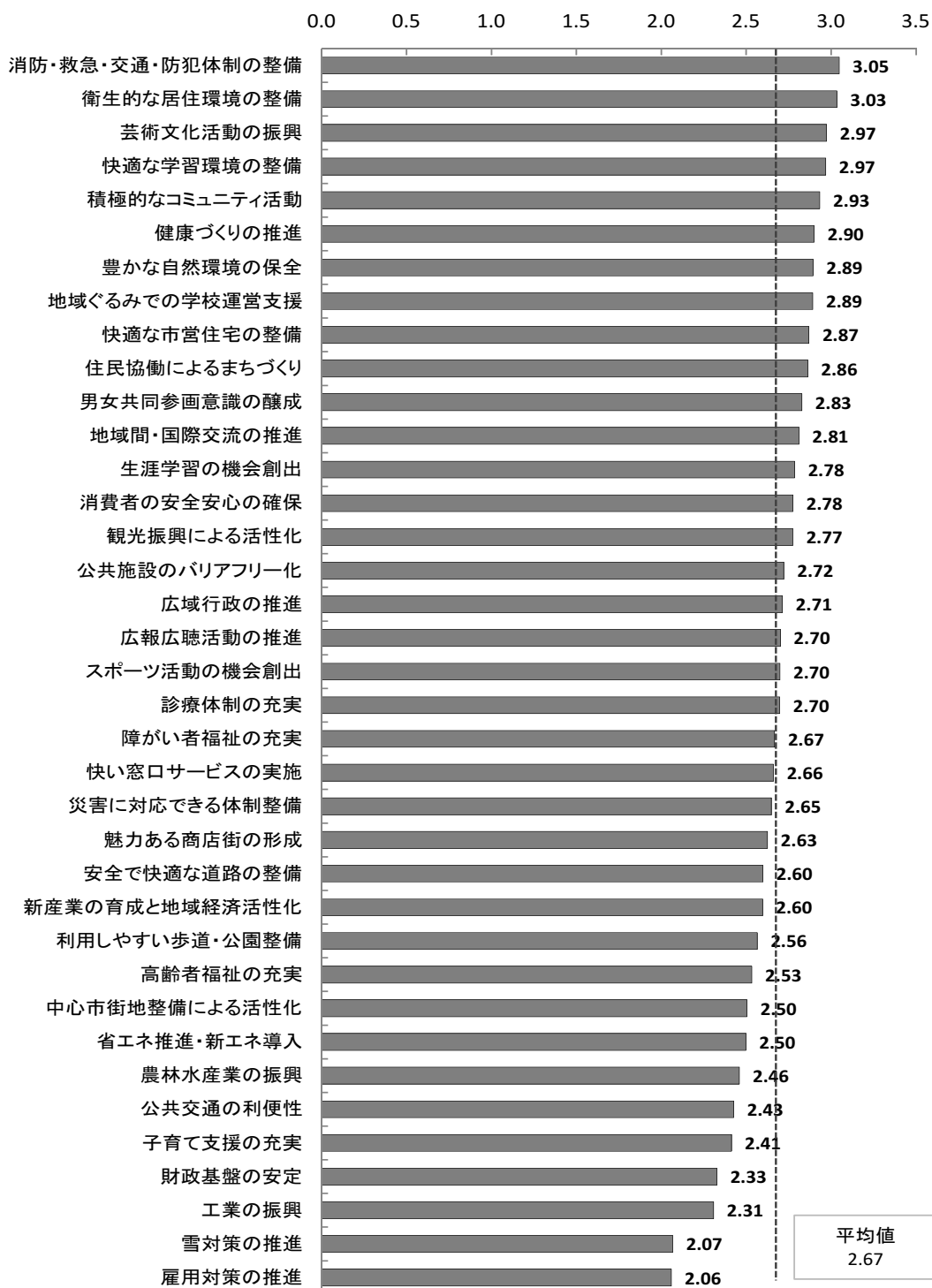
【図-8 現在の五所川原市の施策ごと満足度の割合】



## ②満足度指数

現在の五所川原市の施策に対する満足度を定量的に分析するために、前述の満足度の割合とは別に施策の満足度指数を算出し、グラフ化しています。指数化の方法は、「満足している」に5点、「どちらかといえば満足している」に4点、「ふつう」に3点、「やや不満である」に2点、「不満である」に1点を与え、それぞれ施策ごとの回答数で割り返すことによって算出しています。

【図-9 現在の五所川原市の施策ごと満足度の割合】





### ③五所川原市の施策（37項目）の現状評価

五所川原市総合計画に基づく施策の中から、7分野37項目について現状がどのくらい満足しているかを5段階評価で質問したところ、満足度指数が最も高かったのは、「消防・救急・交通・防犯体制の整備」（3.05）であり、次いで「衛生的な居住環境の整備」（3.03）、「芸術文化活動の振興」と「快適な学習環境の整備」（2.97）、「積極的なコミュニティ活動」（2.93）となっています。一方、満足度指数が最も低かったのは、「雇用対策の推進」（2.06）であり、次いで「雪対策の推進」（2.07）、「工業の振興」（2.31）、「財政基盤の安定」（2.33）、「子育て支援の充実」（2.41）となっています。

【表-10 各施策に対する満足度指数（上下位5位）】

	上位5項目		下位5項目	
1	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.05	雇用対策の推進	2.06
2	衛生的な居住環境の整備	3.03	雪対策の推進	2.07
3	芸術文化活動の振興	2.97	工業の振興	2.31
4	快適な学習環境の整備	2.97	財政基盤の安定	2.33
5	積極的なコミュニティ活動	2.93	子育て支援の充実	2.41

#### 【居住地域別にみた現状評価】

居住地域（五所川原地域、金木地域、市浦地域）別に市施策に対する満足度指数をみると、すべての地域で共通して満足度指数が高い項目は、「衛生的な居住環境の整備」、「芸術文化活動の振興」となっています。また、満足度指数が高い上位5項目のうち、他地域に見られない項目は、五所川原地域で「快適な学習環境の整備」（3位）、「積極的なコミュニティ活動」（5位）、金木地域で「住民協働によるまちづくり」（4位）、「快適な市営住宅の整備」（5位）、市浦地域で「豊かな自然環境の保全」（3位）、「健康づくりの推進」（4位）、「観光振興による活性化」（5位）となっています。

一方、すべての地域で共通して満足度指数が低いのが、「雇用対策の推進」「雪対策の推進」、「工業の振興」となっています。また、満足度指数が低い下位5項目のうち、他地域に見られない項目は、市浦地域で「公共交通の利便性」（36位）、「魅力ある商店街の形成」（34位）となっています。

【表-11 居住地域別にみた各施策に対する満足度指数（上下位5位）】

	五所川原地域			
	上位5項目		下位5項目	
1	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.09	雪対策の推進	2.03
2	衛生的な居住環境の整備	3.06	雇用対策の推進	2.09
3	快適な学習環境の整備	3.02	財政基盤の安定	2.33
4	芸術文化活動の振興	2.97	工業の振興	2.33
5	積極的なコミュニティ活動	2.97	子育て支援の充実	2.44

金木地域				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	芸術文化活動の振興	2.95	雇用対策の推進	1.92
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.87	財政基盤の安定	2.22
3	衛生的な居住環境の整備	2.84	工業の振興	2.23
4	住民協働によるまちづくり	2.83	雪対策の推進	2.23
5	快適な市営住宅の整備	2.83	子育て支援の充実	2.25

市浦地域				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.26	雇用対策の推進	2.14
2	芸術文化活動の振興	3.07	公共交通の利便性	2.14
3	豊かな自然環境の保全	3.02	雪対策の推進	2.14
4	健康づくりの推進	3.02	魅力ある商店街の形成	2.20
5	観光振興による活性化	2.98	工業の振興	2.23

### 【年齢階層別にみた現状評価】

年齢階層（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上）別に市施策に対する満足度指数をみると、すべての年齢階層で共通して満足度指数が高い項目は、「衛生的な居住環境の整備」となっています。また、満足度指数が高い上位5項目のうち、他階層に見られない項目は、20歳代で「男女共同参画意識の醸成」（5位）、30歳代で「観光振興による活性化」（3位）、40歳代で「快適な市営住宅の整備」（3位）、60歳代で「健康づくりの推進」（2位）、70歳代以上で「積極的なコミュニティ活動」（3位）、「住民協働によるまちづくり」（5位）となっています。

一方、すべての年齢階層で共通して満足度指数が低いのが、「雪対策の推進」となっています。また、満足度指数が低い下位5項目のうち、他階層に見られない項目は、30歳代で「利用しやすい歩道・公園整備」（33位）、70歳代以上で「省エネ推進・新エネ導入」（34位）となっています。

【表-12 年齢別にみた各施策に対する満足度指数（上下位5位）】

20歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.09	雪対策の推進	1.89
2	芸術文化活動の振興	3.05	財政基盤の安定	2.15
3	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.02	公共交通の利便性	2.20
4	快適な学習環境の整備	2.98	工業の振興	2.42
5	男女共同参画意識の醸成	2.95	子育て支援の充実	2.45

30歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.02	雪対策の推進	2.02
2	芸術文化活動の振興	3.01	雇用対策の推進	2.06
3	観光振興による活性化	2.98	財政基盤の安定	2.29
4	豊かな自然環境の保全	2.91	子育て支援の充実	2.33
5	快適な学習環境の整備	2.90	利用しやすい歩道・公園整備	2.37

40 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.01	雪対策の推進	1.85
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.01	雇用対策の推進	1.89
3	快適な市営住宅の整備	2.95	財政基盤の安定	2.17
4	豊かな自然環境の保全	2.93	公共交通の利便性	2.22
5	芸術文化活動の振興	2.93	工業の振興	2.28

50 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	衛生的な居住環境の整備	2.94	雪対策の推進	1.92
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.93	雇用対策の推進	2.01
3	快適な学習環境の整備	2.92	工業の振興	2.20
4	芸術文化活動の振興	2.88	財政基盤の安定	2.27
5	豊かな自然環境の保全	2.83	中心市街地整備による活性化	2.28

60 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.17	雇用対策の推進	2.09
2	健康づくりの推進	3.07	工業の振興	2.18
3	衛生的な居住環境の整備	3.06	雪対策の推進	2.23
4	快適な学習環境の整備	3.04	農林水産業の振興	2.32
5	芸術文化活動の振興	2.99	中心市街地整備による活性化	2.34

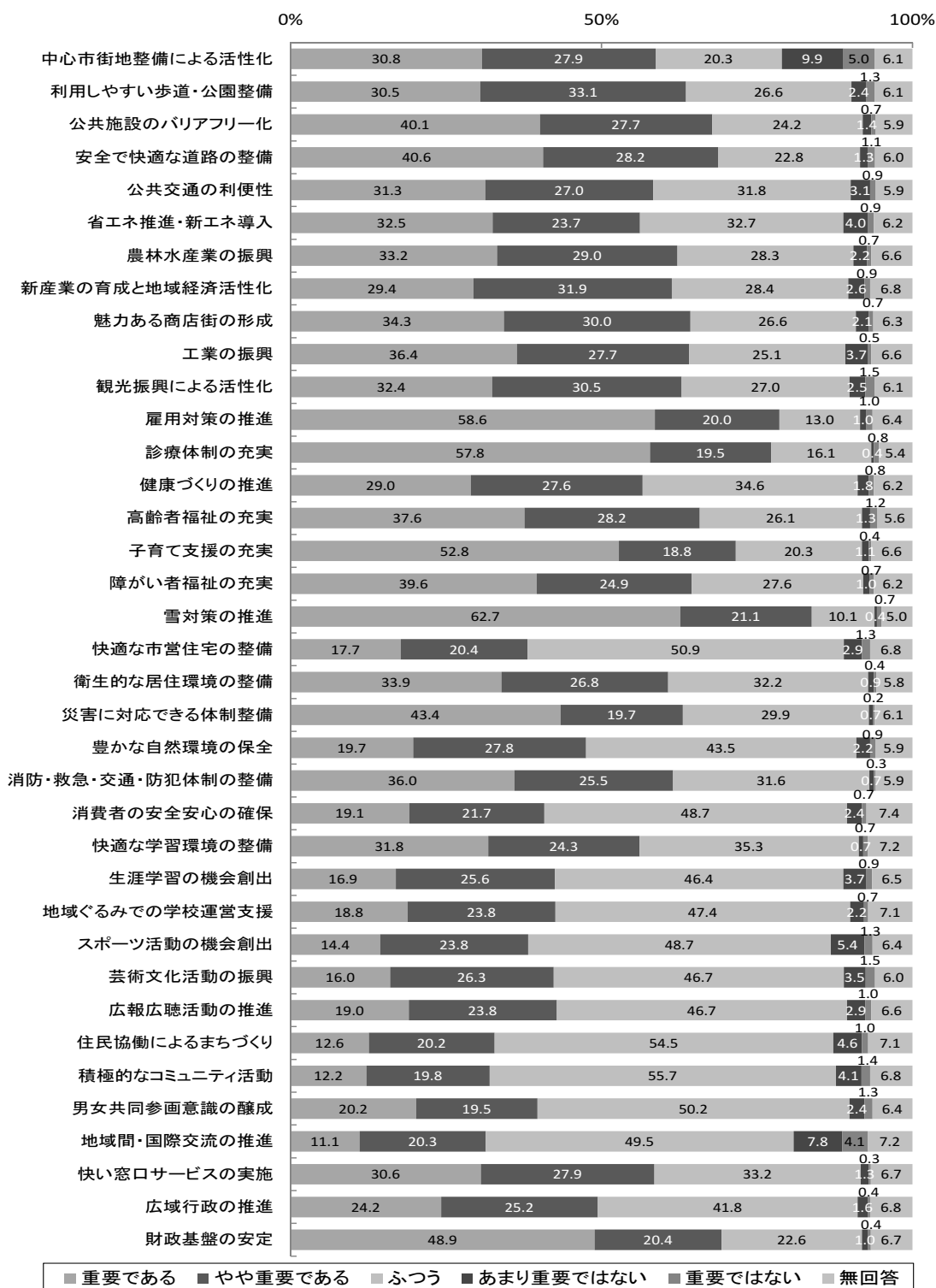
70 歳代以上				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.25	工業の振興	2.36
2	快適な学習環境の整備	3.16	雇用対策の推進	2.36
3	積極的なコミュニティ活動	3.12	雪対策の推進	2.39
4	衛生的な居住環境の整備	3.09	省エネ推進・新エネ導入	2.54
5	住民協働によるまちづくり	3.03	農林水産業の振興	2.55

## (2) 将来の五所川原市について（施策ごとの重要度）

五所川原市総合計画（後期基本計画）に基づく37項目の施策について、将来の重要度を調査したところ、以下のとおりとなっています。

### ①重要度の割合

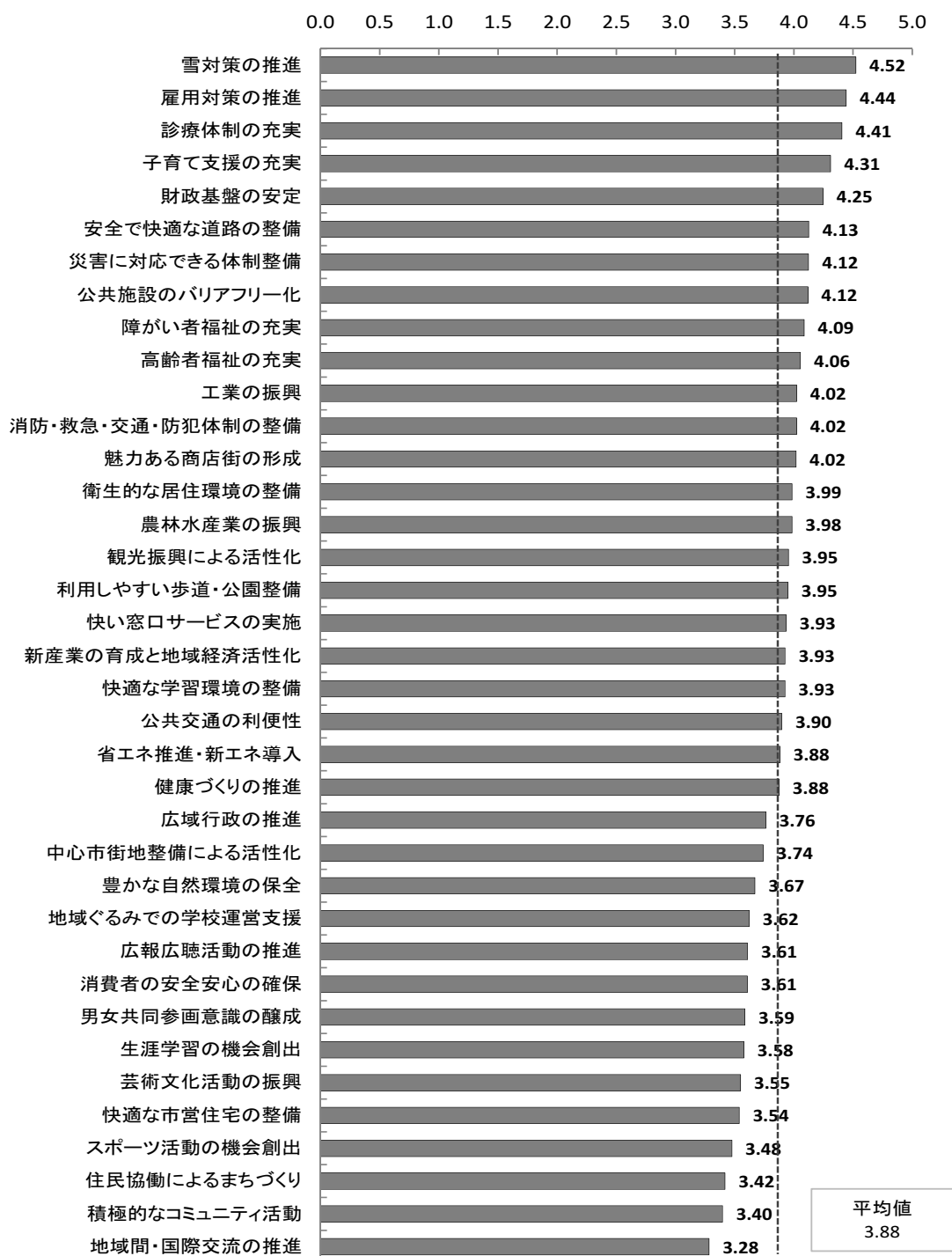
【図-10 五所川原市の施策ごとの重要度の割合】



## ②重要度指数

将来の五所川原市の施策に対する重要度を分析するために、前述の重要度の割合とは別に施策の重要度指数を算出し、グラフ化しています。指数化の方法は、「重要である」に5点、「やや重要である」に4点、「ふつう」に3点、「あまり重要ではない」に2点、「重要でない」に1点を与え、それぞれ施策ごとの回答数で割り返すことによって算出しています。

【図-11 五所川原市の施策ごとの重要度指数】



### ③五所川原市の施策（37項目）の将来重要度

各施策の重要度を「重要度指数」で見ると、指数が最も高い施策は「雪対策の推進」（4.52）となっており、次いで「雇用対策の推進」（4.44）、「診療体制の充実」（4.41）、「子育て支援の充実」（4.31）、「財政基盤の安定」（4.25）と続いています。

一方、指数が最も低い施策は「地域間・国際交流の推進」（3.28）で、次いで「積極的なコミュニティ活動」（3.40）、「住民協働によるまちづくり」（3.42）、「スポーツ活動の機会創出」（3.48）、「快適な市営住宅の整備」（3.54）となっています。

【表-13 各施策に対する重要度指数（上下位5位）】

	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	4.52	地域間・国際交流の推進	3.28
2	雇用対策の推進	4.44	積極的なコミュニティ活動	3.40
3	診療体制の充実	4.41	住民協働によるまちづくり	3.42
4	子育て支援の充実	4.31	スポーツ活動の機会創出	3.48
5	財政基盤の安定	4.25	快適な市営住宅の整備	3.54

#### 【居住地域別にみた将来重要度】

居住地域（五所川原地域、金木地域、市浦地域）別に市施策に対する重要度指数をみると、すべての地域で共通して重要度指数が高い項目は、「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「診療体制の充実」、「子育て支援の充実」となっています。また、重要度指数が高い上位5項目のうち、他地域に見られない項目は、市浦地域で「災害に対応できる体制整備」（4位）となっています。

一方、すべての地域で共通して重要度指数が低いのが、「地域間・国際交流の推進」、「積極的なコミュニティ活動」、「住民協働によるまちづくり」、「スポーツ活動の機会創出」となっています。また、満足度指数が低い下位5項目のうち、他地域に見られない項目は、五所川原地域で「快適な市営住宅の整備」（33位）、金木地域で「芸術文化活動の振興」（34位）、市浦地域で「男女共同参画意識の醸成」（33位）となっています。

【表-14 居住地域別にみた各施策に対する重要度指数（上下位5位）】

	五所川原地域			
	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	4.54	地域間・国際交流の推進	3.29
2	雇用対策の推進	4.44	住民協働によるまちづくり	3.43
3	診療体制の充実	4.42	積極的なコミュニティ活動	3.44
4	子育て支援の充実	4.32	スポーツ活動の機会創出	3.48
5	財政基盤の安定	4.26	快適な市営住宅の整備	3.53

金木地域				
上位5項目			下位5項目	
1	雪対策の推進	4.43	積極的なコミュニティ活動	3.17
2	雇用対策の推進	4.42	地域間・国際交流の推進	3.28
3	診療体制の充実	4.29	住民協働によるまちづくり	3.35
4	子育て支援の充実	4.25	芸術文化活動の振興	3.50
5	財政基盤の安定	4.22	スポーツ活動の機会創出	3.50

市浦地域				
上位5項目			下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.58	地域間・国際交流の推進	3.24
2	雪対策の推進	4.57	積極的なコミュニティ活動	3.40
3	診療体制の充実	4.51	スポーツ活動の機会創出	3.43
4	災害に対応できる体制整備	4.46	住民協働によるまちづくり	3.44
5	子育て支援の充実	4.33	男女共同参画意識の醸成	3.52

### 【年齢階層別にみた将来重要度】

年齢階層（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上）別に市施策に対する重要度指数をみると、すべての年齢階層で共通して重要度指数が高い項目は、「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「診療体制の充実」、「子育て支援の充実」となっています。また、「雪対策の推進」は、すべての年齢階層で1位の結果となっています。他階層に見られない項目は、20歳代で「障がい者福祉の充実」（5位）、70歳代以上で「高齢者福祉の充実」（4位）となっています。

一方、すべての年齢階層で共通して重要度指数が低いのが、「地域間・国際交流の推進」、「積極的なコミュニティ活動」、「住民協働によるまちづくり」となっています。また、重要度指数が低い下位5項目のうち、他階層に見られない項目は、20歳代で「広報広聴活動の推進」（33位）、50歳代で「男女共同参画意識の醸成」（33位）、60歳代で「消費者の安全安心の確保」（33位）となっています。

【表-15 年齢別にみた各施策に対する重要度指数（上下位5位）】

20歳代				
上位5項目			下位5項目	
1	雪対策の推進	4.70	住民協働によるまちづくり	3.34
2	雇用対策の推進	4.61	地域間・国際交流の推進	3.39
3	子育て支援の充実	4.51	積極的なコミュニティ活動	3.41
4	診療体制の充実	4.44	快適な市営住宅の整備	3.53
5	障がい者福祉の充実	4.32	広報広聴活動の推進	3.62

30 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4. 61	積極的なコミュニティ活動	3. 26
2	子育て支援の充実	4. 55	地域間・国際交流の推進	3. 27
3	雇用対策の推進	4. 54	住民協働によるまちづくり	3. 38
4	診療体制の充実	4. 52	快適な市営住宅の整備	3. 50
5	財政基盤の安定	4. 35	芸術文化活動の振興	3. 53

40 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4. 60	地域間・国際交流の推進	3. 10
2	雇用対策の推進	4. 48	積極的なコミュニティ活動	3. 22
3	診療体制の充実	4. 45	住民協働によるまちづくり	3. 22
4	財政基盤の安定	4. 32	スポーツ活動の機会創出	3. 36
5	子育て支援の充実	4. 28	芸術文化活動の振興	3. 38

50 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4. 52	地域間・国際交流の推進	3. 35
2	診療体制の充実	4. 51	積極的なコミュニティ活動	3. 38
3	雇用対策の推進	4. 42	スポーツ活動の機会創出	3. 41
4	財政基盤の安定	4. 29	住民協働によるまちづくり	3. 47
5	子育て支援の充実	4. 24	男女共同参画意識の醸成	3. 50

60 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4. 48	地域間・国際交流の推進	3. 34
2	雇用対策の推進	4. 38	スポーツ活動の機会創出	3. 47
3	診療体制の充実	4. 34	住民協働によるまちづくり	3. 49
4	財政基盤の安定	4. 24	積極的なコミュニティ活動	3. 51
5	子育て支援の充実	4. 22	消費者の安全安心の確保	3. 52

70 歳代以上				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4. 29	地域間・国際交流の推進	3. 27
2	雇用対策の推進	4. 28	スポーツ活動の機会創出	3. 47
3	診療体制の充実	4. 20	住民協働によるまちづくり	3. 56
4	高齢者福祉の充実	4. 17	積極的なコミュニティ活動	3. 58
5	子育て支援の充実	4. 14	芸術文化活動の振興	3. 59

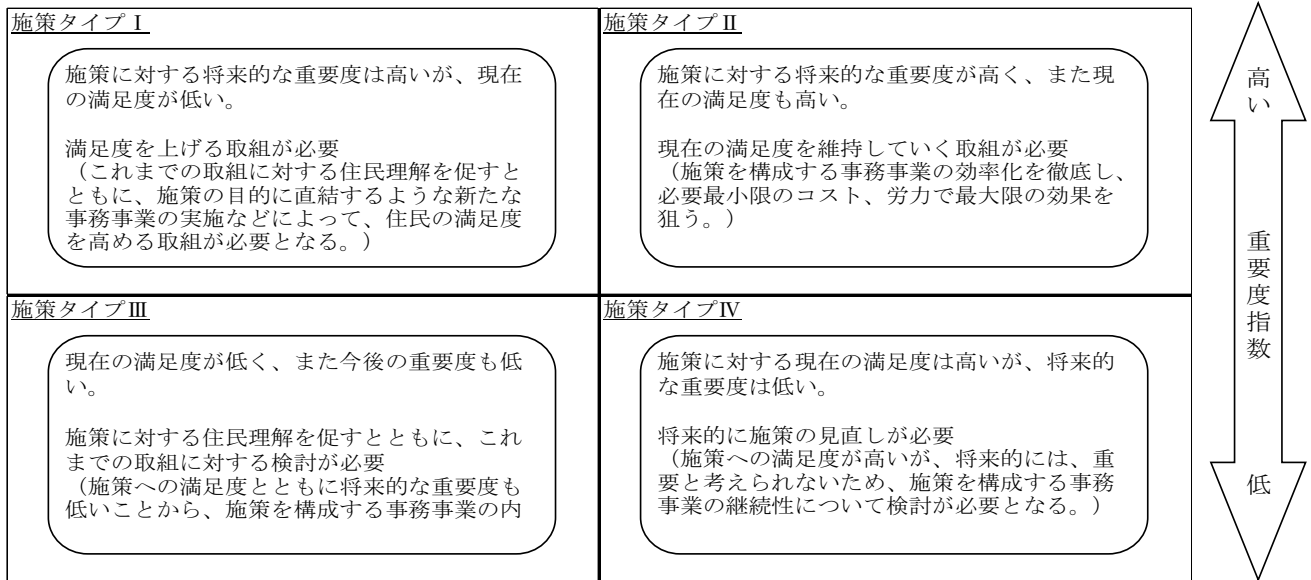


### (3) 満足度・重要度散布図

現在及び将来の五所川原市の施策について、37の設問項目ごとに「重要度指数」を縦軸に、「満足度指数」を横軸とした散布図を作成し、それぞれの指数の平均値から4つの区切り（施策タイプⅠ～Ⅳ）に分類しています。37項目の散布状況は、図-11のとおりです。

<p>●「満足度指数」の求め方</p> <p>「満足している」：5点×「満足している」の回答数</p> <p>「どちらかといえば満足している」：4点×「どちらかといえば満足している」の回答数</p> <p>「ふつう」：3点×「ふつう」の回答数</p> <p>「やや不満である」：2点×「やや不満である」の回答数</p> <p>「不満である」：1点×「不満である」の回答数</p> <p>これらの点数を合計して回答数で割る。</p>
<p>●「重要度指数」の求め方</p> <p>「重要である」：5点×「重要である」の回答数</p> <p>「やや重要である」：4点×「やや重要である」の回答数</p> <p>「ふつう」：3点×「ふつう」の回答数</p> <p>「あまり重要ではない」：2点×「あまり重要ではない」の回答数</p> <p>「重要ではない」：1点×「重要ではない」の回答数</p> <p>これらの点数を合計して回答数で割る。</p>

【図-12 満足度・重要度散布図の施策タイプ】



施策タイプⅠ	「重要度」が平均以上で、「満足度」は平均以下のもの この領域の施策は内容等を見直し、さらに市民満足度を高めるような事業を行う必要がある。
施策タイプⅡ	「重要度」が平均以上で、「満足度」も平均以上のもの この領域の施策は必要度も満足度も高く、現状の方向を継続すればよいと考えられる。
施策タイプⅢ	「重要度」が平均以下で、「満足度」も平均以下のもの この領域の施策は、施策を構成する事務事業の内容を検討する必要がある。
施策タイプⅣ	「重要度」が平均以下で、「満足度」は平均以上のもの この領域の施策は、施策を構成する事務事業の継続性を検討する必要がある。



【表-16 施策タイプ別施策項目】

■施策タイプⅠ（満足度：低い 重要度：高い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
雪対策の推進	2.07	4.52
雇用対策の推進	2.06	4.44
財政基盤の安定	2.33	4.25
子育て支援の充実	2.41	4.31
工業の振興	2.31	4.02
公共交通の利便性	2.43	3.90
農林水産業の振興	2.46	3.98
安全で快適な道路の整備	2.60	4.13
高齢者福祉の充実	2.53	4.06
省エネ推進・新エネ導入	2.50	3.88
災害に対応できる体制整備	2.65	4.12
障がい者福祉の充実	2.67	4.09
利用しやすい歩道・公園整備	2.56	3.95
魅力ある商店街の形成	2.63	4.02
新産業の育成と地域経済活性化	2.60	3.93
快い窓口サービスの実施	2.66	3.93

■施策タイプⅢ（満足度：低い 重要度：低い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
中心市街地整備による活性化	2.50	3.74

※施策名の順番は、平均点からの距離が遠い順。

平均点からの距離  

$$= \sqrt{(\text{満足度指数})^2 + (\text{重要度指数})^2}$$

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：高い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
診療体制の充実	2.70	4.41
消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.05	4.02
衛生的な居住環境の整備	3.03	3.99
公共施設のバリアフリー化	2.72	4.12
快適な学習環境の整備	2.97	3.93
観光振興による活性化	2.77	3.95

■施策タイプⅣ（満足度：高い 重要度：低い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
地域間・国際交流の推進	2.81	3.28
積極的なコミュニティ活動	2.93	3.40
住民協働によるまちづくり	2.86	3.42
スポーツ活動の機会創出	2.70	3.48
芸術文化活動の振興	2.97	3.55
快適な市営住宅の整備	2.87	3.54
生涯学習の機会創出	2.78	3.58
男女共同参画意識の醸成	2.83	3.59
地域ぐるみでの学校運営支援	2.89	3.62
広報広聴活動の推進	2.70	3.61
消費者の安全安心の確保	2.78	3.61
豊かな自然環境の保全	2.89	3.67
広域行政の推進	2.71	3.76
健康づくりの推進	2.90	3.88

#### (4) 定住意向と満足度・重要度

満足度・重要度と定住意向（これからも五所川原に住み続けたいか）の関係を見るため、定住意向が高い人（「住み続けたい」もしくは「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人）と定住意向が低い人（「住み続けたくない」もしくは「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した人）それぞれについて満足度指数・重要度指数を算出しました。

##### 【定住意向別にみた現状評価】

定住意向が高い人と定住意向が低い人の満足度指数を比較すると、どちらも上位5項目は同じ施策が入っていますが、定住意向が低いほうが満足度が低くなっています。

また、下位5項目についても4項目で同じ施策となっており、その他、定住意向が高い人では「農林水産業の振興」が、定住意向が低い人では「公共交通の利便性」が下位に入っています。

【表-17 定住意向別にみた満足度指数（上下位5項目）】

	定住意向が高い			
	上位5項目		下位5項目	
1	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.17	雇用対策の推進	2.16
2	衛生的な居住環境の整備	3.10	雪対策の推進	2.20
3	快適な学習環境の整備	3.07	工業の振興	2.38
4	芸術文化活動の振興	3.03	財政基盤の安定	2.49
5	積極的なコミュニティ活動	3.02	農林水産業の振興	2.50

	定住意向が低い			
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	2.91	雪対策の推進	1.71
2	芸術文化活動の振興	2.73	財政基盤の安定	1.82
3	積極的なコミュニティ活動	2.70	雇用対策の推進	1.83
4	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.70	公共交通の利便性	1.93
5	快適な学習環境の整備	2.69	工業の振興	2.00

##### 【定住意向による満足度指数の差】

定住意向が高い人と定住意向が低い人の施策ごとの満足度指数の差をみると、すべての施策項目で定住意向が高い人の満足度指数が定住意向の低い人の満足度指数を上回っています。特に「財政基盤の安定」、「公共交通の利便性」、「魅力ある商店街の形成」などで差が大きくなっています。

【表-18 定住意向による満足度指数の差（上下位5項目）】

	差が大きい5項目		差が小さい5項目	
	1	財政基盤の安定	0.67	衛生的な居住環境の整備
2	公共交通の利便性	0.65	消費者の安全安心の確保	0.25
3	魅力ある商店街の形成	0.58	快適な市営住宅の整備	0.26
4	診療体制の充実	0.55	災害に対応できる体制整備	0.28
5	安全で快適な道路の整備	0.53	新産業の育成と地域経済活性化	0.28

### 【重要度指数 上下位 5 項目（定住意向別）】

定住意向が高い人と定住意向が低い人の重要度指数を比較すると、満足度指数と同様に上位 5 項目ではすべて同じ施策が入っています。その中で「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「財政基盤の安定」では定住意向が低い人のほうが、「診療体制の充実」、「子育て支援の充実」では定住意向が高い人のほうが重要度が高くなっています。

また、下位 5 項目についても 4 項目で同じ施策となっており、その他、定住意向が高い人では「スポーツ活動の機会創出」が、定住意向が低い人では「芸術文化活動の振興」が下位に入っています。

【表-19 定住意向別にみた重要度指数（上下位 5 項目）】

	定住意向が高い			
	上位 5 項目		下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4.50	地域間・国際交流の推進	3.31
2	雇用対策の推進	4.43	住民協働によるまちづくり	3.47
3	診療体制の充実	4.42	積極的なコミュニティ活動	3.47
4	子育て支援の充実	4.35	スポーツ活動の機会創出	3.47
5	財政基盤の安定	4.22	快適な市営住宅の整備	3.57

	定住意向が低い			
	上位 5 項目		下位 5 項目	
1	雪対策の推進	4.70	積極的なコミュニティ活動	3.25
2	雇用対策の推進	4.54	地域間・国際交流の推進	3.34
3	財政基盤の安定	4.40	住民協働によるまちづくり	3.35
4	診療体制の充実	4.34	芸術文化活動の振興	3.43
5	子育て支援の充実	4.33	快適な市営住宅の整備	3.49

### 【定住意向で重要度指数の差が大きい項目】

定住意向が高い人と定住意向が低い人の施策ごとの重要度指数の差をみると、「積極的なコミュニティ活動」、「中心市街地整備による活性化」、「芸術文化活動の振興」等で定住意向が高い人の指数がより高く、「雪対策の推進」、「財政基盤の安定」等で定住意向が低い人の指数がより高くなっています。

【表-20 定住意向による重要度指数の差（上下位 5 項目）】

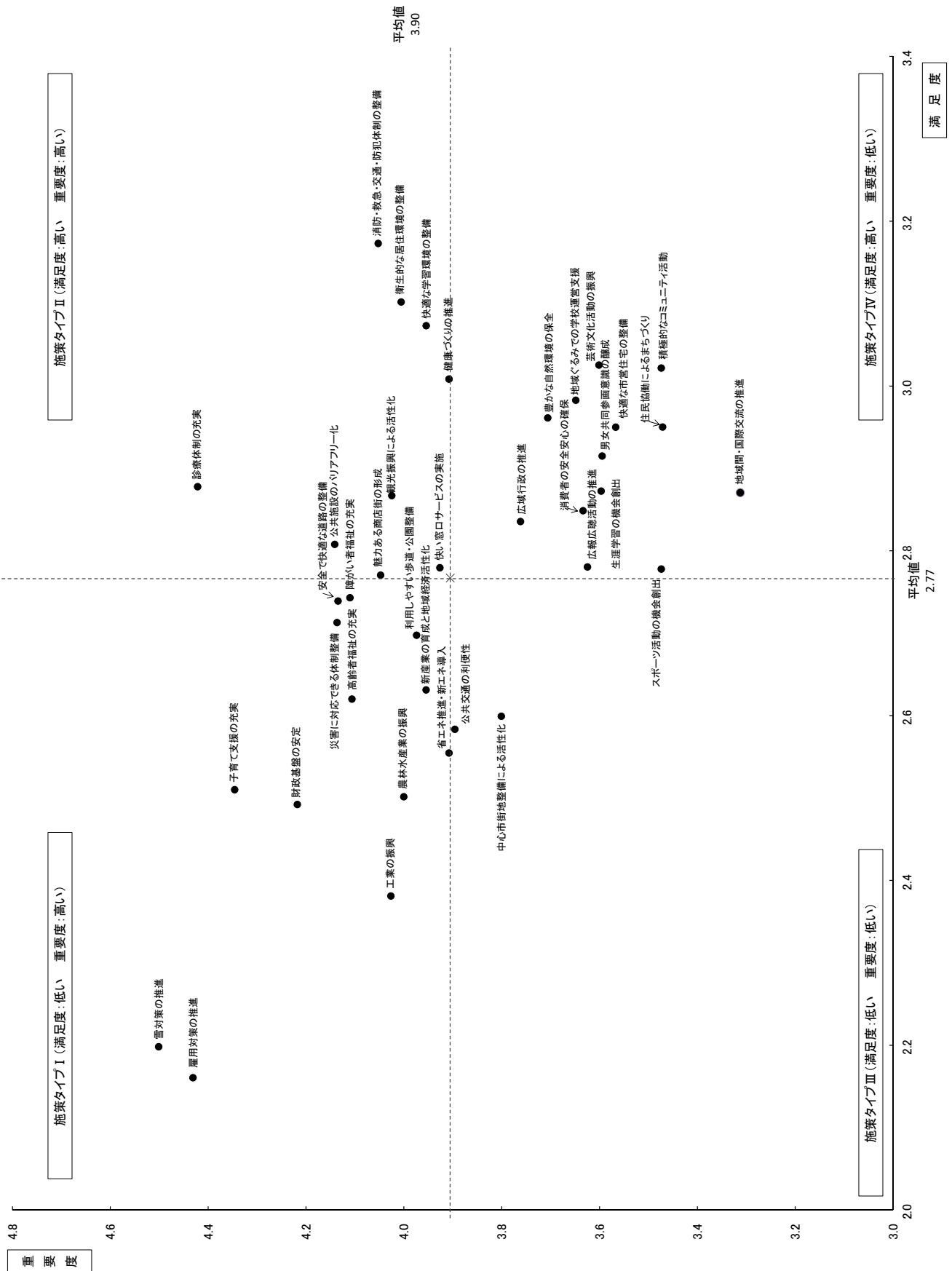
	差が大きい 5 項目		差が小さい 5 項目	
	1	積極的なコミュニティ活動	0.23	障がい者福祉の充実
2	中心市街地整備による活性化	0.21	衛生的な居住環境の整備	0.01
3	雪対策の推進	(0.20)	公共施設のバリアフリー化	(0.01)
4	財政基盤の安定	(0.19)	地域ぐるみでの学校運営支援	0.01
5	芸術文化活動の振興	0.17	工業の振興	(0.01)

※（ ）は定住意向が低い方が大きいことを示す

【満足度・重要度散布図（定住意向別）】

■定住意向が高い

【図-14 定住意向が高い人の満足度指数・重要度指数の散布図】



満足度指数を縦軸、重要度指数を横軸とした散布図に各施策をプロットし、平均値によって区切られた4つの領域をそれぞれ施策タイプⅠから施策タイプⅣに分類すると以下のとおりとなります。

満足度が低く、重要度が高いため、特に重点的に資源を投資する必要があると思われる「施策タイプⅠ」をみると、「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「子育て支援の充実」など13施策が該当しています。

【表-21 定住意向が高い人の施策タイプ】

■施策タイプⅠ（満足度：低い 重要度：高い）

施策名	満足度指数	重要度指数
雪対策の推進	2.20	4.50
雇用対策の推進	2.16	4.43
子育て支援の充実	2.51	4.35
財政基盤の安定	2.49	4.22
工業の振興	2.38	4.03
農林水産業の振興	2.50	4.00
高齢者福祉の充実	2.62	4.11
災害に対応できる体制整備	2.71	4.14
安全で快適な道路の整備	2.74	4.13
省エネ推進・新エネ導入	2.55	3.91
障がい者福祉の充実	2.74	4.11
新産業の育成と地域経済活性化	2.63	3.95
利用しやすい歩道・公園整備	2.70	3.97

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：高い）

施策名	満足度指数	重要度指数
診療体制の充実	2.88	4.42
消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.17	4.05
衛生的な居住環境の整備	3.10	4.01
快適な学習環境の整備	3.07	3.95
健康づくりの推進	3.01	3.91
公共施設のバリアフリー化	2.81	4.14
観光振興による活性化	2.87	4.02
魅力ある商店街の形成	2.77	4.05
快い窓口サービスの実施	2.78	3.93

■施策タイプⅢ（満足度：低い 重要度：低い）

施策名	満足度指数	重要度指数
中心市街地整備による活性化	2.60	3.80
公共交通の利便性	2.58	3.90

■施策タイプⅣ（満足度：高い 重要度：低い）

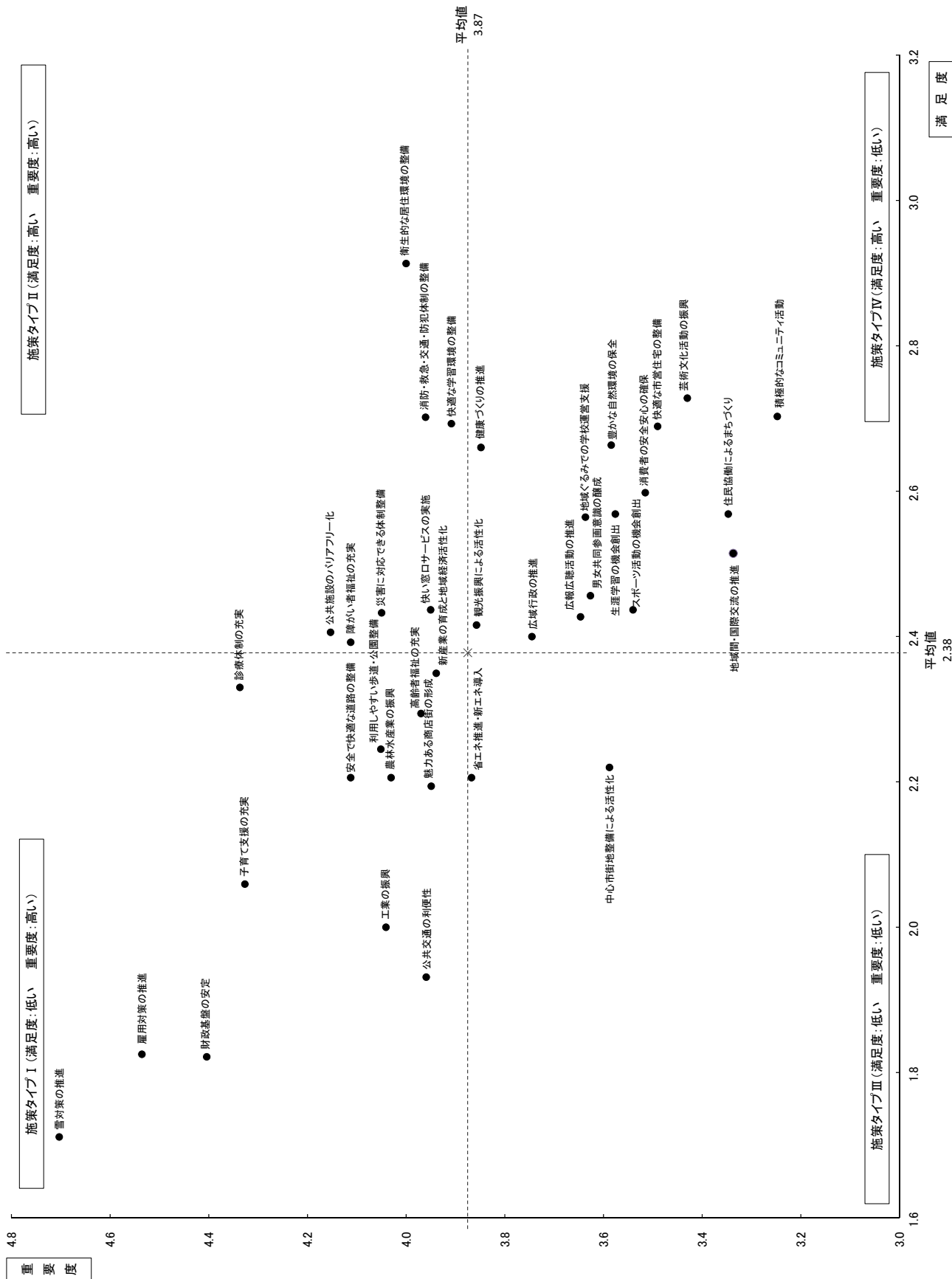
施策名	満足度指数	重要度指数
地域間・国際交流の推進	2.87	3.31
積極的なコミュニティ活動	3.02	3.47
住民協働によるまちづくり	2.95	3.47
スポーツ活動の機会創出	2.78	3.47
芸術文化活動の振興	3.03	3.60
快適な市営住宅の整備	2.95	3.57
男女共同参画意識の醸成	2.92	3.59
地域ぐるみでの学校運営支援	2.98	3.65
生涯学習の機会創出	2.87	3.60
消費者の安全安心の確保	2.85	3.63
広報広聴活動の推進	2.78	3.62
豊かな自然環境の保全	2.96	3.71
広域行政の推進	2.84	3.76

※施策名の順番は、平均点からの距離が遠い順。

平均点からの距離  
 $= \sqrt{(\text{満足度指数})^2 + (\text{重要度指数})^2}$

■定住意向が低い

【図-15 定住意向が低い人の満足度指数・重要度指数の散布図】





満足度が低く、重要度が高いため、特に重点的に資源を投資する必要があると思われる「施策タイプⅠ」をみると、「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「財政基盤の安定」など13施策が該当しています。

定住意向が高い人の散布図と比較すると、「診療体制の充実」、「公共交通の利便性」が施策タイプⅠに加わり、「省エネ推進・新エネ導入」が施策タイプⅢに、「障がい者福祉の充実」が施策タイプⅡに入っています。

【表-22 定住意向が低い人の施策タイプ】

■施策タイプⅠ（満足度：低い 重要度：高い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
雪対策の推進	1.71	4.70
雇用対策の推進	1.83	4.54
財政基盤の安定	1.82	4.40
子育て支援の充実	2.06	4.33
診療体制の充実	2.33	4.34
公共交通の利便性	1.93	3.96
工業の振興	2.00	4.04
安全で快適な道路の整備	2.21	4.11
農林水産業の振興	2.21	4.03
利用しやすい歩道・公園整備	2.25	4.05
魅力ある商店街の形成	2.19	3.95
高齢者福祉の充実	2.29	3.97
新産業の育成と地域経済活性化	2.35	3.94

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：高い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
衛生的な居住環境の整備	2.91	4.00
消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.70	3.96
快適な学習環境の整備	2.69	3.91
公共施設のバリアフリー化	2.41	4.15
障がい者福祉の充実	2.39	4.11
災害に対応できる体制整備	2.43	4.05
快い窓口サービスの実施	2.44	3.95

■施策タイプⅢ（満足度：低い 重要度：低い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
中心市街地整備による活性化	2.22	3.59
省エネ推進・新エネ導入	2.21	3.87

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：低い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
積極的なコミュニティ活動	2.70	3.25
芸術文化活動の振興	2.73	3.43
住民協働によるまちづくり	2.57	3.35
地域間・国際交流の推進	2.51	3.34
快適な市営住宅の整備	2.69	3.49
消費生活の安全安心の確保	2.60	3.52
豊かな自然環境の保全	2.66	3.58
生涯学習の機会創出	2.57	3.58
スポーツ活動の機会創出	2.44	3.54
地域ぐるみでの学校運営支援	2.56	3.64
健康づくりの推進	2.66	3.85
男女共同参画意識の醸成	2.46	3.63
広報広聴活動の推進	2.43	3.65
広域行政の推進	2.40	3.74
観光振興による活性化	2.42	3.86

※施策名の順番は、平均点からの距離が遠い順。

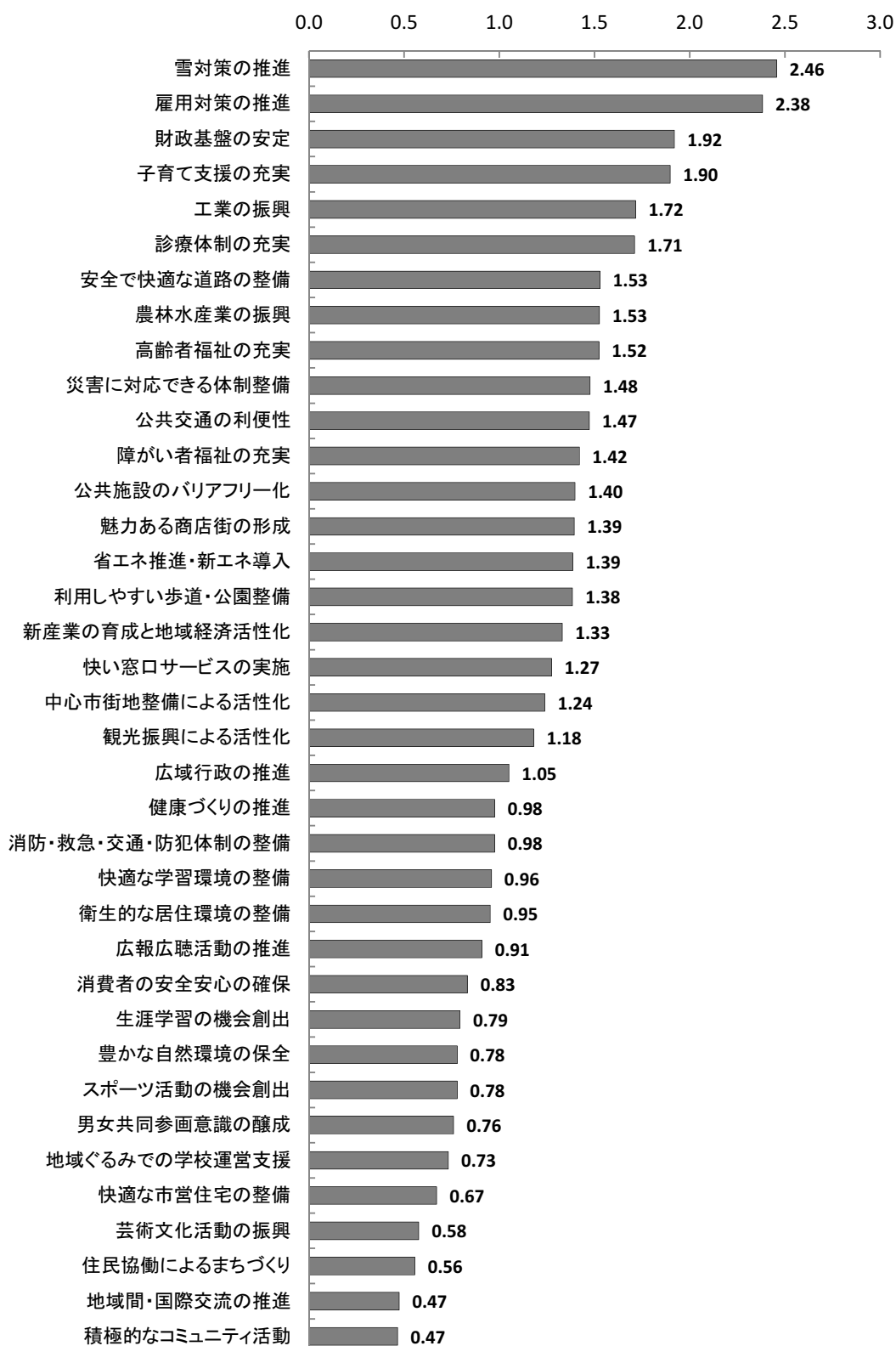
平均点からの距離  

$$= \sqrt{(\text{満足度指数})^2 + (\text{重要度指数})^2}$$

## (5) ニーズ指数

これまでの分析に加えて、施策の必要性を検討するため、ニーズ指数を算定しました。ニーズ指数は、将来及び現在の五所川原市の施策について、37の設問項目ごとに算出した「重要度指数」及び「満足度指数」の差で算出しています。

【図-16 五所川原市の施策に対するニーズ指数】



ニーズ指数が最も高かったのは、「雪対策の推進」(2.46)であり、次いで「雇用対策の推進」(2.38)、「財政基盤の安定」(1.92)、「子育て支援の充実」(1.90)、「工業の振興」(1.72)となっています。一方、ニーズ指数が最も低かったのは、「積極的なコミュニティ活動」及び「地域間・国際交流の推進」(0.47)であり、次いで「住民協働によるまちづくり」(0.56)、「芸術文化活動の振興」(0.58)、「快適な市営住宅の整備」(0.67)となっています。

【表-23 各施策に対するニーズ指数（上下位5位）】

	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	2.46	積極的なコミュニティ活動	0.47
2	雇用対策の推進	2.38	地域間・国際交流の推進	0.47
3	財政基盤の安定	1.92	住民協働によるまちづくり	0.56
4	子育て支援の充実	1.90	芸術文化活動の振興	0.58
5	工業の振興	1.72	快適な市営住宅の整備	0.67

### 【居住地域別にみたニーズ指数】

居住地域別（五所川原地域、金木地域、市浦地域）に施策に対するニーズ指数をみると、すべての地域で共通してニーズ指数が高い項目は、「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「診療体制の充実」となっています。また、ニーズ指数が高い上位5項目のうち、他地域に見られない項目は、市浦地域で「公共交通の利便性」(3位)、「工業の振興」(4位)となっています。

一方、すべての地域で共通してニーズ指数が低いのが、「積極的なコミュニティ活動」、「地域間・国際交流の推進」、「住民協働によるまちづくり」、「芸術文化活動の振興」となっています。また、ニーズ指数が低い下位5項目のうち、他地域に見られない項目は、市浦地域で「豊かな自然環境の保全」(33位)となっています。

【表-24 居住地域別にみた各施策に対するニーズ指数（上下位5位）】

五所川原地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	2.51	地域間・国際交流の推進	0.47
2	雇用対策の推進	2.35	積極的なコミュニティ活動	0.47
3	財政基盤の安定	1.93	住民協働によるまちづくり	0.56
4	子育て支援の充実	1.88	芸術文化活動の振興	0.58
5	診療体制の充実	1.69	快適な市営住宅の整備	0.65

金木地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.50	積極的なコミュニティ活動	0.40
2	雪対策の推進	2.19	地域間・国際交流の推進	0.51
3	財政基盤の安定	2.01	住民協働によるまちづくり	0.52
4	子育て支援の充実	2.00	芸術文化活動の振興	0.55
5	診療体制の充実	1.71	快適な市営住宅の整備	0.74

市浦地域				
上位5項目			下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.45	地域間・国際交流の推進	0.45
2	雪対策の推進	2.43	積極的なコミュニティ活動	0.47
3	公共交通の利便性	2.12	芸術文化活動の振興	0.53
4	工業の振興	2.10	住民協働によるまちづくり	0.63
5	診療体制の充実	2.01	豊かな自然環境の保全	0.69

### 【年齢階層別にみたニーズ指数】

年齢階層別（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上）に施策に対するニーズ指数をみると、すべての年齢階層で共通してニーズ指数が高い項目は、「雪対策の推進」、「雇用対策の推進」、「子育て支援の充実」となっています。また、ニーズ指数が高い上位5項目のうち、他階層に見られない項目は、20歳代で「公共交通の利便性」（5位）、70歳代以上で「高齢者福祉の充実」（4位）となっています。

一方、すべての年齢階層で共通してニーズ指数が低いのが、「積極的なコミュニティ活動」、芸術文化活動の振興」となっています。また、ニーズ指数が低い下位5項目のうち、他階層に見られない項目は、50歳代で「スポーツ活動の機会創出」（33位）、70歳代以上で「生涯学習の機会創出」（33位）となっています。

【表-25 年齢別にみた各施策に対するニーズ指数（上下位5位）】

20歳代				
上位5項目			下位5項目	
1	雪対策の推進	2.81	住民協働によるまちづくり	0.48
2	雇用対策の推進	2.74	積極的なコミュニティ活動	0.54
3	財政基盤の安定	2.16	地域間・国際交流の推進	0.56
4	子育て支援の充実	2.07	芸術文化活動の振興	0.57
5	公共交通の利便性	1.73	快適な市営住宅の整備	0.61

30歳代				
上位5項目			下位5項目	
1	雪対策の推進	2.59	積極的なコミュニティ活動	0.39
2	雇用対策の推進	2.48	地域間・国際交流の推進	0.45
3	子育て支援の充実	2.22	住民協働によるまちづくり	0.51
4	財政基盤の安定	2.06	芸術文化活動の振興	0.52
5	診療体制の充実	1.99	快適な市営住宅の整備	0.72

40歳代				
上位5項目			下位5項目	
1	雪対策の推進	2.75	積極的なコミュニティ活動	0.29
2	雇用対策の推進	2.59	地域間・国際交流の推進	0.33
3	財政基盤の安定	2.15	住民協働によるまちづくり	0.38
4	子育て支援の充実	1.96	芸術文化活動の振興	0.45
5	診療体制の充実	1.95	快適な市営住宅の整備	0.48

50 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雪対策の推進	2.60	積極的なコミュニティ活動	0.56
2	雇用対策の推進	2.41	地域間・国際交流の推進	0.59
3	財政基盤の安定	2.02	芸術文化活動の振興	0.67
4	診療体制の充実	1.95	住民協働によるまちづくり	0.69
5	子育て支援の充実	1.91	スポーツ活動の機会創出	0.76

60 歳代				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雇用対策の推進	2.29	積極的なコミュニティ活動	0.54
2	雪対策の推進	2.26	地域間・国際交流の推進	0.56
3	工業の振興	1.90	快適な市営住宅の整備	0.59
4	財政基盤の安定	1.87	芸術文化活動の振興	0.62
5	子育て支援の充実	1.79	地域ぐるみでの学校運営支援	0.64

70 歳代以上				
上位 5 項目			下位 5 項目	
1	雇用対策の推進	1.92	積極的なコミュニティ活動	0.45
2	雪対策の推進	1.91	住民協働によるまちづくり	0.53
3	工業の振興	1.61	芸術文化活動の振興	0.59
4	高齢者福祉の充実	1.59	地域ぐるみでの学校運営支援	0.63
5	子育て支援の充実	1.51	生涯学習の機会創出	0.63

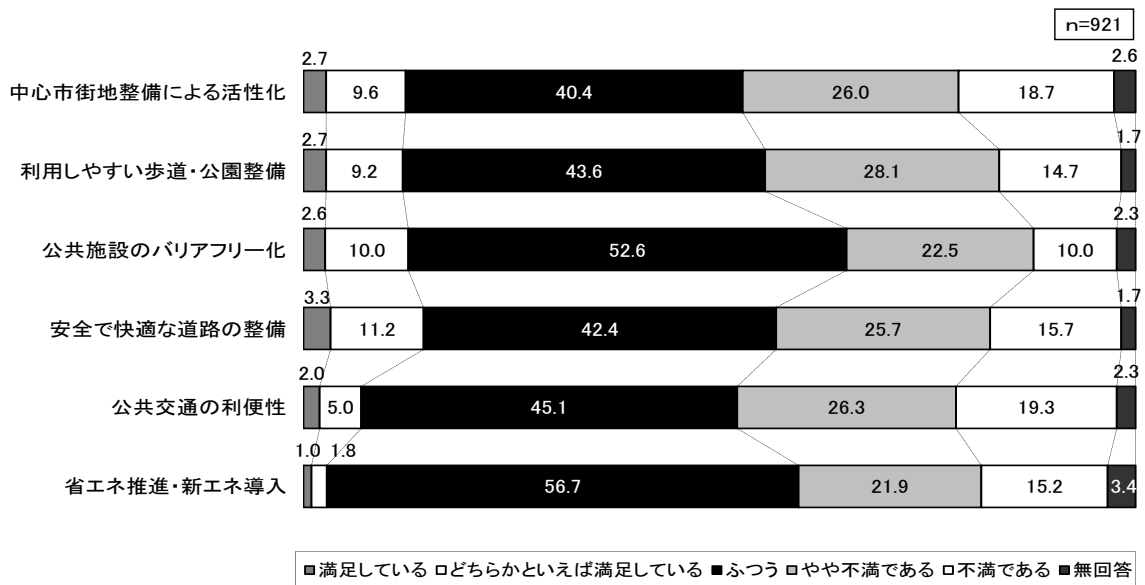
## (6) 分野別施策の分析

### 【都市基盤の整備】

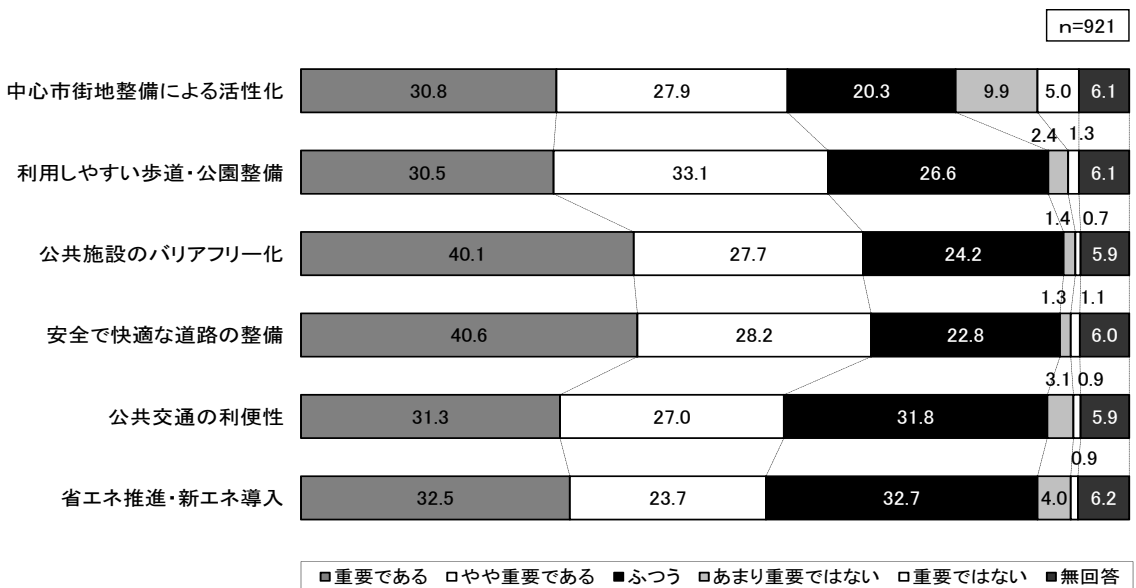
満足度では、「安全で快適な道路の整備」で「満足している」および「どちらかといえば満足している」（以下『満足』という。）の割合が比較的高く、「公共交通の利便性」で「不満である」および「やや不満である」（以下『不満』という。）の割合が比較的高くなっています。

重要度では、「安全で快適な道路の整備」で「重要である」および「やや重要である」（以下『重要』という。）の割合が高くなっています。

【図-17 都市基盤整備分野の満足度の割合】



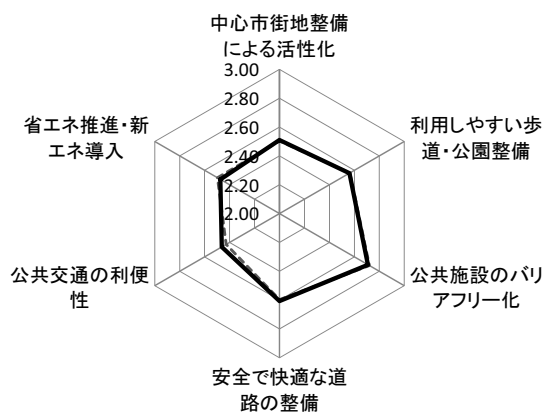
【図-18 都市基盤整備分野の重要度の割合】



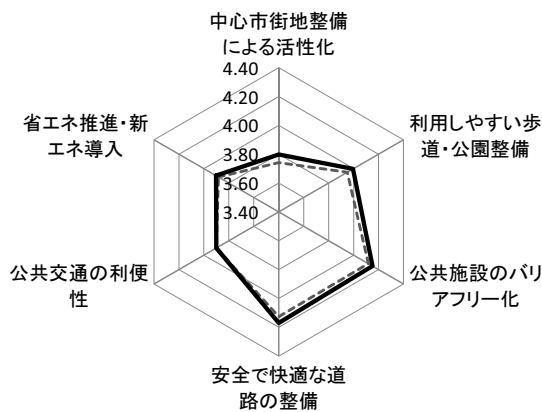
地域別にみると、金木地域で「中心市街地整備による活性化」をはじめ全般的に重要度指数が低くなっています。また、市浦地域では「公共交通の利便性」で満足度指数が低く、重要度指数が高くなっています。

【図-19 地域別でみた都市基盤整備分野の満足度指数・重要度指数】

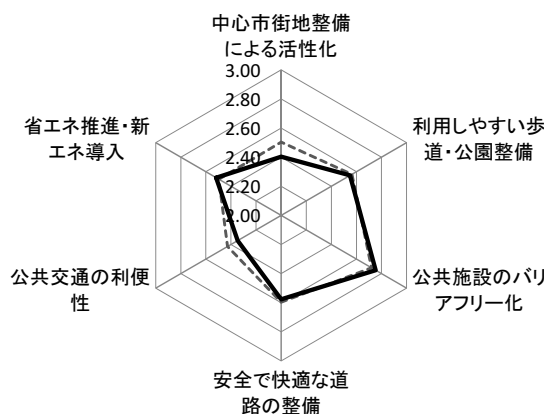
■五所川原地域（満足度）



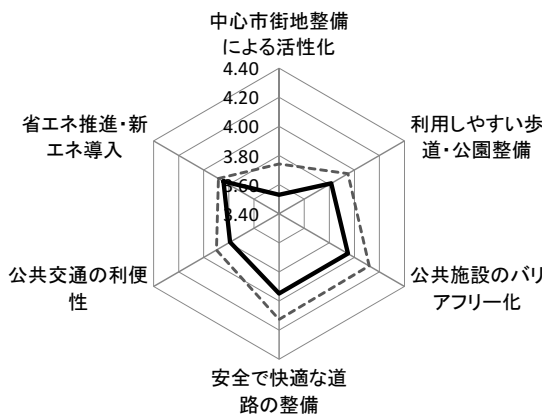
（重要度）



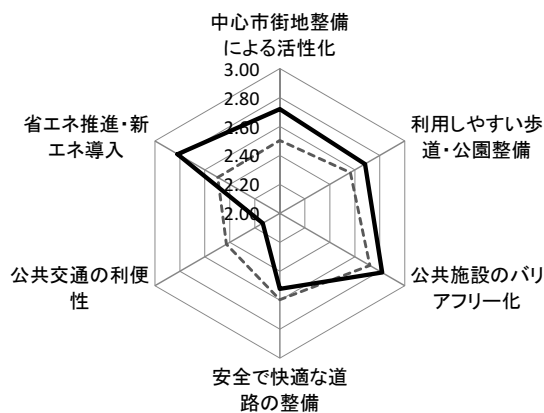
■金木地域（満足度）



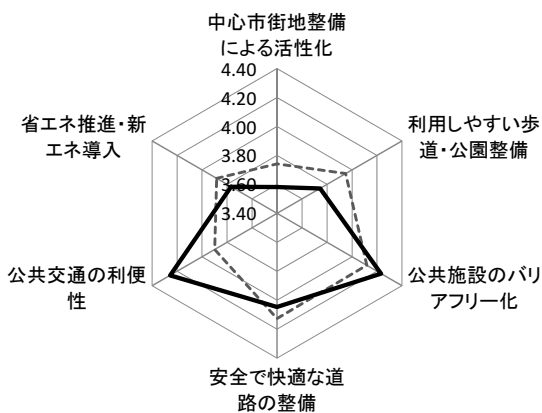
（重要度）



■市浦地域（満足度）



（重要度）

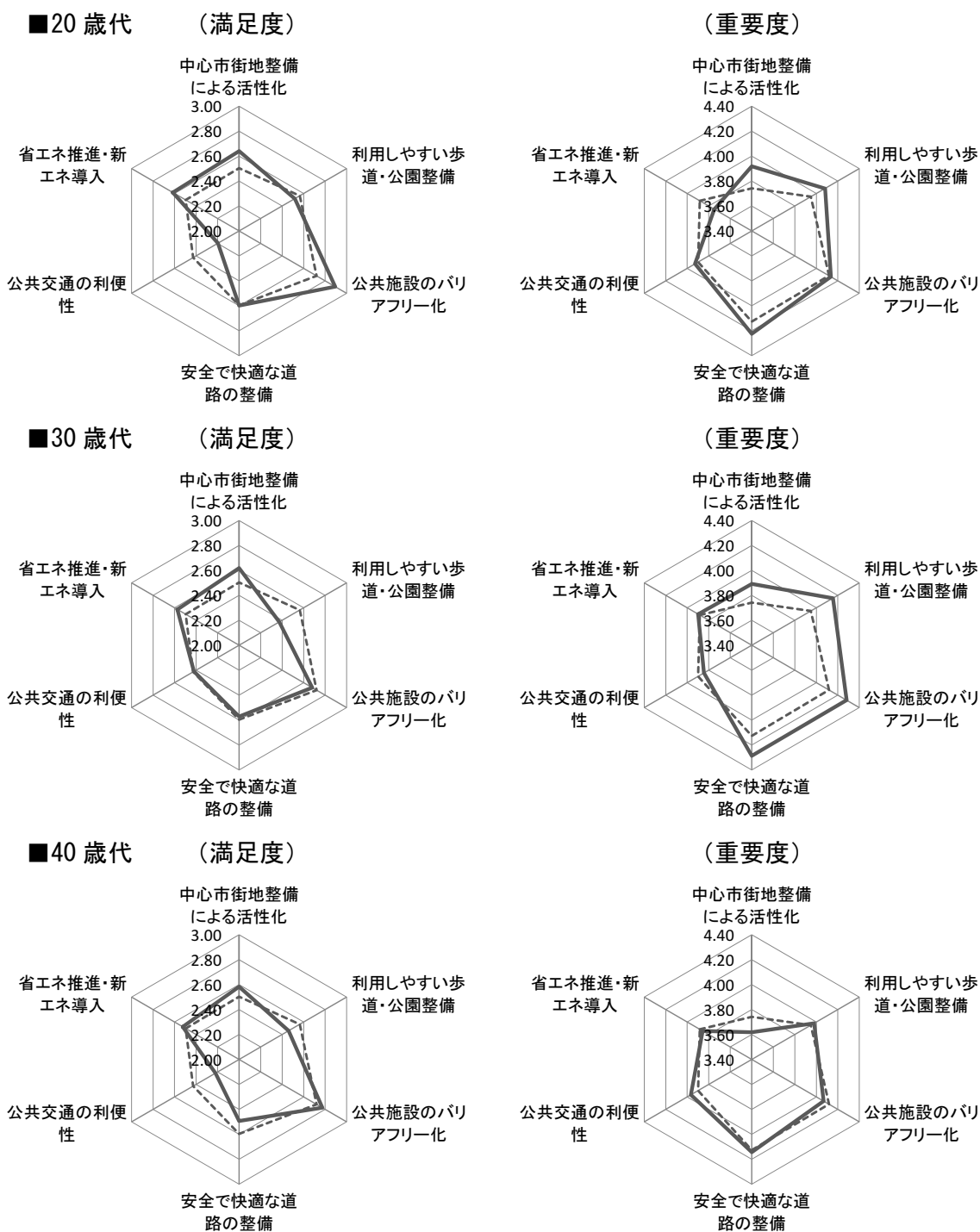


———：当該地域の指数      .....：市全体の指数

年齢別にみると、満足度では、全体的に50歳代で指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。20歳代では「公共交通の利便性」、30歳代では「利用しやすい歩道・公園整備」の指数が低くなっています。

重要度では、全体的に20歳代、30歳代で指数が高く、60歳代、70歳代以上で指数が低くなっています。

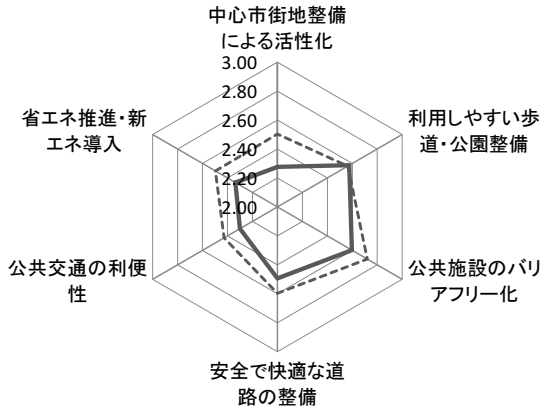
【図-20 年齢別でみた都市基盤整備分野の満足度指数・重要度指数】



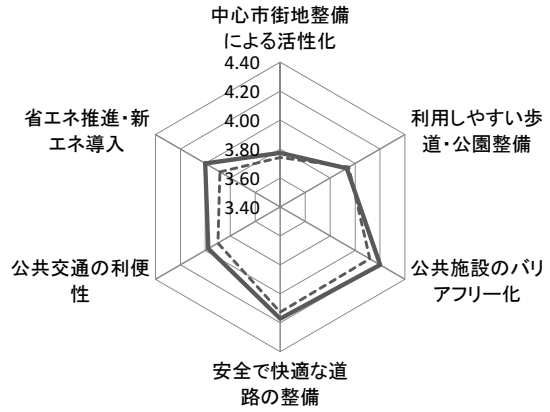


■ 50 歳代

(満足度)

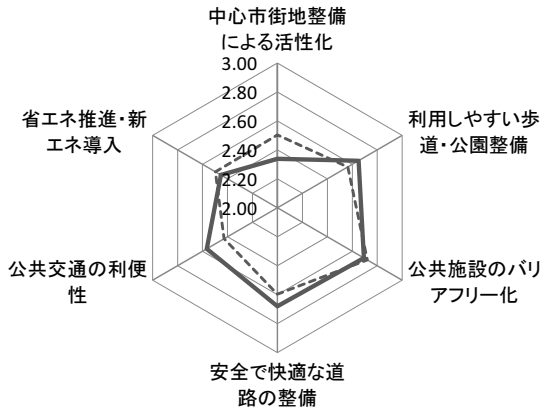


(重要度)

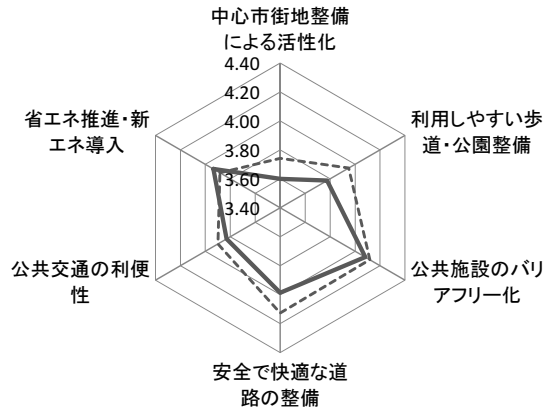


■ 60 歳代

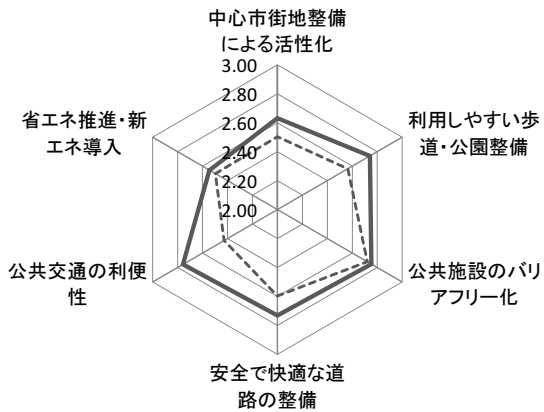
(満足度)



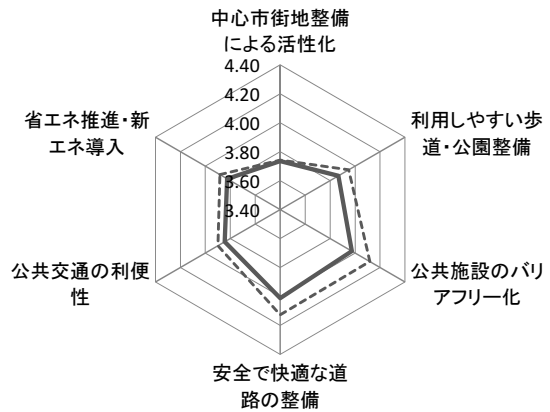
(重要度)



■ 70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



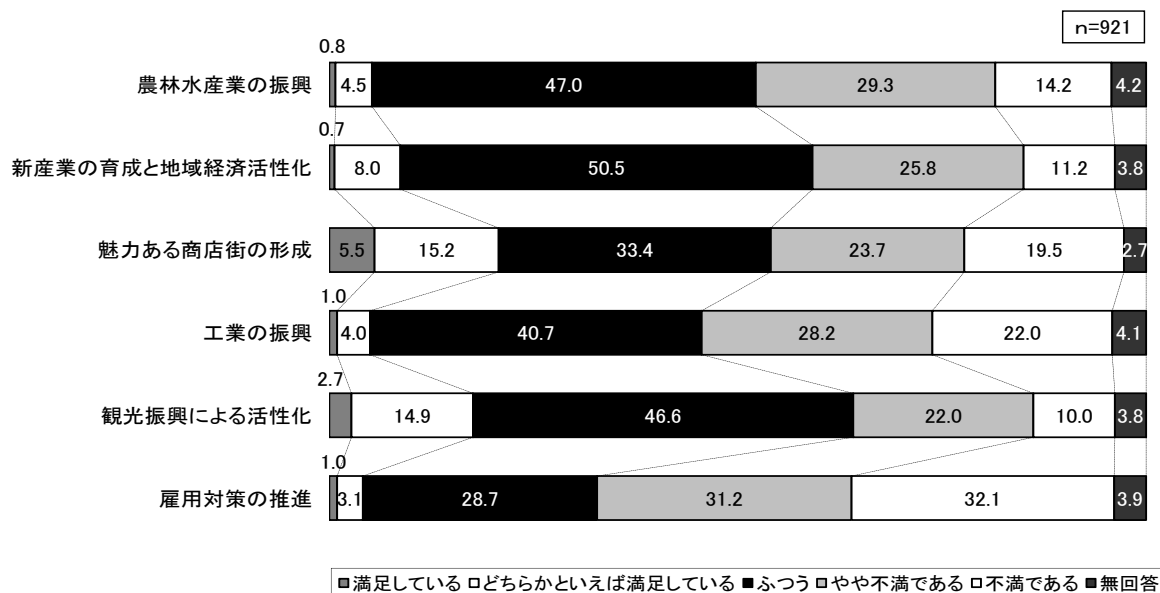
—— : 当該年齢の指数    ..... : 全年齢の指数

## 【産業の振興】

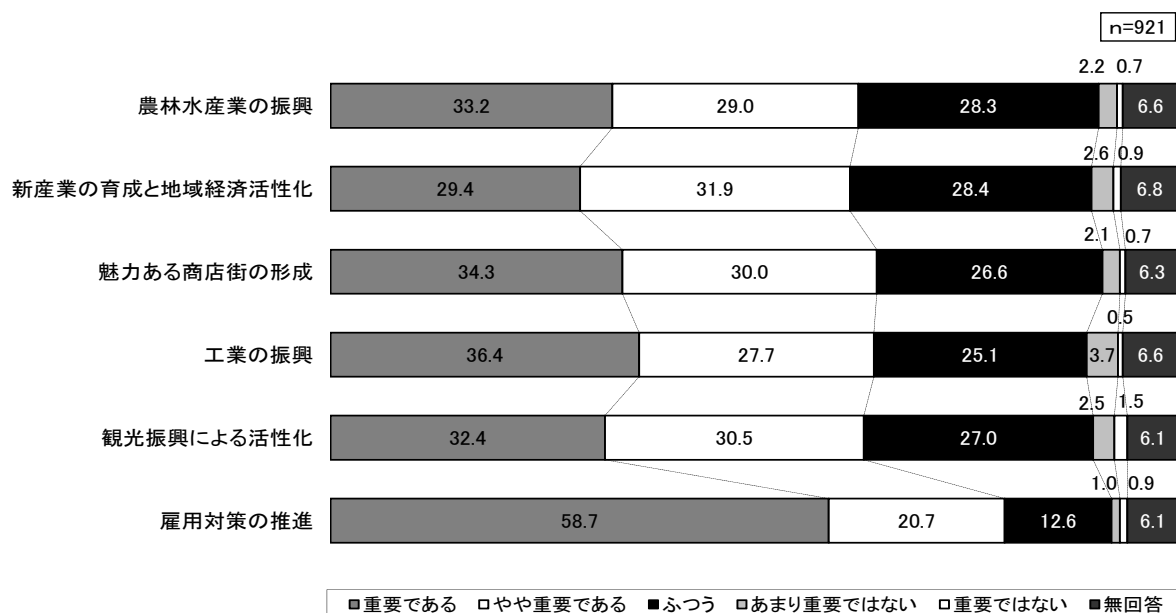
満足度では、「魅力ある商店街の形成」で『満足』の割合が比較的高く、「雇用対策の推進」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「雇用対策の推進」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-21 産業振興分野の満足度の割合】



【図-22 産業振興分野の重要度の割合】



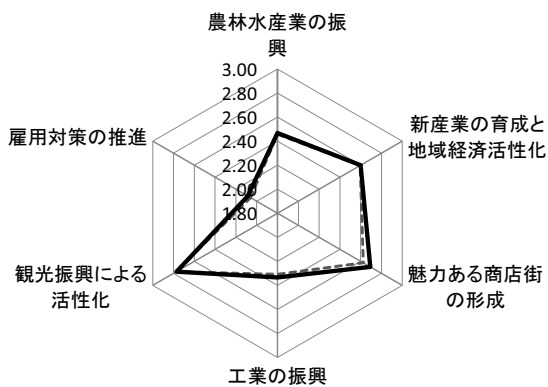
## 《地域別の特性》

地域別にみると、どの地域においても「雇用対策の推進」で満足度指数が低く、重要度指数が高くなっています。

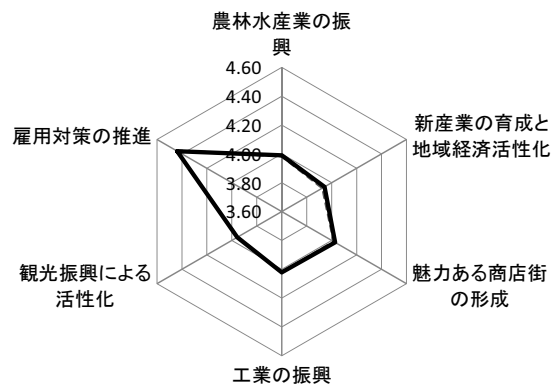
市浦地域では、他の地域と比べて「農林水産業の振興」、「新産業の育成と地域経済活性化」の満足度指数が高く、「魅力ある商店街の形成」の満足度指数が低くなっているほか、「工業の振興」の重要度指数が高くなっています。

【図-23 地域別でみた産業振興分野の満足度指数・重要度指数】

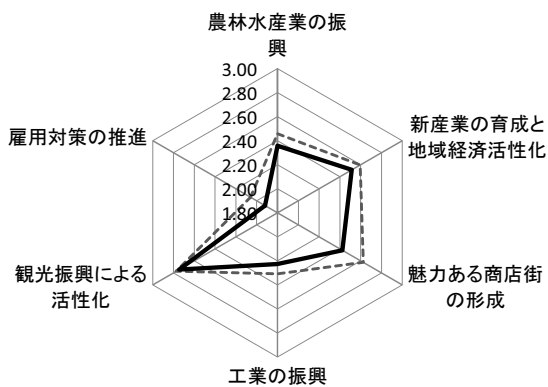
### ■五所川原地域（満足度）



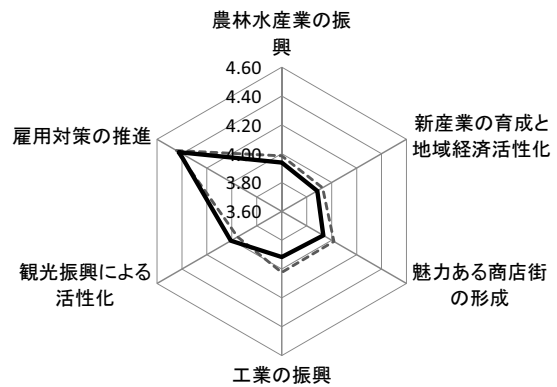
### （重要度）



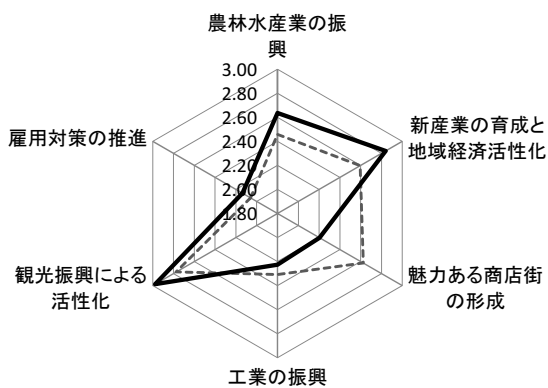
### ■金木地域（満足度）



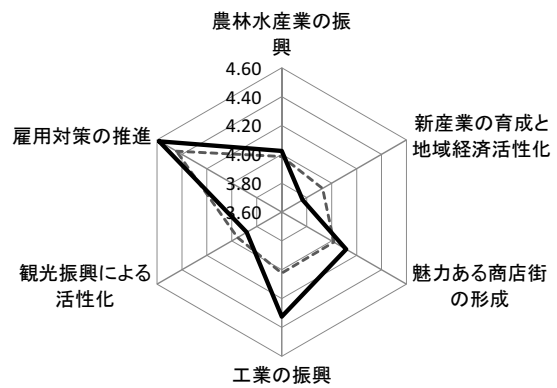
### （重要度）



### ■市浦地域（満足度）



### （重要度）



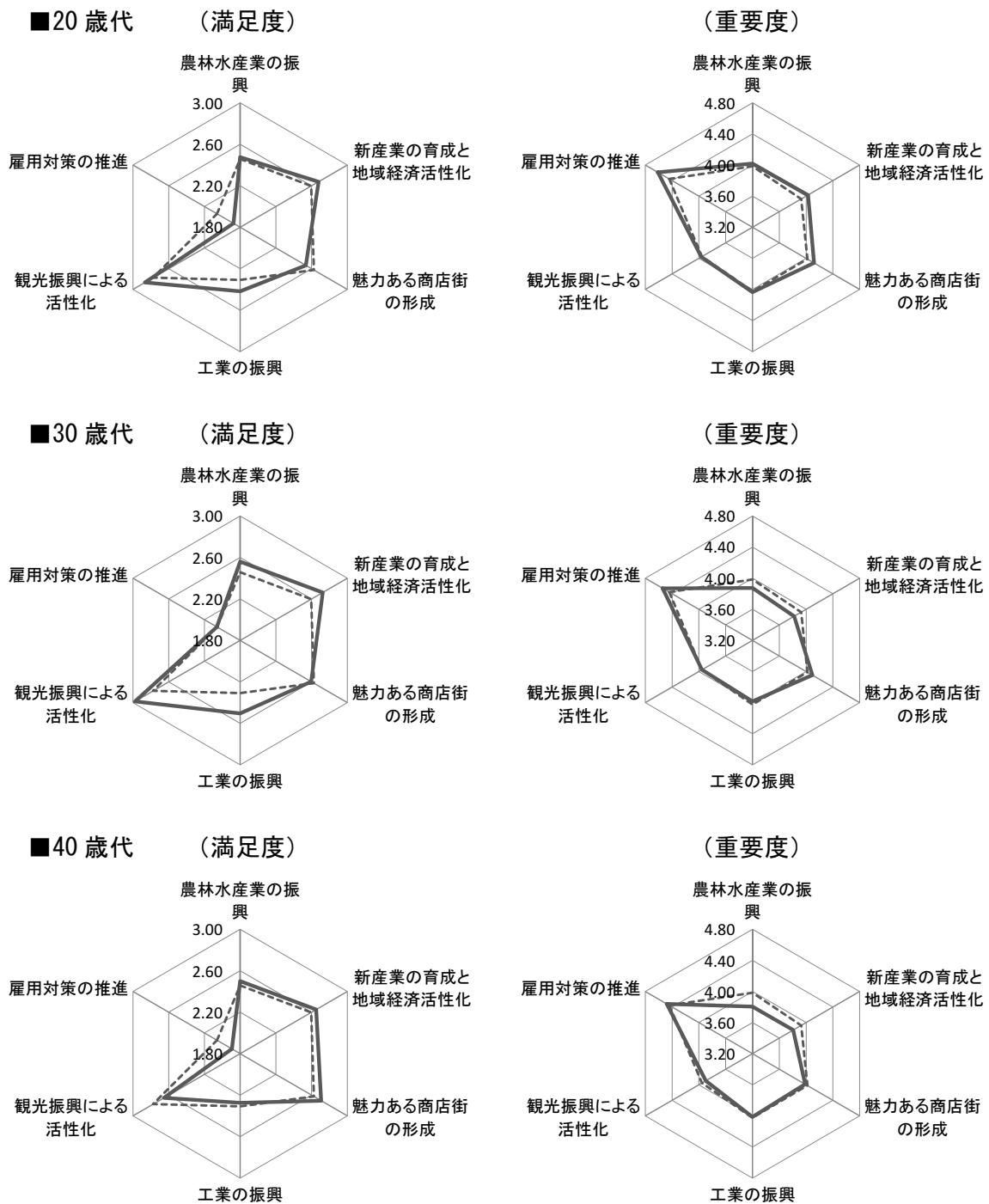
———：当該地域の指数      .....：市全体の指数

## 《年齢別の特性》

年齢別にみると、「雇用対策の推進」では、特に20歳代で満足度指数が低くなっており、年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。一方、「観光振興による活性化」はどの年代も満足度指数が高く、特に30歳代で高くなっています。

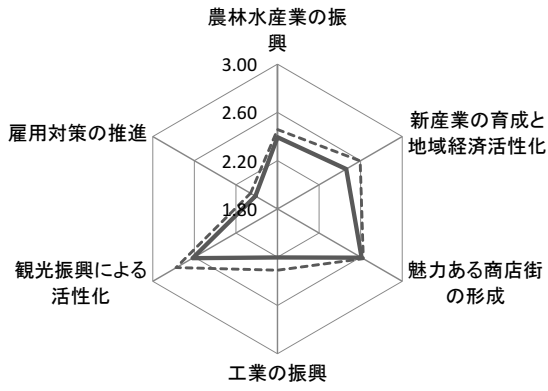
重要度では、どの年代も「雇用対策の推進」の重要度指数が高くなっているほか、地域による大きな違いは見られません。

【図-24 年齢別でみた産業振興分野の満足度指数・重要度指数】

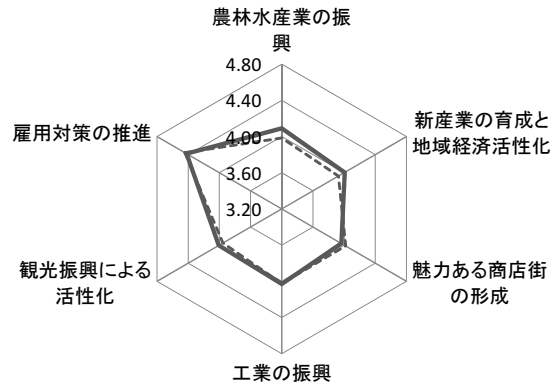


■ 50 歳代

(満足度)

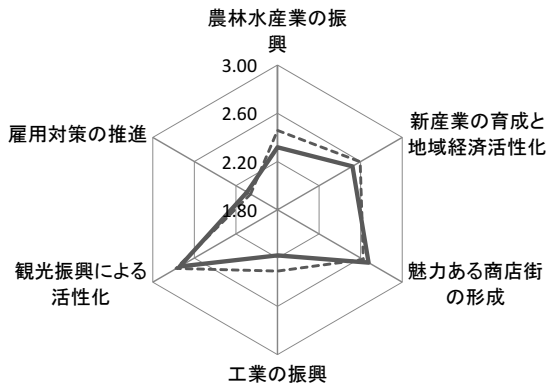


(重要度)

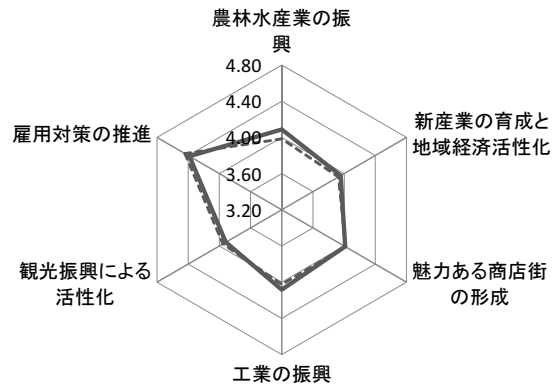


■ 60 歳代

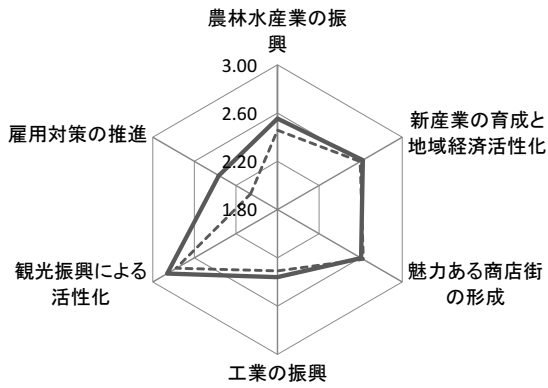
(満足度)



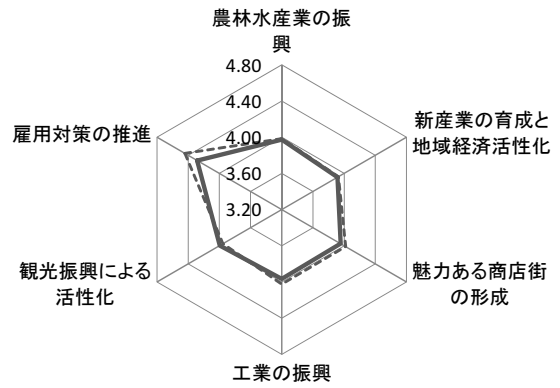
(重要度)



■ 70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



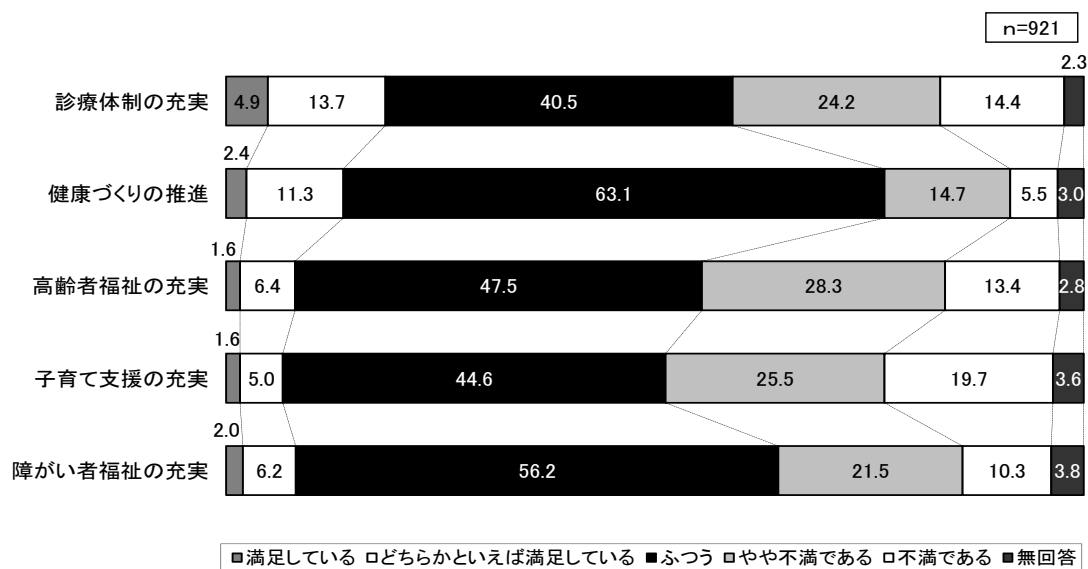
——— : 当該年齢の指数    ..... : 全年齢の指数

## 【保健・医療・福祉の充実】

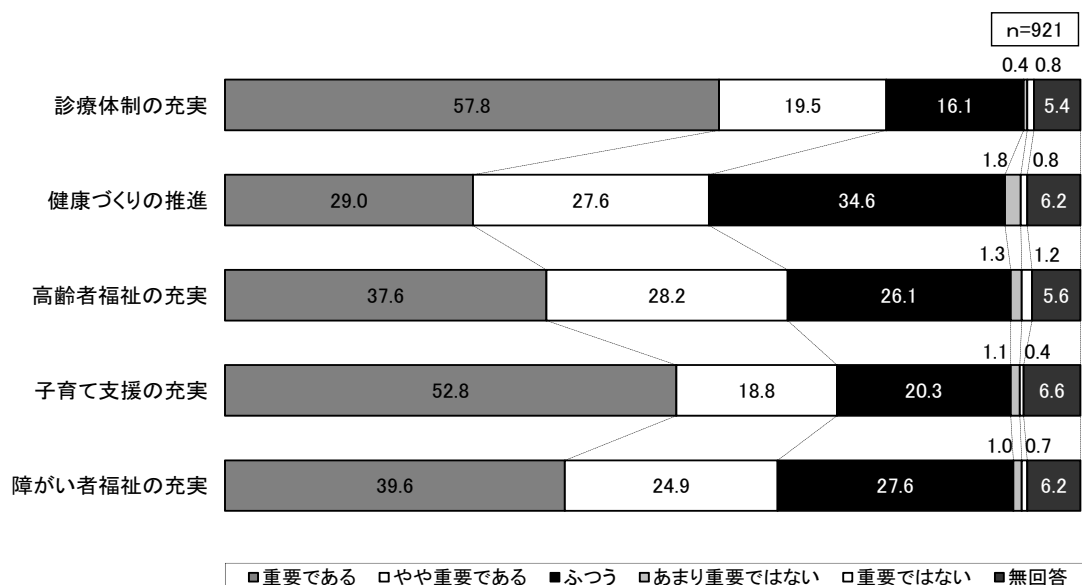
満足度では、「診療体制の充実」で『満足』の割合が比較的高く、「子育て支援の充実」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「診療体制の充実」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-25 保健・医療・福祉分野の満足度の割合】



【図-26 保健・医療・福祉分野の重要度の割合】



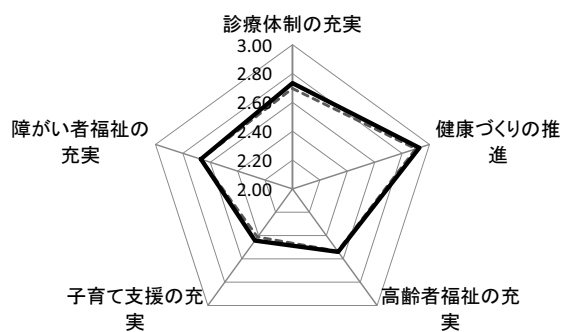
## 《地域別の特性》

地域別にみると、金木地域では他の地域と比べて全体的に満足度指数が低くなっています。一方、市浦地域では、「健康づくりの推進」や「障がい者福祉の充実」などで満足度指数が高くなっています。

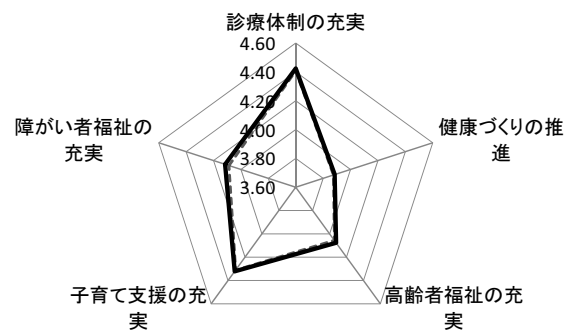
重要度では、どの地域でも「診療体制の充実」、「子育て支援の充実」の重要度指数が高くなっています。市浦地域では、「高齢者福祉の充実」の重要度指数が低くなっています。

【図-27 地域別でみた保健・医療・福祉分野の満足度指数・重要度指数】

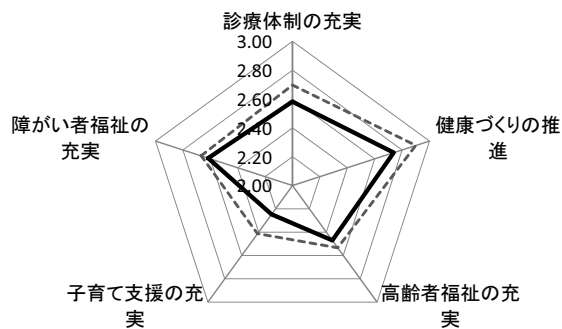
### ■五所川原地域（満足度）



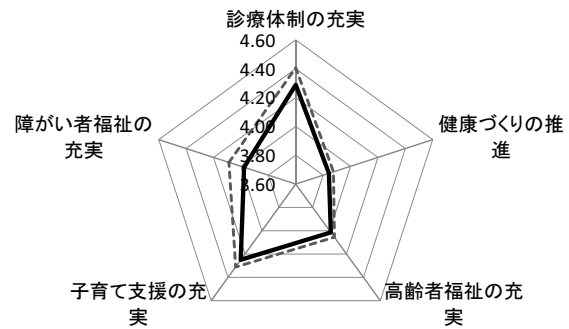
### （重要度）



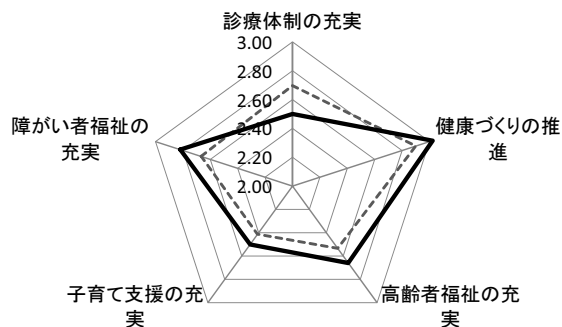
### ■金木地域（満足度）



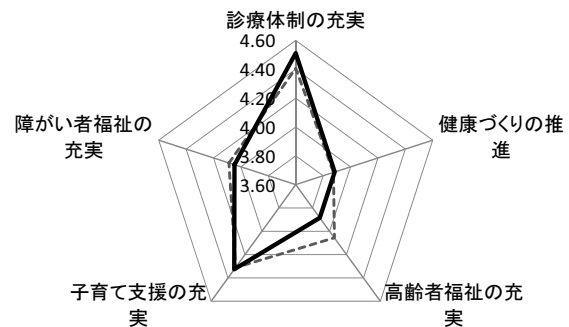
### （重要度）



### ■市浦地域（満足度）



### （重要度）



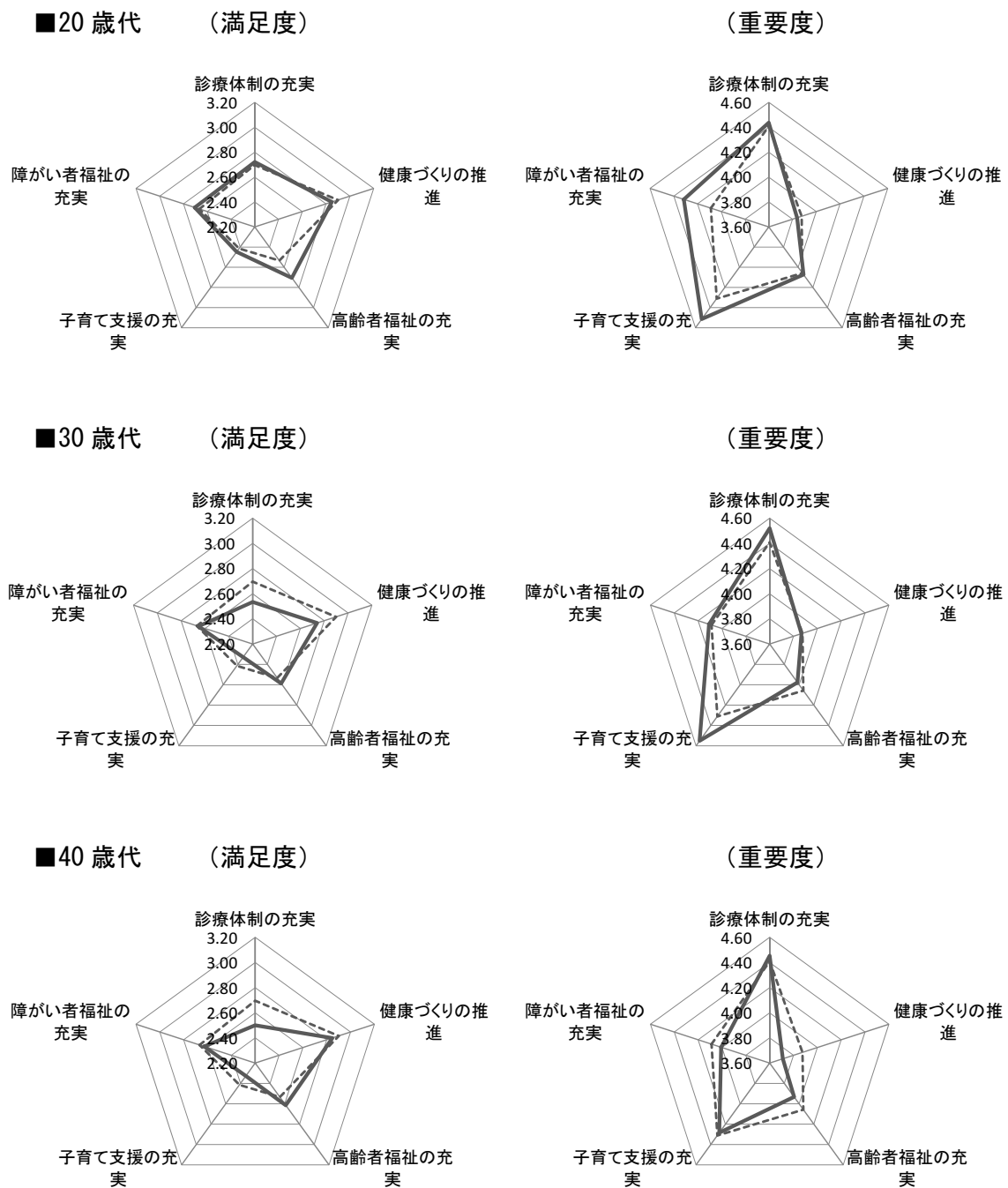
———：当該地域の指数    .....：市全体の指数

## 《年齢別の特性》

年齢別にみると、30歳代、40歳代、50歳代で全体的に満足度指数が低くなっています。70歳代以上では全体的に満足度指数が高く、特に「診療体制の充実」の満足度指数が高くなっています。

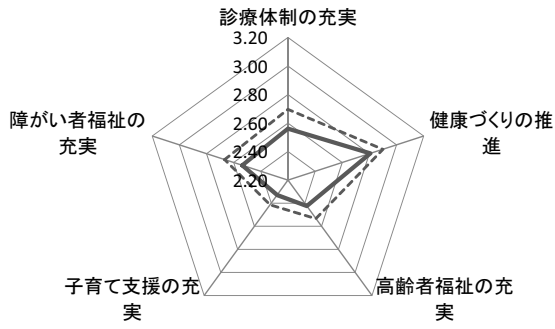
重要度では、70歳代以上を除いて「子育て支援の充実」および「診療体制の充実」の重要度指数が高く、特に20歳代、30歳代で「子育て支援の充実」の重要度指数が高くなっています。40歳代では「健康づくりの推進」の重要度が低くなっています。

【図-28 年齢別でみた保健・医療・福祉分野の満足度指数・重要度指数】

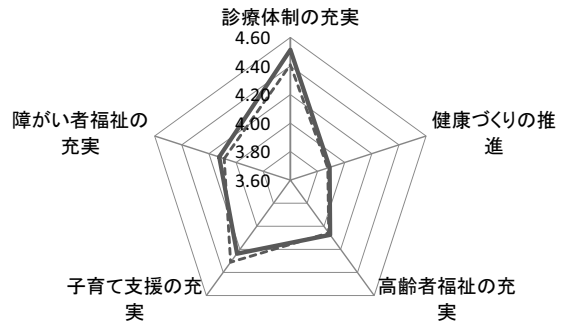




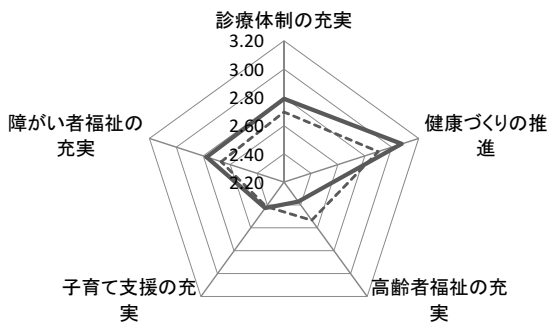
■ 50 歳代 (満足度)



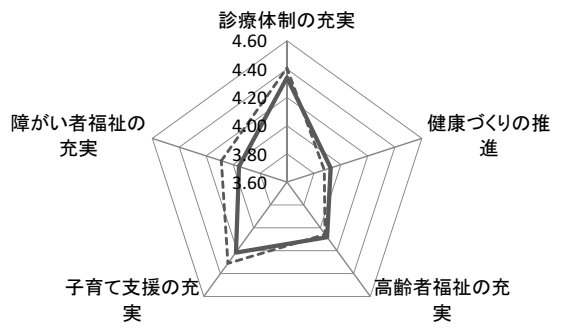
(重要度)



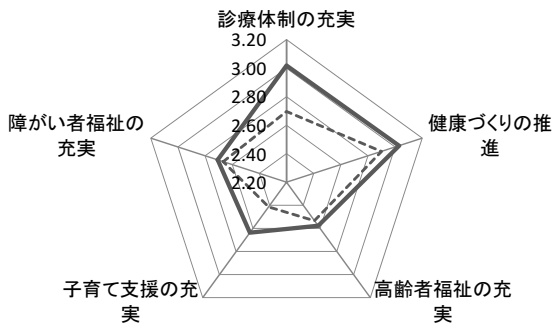
■ 60 歳代 (満足度)



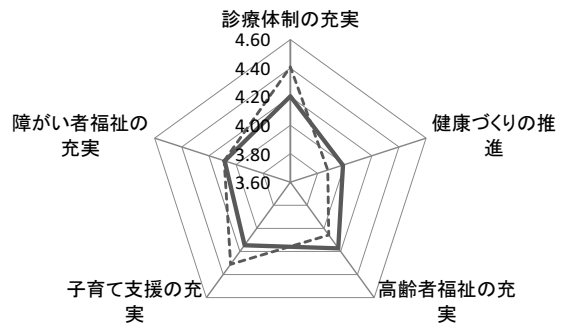
(重要度)



■ 70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



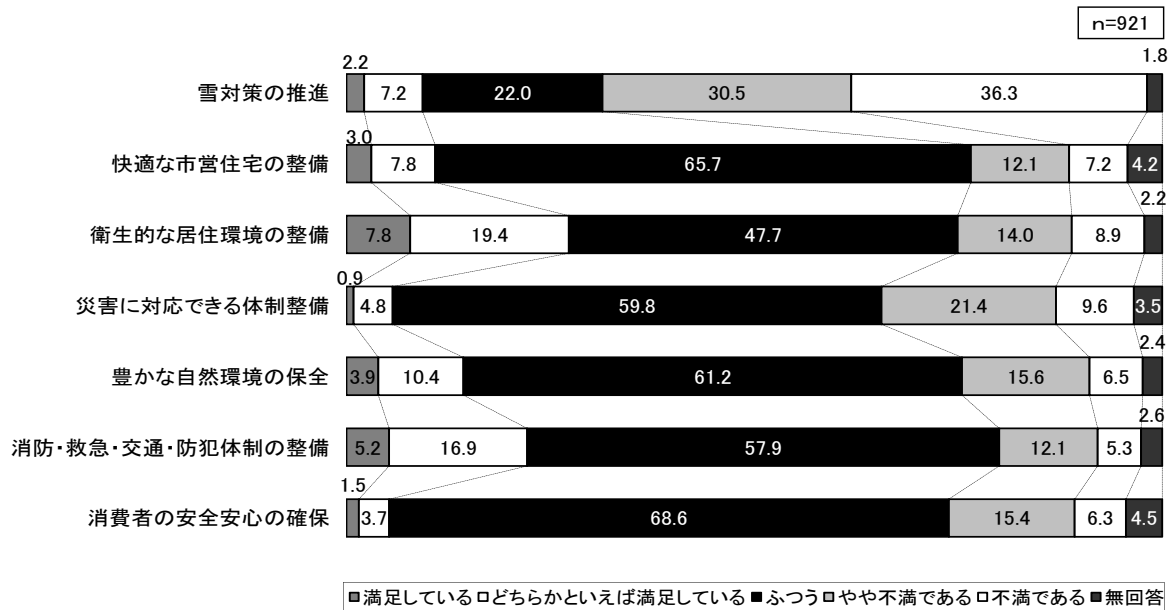
——— : 当該年齢の指数      ..... : 全年齢の指数

## 【居住環境の整備】

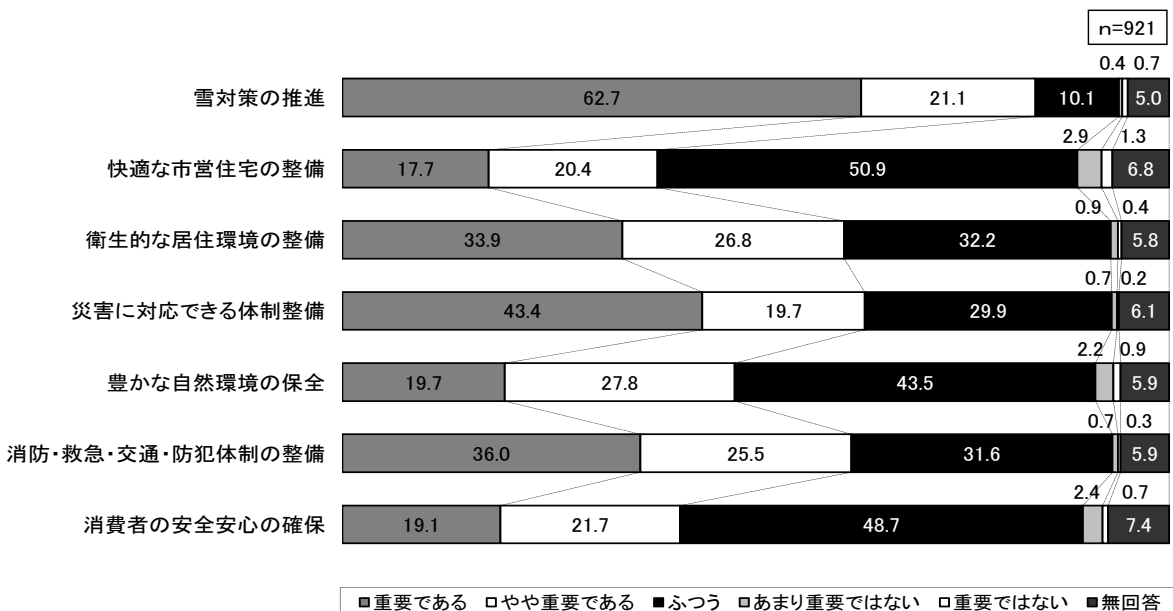
満足度では、「衛生的な居住環境の整備」で『満足』の割合が比較的高く、「雪対策の推進」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「雪対策の推進」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-29 居住環境整備分野の満足度の割合】



【図-30 居住環境整備分野の重要度の割合】



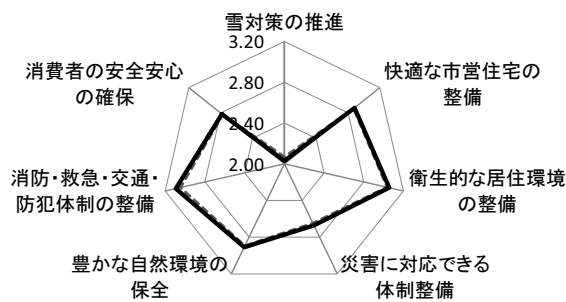
## 《地域別の特性》

地域別にみると、満足度では、どの地域においても「雪対策の推進」の指数が低くなっています。五所川原地域では「衛生的な居住環境」および「消防・救急・交通・防犯体制の整備」、市浦地域では「衛生的な居住環境の整備」および「豊かな自然環境の保全」の満足度指数が高くなっています。

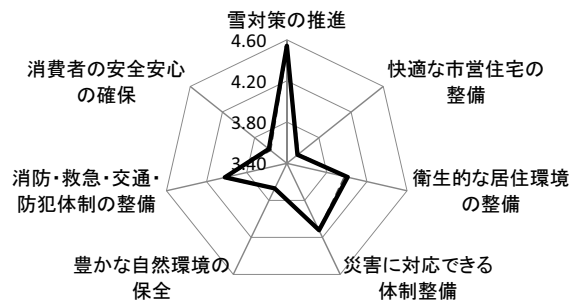
重要度では、どの地域でも「雪対策の推進」の指数が高くなっています。また、市浦地域では、「災害に対応できる体制整備」の重要度指数が高くなっています。

【図-31 地域別にみた居住環境整備分野の満足度指数・重要度指数】

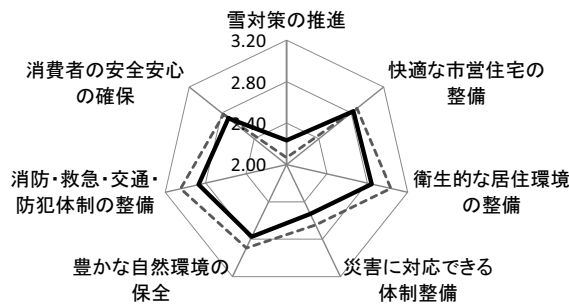
### ■五所川原地域（満足度）



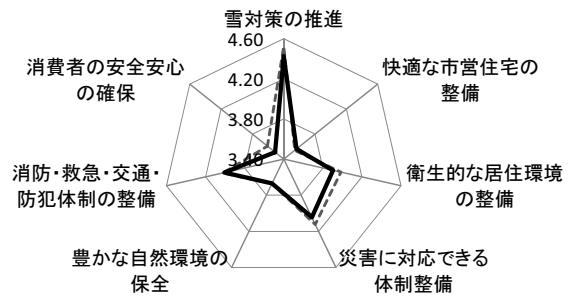
### （重要度）



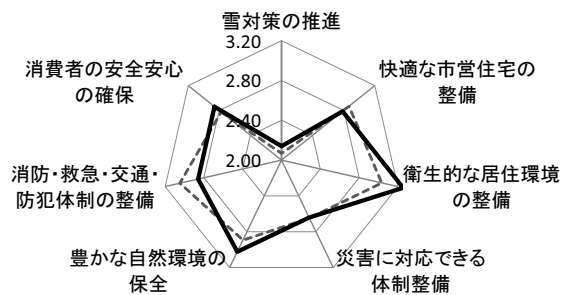
### ■金木地域（満足度）



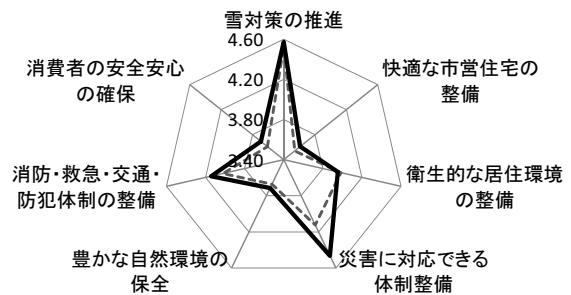
### （重要度）



### ■市浦地域（満足度）



### （重要度）



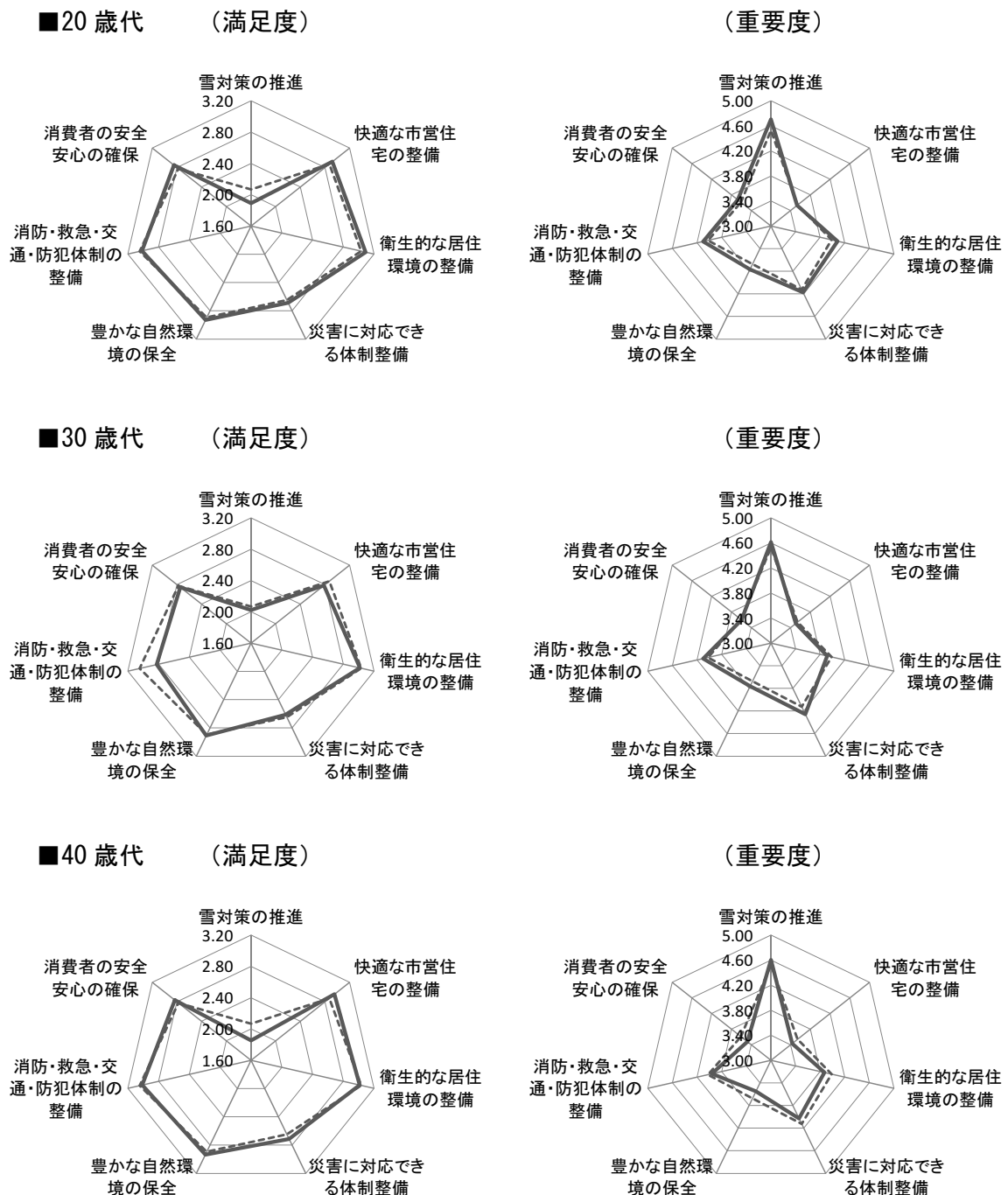
———：当該地域の指数    .....：市全体の指数

## 《年齢別の特性》

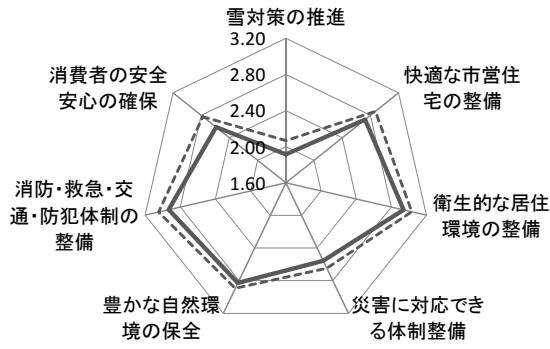
年齢別にみると、満足度では、どの年代においても「雪対策の推進」の指数が低くなっています。特に20歳代で満足度指数が低くなっていますが、70歳代以上では他の年代と比べて満足度指数が高くなっています。また、「消防・救急・交通・防犯体制の整備」では、30歳代で他の年代と比べて指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。

重要度では、どの年代においても「雪対策の推進」の指数が高くなっているほか、年代による大きな違いは見られませんでした。

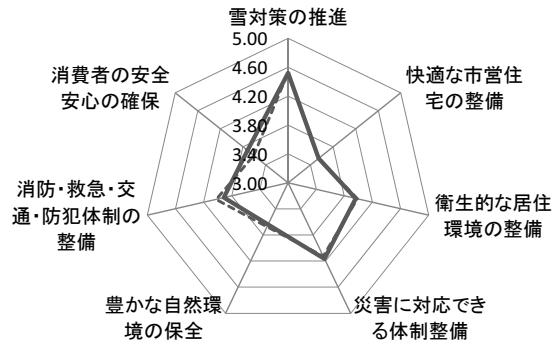
【図-32 年齢別にみた居住環境整備分野の満足度指数・重要度指数】



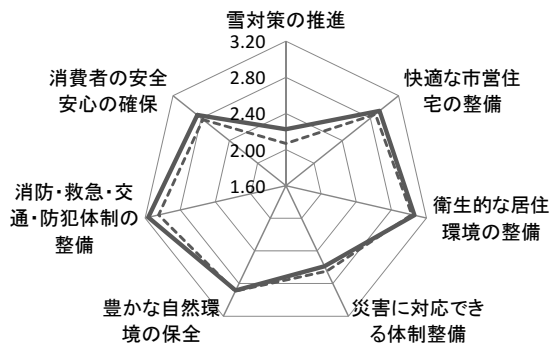
■50 歳代 (満足度)



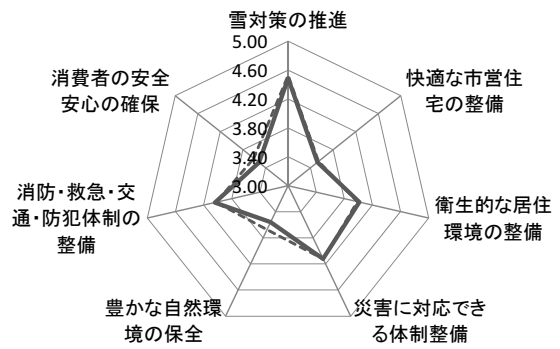
(重要度)



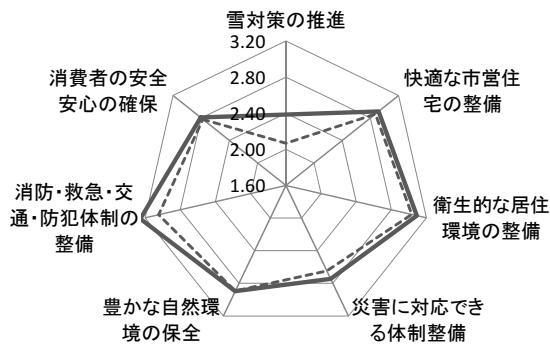
■60 歳代 (満足度)



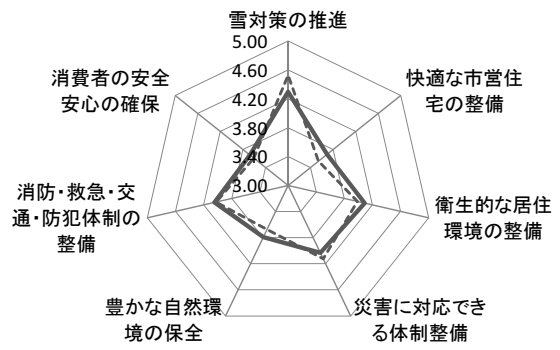
(重要度)



■70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



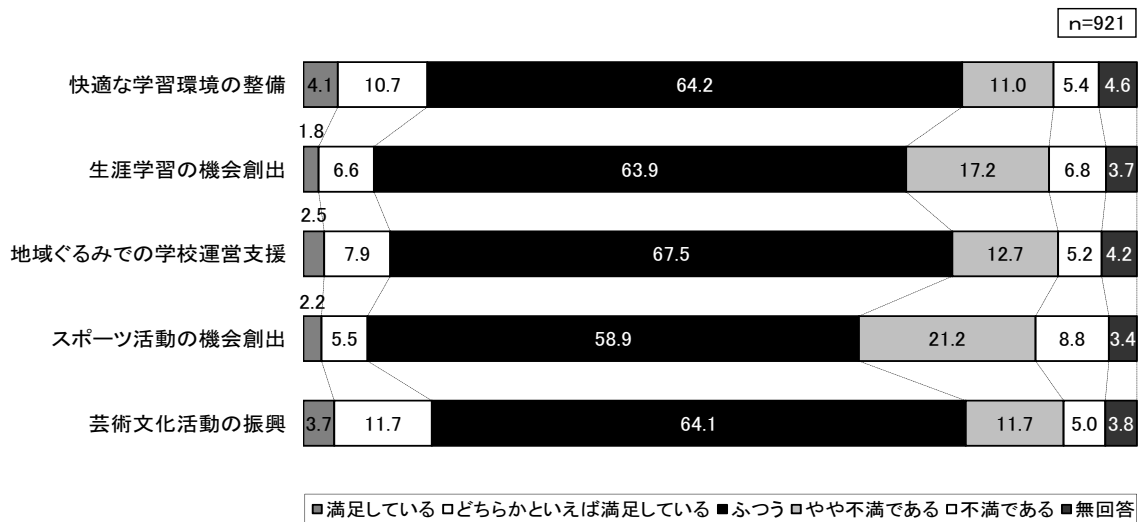
——— : 当該年齢の指数      ..... : 全年齢の指数

## 【教育文化の振興】

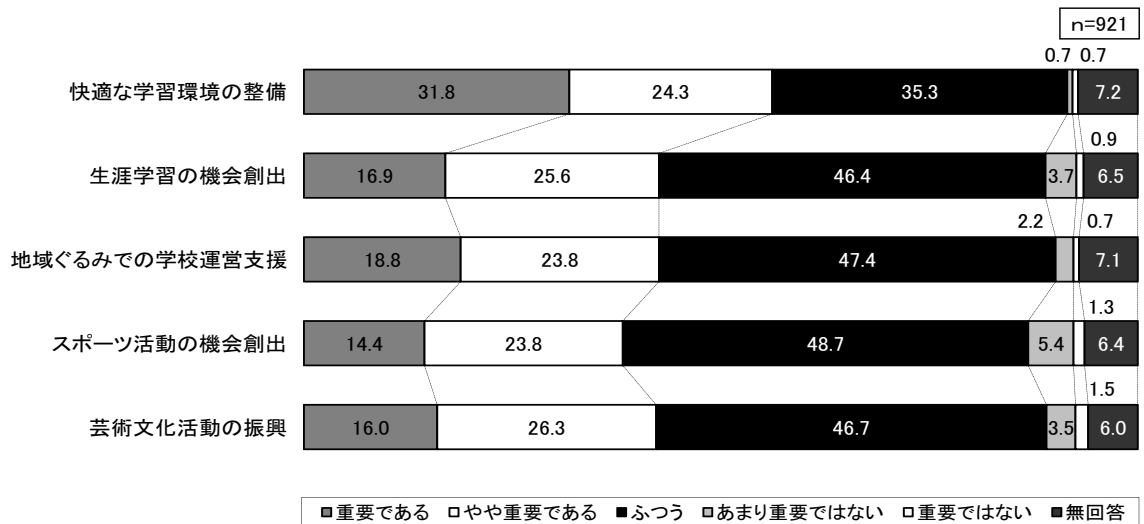
満足度では、全般的に「ふつう」の割合が高くなっています。また、「芸術文化活動の振興」および「快適な学習環境の整備」で『満足』の割合が比較的高く、「スポーツ活動の機会創出」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「快適な学習環境の整備」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-33 教育文化振興分野の満足度の割合】



【図-34 教育文化振興分野の重要度の割合】



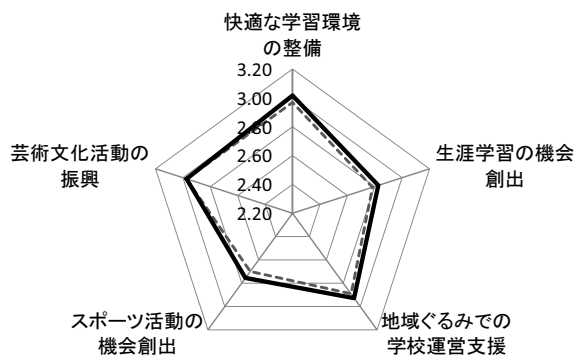
## 《地域別の特性》

地域別にみると、満足度では、金木地域で「芸術文化活動の振興」以外の施策で他の地域より指数が低くなっています。

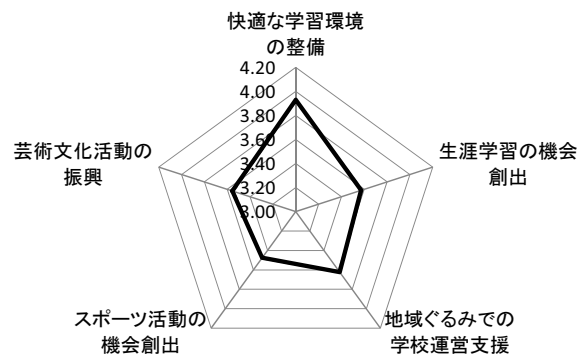
重要度では、どの地域においても「快適な学習環境の整備」の指数が最も高くなっているほか、地域による大きな違いは見られません。

【図-35 地域別にみた教育文化振興分野の満足度指数・重要度指数】

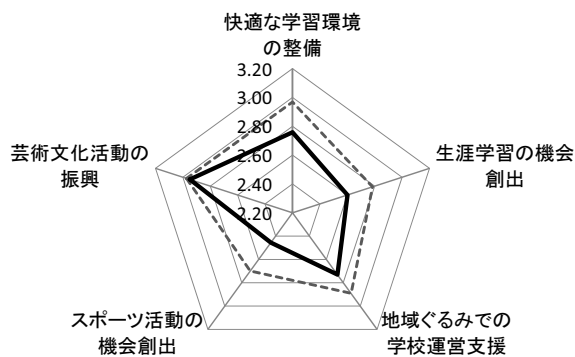
### ■五所川原地域（満足度）



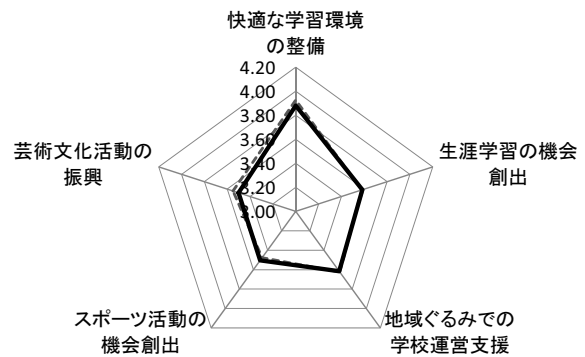
### （重要度）



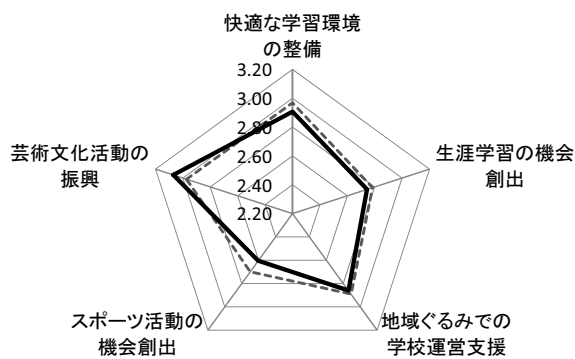
### ■金木地域（満足度）



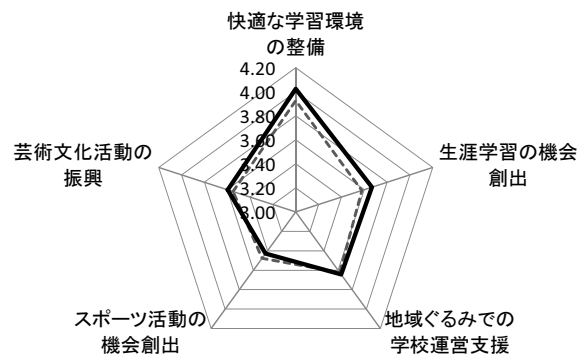
### （重要度）



### ■市浦地域（満足度）



### （重要度）



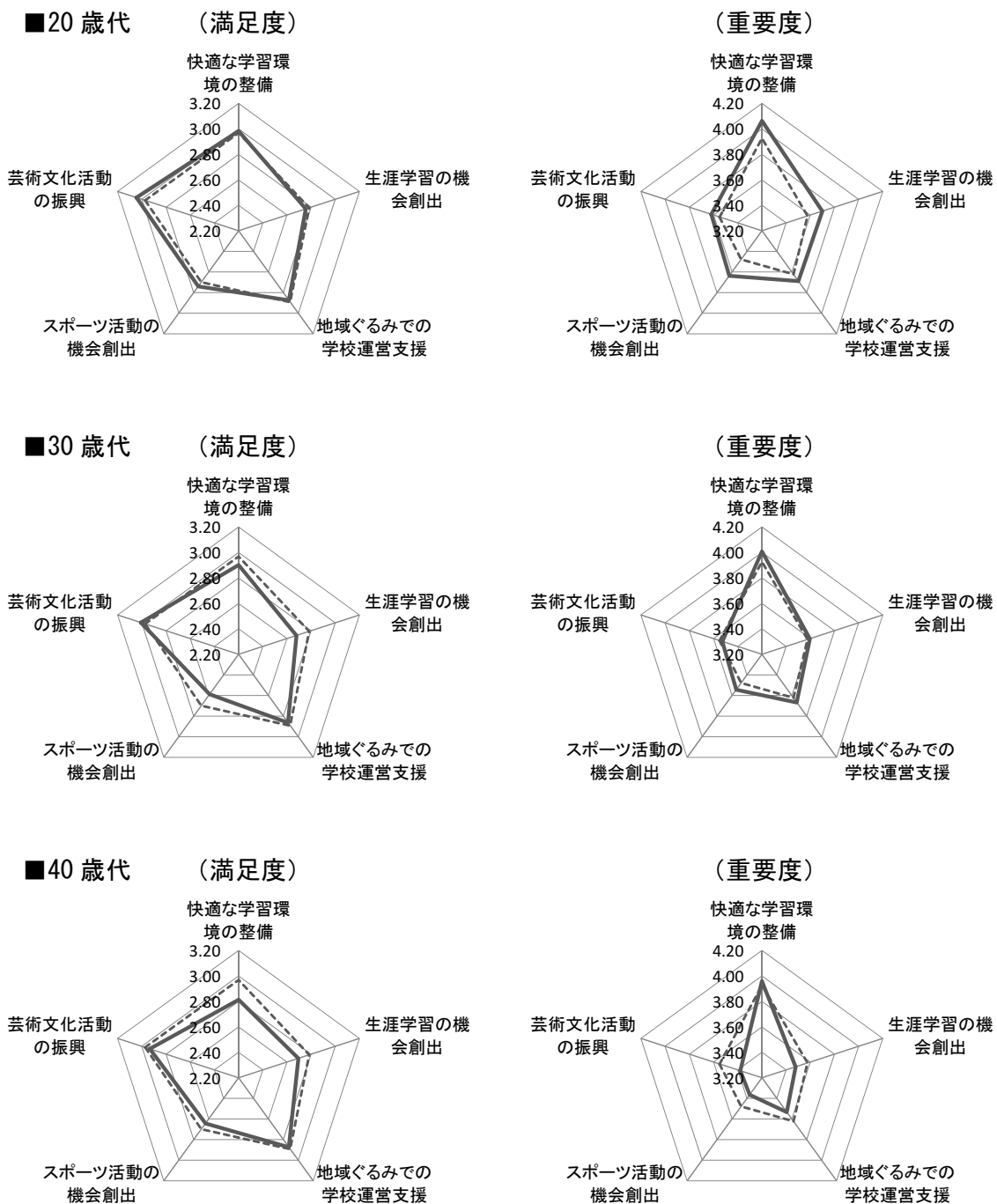
———：当該地域の指数      .....：市全体の指数

## 《年齢別の特性》

年代別にみると、満足度では、30歳代、40歳代、50歳代で他の年代と比べて全体的に満足度指数が低くなっており、特に40歳代において「快適な学習環境の整備」の指数が低くなっています。一方、70歳代以上では全体的に満足度指数が高く、特に「生涯学習の機会創出」や「快適な学習環境の整備」の指数が高くなっています。

重要度では、全体的に20歳代で指数が高く、40歳代で「快適な学習環境の整備」を除き、指数が低くなっています。

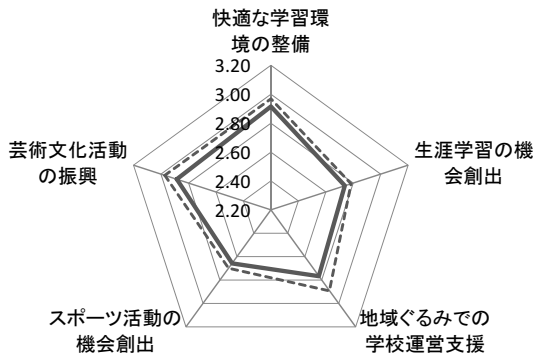
【図-36 年齢別にみた教育文化振興分野の満足度指数・重要度指数】



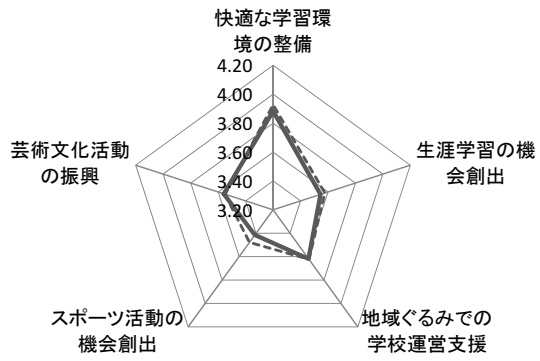


■ 50 歳代

(満足度)

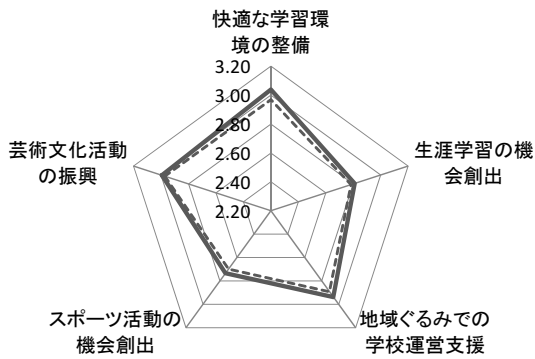


(重要度)

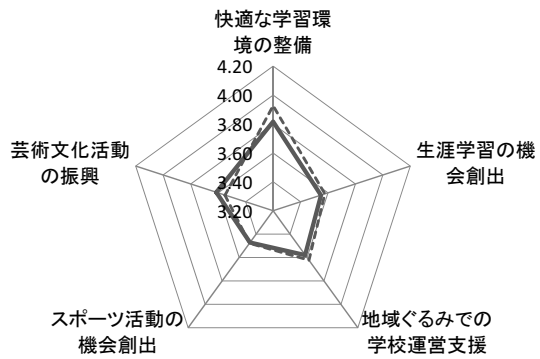


■ 60 歳代

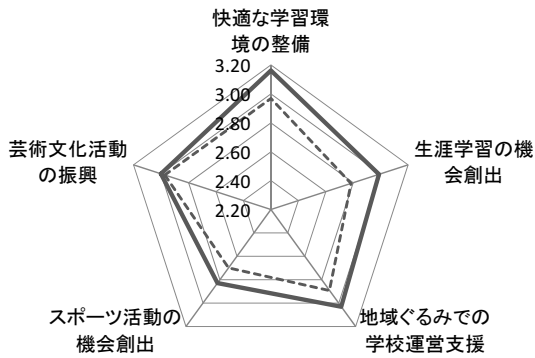
(満足度)



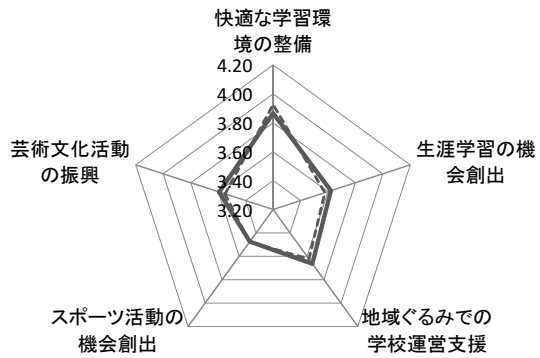
(重要度)



■ 70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



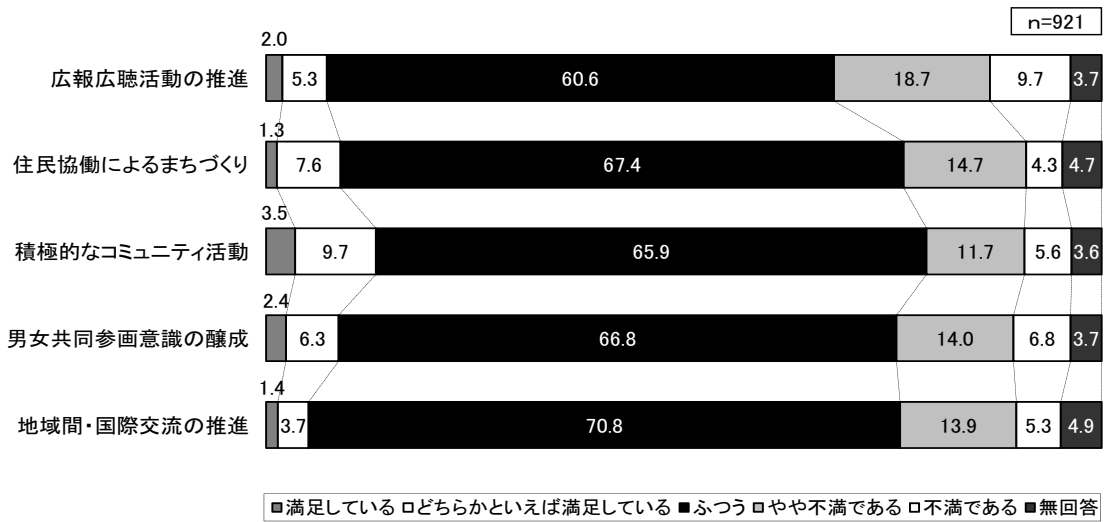
————— : 当該年齢の指数      ..... : 全年齢の指数

## 【参画と協働】

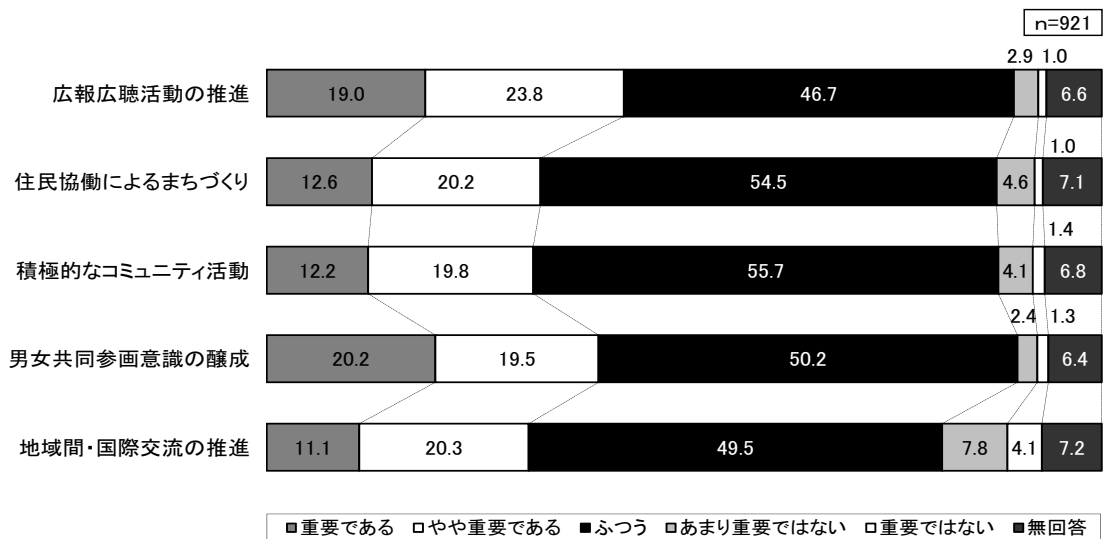
満足度では、全般的に「ふつう」の割合が高くなっています。また、「積極的なコミュニティ活動」で『満足』の割合が比較的高く、「広報広聴活動の推進」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「広報広聴活動の推進」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-37 参画協働分野の満足度の割合】



【図-38 参画協働分野の重要度の割合】



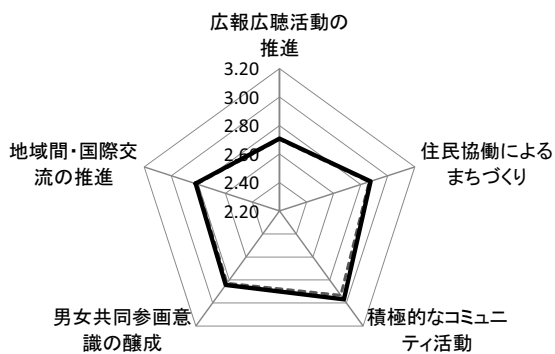
## 《地域別の特性》

地域別にみると、満足度では、金木地域で「積極的なコミュニティ活動」の指数が他の地域と比べて低くなっています。

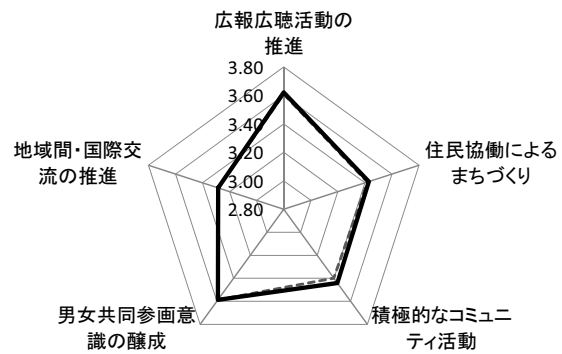
重要度では、どの地域においても「広報広聴活動の推進」および「男女共同参画意識の醸成」の指数が高くなっています。金木地域では「積極的なコミュニティ活動」の指数が低くなっています。

【図-39 地域別にみた参画協働分野の満足度指数・重要度指数】

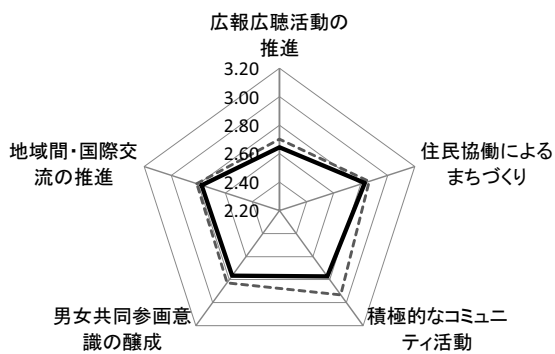
### ■五所川原地域（満足度）



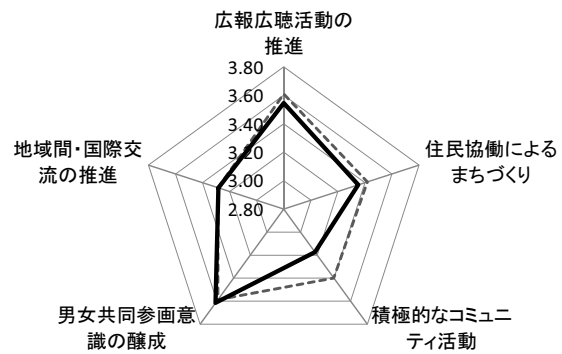
### （重要度）



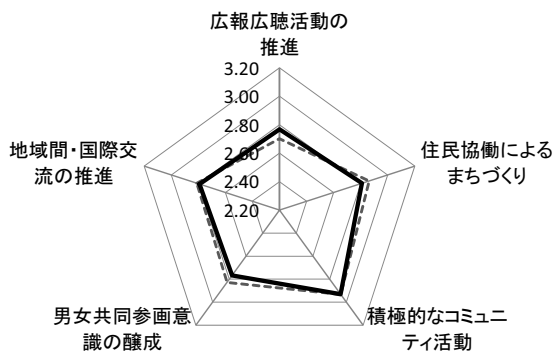
### ■金木地域（満足度）



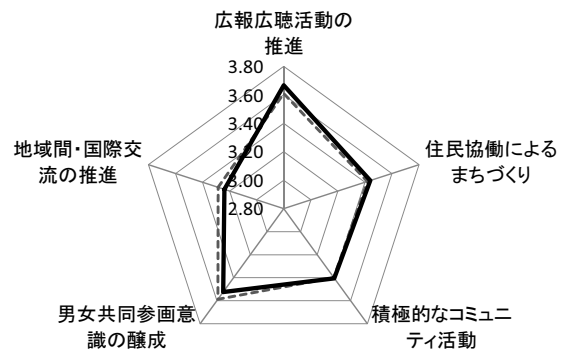
### （重要度）



### ■市浦地域（満足度）



### （重要度）



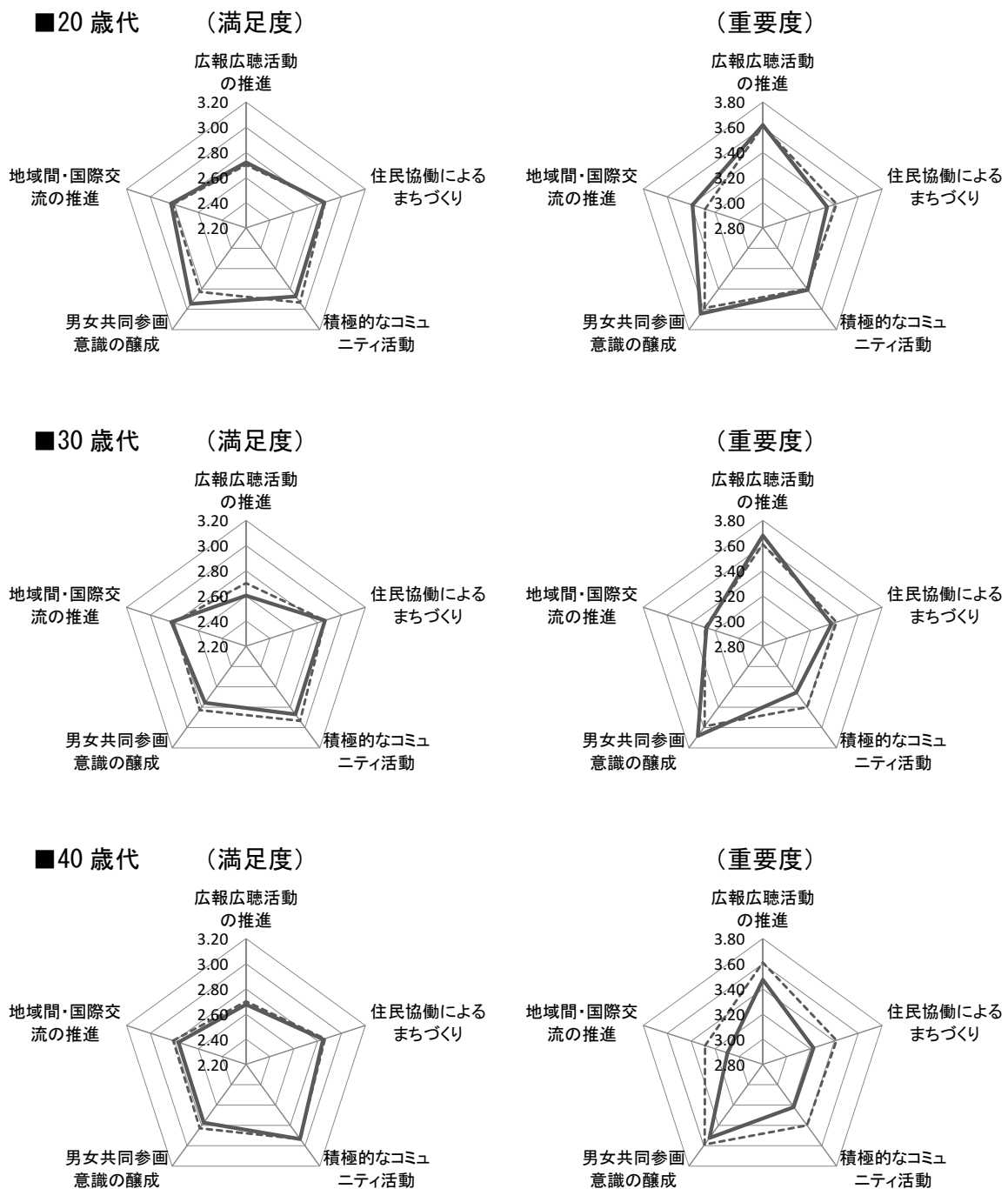
———：当該地域の指数      .....：市全体の指数

## 《年齢別の特性》

年齢別にみると、満足度では、全体的に他の年代と比べて50歳代で指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。また、20歳代で「男女共同参画意識の醸成」の満足度指数が高くなっています。

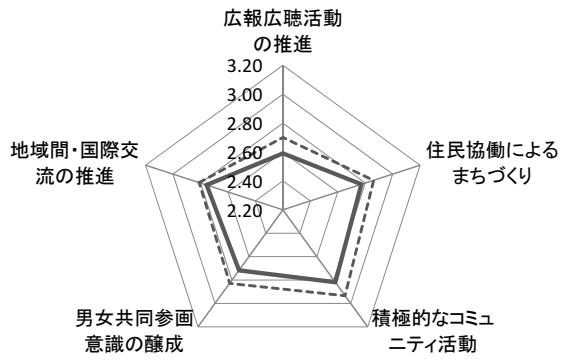
重要度では、40歳代では他の年代と比べて全体的に指数が低くなっているほか、30歳代で「積極的なコミュニティ活動」の指数が低くなっています。一方、70歳代以上では「積極的なコミュニティ活動」および「住民協働によるまちづくり」の指数が高くなっています。

【図-40 年齢別にみた参画協働分野の満足度指数・重要度指数】

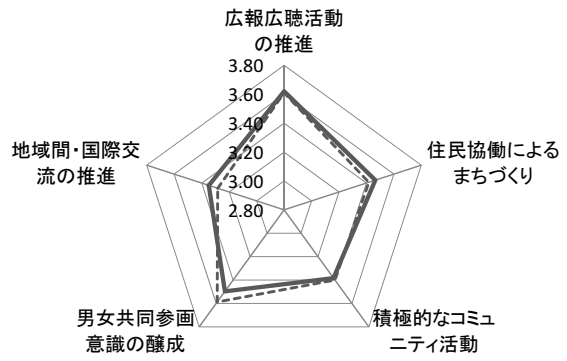


■ 50 歳代

(満足度)

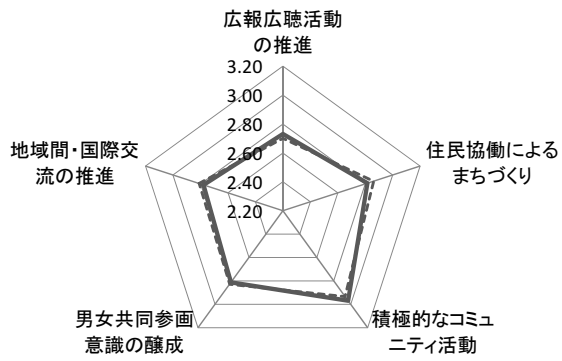


(重要度)

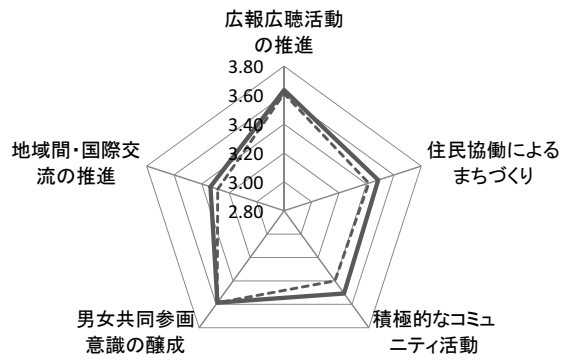


■ 60 歳代

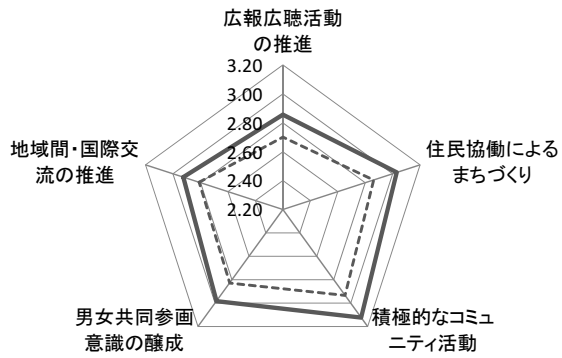
(満足度)



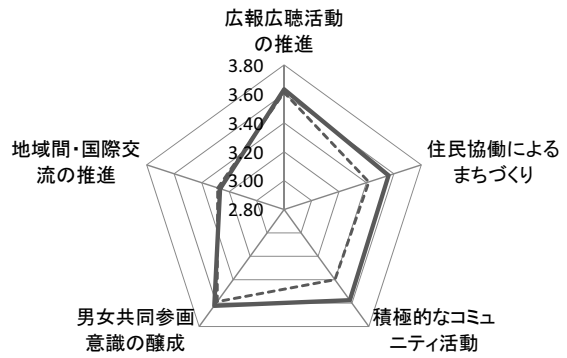
(重要度)



■ 70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



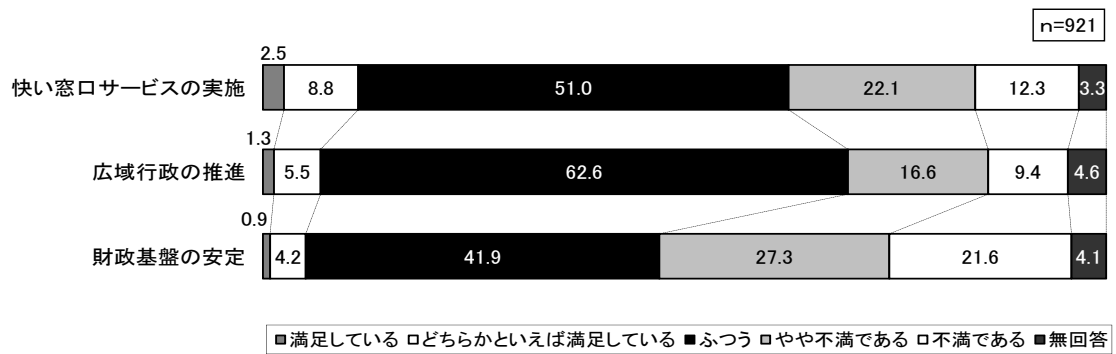
——— : 当該年齢の指数    ..... : 全年齢の指数

## 【行政経営など】

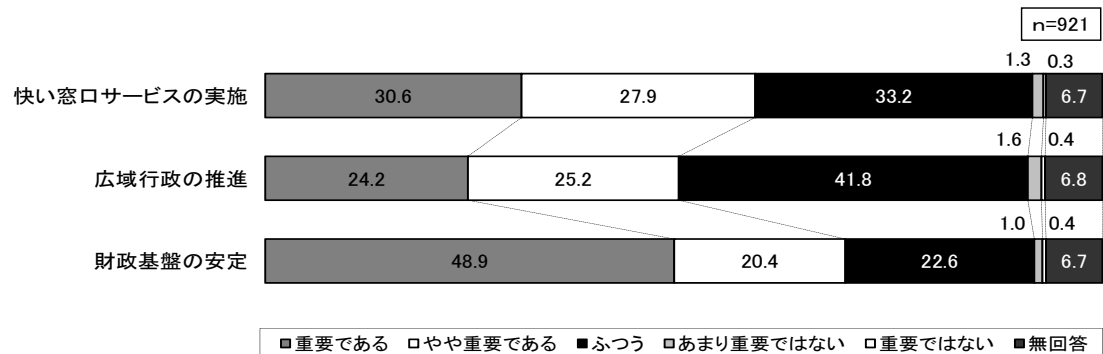
満足度では、「快い窓口サービスの実施」で『満足』の割合が比較的高く、「財政基盤の安定」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「財政基盤の安定」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-41 行政経営分野の満足度の割合】



【図-42 行政経営分野の重要度の割合】

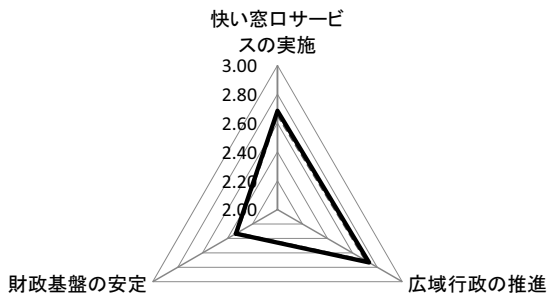


## 《地域別の特徴》

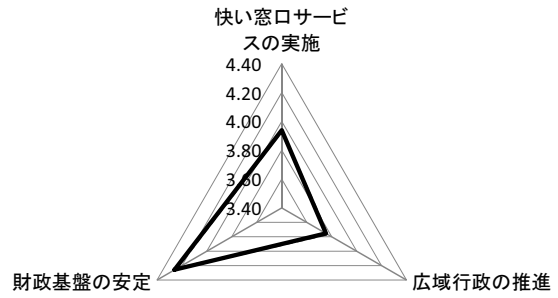
地域別にみると、満足度では、金木地域で全体的に指数が低くなっています。また、市浦地域では、他の地域と比べて「財政基盤の安定」の指数が高くなっています。重要度では、すべての地域で「財政基盤の安定」の指数が高くなっています。

【図-43 地域別にみた行政経営分野の満足度指数・重要度指数】

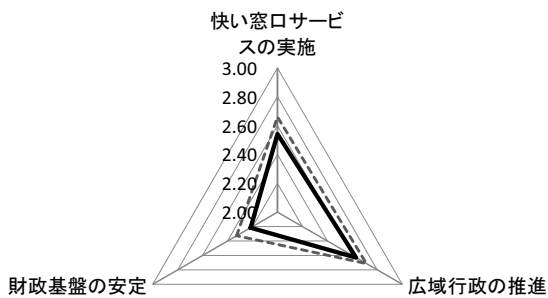
### ■五所川原地域（満足度）



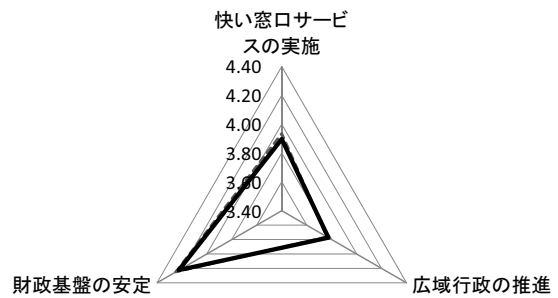
### （重要度）



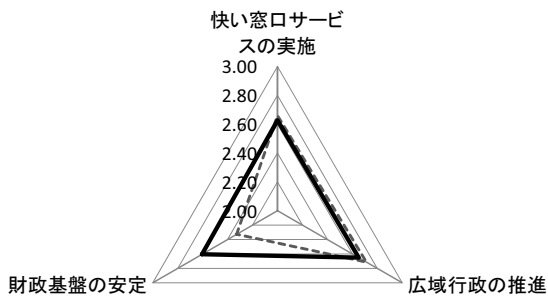
### ■金木地域（満足度）



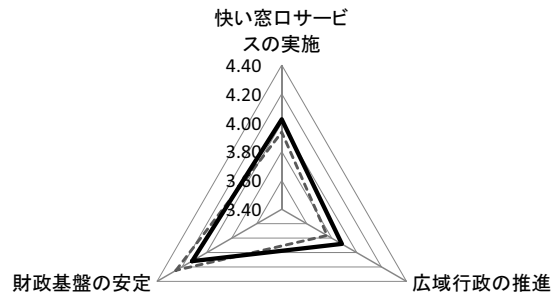
### （重要度）



### ■市浦地域（満足度）



### （重要度）



———：当該地域の指数      .....：市全体の指数

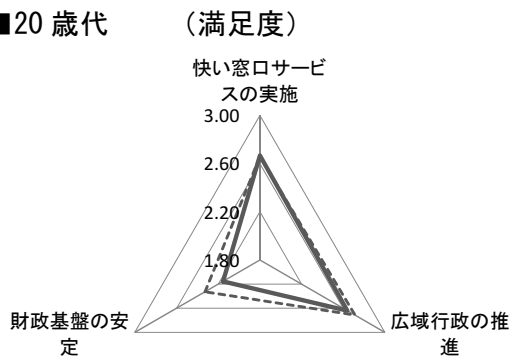
## 《年齢別の特性》

年齢別にみると、どの年代も「財政基盤の安定」の満足度指数が低くなっています。特に20歳代、40歳代で低くなっていますが、70歳代以上では他の年代と比べて高くなっています。

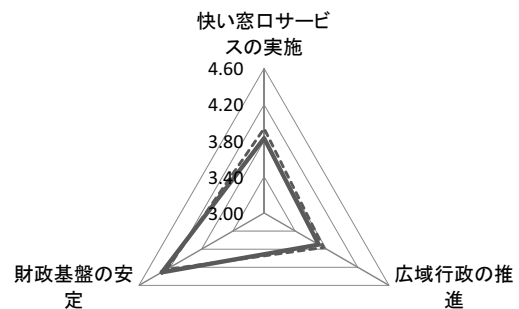
重要度では、70歳代以上で「財政基盤の安定」の指数が他の年代と比べてやや低いものの、年代間による大きな差は見られません。

【図-44 年齢別にみた行政経営分野の満足度指数・重要度指数】

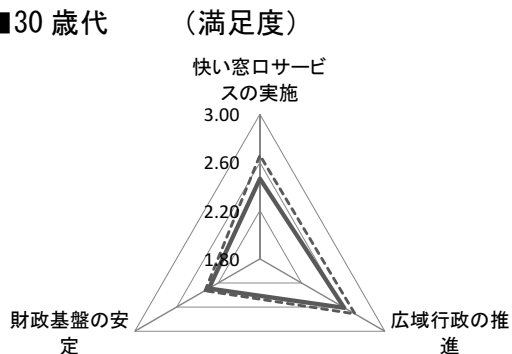
### ■20歳代



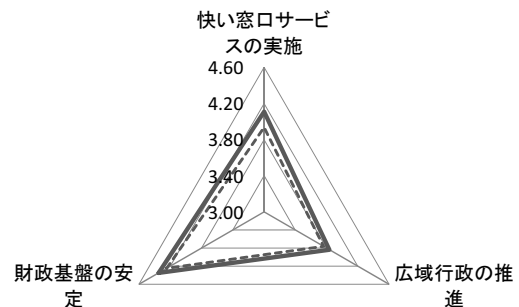
### (重要度)



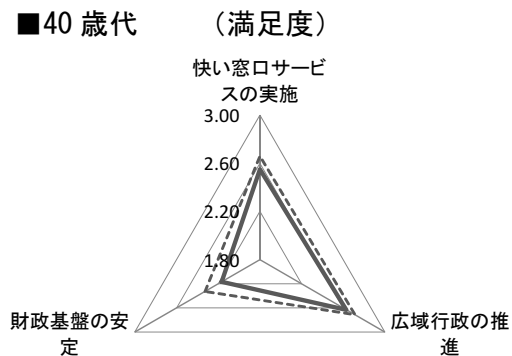
### ■30歳代



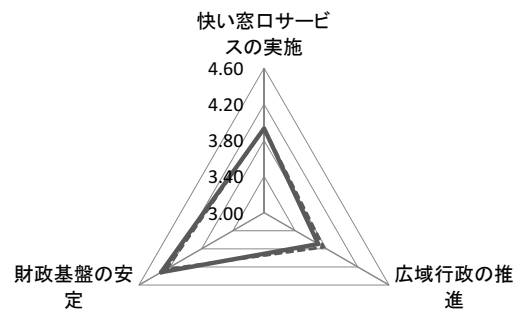
### (重要度)



### ■40歳代



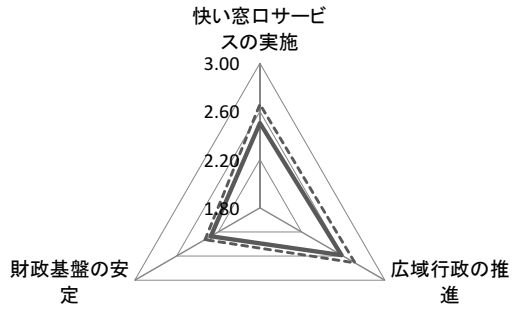
### (重要度)



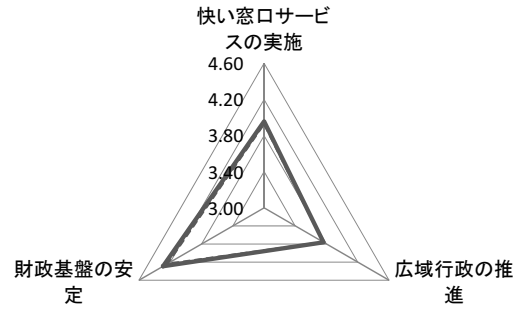


■50 歳代

(満足度)

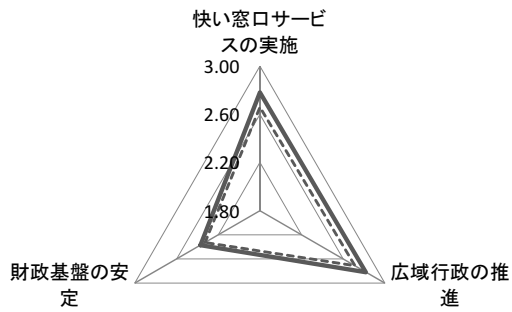


(重要度)

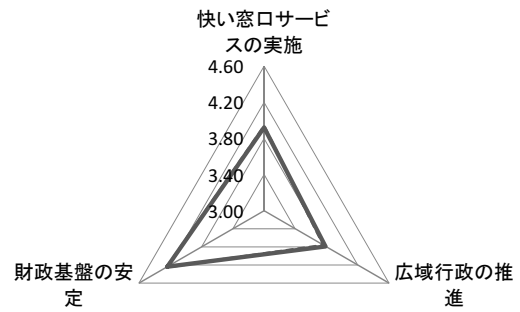


■60 歳代

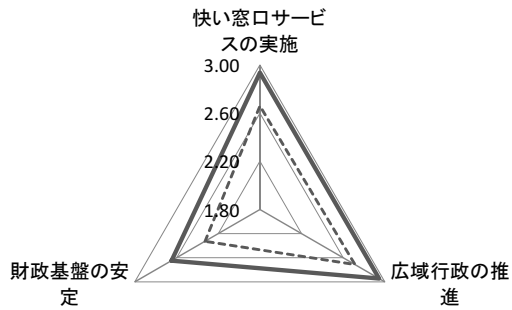
(満足度)



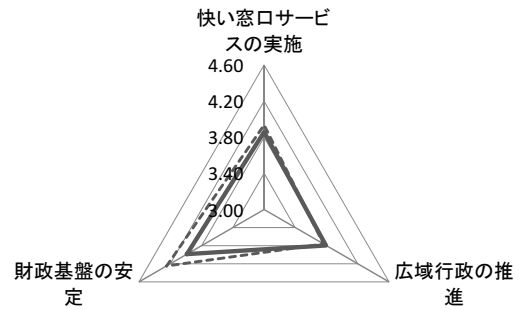
(重要度)



■70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



————— : 当該年齢の指数      ..... : 全年齢の指数

## Ⅱ-3. 普段の生活について

---

市民のライフスタイルの動向等を把握するため、以下の項目についてアンケートを行いました。調査結果は、次のとおりとなっています。

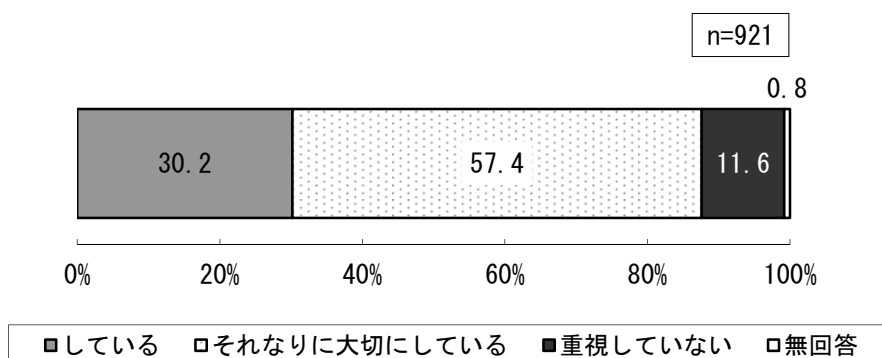
- (1) ご近所同士のつながりを大切にしていますか
- (2) 日頃、健康増進のための取組（運動や食生活の改善）をしていますか
- (3) 防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか
- (4) 困った時に気軽に相談できる人はいますか
- (5) 地域のイベントや活動などに参加していますか
- (6) 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか
- (7) 日常生活のなかでインターネットなどの情報通信を使っていますか
- (8) 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか
- (9) 日常的に（週1回以上）スポーツ活動をしていますか
- (10) 日用品など、日ごろ市内で買い物をしていますか
- (11) 市の広報紙を読んでいますか
- (12) 市のホームページを見えていますか
- (13) 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

## (1) ご近所同士のつながりを大切にしていますか

ご近所同士のつながりについて調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「それなりに大切にしている」が57.4%と最も高くなっています。地域別にみると、市浦地域において「している」と答えた人の割合が他の地域より高くなっていることが示されています。また、年齢別では、年代が上がるほど「している」と答える人の割合が高く、若い年代ほど「重視していない」と答える人の割合が高くなっています。

【図-45 ご近所同士のつながりを大切にしているかについての割合（全体）】



【表-26 ご近所同士のつながりを大切にしているかについての割合（属性別）】

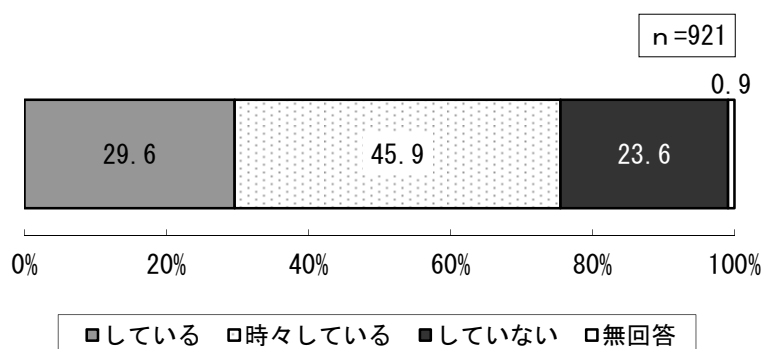
		合計	している (%)	それなりに大切にしている (%)	重視していない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	278 (30.2)	529 (57.4)	107 (11.6)	7 (0.8)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	221 (30.2)	424 (58.0)	83 (11.4)	3 (0.4)
	金木地域	143 (100.0)	39 (27.3)	84 (58.7)	19 (13.3)	1 (0.7)
	市浦地域	44 (100.0)	18 (40.9)	21 (47.7)	4 (9.1)	1 (2.3)
年齢	20歳代	112 (100.0)	13 (11.6)	63 (56.3)	36 (32.1)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	15 (11.5)	92 (70.2)	24 (18.3)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	35 (23.2)	94 (62.2)	21 (13.9)	1 (0.7)
	50歳代	166 (100.0)	40 (24.1)	109 (65.7)	17 (10.2)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	74 (43.0)	93 (54.1)	3 (1.7)	2 (1.2)
	70歳代以上	185 (100.0)	99 (53.5)	78 (42.2)	6 (3.2)	2 (1.1)
性別	男性	382 (100.0)	129 (33.8)	208 (54.4)	45 (11.8)	0 (0.0)
	女性	404 (100.0)	110 (27.2)	242 (59.9)	48 (11.9)	4 (1.0)

## (2) 日頃、健康増進のための取組（運動や食生活の改善など）をしていますか

日頃の健康増進のための取組について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「時々している」と答えた人が 57.4%と最も高くなっています。地域別に見ると、五所川原地域では「していない」と答えた人の割合が他の地域と比べて低くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「している」と答える人の割合が高くなってきており、70歳代以上については50%を超えています。

【図-46 日頃の健康増進のための取組についての割合（全体）】



【表-27 日頃の健康増進のための取組についての割合（属性別）】

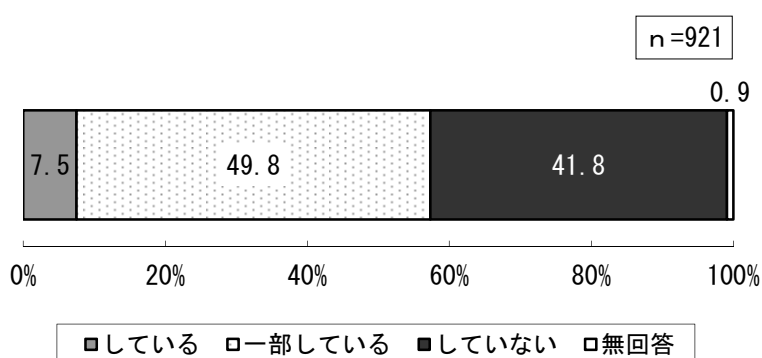
		合計	している (%)	時々している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	273 (29.6)	423 (45.9)	217 (23.6)	8 (0.9)
居住地	五所川原地域	731 (100.0)	222 (30.4)	347 (47.4)	159 (21.8)	3 (0.4)
	金木地域	143 (100.0)	37 (25.9)	60 (41.9)	44 (30.8)	2 (1.4)
	市浦地域	44 (100.0)	14 (31.8)	16 (36.4)	13 (29.5)	1 (2.3)
年齢	20歳代	112 (100.0)	20 (17.9)	51 (45.5)	41 (36.6)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	22 (16.8)	68 (51.9)	41 (31.3)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	28 (18.5)	81 (53.6)	41 (27.2)	1 (0.7)
	50歳代	166 (100.0)	41 (24.7)	75 (45.2)	49 (29.5)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	68 (39.5)	76 (44.2)	26 (15.1)	2 (1.2)
	70歳代以上	185 (100.0)	93 (50.2)	71 (38.4)	19 (10.3)	2 (1.1)
性別	男性	382 (100.0)	113 (29.6)	170 (44.5)	97 (25.4)	2 (0.5)
	女性	404 (100.0)	123 (30.4)	192 (47.6)	86 (21.3)	3 (0.7)

### (3) 防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか

防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「一部している」と答えた人が49.8%と最も高く、次いで「していない」が41.8%、「している」が7.5%という順になっています。地域別にみると、市浦地域で「一部している」の割合が60%近くと高く、また、「していない」の割合についても30%以下と他の地域と比べて低くなっています。年齢別では、20歳代で「していない」の割合が最も高く50%以上を示しています。

【図-47 防災対策についての割合（全体）】



【表-28 防災対策についての割合（属性別）】

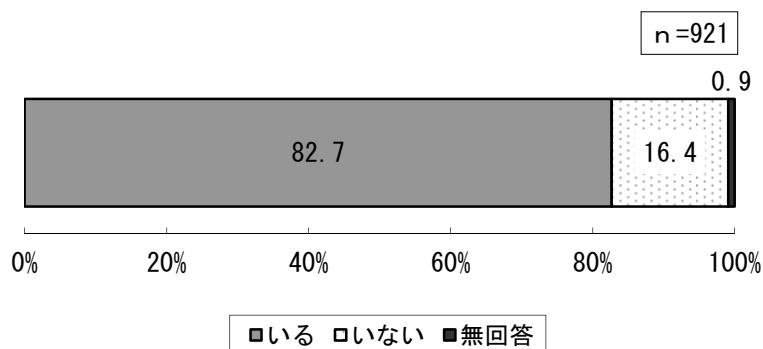
		合計	している (%)	一部している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	69 (7.5)	459 (49.8)	385 (41.8)	8 (0.9)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	54 (7.4)	369 (50.5)	305 (41.7)	3 (0.4)
	金木地域	143 (100.0)	12 (8.4)	64 (44.8)	66 (46.1)	1 (0.7)
	市浦地域	44 (100.0)	3 (6.8)	26 (59.2)	13 (29.5)	2 (4.5)
年齢	20歳代	112 (100.0)	6 (5.4)	47 (42.0)	58 (51.7)	1 (0.9)
	30歳代	131 (100.0)	6 (4.6)	67 (51.1)	58 (44.3)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	11 (7.3)	75 (49.7)	65 (43.0)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	12 (7.2)	87 (52.4)	66 (39.8)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	14 (8.1)	98 (57.0)	59 (34.3)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	20 (10.8)	83 (44.9)	79 (42.7)	3 (1.6)
性別	男性	382 (100.0)	37 (9.7)	184 (48.2)	159 (41.6)	2 (0.5)
	女性	404 (100.0)	27 (6.7)	204 (50.5)	171 (42.3)	2 (0.5)

#### (4) 困った時に気軽に相談できる人はいますか

困った時に気軽に相談できる人はいるかについて調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「いる」が82.7%、「いない」が16.4%となっています。年齢別にみると、40歳代、50歳代で「いない」の割合が高くなっています。男女別（性別）では、男性のほうが女性に比べて「いない」の割合が高く、また、家族構成別では、ひとり暮らしの人が「いない」と答える割合が高くなっています。

【図-48 困った時に気軽に相談できる人はいるかについての割合（全体）】



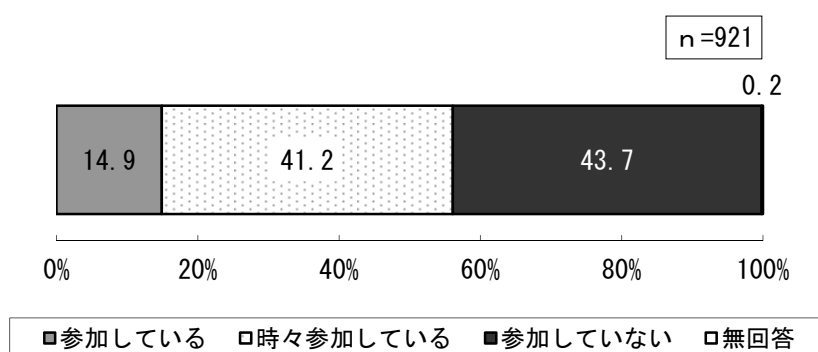
【表-29 困った時に気軽に相談できる人はいるかについての割合（属性別）】

		合計	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	762 (82.7)	151 (16.4)	8 (0.9)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	608 (83.2)	119 (16.3)	4 (0.5)
	金木地域	143 (100.0)	119 (83.2)	22 (15.4)	2 (1.4)
	市浦地域	44 (100.0)	34 (77.3)	10 (22.7)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	100 (89.3)	11 (9.8)	1 (0.9)
	30歳代	131 (100.0)	112 (85.5)	19 (14.5)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	116 (76.8)	35 (23.2)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	130 (78.3)	35 (21.1)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	147 (85.4)	24 (14.0)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	155 (83.8)	27 (14.6)	3 (1.6)
性別	男性	382 (100.0)	302 (79.0)	77 (20.2)	3 (0.8)
	女性	404 (100.0)	350 (86.7)	51 (12.6)	3 (0.7)
家族構成	ひとり暮らし	98 (100.0)	74 (75.5)	21 (21.4)	3 (3.1)
	夫婦のみ	185 (100.0)	162 (87.6)	22 (11.9)	1 (0.5)
	親と子（2世代）	395 (100.0)	318 (80.5)	77 (19.5)	0 (0.0)
	親と子と孫（3世代）	161 (100.0)	138 (85.8)	21 (13.0)	2 (1.2)
	その他	79 (100.0)	69 (87.3)	10 (12.7)	0 (0.0)

## (5) 地域のイベントや活動などに参加していますか

地域のイベントや活動への参加について調査したところ、以下の結果となっています。全体では、「参加していない」と答えた人が43.7%と最も多くなっています。地域別にみると、市浦地域では、「参加している」の割合が他の地域と比べて高く、金木地域では、「参加していない」の割合が高くなっています。年齢別では、年代が上がっていくほど「参加している」の割合が高くなり、逆に若い年代ほど「参加していない」割合が高いことが示されています。

【図-49 地域のイベントや活動などへの参加についての割合（全体）】



【表-30 地域のイベントや活動などへの参加についての割合（属性別）】

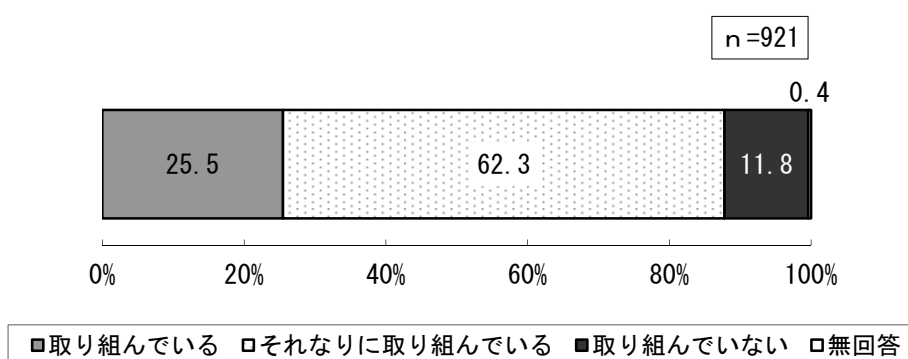
		合計	参加している (%)	時々参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	137 (14.9)	379 (41.2)	403 (43.7)	2 (0.2)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	110 (15.0)	310 (42.4)	311 (42.6)	0 (0.0)
	金木地域	143 (100.0)	18 (12.6)	53 (37.1)	72 (50.3)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	9 (20.5)	16 (36.4)	19 (43.1)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	9 (8.0)	25 (22.3)	78 (69.7)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	6 (4.6)	55 (42.0)	70 (53.4)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	10 (6.6)	73 (48.4)	68 (45.0)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	25 (15.1)	77 (46.3)	64 (38.6)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	36 (20.9)	72 (41.9)	64 (37.2)	0 (0.0)
	70歳代以上	185 (100.0)	51 (27.6)	76 (41.0)	58 (31.4)	0 (0.0)
性別	男性	382 (100.0)	73 (19.1)	148 (38.7)	161 (42.2)	0 (0.0)
	女性	404 (100.0)	48 (11.9)	173 (42.8)	183 (45.3)	0 (0.0)
居住歴	5年未満	68 (100.0)	6 (8.8)	17 (25.0)	45 (66.2)	0 (0.0)
	5年以上10年未満	43 (100.0)	3 (7.0)	22 (51.1)	18 (41.9)	0 (0.0)
	10年以上20年未満	99 (100.0)	15 (15.2)	46 (46.4)	38 (38.4)	0 (0.0)
	20年以上30年未満	170 (100.0)	15 (8.8)	65 (38.2)	90 (53.0)	0 (0.0)
	30年以上	533 (100.0)	98 (18.4)	227 (42.6)	208 (39.0)	0 (0.0)

## (6) 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか

省エネルギーやリサイクルへの取組について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「それなりに取り組んでいる」と答えた人が62.3%と最も高くなっています。年齢別にみると、他の年代と比べて、60歳代、70歳代以上の人々が「取り組んでいる」と答える割合が高く、20歳代、30歳代では、「取り組んでいない」の割合が高くなっています。

【図-50 省エネルギーやリサイクルへの取組についての割合（全体）】



【表-31 省エネルギーやリサイクルへの取組についての割合（属性別）】

		合計	取り組んでいる (%)	それなりに取り組んでいる (%)	取り組んでいない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	235 (25.5)	573 (62.3)	109 (11.8)	4 (0.4)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	193 (26.4)	460 (63.0)	77 (10.5)	1 (0.1)
	金木地域	143 (100.0)	32 (22.4)	85 (59.4)	26 (18.2)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	10 (22.7)	28 (63.6)	5 (11.4)	1 (2.3)
年齢	20歳代	112 (100.0)	17 (15.2)	73 (65.2)	22 (19.6)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	26 (19.8)	77 (58.8)	28 (21.4)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	33 (21.9)	104 (68.8)	14 (9.3)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	36 (21.7)	116 (69.9)	13 (7.8)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	61 (35.5)	95 (55.2)	15 (8.7)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	61 (33.0)	107 (57.8)	17 (9.2)	0 (0.0)
性別	男性	382 (100.0)	94 (24.6)	237 (62.0)	51 (13.4)	0 (0.0)
	女性	404 (100.0)	108 (26.7)	256 (63.4)	39 (9.7)	1 (0.2)

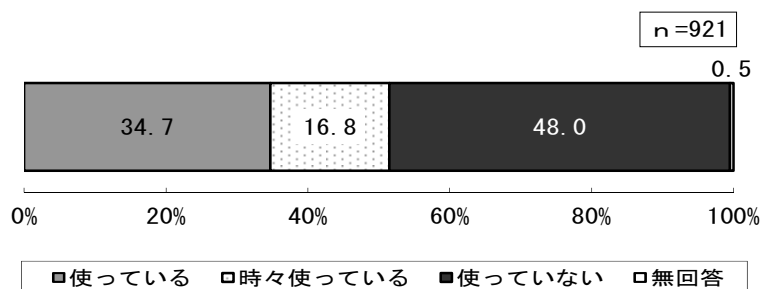


## (7) 日常生活のなかでインターネットなどの情報通信を使っていますか

日常生活のなかでインターネットなどの情報通信を使っているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「使っていない」と答えた人が48.0%と最も高く、次いで「使っている」が34.7%、「時々使っている」が16.8%という順になっています。年齢別にみると、40歳代までは「使っている」と答える人の割合が高い傾向を示しています。職業別では、農林漁業と答えた人の74.3%が「使っていない」と回答しており、特徴的であるのは、経営者と答えた人の42.3%が「使っている」と回答した一方、46.2%の人が「使っていない」と回答しています。

【図-51 日常生活でインターネットなどの情報通信を使っているかの割合（全体）】



【表-32 日常生活でインターネットなどの情報通信を使っているかの割合（属性別）】

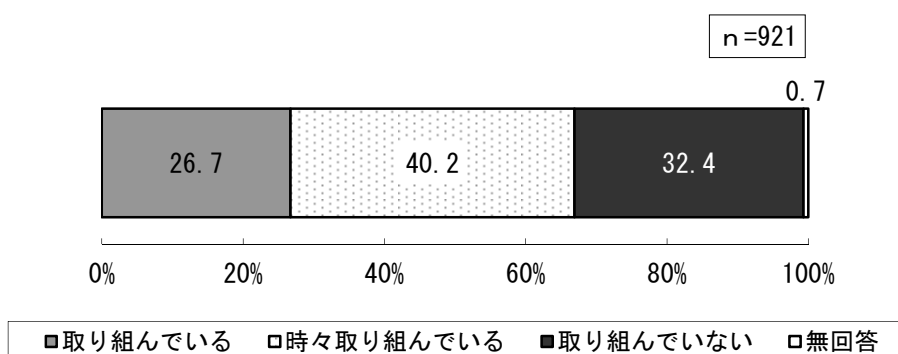
		合計	使っている (%)	時々使っている (%)	使っていない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	320 (34.7)	155 (16.8)	441 (48.0)	5 (0.5)
居住地	五所川原地域	731 (100.0)	265 (36.3)	117 (16.0)	346 (47.3)	3 (0.4)
	金木地域	143 (100.0)	40 (28.0)	31 (21.7)	72 (50.3)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	14 (31.8)	7 (15.9)	23 (52.3)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	83 (74.1)	21 (18.8)	8 (7.1)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	89 (67.9)	25 (19.1)	17 (13.0)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	75 (49.7)	36 (23.8)	40 (26.5)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	45 (27.1)	36 (21.7)	85 (51.2)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	20 (11.6)	26 (15.1)	125 (72.7)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	8 (4.3)	11 (5.9)	164 (88.7)	2 (1.1)
性別	男性	382 (100.0)	136 (35.6)	68 (17.8)	178 (46.6)	0 (0.0)
	女性	404 (100.0)	131 (32.4)	74 (18.3)	197 (48.8)	2 (0.5)
職業	経営者	26 (100.0)	11 (42.3)	3 (11.5)	12 (46.2)	0 (0.0)
	勤め人	302 (100.0)	171 (56.6)	64 (21.2)	67 (22.2)	0 (0.0)
	自営・自由業	60 (100.0)	23 (38.3)	14 (23.3)	22 (36.7)	1 (1.7)
	農林漁業	64 (100.0)	5 (7.8)	11 (17.2)	47 (73.4)	1 (1.6)
	パート・アルバイト	96 (100.0)	32 (33.3)	24 (25.0)	40 (41.7)	0 (0.0)
	専業主婦（夫）	86 (100.0)	18 (20.9)	18 (20.9)	49 (57.0)	1 (1.2)
	学生	23 (100.0)	20 (87.0)	2 (8.7)	1 (4.3)	0 (0.0)
	無職	227 (100.0)	33 (14.5)	14 (6.2)	180 (79.3)	0 (0.0)
	その他	28 (100.0)	6 (21.4)	4 (14.3)	18 (64.3)	0 (0.0)

## (8) 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか

趣味や教養を身に付けることへの取組について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「時々取り組んでいる」と答えた人が40.2%と最も高くなっています。年齢別にみると、20歳代で「取り組んでいる」の割合が高く、逆に60歳代、70歳代以上で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。男女別（性別）では、男性のほうが女性より「取り組んでいる」の割合が高くなっています。

【図-52 趣味や教養を身に付けることへの取組についての割合（全体）】



【表-33 趣味や教養を身に付けることへの取組についての割合（属性別）】

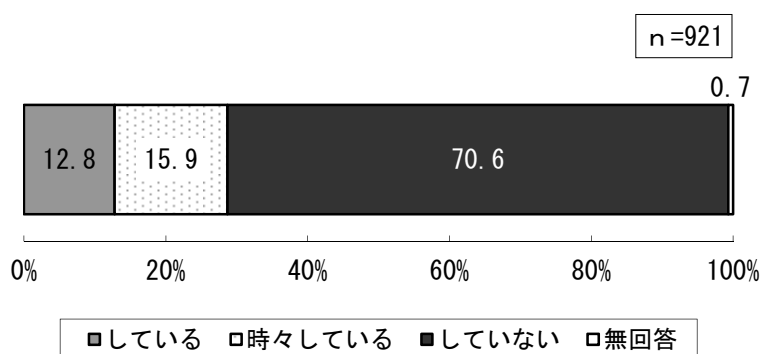
		合計	取り組んでいる (%)	時々取り組んでいる (%)	取り組んでいない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	246 (26.7)	371 (40.2)	298 (32.4)	6 (0.7)
居住地	五所川原地域	731 (100.0)	203 (27.8)	295 (40.4)	229 (31.3)	4 (0.5)
	金木地域	143 (100.0)	31 (21.7)	62 (43.3)	50 (35.0)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	11 (25.0)	14 (31.8)	19 (43.2)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	48 (42.9)	36 (32.1)	28 (25.0)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	28 (21.4)	68 (51.9)	35 (26.7)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	34 (22.5)	70 (46.3)	46 (30.5)	1 (0.7)
	50歳代	166 (100.0)	37 (22.3)	79 (47.6)	50 (30.1)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	47 (27.3)	56 (32.6)	67 (38.9)	2 (1.2)
	70歳代以上	185 (100.0)	51 (27.6)	62 (33.5)	71 (38.4)	1 (0.5)
性別	男性	382 (100.0)	117 (30.6)	144 (37.7)	119 (31.2)	2 (0.5)
	女性	404 (100.0)	98 (24.3)	168 (41.5)	136 (33.7)	2 (0.5)

### (9) 日常的に（週1回以上）スポーツ活動をしていますか

日常的に（週1回以上）スポーツ活動をしているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「していない」と答えた人が70.6%と最も高くなっています。年齢別にみると、20歳代が他の年代と比べて「している」の割合が高くなっている一方、30歳代、40歳代、50歳代では「していない」の割合が高く、特に50歳代では80%を超えています。男女別（性別）では、女性のほうが男性に比べて「していない」の割合が高くなっています。

【図-53 日常的に（週1回以上）スポーツ活動をしているかの割合（全体）】



【表-34 日常的に（週1回以上）スポーツ活動をしているかの割合（全体）】

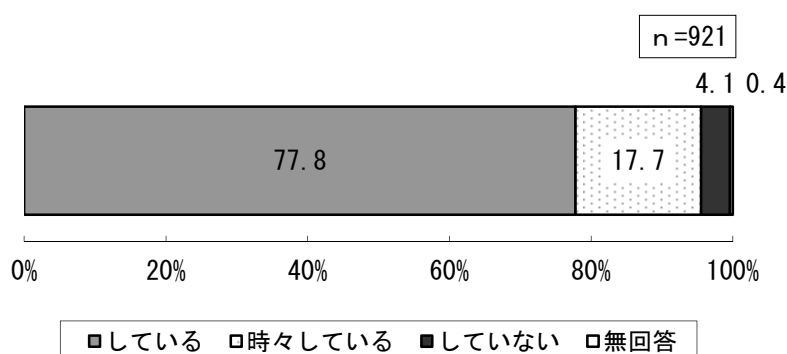
		合計	している (%)	時々している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	118 (12.8)	146 (15.9)	651 (70.6)	6 (0.7)
居住地	五所川原地域	731 (100.0)	96 (13.1)	122 (16.7)	510 (69.8)	3 (0.4)
	金木地域	143 (100.0)	16 (11.2)	19 (13.3)	107 (74.8)	1 (0.7)
	市浦地域	44 (100.0)	5 (11.4)	5 (11.4)	34 (77.2)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	25 (22.3)	25 (22.3)	62 (55.4)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	13 (9.9)	20 (15.3)	98 (74.8)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	11 (7.3)	27 (17.9)	113 (74.8)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	15 (9.0)	15 (9.0)	136 (82.0)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	27 (15.7)	26 (15.1)	116 (67.5)	3 (1.7)
	70歳代以上	185 (100.0)	27 (14.6)	33 (17.8)	124 (67.1)	1 (0.5)
性別	男性	382 (100.0)	62 (16.2)	64 (16.8)	255 (66.7)	1 (0.3)
	女性	404 (100.0)	40 (9.9)	59 (14.6)	302 (74.8)	3 (0.7)

## (10) 日用品など、日ごろ市内で買い物をしていますか

日用品など、日ごろ市内で買い物をしているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「している」と答えた人が77.8%と最も高くなっています。年齢別にみると、20歳代及び70歳代以上で「している」の割合が他の年代と比べて低くなっています。通勤・通学先別では、通勤・通学先が市外と答えた人のうち、「している」と答えた人の割合が71.7%と高くなっています。

【図-54 日用品など、日ごろ市内で買い物をしているかの割合（全体）】



【表-35 日用品など、日ごろ市内で買い物をしているかの割合（属性別）】

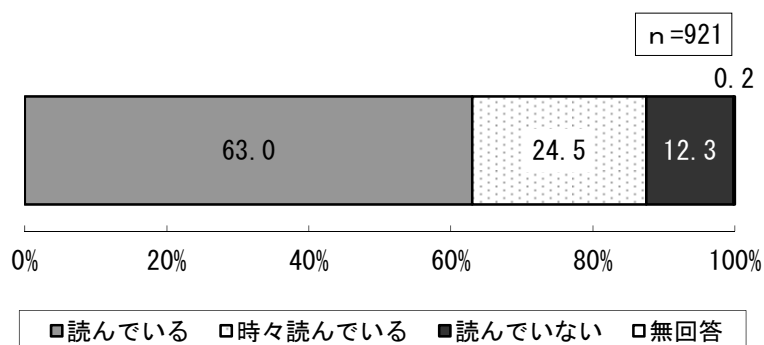
		合計	している (%)	時々している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	716 (77.8)	163 (17.7)	38 (4.1)	4 (0.4)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	581 (79.4)	122 (16.7)	26 (3.6)	2 (0.3)
	金木地域	143 (100.0)	110 (76.9)	25 (17.5)	8 (5.6)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	25 (56.8)	16 (36.4)	3 (6.8)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	79 (70.6)	23 (20.5)	10 (8.9)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	107 (81.7)	18 (13.7)	6 (4.6)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	115 (76.1)	33 (21.9)	3 (2.0)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	136 (81.9)	26 (15.7)	3 (1.8)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	144 (83.7)	23 (13.4)	5 (2.9)	0 (0.0)
	70歳代以上	185 (100.0)	133 (72.0)	40 (21.6)	11 (5.9)	1 (0.5)
性別	男性	382 (100.0)	272 (71.2)	92 (24.1)	16 (4.2)	2 (0.5)
	女性	404 (100.0)	345 (85.4)	47 (11.6)	12 (3.0)	0 (0.0)
通勤・通学先	市内	347 (100.0)	283 (81.6)	57 (16.4)	7 (2.0)	0 (0.0)
	市外	187 (100.0)	134 (71.7)	38 (20.3)	14 (7.5)	1 (0.5)

### (11) 市の広報紙を読んでいますか

市の広報紙を読んでいるか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「読んでいる」と答えた人が63.0%と最も高くなっています。年齢別にみると、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上で「読んでいる」の割合がそれぞれ60%を超えています。20歳代では20%程度となっています。

【図-55 市の広報紙を読んでいるかの割合（全体）】



【表-36 市の広報紙を読んでいるかの割合（属性別）】

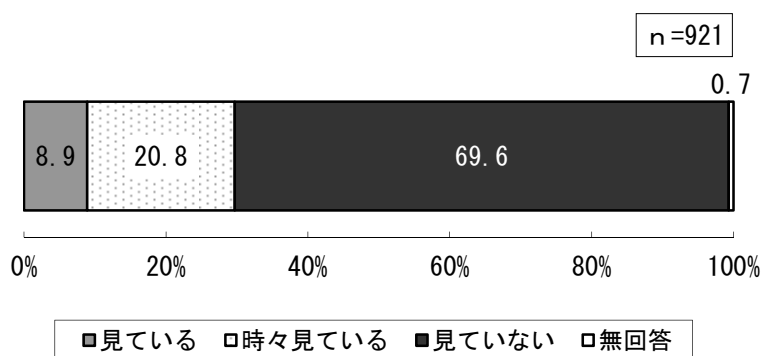
		合計	読んでいる (%)	時々読んでいる (%)	読んでいない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	580 (63.0)	226 (24.5)	113 (12.3)	2 (0.2)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	471 (64.4)	177 (24.2)	83 (11.4)	0 (0.0)
	金木地域	143 (100.0)	86 (60.1)	35 (24.5)	22 (15.4)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	23 (52.3)	14 (31.8)	7 (15.9)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	23 (20.5)	47 (42.0)	42 (37.5)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	65 (49.7)	40 (30.5)	26 (19.8)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	98 (64.9)	41 (27.2)	12 (7.9)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	118 (71.1)	36 (21.7)	12 (7.2)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	133 (77.3)	32 (18.6)	7 (4.1)	0 (0.0)
	70歳代以上	185 (100.0)	142 (76.7)	29 (15.7)	14 (7.6)	0 (0.0)
性別	男性	382 (100.0)	227 (59.4)	98 (25.7)	57 (14.9)	0 (0.0)
	女性	404 (100.0)	280 (69.3)	88 (21.8)	36 (8.9)	0 (0.0)

## (12) 市のホームページを見ているか

市のホームページを見ているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「見ていない」と答えた方が69.6%と最も高く、次いで「時々見ている」が24.5%、「見ている」が8.9%という順になっています。

【図-56 市のホームページを見ているかの割合（全体）】



【表-37 市のホームページを見ているかの割合（属性別）】

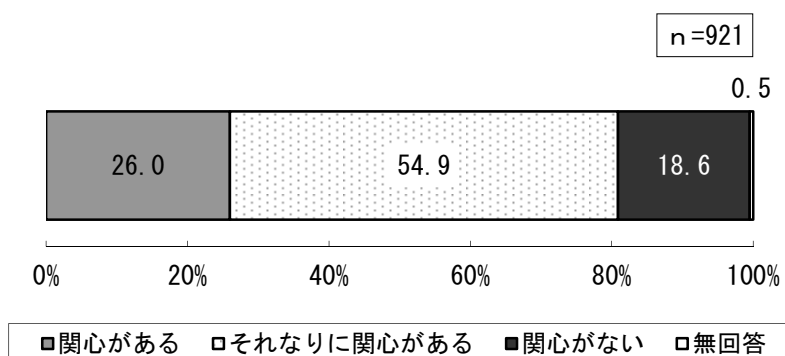
		合計	見ている (%)	時々見ている (%)	見ていない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	82 (8.9)	192 (20.8)	641 (69.6)	6 (0.7)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	66 (9.0)	163 (22.3)	498 (68.2)	4 (0.5)
	金木地域	143 (100.0)	13 (9.1)	26 (18.2)	104 (72.7)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	3 (6.8)	3 (6.8)	38 (86.4)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	1 (0.9)	18 (16.1)	93 (83.0)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	7 (5.3)	26 (19.8)	98 (74.9)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	7 (4.6)	37 (24.5)	107 (70.9)	0 (0.0)
	50歳代	166 (100.0)	11 (6.6)	34 (20.5)	120 (72.3)	1 (0.6)
	60歳代	172 (100.0)	11 (6.4)	40 (23.3)	120 (69.7)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	45 (24.3)	37 (20.0)	101 (54.6)	2 (1.1)
性別	男性	382 (100.0)	40 (10.5)	90 (23.6)	250 (65.4)	2 (0.5)
	女性	404 (100.0)	28 (6.9)	73 (18.1)	301 (74.5)	2 (0.5)

### (13) 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

市のまちづくりの取組や財政状況に関心があるか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「それなりに関心がある」と答えた人が 54.9%と最も高くなっています。年齢別にみると、60 歳代、70 歳代以上では「関心がある」の割合がそれぞれ 30%以上と高く、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「関心がある」の割合がそれぞれ 20%以下と低くなっています。

【図-57 市のまちづくりの取組や財政状況への関心の割合（全体）】



【表-38 市のまちづくりの取組や財政状況への関心の割合（属性別）】

		合計	関心がある (%)	それなりに関心がある (%)	関心がない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	239 (26.0)	506 (54.9)	171 (18.6)	5 (0.5)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	198 (27.1)	397 (54.3)	133 (18.2)	3 (0.4)
	金木地域	143 (100.0)	33 (23.1)	84 (58.7)	26 (18.2)	0 (0.0)
	市浦地域	44 (100.0)	8 (18.2)	25 (56.8)	11 (25.0)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	14 (12.5)	62 (55.4)	36 (32.1)	0 (0.0)
	30歳代	131 (100.0)	26 (19.8)	72 (55.0)	33 (25.2)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	26 (17.2)	88 (58.3)	36 (23.8)	1 (0.7)
	50歳代	166 (100.0)	45 (27.1)	101 (60.9)	20 (12.0)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	64 (37.2)	85 (49.4)	22 (12.8)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	64 (34.6)	96 (51.9)	24 (13.0)	1 (0.5)
性別	男性	382 (100.0)	114 (29.8)	194 (50.9)	72 (18.8)	2 (0.5)
	女性	404 (100.0)	98 (24.3)	241 (59.7)	64 (15.8)	1 (0.2)

## Ⅱ-4. 地域活動やまちづくりの取組について

ここでは、具体的にどのような活動や取組に参加しているのか、または、今後、参加したいかどうかの意向について調査することにより、市民がどのような地域活動やまちづくりの取組に関心があるのかを把握するためにアンケートを行いました。調査結果は、次のとおりとなっています。

【表-39 市民意識調査票 問4】

問4 あなたは、最近（ここ5年間くらい）、以下の地域活動やまちづくりの取組に参加したことがありますか。また、今後（も）、参加したいと思いますか。①最近、②今後について、あてはまるものすべてに○をつけてください。		
	①最近	②今後
1. 自然を守るための活動（環境保護や環境美化活動など）	ある	したい
2. 安全・安心のための活動（災害ボランティア、防犯・交通安全・見守り活動など）	ある	したい
3. 支援が必要な人を援助する活動（高齢者や障がい者ボランティアなど）	ある	したい
4. まちの活性化につなげる活動（観光、地域文化、商店街のイベント、他都市との交流など）	ある	したい
5. 町内会・自治会が行う活動への参画	ある	したい
6. 市が実施するイベント等（祭り、講演など）への参画	ある	したい
7. 市政に対する意見の提出（市のアンケート調査や市のホームページを利用した意見提出など）	ある	したい
8. 上記以外の活動（ ）	ある	したい



“最近参加した地域活動やまちづくりの取組”では、「町内会・自治会が行う活動への参画」と答えた人の割合が30.1%と最も高く、次いで「市が実施するイベント等への参画」が27.5%、「自然を守るための活動」が21.1%、「安全・安心のための活動」が15.6%という順になっています。

地域別にみると、五所川原地域及び金木地域では「町内会・自治会が行う活動への参画」と答えた人の割合がそれぞれ31.3%、20.3%と最も高く、市浦地域では「自然を守るための活動」及び「町内会・自治会が行う活動への参画」と答えた人の割合が40.9%と最も高くなっています。

年齢別では、20歳代、30歳代では「市が実施するイベント等への参画」と答えた人の割合がそれぞれ24.1%、26.0%と最も高く、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上では「町内会・自治会が行う活動への参画」と答えた人の割合がそれぞれ26.5%、36.1%、41.9%、42.7%と最も高くなっています。

性別では、男性では「町内会・自治会が行う活動への参画」と答えた人の割合が33.8%と最も高く、女性では「市が実施するイベント等への参画」と答えた人の割合が27.7%と最も高くなっています。

また、“今後参加したい地域活動やまちづくりの取組”では、「自然を守る活動」と答えた人の割合が36.6%と最も高く、次いで「支援が必要な人を援助する活動」が36.0%、「まちの活性化につなげる活動」が35.1%、「市が実施するイベント等への参画」が34.5%という順になっています。

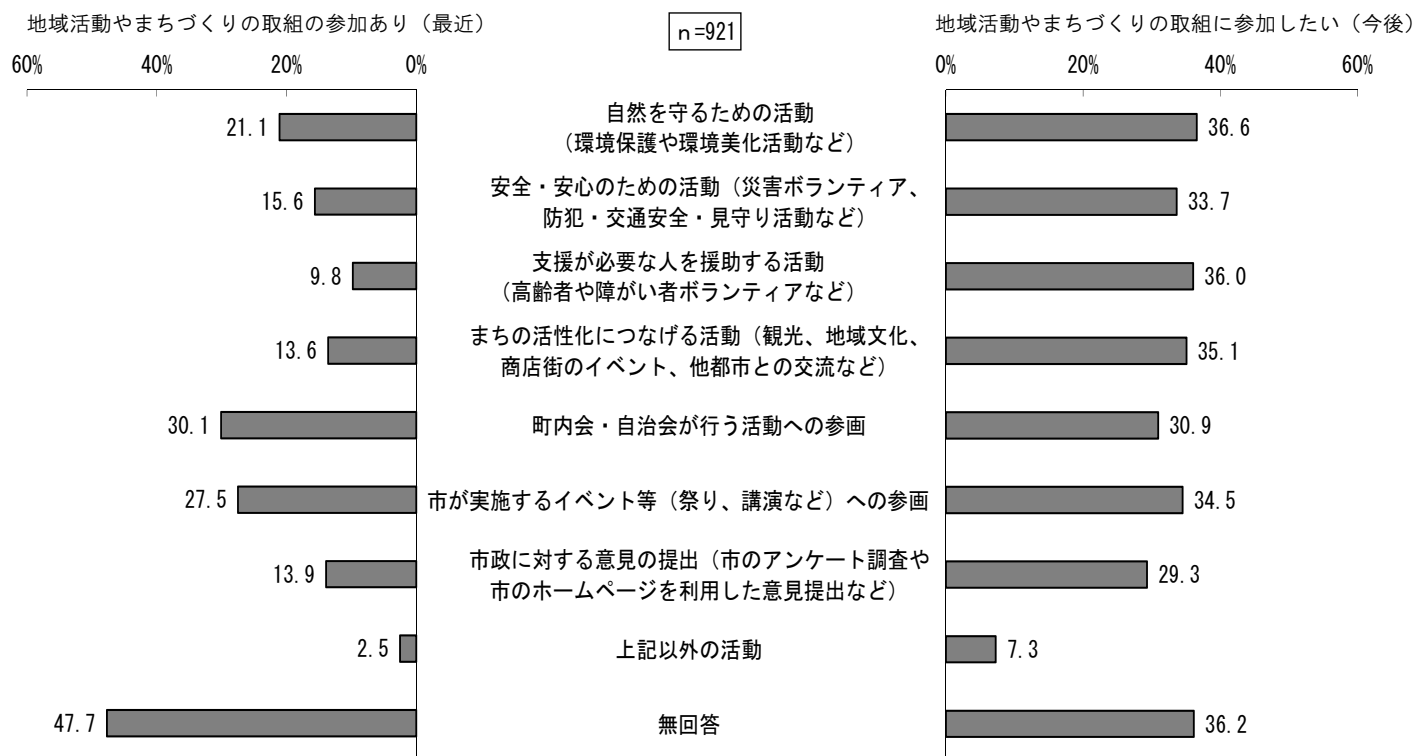
地域別にみると、五所川原地域及び市浦地域では「自然を守るための活動」と答えた人の割合がそれぞれ36.9%、45.5%と最も高く、金木地域では「支援が必要な人を援助するための活動」及び「まちの活性化につなげる活動」と答えた人の割合が37.8%と最も高くなっています。

年齢別では、20歳代、50歳代では「市が実施するイベント等への参画」と答えた人の割合がそれぞれ35.7%、42.8%と最も高く、30歳代、40歳代、60歳代では「自然を守るための活動」と答えた人の割合がそれぞれ38.9%、35.8%、41.3%と最も高く、70歳代以上では「支援が必要な人を援助するための活動」と答えた人の割合が35.1%と最も高くなっています。

性別では、男性では「支援が必要な人を援助するための活動」と答えた人の割合が38.2%と最も高く、女性では「自然を守るための活動」と答えた人の割合が35.6%と最も高くなっています。

全体的に、年代が上がるにつれ、各項目の回答割合が高くなる傾向が見られますが、今後の参加意向では、70歳代以上になるとやや回答割合が低くなる傾向が示されています。

【図-58 地域活動への参加状況と今後の参加意向】



【表-40 上記以外の活動の具体的な記述】

子ども会の祭り、ねふた運行、喜良市の町内活動への参加
保険協力員
除雪など
公民館活動
文化的な活動であれば参加
文化活動の促進、絵画教室の発展及び自我の向上、各種展示会への出品、今後とも追及してまいります。
年なので。
高齢者によりほとんど参加したいとは思わない。
春・秋のシルバー人材会員のメインルートの清掃
スポーツ活動
東日本大震災復興支援によるチャリティ茶会
高齢者等の作業の指導
チャリティーバザーへの参加

【表-41 地域活動やまちづくりの取組への参加の動向】

[最近、参加した地域活動やまちづくりの取組]

		合計	め自然 の活を 動守る た	た安 め全 の・活 安 動心 の	活人支 動を援 援が必 助す要 するな	動にま つち な活 げ活 る性 活化	へ会町 のが内 参行会 画う・活 画自治	のイ市 参ベが 画ン実 ト施 等す へる	意市 見政 のに 提对 出する	動上 記以 外の 活	無 回 答
全体		921 (100.0)	194 (21.1)	144 (15.6)	90 (9.8)	125 (13.6)	277 (30.1)	253 (27.5)	128 (13.9)	23 (2.5)	439 (47.7)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	151 (20.7)	115 (15.7)	72 (9.8)	92 (12.6)	229 (31.3)	215 (29.4)	97 (13.3)	20 (2.7)	339 (46.4)
	金木地域	143 (100.0)	24 (16.8)	17 (11.9)	13 (9.1)	21 (14.7)	29 (20.3)	27 (18.9)	18 (12.6)	3 (2.1)	80 (55.9)
	市浦地域	44 (100.0)	18 (40.9)	11 (25.0)	4 (9.1)	11 (25.0)	18 (40.9)	10 (22.7)	12 (27.3)	0 (0.0)	18 (40.9)
年齢	20歳代	112 (100.0)	15 (13.4)	5 (4.5)	9 (8.0)	13 (11.6)	6 (5.4)	27 (24.1)	10 (8.9)	0 (0.0)	64 (57.1)
	30歳代	131 (100.0)	24 (18.3)	15 (11.5)	10 (7.6)	24 (18.3)	18 (13.7)	34 (26.0)	9 (6.9)	0 (0.0)	74 (56.5)
	40歳代	151 (100.0)	21 (13.9)	24 (15.9)	10 (6.6)	17 (11.3)	40 (26.5)	35 (23.2)	23 (15.2)	3 (2.0)	75 (49.7)
	50歳代	166 (100.0)	38 (22.9)	25 (15.1)	8 (4.8)	18 (10.8)	60 (36.1)	46 (27.7)	20 (12.0)	1 (0.6)	75 (45.2)
	60歳代	172 (100.0)	46 (26.7)	32 (18.6)	24 (14.0)	28 (16.3)	72 (41.9)	57 (33.1)	31 (18.0)	8 (4.7)	68 (39.5)
	70歳代以上	185 (100.0)	48 (25.9)	42 (22.7)	27 (14.6)	23 (12.4)	79 (42.7)	52 (28.1)	34 (18.4)	11 (5.9)	81 (43.8)
性別	男性	382 (100.0)	90 (23.6)	74 (19.4)	39 (10.2)	54 (14.1)	129 (33.8)	106 (27.7)	52 (13.6)	11 (2.9)	168 (44.0)
	女性	404 (100.0)	79 (19.6)	52 (12.9)	35 (8.7)	49 (12.1)	100 (24.8)	112 (27.7)	60 (14.9)	9 (2.2)	207 (51.2)

[今後、参加したい（継続したい）地域活動やまちづくりの取組]

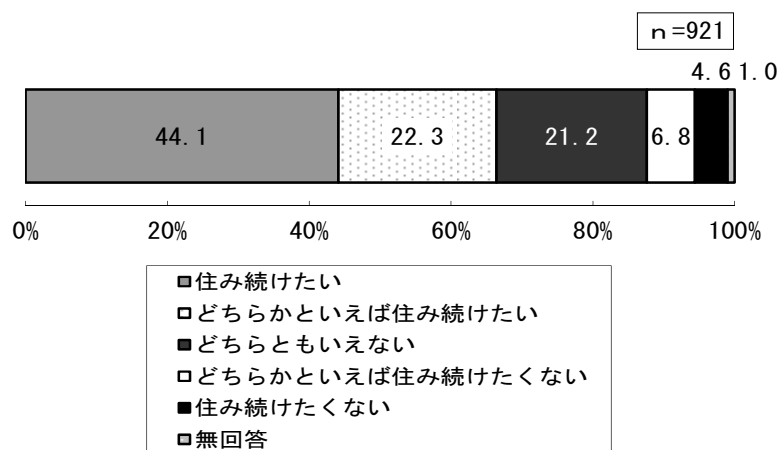
		合計	め自然 の活を 動守る た	た安 め全 の・活 安 動心 の	活人支 動を援 援が必 助す要 するな	動にま つち な活 げ活 る性 活化	へ会町 のが内 参行会 画う・活 画自治	のイ市 参ベが 画ン実 ト施 等す へる	意市 見政 のに 提对 出する	動上 記以 外の 活	無 回 答
全体		921 (100.0)	337 (36.6)	310 (33.7)	332 (36.0)	323 (35.1)	285 (30.9)	318 (34.5)	270 (29.3)	67 (7.3)	333 (36.2)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	270 (36.9)	252 (34.5)	261 (35.7)	251 (34.3)	230 (31.5)	261 (35.7)	214 (29.3)	56 (7.7)	255 (34.9)
	金木地域	143 (100.0)	46 (32.2)	42 (29.4)	54 (37.8)	54 (37.8)	37 (25.9)	39 (27.3)	41 (28.7)	8 (5.6)	59 (41.3)
	市浦地域	44 (100.0)	20 (45.5)	15 (34.1)	16 (36.4)	17 (38.6)	18 (40.9)	18 (40.9)	14 (31.8)	3 (6.8)	17 (38.6)
年齢	20歳代	112 (100.0)	32 (28.6)	32 (28.6)	36 (32.1)	39 (34.8)	26 (23.2)	40 (35.7)	30 (26.8)	7 (6.3)	47 (42.0)
	30歳代	131 (100.0)	51 (38.9)	44 (33.6)	46 (35.1)	44 (33.6)	38 (29.0)	49 (37.4)	36 (27.5)	3 (2.3)	43 (32.8)
	40歳代	151 (100.0)	54 (35.8)	46 (30.5)	49 (32.5)	52 (34.4)	41 (27.2)	45 (29.8)	44 (29.1)	9 (6.0)	62 (41.1)
	50歳代	166 (100.0)	66 (39.8)	60 (36.1)	66 (39.8)	61 (36.7)	60 (36.1)	71 (42.8)	52 (31.3)	14 (8.4)	51 (30.7)
	60歳代	172 (100.0)	71 (41.3)	65 (37.8)	68 (39.5)	64 (37.2)	68 (39.5)	57 (33.1)	52 (30.2)	11 (6.4)	45 (26.2)
	70歳代以上	185 (100.0)	62 (33.5)	61 (33.0)	65 (35.1)	62 (33.5)	51 (27.6)	56 (30.3)	54 (29.2)	23 (12.4)	83 (44.9)
性別	男性	382 (100.0)	145 (38.0)	140 (36.6)	146 (38.2)	144 (37.7)	133 (34.8)	137 (35.9)	129 (33.8)	31 (8.1)	126 (33.0)
	女性	404 (100.0)	144 (35.6)	128 (31.7)	142 (35.1)	133 (32.9)	121 (30.0)	139 (34.4)	108 (26.7)	25 (6.2)	150 (37.1)

## Ⅱ-5. 定住意向

市への定住意向を把握するため、アンケートを行いました。調査結果は、次のとおりとなっています。

全体では、「住み続けたい」と答えた人が44.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が22.3%、「どちらともいえない」が21.2%、「どちらかといえば住み続けたくない」が6.8%と続いています。地域別にみると、五所川原地域では「住み続けたい」と答えた人が50%近くと高くなっていますが、逆に市浦地域では30%以下と低くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「住み続けたい」と答える人の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代、40歳代では「どちらかといえば住み続けたい」、30歳代では「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

【図-59 まちに住み続けること（定住意向）についての割合（全体）】



【表-42 まちに住み続けること（定住意向）についての割合（属性別）】

		合計	住み続けたい (%)	どちらかといえば住み続けたい (%)	どちらともいえない (%)	どちらかといえば住み続けたくない (%)	住み続けたくない (%)	無回答 (%)
全体		921 (100.0)	407 (44.1)	205 (22.3)	195 (21.2)	63 (6.8)	42 (4.6)	9 (1.0)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	338 (46.1)	159 (21.8)	143 (19.6)	49 (6.7)	35 (4.8)	7 (1.0)
	金木地域	143 (100.0)	57 (39.8)	35 (24.5)	33 (23.1)	11 (7.7)	6 (4.2)	1 (0.7)
	市浦地域	44 (100.0)	12 (27.3)	11 (25.0)	17 (38.6)	3 (6.8)	1 (2.3)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	28 (25.0)	38 (33.9)	33 (29.5)	8 (7.1)	4 (3.6)	1 (0.9)
	30歳代	131 (100.0)	31 (23.7)	39 (29.8)	40 (30.4)	9 (6.9)	12 (9.2)	0 (0.0)
	40歳代	151 (100.0)	43 (28.3)	43 (28.5)	38 (25.2)	17 (11.3)	9 (6.0)	1 (0.7)
	50歳代	166 (100.0)	82 (49.4)	31 (18.7)	34 (20.5)	11 (6.6)	8 (4.8)	0 (0.0)
	60歳代	172 (100.0)	98 (57.0)	35 (20.3)	24 (14.0)	9 (5.2)	5 (2.9)	1 (0.6)
	70歳代以上	185 (100.0)	123 (66.4)	19 (10.3)	25 (13.5)	9 (4.9)	4 (2.2)	5 (2.7)
性別	男性	382 (100.0)	185 (48.4)	71 (18.6)	81 (21.2)	27 (7.1)	15 (3.9)	3 (0.8)
	女性	404 (100.0)	172 (42.5)	101 (25.0)	90 (22.3)	20 (5.0)	19 (4.7)	2 (0.5)

## Ⅱ-6. まちづくりのキーワード

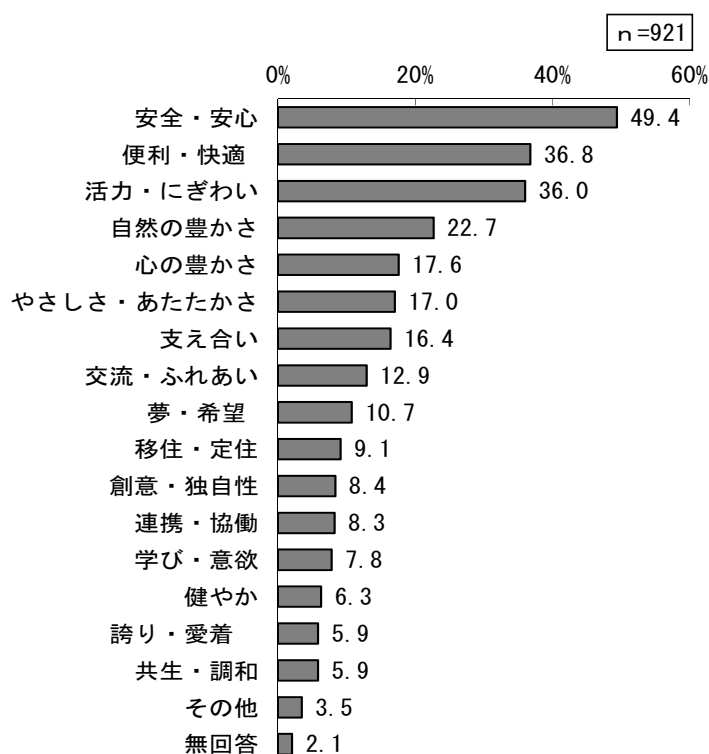
これからの五所川原市のまちづくりを進めていくうえでキーワードとなるのは、どのような言葉を思い浮かべるかということについてアンケートを行いました。調査結果は、次のとおりとなっています。

全体では、「安全・安心」と答えた人が49.4%と最も高く、次いで「便利・快適」が36.8%、「活力・にぎわい」が36.0%、「自然の豊かさ」が22.7%と続いています。

地域別にみると、五所川原地域及び金木地域では、「安全・安心」の割合が最も高く、市浦地域では、「自然の豊かさ」の割合が最も高くなっています。

年齢別にみると、20歳代を除いた全ての年代で「安全・安心」の割合が最も高くなっています。20歳代では「活力・にぎわい」の割合が最も高く、50%を超えているほか、20歳代、30歳代、40歳代では「活力・にぎわい」や「便利・快適」の割合が高くなっています。70歳代以上では「支え合い」や「交流・ふれあい」が他の年代と比べて高くなっています。

【図-60 これからのまちづくりのキーワード】



【表-43 まちづくりのキーワード（その他意見）】

財力	充実した子育て	産業・雇用	安定収入
町内のゴミ拾い	子どもの住みやすさ	心のふるさと	人材育成と活用
仕事	仕事	即決	毎日ゴミ拾い
雇用創出	都市化発展	子育て	インフラ整備
生活職業の安定	仕事、雇用	仕事、余裕	イノベーション
残り全部	貧困救済		

【表-44 まちづくりのキーワードについての割合（属性別）】

		合計	さ自然の豊か	心の豊かさ	わ活い・にぎ	便利・快適	夢・希望	誇り・愛着	移住・定住	性創意・独自	学び・意欲
全体		921 (100.0)	209 (22.7)	162 (17.6)	332 (36.0)	339 (36.8)	99 (10.7)	54 (5.9)	84 (9.1)	77 (8.4)	72 (7.8)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	150 (20.5)	127 (17.4)	266 (36.4)	273 (37.3)	73 (10.0)	39 (5.3)	67 (9.2)	65 (8.9)	58 (7.9)
	金木地域	143 (100.0)	41 (28.7)	26 (18.2)	51 (35.7)	47 (32.9)	20 (14.0)	11 (7.7)	12 (8.4)	12 (8.4)	11 (7.7)
	市浦地域	44 (100.0)	18 (40.9)	8 (18.2)	15 (34.1)	19 (43.2)	6 (13.6)	4 (9.1)	5 (11.4)	0 (0.0)	3 (6.8)
年齢	20歳代	112 (100.0)	25 (22.3)	8 (7.1)	58 (51.8)	51 (45.5)	8 (7.1)	10 (8.9)	17 (15.2)	12 (10.7)	9 (8.0)
	30歳代	131 (100.0)	22 (16.8)	16 (12.2)	61 (46.6)	59 (45.0)	14 (10.7)	8 (6.1)	9 (6.9)	11 (8.4)	15 (11.5)
	40歳代	151 (100.0)	17 (11.3)	20 (13.2)	52 (34.4)	73 (48.3)	19 (12.6)	9 (6.0)	19 (12.6)	10 (6.6)	18 (11.9)
	50歳代	166 (100.0)	31 (18.7)	36 (21.7)	69 (41.6)	63 (38.0)	28 (16.9)	8 (4.8)	17 (10.2)	17 (10.2)	12 (7.2)
	60歳代	172 (100.0)	55 (32.0)	38 (22.1)	55 (32.0)	51 (29.7)	11 (6.4)	11 (6.4)	12 (7.0)	17 (9.9)	10 (5.8)
	70歳代以上	185 (100.0)	58 (31.4)	42 (22.7)	36 (19.5)	42 (22.7)	19 (10.3)	8 (4.3)	10 (5.4)	9 (4.9)	8 (4.3)
性別	男性	382 (100.0)	94 (24.6)	72 (18.8)	139 (36.4)	136 (35.6)	47 (12.3)	22 (5.8)	34 (8.9)	40 (10.5)	29 (7.6)
	女性	404 (100.0)	85 (21.0)	71 (17.6)	150 (37.1)	158 (39.1)	38 (9.4)	24 (5.9)	36 (8.9)	29 (7.2)	34 (8.4)

		合計	あ交流・ふれ	健やか	あやさしたかさ・	安全・安心	支え合い	共生・調和	連携・協働	その他	無回答
全体		921 (100.0)	119 (12.9)	58 (6.3)	157 (17.0)	455 (49.4)	151 (16.4)	54 (5.9)	76 (8.3)	32 (3.5)	19 (2.1)
居住地域	五所川原地域	731 (100.0)	97 (13.3)	48 (6.6)	121 (16.6)	366 (50.1)	124 (17.0)	45 (6.2)	57 (7.8)	28 (3.8)	15 (2.1)
	金木地域	143 (100.0)	18 (12.6)	8 (5.6)	27 (18.9)	75 (52.4)	22 (15.4)	8 (5.6)	12 (8.4)	2 (1.4)	2 (1.4)
	市浦地域	44 (100.0)	4 (9.1)	2 (4.5)	8 (18.2)	14 (31.8)	5 (11.4)	1 (2.3)	7 (15.9)	1 (2.3)	0 (0.0)
年齢	20歳代	112 (100.0)	14 (12.5)	4 (3.6)	14 (12.5)	50 (44.6)	17 (15.2)	6 (5.4)	6 (5.4)	5 (4.5)	2 (1.8)
	30歳代	131 (100.0)	12 (9.2)	12 (9.2)	22 (16.8)	68 (51.9)	13 (9.9)	9 (6.9)	15 (11.5)	3 (2.3)	2 (1.5)
	40歳代	151 (100.0)	14 (9.3)	10 (6.6)	28 (18.5)	73 (48.3)	16 (10.6)	7 (4.6)	11 (7.3)	9 (6.0)	2 (1.3)
	50歳代	166 (100.0)	14 (8.4)	11 (6.6)	20 (12.0)	82 (49.4)	13 (7.8)	11 (6.6)	17 (10.2)	5 (3.0)	2 (1.2)
	60歳代	172 (100.0)	25 (14.5)	9 (5.2)	35 (20.3)	89 (51.7)	37 (21.5)	8 (4.7)	17 (9.9)	5 (2.9)	3 (1.7)
	70歳代以上	185 (100.0)	40 (21.6)	12 (6.5)	36 (19.5)	92 (49.7)	55 (29.7)	13 (7.0)	10 (5.4)	4 (2.2)	7 (3.8)
性別	男性	382 (100.0)	49 (12.8)	17 (4.5)	62 (16.2)	178 (46.6)	60 (15.7)	29 (7.6)	37 (9.7)	15 (3.9)	8 (2.1)
	女性	404 (100.0)	56 (13.9)	34 (8.4)	67 (16.6)	212 (52.5)	71 (17.6)	19 (4.7)	30 (7.4)	10 (2.5)	4 (1.0)

## Ⅱ-7. 五所川原市が目指す姿と取組

今回のアンケート調査で、今後目指すべき姿を見据え、多様な主体による協働のまちづくりを推進するための参考資料とするため、五所川原市が目指す姿とその実現に向けた取組についてうかがったところ、921人のうち、20歳代から57人(50.9%)、30歳代から55人(42.0%)、40歳代から69人(45.7%)、50歳代から76人(45.8%)、60歳代から61人(35.5%)、70歳代以上から60人(32.4%)、合計378人(41.0%)から意見が寄せられました(要望などの自由意見も掲載しています)。

【表-45 五所川原市が目指す姿と取組】

### ■20歳代(57件)

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
1	若者が安心して働けるまちになってほしい。	企業・事業所	雇用を増やす。
2	住みやすい、雇用の安定、若者が県外ではなく地元で働きたいと思わせるようなまち。	行政	保育料減額。若い世代が高い保育料・家賃・税金・生活費など出費が多い。その割に給料は低い。未来が見えない。行政で工夫してほしい。
		企業・事業所	賃金の上昇。
3	産業・雇用の活性化。若い人の定着。	行政	企業の誘致。
		企業・事業所	賃金の増加。
4	ずっと住んでいたいと思えるようなまち。農業をはじめとする若者の雇用の場が安定していない。どんどん廃れていっているような気がする。	行政	農業の研究・開発に税金を投入。 若者への今以上の職業サポート。
		関係機関	米だけでない売れる農業。 ブランドのついている農業作物の開発・研究。
		企業・事業所	地元からの採用を多くする。企業誘致など。中央の大学から帰って来ても、それに見合った収入が無い。
5	観光施設の強化。立ネプタの時期しか他県から人が来ないのは駄目。子どもを育てる為に必要なお金・環境を整える。	行政	中小企業は雇用を増やす為に協力しているのだから、観光施設などには、色々と援助も必要。
		市民	他県から来た人に五所川原の良い所を勧める。住みやすいまちづくりに協力する。
6	五所川原駅を利用する人が増えるように建物を増やしてほしい(駅ビルみたいに)。	—	—
7	黒字財政	企業・事業所	雇用促進
		市民	購買意欲を高める。消費を増やす。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
8	見当違いな方向に予算を使わないまち。全ての市民を平等に幸せにするのは無理なので「最適解を見つえられるまち」が良いです。	—	それぞれの分野の専門に任せる。
9	若者が安心して働けるまちになってほしい。 高齢者が不安なく老後を過ごせるまちになってほしい。	行 政	学校の建て替えなど、本当に必要な事にお金を使う。大町再生計画など無意味な事にはもうお金を使わない。克雪ドームなどあまり必要でないものは予算が余ったら建てる。 市営住宅をもっと増やしてほしい。
		企業・事業所	雇用を増やす。
		市 民	税金をきちんと納める。
10	車ありきの社会構造になっている。私は自転車を利用しているが、非常に走りにくいし、段差が急で衝撃をくらう。また、冬の除雪も未熟である。ここに引っ越してきたばかりの頃、雪が歩道に積み重なり通れない事が何度もあった。用水路がところどころ塞がれないのも非常に危険である。	行 政	市民や市外から移転してきた者たちが不自由なく暮らせるようにという事を念頭に、快適な五所川原市を目指して早急に取り組んでもらいたい。
11	個性のあるまち。	—	—
12	花火大会のマナー指導。立ちネプタの運行経路拡大。市の情報網。	市 民	マナー、常識を再確認してほしい。
13	働く場所の充実。	—	—
14	住み良い豊かなまちは出来ないと思います。文章で良いことを書いても実行していないのが五所川原。市役所も病院も窓口に行けば何でもこんな事やらなければならない職員がいる？本当に市民の為なのか？	—	—
15	雇用を生み出す。	—	—
16	子どもや高齢者が住みやすいまち。	—	—
17	子どもや若い人が集まるような地域。 このまちで子どもを育てたいと思えるような教育のすすめ。	行 政	最低賃金の引き上げ。
		関係機関	五所川原市出身で県外の大学を卒業する若者を再び呼び戻す為、求人を出したり、生活保障の案内を出す。
		企業・事業所	高卒生・大学生向け企業アピール。
18	エルムの街を中心とした買物エリア。駅前を中心とした買物エリアの	行 政	市の広報では、市が何をしているのか分かるが、市議会議員は何をしているのか不透明で、市民として納得がいけない。五所川原市として一生懸命



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	<p>完全差別化。</p> <p>現在、エルム自体での集客をマンネリ化しないように、道路整備や都市部に中心の出店店舗の誘致。</p> <p>若年層が都市部への流出をしない為の地場就職を根付かせ活き活きとしている市。</p> <p>東京を例にすると、武蔵野市の吉祥寺のように「青森県一住みやすい・住みたい市」にする。</p> <p>大雪以外の自然災害が少ない地域は五所川原市以外ないと思う。商人のまちとしての活発なまちづくりが一番重要。</p>		やってくれてるので、もっともっと市民にアナウンスや、市民アンケートの回数を増やし、市民一人一人が主役だという事をアピールすれば良いと思う。
		関係機関	市のサポートをするのももちろんだが、自ら発信して改革をしていくという意気込みが必要。また、関係機関とは関係ないと思うが、ハローワークの職業訓練等は更に仕事の意欲を無くすものだと思うのでやめた方が良い。仕事をしていない人はわがままな人が多いのもっと厳しくすべきだ。
		企業・事業所	青森へUターンして来た身なので、青森の仕事は本当にアットホームで働きやすいと思う。ただ仕事量・質は決して高くないと思う。メリハリをつけた仕事をするよう、マネジメントをしっかりしてほしい。五所川原を支えているのは自分たちと自負して頑張してほしい。
		市 民	立佞武多や花火大会、市民マラソンなど、もっと市民で盛り上げて参加すべき。特に立佞武多はもっと市民で盛り上げるべき。参加団体を増やし、参加団体に対しても、もっともっと市は資金面でサポートすべきと思う。弘前に負けないような祭りをしたいと参加者は思っているはず。
		その他	県内でも住みやすいまち、仕事のあるまちとして頑張してほしい。もちろん、こうやってただ言うだけではないが、市民を参加させて協力させて頑張らしましょう！
19	子どもを育てて行きたいと思えるまち。子どもが元気に賢く育つまち。	行 政	雇用：子を持つ事が出来る世帯（20代～40代）の雇用の促進を重点に。 福祉：よほどお金が無くても、子を持つ事が可能になるよう予算を投入。
		企業・事業所	雇用：若い人でも極力高い給与で就けてあげる。その分働く時間を増やしても良い。
		市 民	若い人はもっと働く。稼ごうという意欲を持つ。税金を払う。 お金がある高齢者は若者の支援。お金の無い人は無駄な出費を減らす。
20	若い人達が働ける場所（雇用関係）が無い。	行 政	役所関係の人が、定年後いつまでも他の事業所へ天下りしているのはやめた方が良い。若い人の働く場所が無くなる。
		企業・事業所	定年延長でなく、若い人の雇用をした方が良い。
21	ゴミの分別。ポイ捨てが無くなると良いと思う。綺麗なまちづくりに取	市 民	コンビニなどへ家庭ゴミを捨てる人を、警察と協力し取り締まって欲しい。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	り組んで欲しい。		
22	金木地域の生活環境（下水等）を整備してほしい。	行 政	公共工事の発注。
23	雇用が安定していて若者層が安心して生活が出来るまちを目指してほしい。	行 政	資格試験の紹介や勉強会を行う。
		企業・事業所	雇用の創出や長期雇用。
		市 民	資格取得の為の勉強。
24	中心市街地だけでなく、一般市民の居住区域にも融雪溝を、一日も早くお願いします。	—	—
25	観光については祭り期間だけでなく一年を通して観光客を集客できるようにした方が良くと思います。医療に関しては、その仕事に携わる人がもっと病人やその家族に対して、優しさを持って対応してほしいと思います。	行 政	建物を造る時、その時の思いっきだけでなく、長期にわたっての見通しをもって建ててほしい。
		関係機関・団体	医療機関では、市民が安心して受診できるようにしてほしい（今までの状態では安心して受診できない）。
		企業・事業所	若い人達がもっと働ける場所を作ってほしい。
		市 民	市を豊かにする為に、市内での買い物、また、商店でも市民が買い物したくなる店づくりをしてほしい。
26	都市計画の失敗した五所川原市の行政。個人の欲の考えをよくし、心から地域の事を考えた取組が出来る人材が必要。このままではその場のぎであり衰退するのみ。	—	—
27	安定した雇用がある。	行 政	企業の誘致。
28	高齢者が安心して住めるまち。なおかつ、女性が子どもも産みやすく、環境整備の整った自然豊かな住みやすいまち。	行 政	安定した財源の確保。雇用の安定。交通の便利さ。
		関係機関・団体	子どもやお年寄りの為の教育の充実。障害者などの心や体にリスクを負った人の為のまちづくり。
		企業・事業所	低賃金の人の為の安心サービス。買い物に付随したサービス。
		市 民	お互いを思いやった生活。騒音防止策。車の安全運転など。
		その他	ボランティア活動の強化や献血サービスを増やす。
29	除雪関連（道路以外においても）をもっと充実させてほしい。雪を捨てる場所が少なくなっているから、その点の対策がなされたまちになれば良いと思う。	行 政	予算をもっと確保する。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
30	子育て世代や高齢者が安心して暮らせるまち。	行 政	乳幼児の医療費の免除はありがたいが償還払いの便利が悪いので、つがる市のように窓口負担をゼロの体制を作ってほしい。まちなかに休憩所（トイレ・オムツ台・授乳室・キッズスペース）など開放感のある、人の集まる場所がほしい。
		関係機関・団体	病院との連携。
31	活気あふれる五所川原。観光客を増やしたい。	行 政	五所川原市のゆるキャラを作る。
		企業・事業所	五所川原市名産の物にゆるキャラのシールを貼る。
		市 民	ネプタで盛り上げる。 農家の方々の写真付きの野菜を売る、買う。
32	高齢者の方々ともっと深い繋がりを持ち、病院などもっと優しくしてほしい。使いやすくしてほしい。	行 政	保証金制度（無償で貸し出す、差し上げる。）ようにしてほしい。
33	老若男女、みんながある程度満足できるまち。	—	—
34	雇用がもっと生まれて無職の人がいない。	行 政	景気の回復。
		企業・事業所	求人の増加。
35	住みやすいまちになってほしい。	—	—
36	立佞武多期間だけでなく、普段から賑わいあふれるまちになってほしい。子ども達がたくさん遊べる公園が増えると嬉しい。公園を整備するだけでも良い（保育士をしているので特にそう思う）。お祭り期間だけでなく、その他の時でも観光客が来るようなまち。	関係機関・団体	歩行者天国のような催し物を大町やドームでやるのはどうか。
		企業・事業所	（大町・寺町・駅前など）シャッターが閉まっている店が多い。もっとお店が集まって、活気溢れるまちになると嬉しい。「店を貸す」という事は出来ないのか。
		市 民	一人ひとりが挨拶したり、声を掛け合うと（近所の人からでも）笑顔溢れるまちになると思う。
37	市内全体の活性化・利便化（今、エルクの街周辺に集中している商業施設を駅前・唐笠柳以外にも分散）。	行 政	バス・鉄道の整備。
		関係機関・団体	大型商業施設建設。
		市 民	もっと市内で買い物・飲食をする。
		その他	五所川原市以外の人達にいっぱい五所川原に来てほしい。
38	子どもを安心して育てられる環境であってほしい。	行 政	保育料の値段が高すぎる。補助金を出すなどの取組みを行ってほしい。医療費も戻ってくるなら最初からお金を払わなくても良いシステムに変えてほしい。 子ども達の通学路の除雪をきちんとしてほしい。
		関係機関・団体	児童館を利用できる年齢制限の幅を広げてほし

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			い。近くに親族のいない家庭は困る。
		その他	公園がたくさんあるのにトイレが無い。他の県から引っ越して五所川原市にやって来たが、信じられない事がたくさんありすぎる。子ども達は外で用をたせと言うのか。
39	環境→空気の良いまち。	市 民	ワラ焼きをしないようにする。
40	1 年齢に関係なく、すべての年代の人々が自立していけるまち。 2 子どもや子どもを持つ親が、安心して暮らせるまち。	行 政	1 長期的な就労に繋がる就職支援（緊急雇用だけでは根本的な解決にならない）。 2 小中学生の登下校時のパトロールの強化。
41	交通手段が不便すぎる。観光に来たとしても駅周辺があんなだと嫌だ。帰省した際がっかりされる。	—	—
42	五所川原に住む事が出来て良かったと思えるまち。	行 政	市民のお金の負担を考える（安くしたり無料にしたり）。
		関係機関・団体	市民へのサービス（無料で出来る事を増やす）。
		企業・事業所	市民へのサービス（無料で出来る事を増やす）。
		市 民	地域づくりの活動に積極的に取り組む。
43	働く場所がもっと多くなると、若い人達も五所川原に住み、人口増加につながると思う。	—	—
44	現在、五所川原駅前やロータリー付近は整備され、祭り用に電線もなく、一見良く見えますが、活気が無く、人通りも少なく、昔の賑わいはない。駐車場を整備し、新しいまちづくりを真剣に考えるべき。青森市や八戸市にある食専門の横丁を参考に、駅前帯を食専門にするのもひとつの手。屋台や立ち飲み屋など、最近の若い人達はそういう所に集まったりする。	行 政	広くアンケートを募り、駅前開発を真剣に考え取り組む。
45	福祉・医療に力を入れるまち。	行 政	雇用を増やすなど。
		関係機関・団体	資格を取れる事を増やす。
		企業・事業所	ボランティアを進んで行う。
		市 民	助け合う心を持つこと。
46	行事やイベント（ねふた）など皆が参加でき、少子化が減るよう、児童等の医療費の確保。教育を充実させる。	関係機関・団体	現西北病院の駐車場が少なく大変問題だと思っている。新「つがる総合病院」は立体駐車場だと聞いた。今の場所は駐車場はあるけど渋滞していて大変だと思う。何か良い改善策を考えてほしい。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
47	交通の便利さ。 働く場所(雇用)を増やしてほしい。 伝統芸能を大切にしていけるべきである。 医療を充実してほしい。	市 民	交流を大切にしてほしい。
48	子どもが外で安全に遊べるような環境作り。 医療の整備されたまちづくり。 雇用(市内)の増大。 地域住民の交流の機会を増やす(もっと住民同士が交流できるまち)。	行 政	公園や川などの整備。 イベントの企画。 医療に関するアンケートなどとして住民の考えを聞く機会を持つ。
49	観光地や店、もっと楽しい場所が増えると良い。	—	—
50	時代の流れに逆行せず、スムーズに近代化・進化できるまちになってほしい。なぜ、市外からの客で賑わうエルム周辺ではなく、交通が不便な中心部に力を注ぐのか、大半の人々のニーズに逆らった再開発に意味があるのか、不便な中心部に新病院が出来るのか。大人になった今、疑問が出来ました。	行 政	今、人が集中する地域での、祭りイベントの開催などを考えてほしい。
		企業・事業所	花火大会で素晴らしい花火を観させてもらっているので感謝している。厳しい時代だが、何とか来年もお願いします。
		市 民	祭り・イベントへの自主的な参加が大事だと思う。まだまだ発展する可能性があるので進んで意見を出してほしい。
51	雇用が何より一番大事と思う。自分達の住むまちで働けて、生活できる事は根本。五所川原はそれが出来ない。	—	—
52	子育てに適したまち。 便利なまち。 きれいなまち。 伝統的、日本的な都会。	行 政	市行政機関・商工施設・病院等に行く循環鉄道を整備。 大きめの公園等の充実。
		関係機関・団体	病院に入る為の渋滞の緩和。 伝統の保護。
		企業・事業所	更なる誘致。 業種の多様化。
		市 民	マナーの徹底。
53	都会化して人が集まる魅力的なまちになれば良いと思う。	行 政	大企業を誘致して雇用を生み出す。
		企業・事業所	労働賃金を上げる。若い人を育てる。
54	防犯対策の個々の認識の高さを持つ。	行 政	イベントの実施
		関係機関・団体	イベントの開催
		企業・事業所	イベントの参画

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
		市 民	イベントの参画
55	駅を中心として商業・交通の活性があるまち。	行 政	駅前の道路整備、公共交通の整備。
		関係機関・団体	商店街一帯での経済活性化。
		企業・事業所	商店街の空き店舗を利用したイベント（フリーマーケットやアトリエなど）。
		市 民	ミス立ねふたなどを選んで各イベントへの参加。
56	常に新しいものに目を向けた独自性のあるまちになると良い。青森・弘前を追うのではなく、もっとグローバルでセンスの良い事をしてほしい。	行 政	センスの無い責任者が決めるのではなく、ちゃんとした知識人に依頼する。もっと五所川原全体が一体感のあるまちになるようにしてほしい。
57	ハローワークが人であふれている事がない世の中。	行 政	事業所への援助。実際にどのような現状で取り組んでいるのかを現場で確認し、それから必要な指導をしていく。書面だけのやり取りでなく、実際の医療現場・福祉事業所の実態を知る必要がある。
		関係機関・団体	定年退職という言葉があるのだから、定年で終えるべき。理事とか顧問以外にも天下りはやめるべき。天下りの為雇用が減る所もある。
		企業・事業所	ベテランのスタッフも必要だが、ベテランもいつまでもいるわけではないので、若い人の教育に力を入れるべき。若い人はすぐ辞めると思われてゆとり世代と言われるが、そのゆとりを作ったのは自分達だという事を忘れてはいけない。
		市 民	自分の事だけじゃなく、周囲を見るべき。年齢に関係なくお互いを見て支え合えば良いのにとと思う。年寄りだからとか、若い人はとか、妊婦だからとか、小さい子がいるとか関係ない。みんな平等に考えるべき。

### ■30 歳代 (55 件)

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
1	働く場所が少ないので雇用を重視して無駄に税金を使わず雇用に使ってほしい。	—	—
2	市民全ての人に繋がりが感じられるまち。若者から高齢者、外国人みんなが、ここが自分のまちと感じられるまち。がんばる人を素直に応援	行 政	個人商店の技術力の向上。大型店の出店だけがシャッター通りの理由ではないと思う。もっと競争力をつける場を設けてみてはどうか。
		関係機関・団体	色んな人を巻き込めるような企画作り、勧誘方法。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	出来るまちなしてほしい。	企業・事業所	何かをやろうとする人をサポート出来る体制（もちろん中身を精査して）。
		市 民	他と違う人を認められる忍耐。少数派に対する差別的な感覚をなくす事。
		その他	五所川原でも YOSAKOI をしてみては。
3	老若男女が一つでも多く安心して住めるまちが理想です。中心部はもちろん大事ですが、広い五所川原市全体で様々な活動があり、人が生き生きと行き交う事で市全体が本当の活性化になると思っています。	—	—
4	安定した雇用。工場やサービス提供など。アウトソーシングの優良な受け皿として。観光事業→魅力ある商品。魅力あるサービス。	行 政	企業誘致。起業の奨励。上記に関する（観光に関して周遊観光。周囲市町村との連携）税金の面で優遇。 特産品の効果的 PR。
		企業・事業所	観光資源の発掘。五所川原市の特産品の開発。質の高い商品サービスの提供。
		市 民	みんな仲良し助け合い。
5	立ねぷたに頼らない自立した市	行 政	無駄使いの減少。 若者が就職しやすい市への変化。
		企業・事業所	新卒者の受入。
6	除排雪の徹底。きれいな道路・歩道	行 政	市民・子どもの事を考えられる方が指揮をとる。
		関係機関・団体	各作業者の作業の統一化。
		企業・事業所	丁寧な仕事をする所ならどこでも。
		市 民	市民からもっとアピールを。
7	子どもとお年寄りに優しいまち。 若い人が働く所を増やしてほしい。	行 政	西目屋村の施策も参考に。
8	独自性を高め、祭り期間以外も安定して客が訪れるような名物を生み出す。料理等五所川原でなければいけない作りたてで消費期限が短いものとか…。	行 政	税金に見合った運営をしてほしい。失敗は許されない。中途半端な改革ならしない方がまし。
		関係機関・団体	一部の人が有益になるようなことはやめるべき。
		企業・事業所	貸金の安さをアピールし、海外進出を歯止めする匠の技を持った人材を育成する。
		市 民	人の意見に文句をつけるだけでなく、一人一人が五所川原に好感を持てるように努力すべき。
		その他	除雪だけは何とかしてほしい。祭りより市民の声を優先しないことが理解できない。
9	まちを活性化する為には人口の増	行 政	企業誘致活動等。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	加が不可欠であると思う。	企業・事業所	雇用・受け入れ。
10	若い人達が県外に流出しないで、定住者が増えるように、雇用に取り組むことが大切かと思えます。	行 政	生活環境の整備。 道路の除雪がうまく行われていない地域もある。 下水・し尿処理、衛生的に必要と思えます。未整備な所がありますので取り組んでほしい。
		関係機関・団体	歩道や公園の整備の取組。
		企業・事業所	若い人にはパートではなく、すべて正社員で雇用する。
		市 民	安全・安心の為の活動。 市が実施するイベント等に参加して、自然の豊かさを知る事によって、五所川原のまちもいいなと思うようになると思えます。
11	安心して子育て出来る環境づくり。	行 政	低所得者への支援の見直し。
		関係機関・団体	設備などの充実。
12	雇用が確保され、若者から高齢者までが気持ちよく働く事が出来るまち。住民が安心して暮らす事が出来るまち。	行 政	雇用の斡旋の充実。地元の PR。市民の要望（安全に関わるもの）への迅速な対応。
		関係機関・団体	行政からの指示への素晴らしい対応。取締りの強化。優良企業への低金利での融資。
		企業・事業所	綿密な計画のもと雇用の拡大。事業内容の改善
		市 民	一生懸命働く。安全・安心に対する関心を高め行政に移す。
13	若者が住みやすいまち。	行 政	20代～30代の市民に対する税制優遇を行う。 若年層を雇用する事業所に対して補助金を出す。 首都圏と大差ない賃金の雇用の誘致。
		関係機関・団体	商工会に中小企業診断士を置き、地元の若者の起業をサポート。
		企業・事業所	若年層にも、そこそこ高い賃金を支払い、消費を活性化させる。
14	市内の循環バスを増やすなど、免許の無い人々も配慮した交通のまちづくり。 町内会の交流の場が誰でも参加出来る取組をお願いしたい。 市全体で親切なまちづくり（観光）。	行 政	1日に2回程度（午前午後）巡回バスを走らせる。 なるべく全地域を対象に。
		関係機関・団体	立佞武多有料席を充実してほしい。
		市 民	町内会は、新参者の加入を積極的に行い、市民の交流の為に努める。
15	環境が整っているまち。	行 政	ゴミを減らす運動をする。
		関係機関・団体	ゴミを捨てない事。
		企業・事業所	ゴミを拾う事。



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
		市 民	ゴミの分別をきちんとする事。
16	自然豊かで子ども達の遊べる所がたくさんあり、親も安心して暮らせるまち。	行 政	公園などの整備の充実。
		企業・事業所	働く意欲、給料、就業場所の充実。
		市 民	ごみ拾いや花植えなどの活動。
17	子ども達が元気で暮らせる地域。特に医療面で。産婦人科をちゃんと。安心して赤ちゃんの産める地域を。取組については分かりません。ごめんなさい。	—	—
18	移住したい、便利で、快適なまち。みんな健康維持に努めるような姿勢を持つ何か、取組があればいい。	行 政	市職員の対応を優しくするのはもちろんだが、個別・個人に対して情報をもっと発信してほしい。分かりやすく個人の担当がいればいいのに。いろんなサービス・制度があるけど、知らずに生きている人がほとんどできっと損をしている。だから市の人は、市民の為に働いているのだから教えてほしい。日曜日でも開庁してほしい。
19	子育てしやすいまちになると良い。最近子育て支援事業も増えてきているが、子どもの医療費だったり、健診等の不満はよく聞くので、改善されるともっと住み良いまちになると思う。市民プールももう少し綺麗にしてほしい。	行 政	所得にかかわらず医療費（小学校入学まで）ただにする。健診が4ヶ月から1歳6ヶ月まで無いので、他市のように増やしたり、フッ素無料塗布もつけてほしいです。
20	安心して暮らせるまち（つながりのある地域づくり）。	行 政	仕組みとして、地域のつながりが出来るようなものを作る。
		関係機関・団体	行政・関係機関・団体、協働する。
		市 民	仕組みを有効に活用し、地域づくりの活性化に取り組む。
21	女性が安心して子どもを産める五所川原市になってほしい。周辺で支え合える環境作りに取り組んでほしい。	関係機関・団体	保育所に入所する時に安心して入所できる事が大切だと思います。 また、何か相談したい時も、気軽に相談できる機関があると良いと思います。
		市 民	住民が暖かく見守ってくれるだけで安心できるまちづくりが出来ると思う。
22	お年寄りから乳児まで、安全で安心して暮らせる。 生涯このまちにいたいと思わせる自然の豊かさ、まちの活気、手当て等の厚さ、安心して生活出来る雇用、魅力ある観光施設。	行 政	全国の市民にとってのより良い手当てや仕組みを積極的に取り入れてほしい。
		関係機関・団体	活動している事（内容）をどんどんアピールして、市民全体で興味を持てるように。
		企業・事業所	昔の60歳、現在の60歳では体力身体的衰えも違うので長く雇用する案を多く取り入れる。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			賃金を少しでも上げる努力。
		市 民	まずは自分のまちの良い所、悪い所を知り、愛する事。 地域ごとの習慣等根強いと思うが、それも津軽ならではの良さと感じお互い歩み寄る
23	子どもや若い人が生活しやすいまち。	行 政	道が狭いです。広くしてほしい。通学の時安全に。
		関係機関・団体	近所に幼稚園が無いです。遠くに通わなくても済むと嬉しいです。
24	市の中心部の活性化。	行 政	連絡・調整。資金提供。
25	ELM付近ばかり活性化しているような気がする。そうではなく、五所川原駅周辺の中小企業などが、もっと元気に明るくなれるようなまちにしてほしい。昔の商店街に戻ってほしい。弘前の土手町の商店街はみんな協力してがんばっている	行 政	中小企業にどんどん融資をするべき。
		企業・事業所	スタンプラリーなど、お客さんが何回でも来れるようなイベントをするべき。
		その他	駐車場を作るべき。
26	人が集まり、住みやすいまち。	行 政	娯楽施設（例えば図書館やスポーツジム）を運営する。「たちねふた」は定着し、運行周辺の整備も整ってきているはずなので、これ以上は必要ないと思う。
27	子育てしやすいまち	行 政	出産後のケア。 他の区域のように、高校まで医療費ゼロ。 他の区域のように、おむつ引き換え券（5万円分）。 ベビーカー・チャイルドシート他貸し出し。
28	医療機関の交通が便利になる事。子育てするにあたって活用出来るサービスや、常に変わる予防接種などの案内、福祉・障害者の制度の変更のお知らせなど、市民みんなが知り活用出来る事。	—	—
29	子育てしやすい環境・医療。 雇用が増え、働く人が増える事。	関係機関・団体	安心して出産・子育てをしたい。産婦人科の病院が増えれば良いと思う。
30	雇用の充実と賃金アップ。 子どもの遊び場所の安全確保（外で遊んだだけで怒られる）。 医療の充実。病院へ行った際、待たずに停められる駐車場の確保。	—	—
31	小さい頃からの教育に力を入れ、質の高い人材を育てれば、将来のまちの活性化に繋がる。質の高い教育を受ければ、子どもの未来も広がり、	行 政	小・中学校の基本教育の充実と質を高める。高校・大学は県や国へ働きかける。基本を整え、未来の取組をアピールし、企業の誘致をする。公園や運動の場の充実を図り、子どもの健康向上にも力を

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	質の高い人材のいるまちとなれば、企業が参入してくるだろうし、農業においても自ら発信したり工夫の必要な時代に対応出来れば、ゆくゆくは市民の生活向上へ繋がるし、地元に残る人も増え、まちの活性化に繋がる。		入れる。公共施設の充実。催しの充実。情報提供。
		関係機関・団体	JA などは新しい事を実践したい人に資金技術提供を惜しまず未来の農業を目指す。パソコンによる情報発信の充実。 基本教育改革への協力。
		企業・事業所	雇用の促進。地域の人との協力。
		市 民	全面的な協力。公共施設の利用。
32	働き盛りの年代 20～40 代が暮らしやすいと思えるまち。仕事・働く場が無ければ活性化されない。20～40 代が生き生きと生活出来れば、高齢社会でも協力したり支えあっていけると思う。	行 政	企業誘致。 正規雇用増加への取組。 子育てしながら働き続けられるまちづくりの提案。
		関係機関・団体	ハローワークから企業への有効求人増加。 福祉と働く人のパイプづくり（子育て応援）。
		企業・事業所	出産後も働ける会社づくりをする。 有望な人材の流出を止める。賃金・待遇の向上。
33	雇用が安定し、安心して出産・育児出来るように。また、将来の不安(年金など)がなくなれば良いと思います。	—	—
34	冬でもすみやすいまち。	行 政	冬場、大型車同士がすれ違えないような道路は拡張すべき。車通りの多い所など。 農道などは春まで通行止めで良い。無駄な除雪費の削減になる。
		関係機関・団体	もしも車が雪に埋まったら・・・吹雪の時にぶつかったら・・・等の対処を人々に広める。
		企業・事業所	毎年吹雪の吹き溜まりで、車の通行止めになる場所は決まっているので、常に除雪してほしい。
		市 民	不用な外出は控える。 車のライトはスモールでは見えないので、全部付けるように気をつける。
35	津軽鉄道といったローカル線、太宰のふる里等、立ちネプタ等、全国・海外にも根深いファンがいる。良き文化を残しつつ、交通機関のアクセス等不便さが解消され、快適・便利なまちづくりが実現することを願う。若者が働きやすく、定着したい魅力あるまちにしたい。	行 政	青森を訪れる方の多くが交通機関に関して「本数が少なすぎる」「接続が悪い」と不満をもらします。何年経ってもほとんど変わらないダイヤ、これは改善すべき。
		企業・事業所	雇用創生。
		市 民	県民性か市民性か、思ったことを内に秘める事が多いので、五所川原市を良くするために意見は出した方が良くと思う。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
36	他の自治体では（つがる市など）子どもの医療費が公費で支払われています。五所川原市の小さな子～小学生（12歳まででも）医療費窓口負担が無くなると良い、という声が多いと思う。子どもの具合が悪い時、受診できない子もこれからもっと出てくると思います。子どものいる家庭に、もっと子どもがほしいと思えるような教育・医療のまちになってほしい。	行 政	子どものいる家庭に医療費についてアンケートを行ってほしい。具合が悪い時、すぐ受診できているのか。
		市 民	医療費の自己負担がないからと、やたら病院に行くのはいけないという気持ちを持つ。
37	安心して子どもが産める・育てられる環境。 安心して老後を過ごせる環境。 楽しく観光できる環境。	行 政	電車で来る観光客を見ると、途中の店に入るでもなく、まっすぐ立佞武多の館へ向かっているように思います。アーケードも無くなり、雨や雪の時は大変そうです。前々から言われていますが、駅前環境作りも大切だと思う。
		企業・事業所	高齢化が進み、介護士の需要が不可欠ですが、車椅子への移動・介助等、最低限の事も出来ない人も多々見かけます。技術の向上を願っている。
38	みんなが住みやすいまち。それを考えるのが行政の仕事では。	—	—
39	子ども達がこの五所川原にずっと住みたいと思えるような市。働く場所、結婚後子どもが出来たら、産んで育てていきやすい環境。今の子ども達がいなくなると「賑わい・活力」「夢・希望」も無いと思う。「夢や希望」が持てる市が良い。	—	—
40	安心・安全。	行 政	市民の声を聞いたまちづくり。
		関係機関・団体	市民の声を聞いた組織づくり。
		企業・事業所	不正な事業をなくす取組。
		市 民	町内などでの集まりにて、安全・安心に関する情報交換を実施。
41	皆一人ずつ意識を持って、弱者には優しさを、自然の暖かさを。人に接する時は迅速・確実・丁寧を心がける。五所川原市が自然に隔々まで気が届く市になると良い。	行 政	皆一人ずつリーダーシップ意識を持ち、市民に親切に丁寧にし、自分達も市民の立場になったつもりで、心から五所川原に気を配ってくれたら良い。
		関係機関・団体	皆一人ずつ行政からの意志をしっかりと頭において、団体もキッチリガッチリ、迅速・確実もだが温かさもあると良いです。
		企業・事業所	皆一人ずつ、五所川原の温かさと人情を確実に気づかいながら、市民に近い分、心配りをしたら良いです。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
		市 民	五所川原市民として、市の自然を大切にし、皆に親切にし、五所川原を優しい心と清いまちにしたら良いです。
		その他	皆一人ずつ、協力し合って素敵な五所川原市になれば良い。
42	雇用・・・若い人が安定した職に就ける（就きやすい）環境になってほしい（ゆとり世代との意識のギャップのすり合わせも大変とは思ふ）。 医療・・・高齢者が「病院いらず」になるよう、健康づくりに取り組んでほしい。	行 政	教育もただ教えるだけではなく、世に出た時、どんな人間になりたいか?考えるカリキュラム作りが出来たらと思う。個人の意識の問題と思うが、自分の世界が狭いよりも「広いんだ」という事を知ってほしいから。
		関係機関・団体	市の体育館・集会所及び施設を借りて、地域の高齢者を募って、健康体操やしゃべり場を作ったらと思う。医療費が減るのでは?
		企業・事業所	もっと地元にも有力な企業があったら良いと思うが、個人レベルが低ければ入社できないと思うし、もっと若い人が高い目標を持てるような環境があれば良いと思う。
43	市役所の職員サービスの向上を望む。親切な部署もあれば、そうでない部署（見下しているような態度をとる職員）もあり、バラ付きがある。せっかく観光資源も生かして頑張っている職員が多いのに、一部の人のせいでイメージが悪くなるのはもったいない。	行 政	市民が気軽に窓口相談したり、来庁できるように職員の窓口サービス向上を望む。
		関係機関・団体	基本的に今のままで良い。NPO との連携もとれているので良いと思う。
44	<p>税金に見合った予算の執行を継続し、市民の税負担を低減し、市民に活力を与える。</p> <p>立佞武多・しじみ貝等の全国的に有名な観光・名産物のアピールを更に強化し収益力を強化する</p>	—	—
45	<p>1 乳幼児医療の無償化。</p> <p>2 健全な祭り運営。</p>	行 政	1 厳しい財政事情で何を優先すべきか迷うが、若い世代を定住化させる事に成功すれば、将来の財政基盤の安定に繋がり、活性化が実現できるのではないか。その為、乳幼児医療の無償化により、住みやすいまちのイメージづくりを行ってはどうか。
		関係機関・団体	2 立ちネプタの主催者はカラスはねとの排除・禁止すべきであった。青森ネプタのように観光客に被害が出てからでは遅い。祭りが盛り上がり欠けるのは、祭りの魅力が乏しくなったから。
		市 民	2 立ちネプタのカラス排除を訴えるべき。観光客にとっては、カラスはねとは異質の存在であり、

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			それを容認していれば市民の良識が問われる事になる。主催者とカラスはねととの押し合いは市のマイナスイメージである。
46	冬の農道の除雪が不足している。一方通行しか出来ず、毎年半分しか除雪が行われていない為、車がすれ違う時、雪に車が埋まるか、事故が起こりやすくなっている。自宅用道路の除雪時、家に向かって雪を毎日のように投げ捨てられて、家の窓ガラス2枚壊れました。家が道路に近い事もあり、大きな木にも毎年除雪車が、木に雪を捨てて行くのがとても嫌な思いをしています。木が雪でひどい状態になりました。	行 政	元気で楽しく。
		関係機関・団体	事故無く安全に。
		企業・事業所	みんな頑張っている。
		その他	五所川原にも、100円ダイソー大型店舗あればいいな。300円や500円ショップも東京にあるらしいので、ビル全体で100円300円500円だけのデパートってみんな買い物するよ。エルムのダイソースペース少なすぎると思う。
47	生活環境において、地域の皆さんが協力し合い、お互いに最低限のマナーやルールを守って頂きたい。高齢者や子どもが安心して住めるようなまちづくりに努めて頂きたい。市役所職員の態度に少し疑問を感じる（見下しているように見える）。	行 政	市民の立場に立って、もっと親身になって接して頂きたい。皆それぞれ悩みを解決して良い方向に進んでほしい。
		関係機関・団体	生活保護に対する援助が少し薄いように思える。8月から10%削減はかなり生活に影響を与えていると思う。
		企業・事業所	労働最低賃金をもう少し上げてほしい。求人を今以上に募集して頂き、長期間勤務出来る環境に努めて頂きたい。
		市 民	近隣住民との関わり合いを持つようにして、協力し合い、住みやすい環境を作れたら良いと思う。
		その他	冬場の除雪作業をもう少し増やして頂きたい。路上駐車はもっと厳しく注意すべきだ。
48	五所川原市内には温泉がいっぱいあるので、そのお湯を利用して側溝にお湯を流し、冬期間雪をそこに捨てて消雪したい。	—	—
49	エルム以外に休日行ける所を作ってほしい。	—	—
50	教育費→縮小。 子育て→産科病院の減少、保育料も低額、または、幼稚園みたく市から返還してくれる形など。	行 政	都市計画税を払っている人達にいかされていないし、市からの都市計画税に対する説明に納得がいかない。立ちねぶたの近くの道を工事が終わったかと思えばまた同じ所を掘り返して意味分らない。大町など昔、栄えた所に住んでいるだけで、お金をとられる意味がわからない。今はエルム付近の方が発展しているのに、取られていないし、払っている人達の除雪しやすいように雪を投げられる所を作るとかするなら分かるが、何にどう使っているのか分からないのに払わせられている方

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
			の身になって考えるべき。役場に暇そうな人達、何なの？あれで高い給料もらっているのはおかしい。課の連携がとられていないし、税金の無駄使いされてる気分。
51	働く場所が少なく給料が低い。 学校（大学）と仕事が無いので、子ども達が高校を終了すると市外・県外へ行ってしまう。これらを改善したい。五所川原市内で、全ての生活が出来る環境がほしい。	行政	冬の吹雪が辛い。道路防雪柵を増やしてほしい。三好へ向かう土手は何も見えません。
		関係機関・団体	立ちねぶたなど、祭りが成功しているので今後も頑張してほしい。
		企業・事業所	市内の人を雇用するようにしてほしい。エルムの街はすごいと思う。
		市民	年金をもらっている人達のボランティア参加（受診時院内付き添い、介助を行い医療・福祉職負担軽減）。
		その他	五所川原市民は五所川原市内で買い物をするようにする。
52	中心市街地の活性化を諦めて、郊外の発展に力を注ぐべき。 新病院をなぜ市役所を隠してまで建てたのか？	行政	駅前や市街地の活性化を諦め、郊外の発展に目標をうつすべき。エルムが良い例。
		関係機関・団体	医師の増員に力を注いで欲しい。
		企業・事業所	雇用を促進して欲しい。
		市民	自分の事だけ考えるのではなく、助け合いの心を持つべき。
53	高齢者だけに力を入れるのではなく、小さな子どもに対しても力を入れてもらいたい。施設の充実等、子どもを育てるには全然整っていないので、子どもを育てるには五所川原は向いていない市だと思う。市役所職員も多すぎる感じがする。言葉づかいも悪いし、上からものを言う感じに言われる。 施設がバラバラ過ぎてとても使いづらい。歩道も狭いし、高い所など子どもは危険が多い。主要道路だけ整備している。野焼きをもっと厳しくしてほしい。一般家庭でも燃やしている所がある。わら焼きで窓を開けられない時がある。	行政	各課がもっと風通しの良い行政したら変わると思う。課ごとにやっているもので良くならなくて終わっていると感じる。
		関係機関・団体	行政が変われば全てが変わる。
54	子どもの医療費を無料にしてほしい。高齢者の医療費は2割負担で良いと思う（病院に長く居すぎると思う）。新しい病院が建つにあたって、周りにもっとデパートや子どもの	—	—

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	遊べる場をもっと増やしてほしい。		
55	五所川原中心部だけ整備しないで、金木町・市浦にも目を向けてほしい。買い物するにも高齢ばかりなので、まちに出るにはとても不便です。これからはもっとこうなります。中泊町みたいに、バス停にバスが来て乗って、買い物や病院に行けるようにしたらどうでしょうか。農業をやっている方の応援もした方が良いです。中泊町のピュアのような大きな施設があると、ぶらっと立ち寄る観光の人が良くなります。財政が厳しいのは良く分かりますが、市民の為には何が良いか、よく考えて下さい。	—	—

#### ■40 歳代 (69 件)

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
1	若者の雇用の充実。	企業・事業所	企業の参入。
2	誰もが訪れてみたいと思えるような魅力的なまち。	—	—
3	市民を中心とした行政。公共施設の設置にしても、皆が納得のいく場所等に建てるべき。変な都市計画は不要（駅前・大町・病院・エルムの街等、計画性が全く見られない）。	—	—
4	大町に商店が増えれば良いと思う。	—	—
5	福祉や医療の充実。障害者が安心して過ごせるまちづくりなどに取り組むべきだと思います。	—	—
6	国民が住みたいまち No1 になる事。	—	—
7	便利で快適な住み良いまち。	行 政	老朽化が進んでいる道路の改修。除雪の強化。水道料金の抑制。
		関係機関・団体	公共交通の増便。公共交通の整備。
8	高齢者～子どもまで、不安を感じず安心して生活出来るまちづくり。	行 政	教育関係への予算の充実（次代を担う子ども達の教育環境があまり整っていないのでは）。



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
		企業・事業所	若者の雇用の増加→安住化（税収を安定させていく為には大切だと思う）。
		市 民	市民の意識改善を行政に意見の言える体制づくりを。
9	教育レベルが高い事。礼儀正しくマナーが良い事。街並みが綺麗である事。文化・教養レベルが高い事。産業が多く企業が多い事。道路が広く用水路などに蓋をしていて、綺麗に整備されている事。出産しやすく子育てがしやすいように財政面での援助があり、福祉がしっかりしていて、若い世帯が多い事。若者が多くまちに活気がある事。全国にアピールできるものがある（中等・高等教育が日本一である。エコタウンのモデル地域であるなど）。	行 政	建物とコンピュータがあれば企業として成り立つ。IT産業の活性化を行い、企業を増やし、東北のシリコンバレーを目指す。福祉を充実して、住みやすいまちづくりを行う。自然エネルギーを利用したエコタウンのモデル都市となる。 青森県産の農産物は新鮮でおいしいので、地産地消を促進する啓蒙。
		関係機関・団体	五所川原農林高校で開発する食品をブランド化する。初等・中等・高等教育のレベルアップ。食育に関する啓蒙。
		企業・事業所	女性の積極的な活用。
		市 民	ゴミの分別の促進。交通マナーの徹底。
10	旧市内（大町通り）を本来の商店街にし、明るい街灯で照らし、店も並び、安心して歩けるまちに、夜、女性の一人歩き（散歩）は淋しくて歩けないと思う。今後は高齢者がますます増えるので、一応市内で簡単な物は取り揃えられるようになれば良い。	—	—
11	市内の病院に入院できる病院が減ってしまったと耳にしました。もっと入院できる病院があれば良いと思う。老人施設も大切だが、若い人達が病気をしても安心して入院をし、1日も早く病気を治す病院を増やしてほしい。	—	—
12	働く場が多いまち。 生活・子育てがしやすいまち。 安心して老後が過ごせるまち。 重病になった時、充実した治療が受けられる医療施設があり、医師がいるまち。	行 政	誘致企業をもっと増やす取組。
		関係機関・団体	農協・・・農業従事者の収入が増えるような取組。
		企業・事業所	社員を増やすような取組。採用人数を増やすようにしてもらいたい。
13	地元での就職を希望する人全て、正規雇用者として採用させる。	行 政	企業の誘致。誘致する為の税の優遇措置を更に進める。PR。
		関係機関・団体	行政と連携してのPRを進める。 行政に頼らずに自分でもやるべき。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
14	企業の新規呼び込みと、観光客へ移住のきっかけを作ってみる（住みやすさを PR）。農業を発展させるのも良いと思う。	—	—
15	都市化して人口を増えるようにしたら良いと思います。	行 政	まちおこしをもっとやる。
		関係機関・団体	機関・団体を増やす。
		企業・事業所	大きな企業を誘致する。
		市 民	活動にもっと取り組む。
		その他	案をもっと出す。
16	市役所、西北病院を使いやすく。情報などもわかりやすく。	行 政	広報やメディアを使った情報公開。
		市 民	分かりやすければ使用しやすい。
17	雇用の確保。県内就職率のアップ。農業収入のアップ。	行 政	企業誘致。市場開拓。
18	立ちネプタの季節だけではなく、春・秋・冬も他県からの観光客が集まれるようにイベントを考える。例、田んぼ地主（田植え体験・稲刈り体験）。冬スノーシューを履いての散歩、三味線体験、立ちネプタみんなで作ろうイベントなど。その為には、民宿でも何でも、泊まる場所をもう少し増やしてもらいたい。五所川原をもっと元気なまちにしてもらいたい。	—	—
19	市内中心街の活性。 観光客が一年中来る。 工業団地への企業誘致。	行 政	現時点で無駄な支出・建設等見直し。本当に必要かどうか見極める。 市長が営業マンでがんばってほしい。
		関係機関・団体	交通関係、今度、市中心街～郊外の利便性の見直し。
		企業・事業所	もう少し市に意見の発信。
		市 民	諦めずに意見をもっと発信。
		その他	他自治体の破綻をよく考え、同じ事の無いようにしたい。
20	財政の健全化。 コンパクトなまちづくり。 観光より雇用。	—	—
21	雇用の安定、賃金の上昇を実現させ、それが商店街の活性化に繋がって、活気ある五所川原市になって欲	行 政	企業誘致、市長・市議の給与を下げる。議員定数の削減等、経費削減しその分を市民サービスや福祉に使う。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	しい。 現在の市政は、五所川原市中心部（旧市内）を中心に考え、金木地区・市浦地区がないがしろにされているように感じる。このような感覚にならないような市政を願う。	企業・事業所	賃金UP。
		市 民	イベント・祭り等への積極的参加。他人の迷惑にならないか考えて行動する。特に冬期の除雪のマナーが悪い人が多い。道路に雪を捨てている。
22	各小・中学校に「心のケア」をする専門家を置く。 道路の除排雪及び予算の確保。 保育園、小・中学校の冷暖房設備の設置。	—	—
23	高い所得が得られる事業所が増え、若い人が早く一人前という気持ちを持つことができ、家庭を築こうと思えるまち。すべての世代が能力を生かし、不満を抱えた人が反社会的なことを起こすことの無いようなまち。趣味などの余暇活動に要する費用もかからない、または安価に行えるまち。車だけではなく、歩行者・自転車の人の暮らし良いまち。	行 政	ともかく雇用の場の開拓。
		関係機関・団体	市の補助金に頼らず自活できるようにする（財政を圧迫しない為）。
		企業・事業所	バス路線の改善。特に冬場、郊外の路線でもエルムで乗り降りできるようにしてほしい。
		市 民	気がついた事を市に伝える。
24	市の職員のコネが無いように平等になってほしい。 市から依頼の仕事も同じ業者だけではなく、平等に使ってほしい。 除雪も丁寧にまた、業者の片寄りも無くしてほしい。	行 政	自分たちの利益を考えての業者との関係を壊す。
		関係機関・団体	市長、他の議員への接待や私的な関係をしない。
		企業・事業所	市の仕事が各業者に平等に行くよう片寄らないよう手を挙げていく。
		市 民	市への不満、業者との癒着に関して声を上げていく。
		その他	除雪業者へは、ただ走らせるだけの除雪はらない。雪を人の家の前に置いただけの除雪は意味が無い。それならまだ道路に置いている方が良い。家に入れず余計に道路が混んでいる。
25	これからの若い人が定住出来るような、雇用の分野を充実させていってほしい。 苦情の無い除排雪活動。	—	—
26	若い人達が定住出来るまちにしてほしい。出生率の低下が問題になっているが、まちに仕事場が少なく、あっても雇用条件が整っていない（若い人達でもパート扱い。雇用保険社会保険に加入出来ない）。厳しい中で学校（高校・大学）を卒業	行 政	アベノミクスの効果など、地方には実感が無く、日々をやっと暮らしている状態。私もパート勤めしていますが、不満や理不尽な目に合っても、次の勤め先が無い中で我慢しながら仕事をしている。もっと行政がしっかりと指導をしてほしい。
		関係機関・団体	まだエルムの街と華やかな所もあるが、中に勤めている人達の雇用条件も十分に整っていない。市

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	すると、みんなまちを出て行ってしまふ。		内の誘致企業に勤めていても雇い止めにあったりしている。市はどこまでそれを把握しているのか。
		企業・事業所	立ちねぶたで集客を図ってもここはただの通過地点に過ぎず、祭りが終わればまたもとに戻ってしまう。冬の除雪も充分ではなく、五所川原市内の道路は雪がいっぱいなのに隣のつがる市は広々とした道路である。五所川原市は一体どこへ進もうとしているのか、何がしたいのか一貫しておらず中途半端。もっと早くここを出ていけば良かったと思っています。若い人達が定住し、安心出来るまち、子どもを産み育てる事が出来るまちにしてほしい。
27	<p>1 働き手が安心して子どもを育てる環境整備。</p> <p>2 確かな学力を子どもに身に付けさせ、働く場所の確保。</p> <p>3 輸出品作物の創造、国内向け特産物・伝統工芸文化・観光資源の発掘。</p> <p>4 通年イベントの企画・運営とそ のためのボランティア活用。</p>	行 政	<p>1 小・中・高の空き教室利用。主婦シニアボランティア（一部有給）の活用。</p> <p>2 大学生・大学との交流。海外留学補助。市で英語スピーチ大会。</p> <p>3 良いアイデア・作品・製品への補助金体制。</p> <p>4 運動公園（スタンドのあるサッカー場・陸上競技場・体育館）整備。まず他の市を視察。イベントカレンダー作成。</p>
		関係機関・団体	<p>1 シニアの保育担当者を「シルバー人材センター」で登録</p> <p>2 学校が教室等開放（夜間・土日の講習として）。</p> <p>4 イベント・コンテスト・大会の日程・回数・調整</p>
		企業・事業所	<p>1 空き事務所・倉庫等の提供。退職（定年者）の活用。</p> <p>3 行政からの補助で、公共機関・学校・研修所等と連携。</p>
		市 民	<p>1・3 ボランティア登録（有給も含む）</p> <p>4 スポーツボランティア指導者登録</p>
		その他	<p>除雪の抑制・・・ボランティア活用。各町内へ中型除雪機貸与。</p> <p>道路調整費の抑制・・・各道路の整備サイクル延長。</p> <p>役場・消防署・学校・病院等のワークシェアリングで雇用確保。</p>
28	<p>安心して医療を受けられる（高度な）事。心配なく生活したい。冬も安心して買物をしたい。冬の道路の除雪ももう少し何とかしてほしい。ゴミのポイ捨てが多すぎ。防災が心</p>	行 政	除雪を何とかしてほしい。もう少し買物をする所がほしい。何かあったらどこへ避難して良いか分からないのが心配。自分1人で逃げられない時はどうすれば良いか心配。
		市 民	お年寄りの人（老人）、若者も平気でゴミを捨て

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	配。		る。びっくり。道を譲るという事を知らない。
29	今のままで良いとは思いますが、無駄だと思うお金の使い方があってはいないかと思う。立ねふたも良いが、そこに税金をかけるより他に使う事があるのでは。	—	—
30	住民が住み続けたくなるまち。	行 政	まちづくりにあたって、もっときめ細かなサービスや意見を集めるべき。一部の人達で決めている事が多すぎる。
		関係機関・団体	市役所を中心とした全体での取組。
		企業・事業所	市役所等、行政と連携をとるような体制。
		市 民	一人一人が興味をもって真剣に考えて、意見を出す事が大切。
31	下水道の整備。融雪溝の整備。	行 政	早期に工事を進める。
32	若い世代の人が残れるよう、仕事場の確保！箱物を多く作るよりも、もっと今教育や文化活動へ力を注いではどうか？色々な世代の方々が気持ちよく暮らせるよう、衣食住が充実したまちづくり、町内会など様々な繋がりを持ったまちづくり。	—	—
33	雇用に関してなのですが、今、大学生の息子がいますが、地元に残りたいと思っていますが、五所川原には仕事がありません。医療に関しても、西北病院の対応がひどくて行きたくありません。学生が五所川原市に残りたいと思うように、色々な企業を誘致してもらいたいと思う。西北病院に関しては接遇をきちんとしてもらいたい。	行 政	色々な企業を誘致してもらいたい（電子会社や縫製会社以外にも）。 病院に関しては、態度の悪い職員は変わらないようなら辞めてもらうようにしてもらいたい。
		関係機関・団体	病院は生命にかかわる仕事をしているのだから、言葉でも人が傷つく事を忘れないでほしいので、やっぱり接遇はきちんとしてもらいたい。
		市 民	色々な事できちんと言葉にして、行政に伝えたいと思います（自分も）。
34	五所川原市が一番活気づいて素晴らしいと思えるのは、たちねふたのお祭り期間中だと思います。たちねふたは、東京ドームへ行き宣伝をし力を入れていて頑張っていますが、まだまだ知らない方がたくさんいることと思われます。年間を通じて観光客を五所川原に呼ぶ事は困難かと思いますが、五所川原市の名を全国に広めて有名になり、年間賑やかな五所川原市になり、若い方の働く場が増えたら良いと思います。	行 政	口ばかり、表面だけの行動ではなく、五所川原の為に団体事業と一緒に協力していく。
		関係機関・団体	青年団の皆さんにお知恵とパワーを協力して頂き、今後どのようにして宣伝していくか？他県や他市町村を見本に進めて行く。
		企業・事業所	観光客の方が興味を持ち、安くてお土産に買って行き喜ばれるような商品作りの協力。
		市 民	市民も自分の案を述べるように協力していく（身近な所への提案箱を設置してほしい）。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
35	安定した雇用により、若者が安住し、子どもをたくさん産めるような住みやすいまち。	行政	住宅購入補助。 子どもの医療費無料。
		企業・事業所	正社員を増やす（パート・アルバイトを減らす）。
36	若い人達が地元五所川原市で安心して働ける雇用体制がしっかりしている。安心して住める生活水準であってほしい（低所得者に対して住みやすい市であってほしい）。	行政	市が企業に働きかけ、1人でも多くの若者が働ける場を与えてほしい。
37	働き口が豊富にあり、安心して働けるまち。 除雪がきちんとされ、冬の生活に支障の無いまち。	行政	企業の誘致。新規産業の育成。 除雪は業者にまかせきりにせず、管理・指導をきちんとしてもらいたい。必要であれば、除雪に予算をもっと積んでもらいたい。
		企業・事業所	近年の除雪業者は、昔と違って、走行の距離をこなすだけの、道路表面を単になでて行くだけのような除雪なので、もっと市民の事を考えた良心的な除雪をお願いしたい。
38	立佞武多以外でも五所川原が魅力的になる為、食と文化に新しい発想が欲しいです（前にムッシーくんTシャツがありましたが、新キャラも、くまもん程とはいかなくても、街中に目が付くようにアピールし商品も作って欲しいです。お土産用と実用的なもの。役所員が身につけるもの可）。	行政	除雪用の排雪は場所などバラつきがあります。どの地域でも平等にあるべきと考えます。また無落雪対策の援助金などに投資して下さい。
		関係機関・団体	身近な知り合いに不登校者がいます。片親家庭。今の子ども達は家庭以外に頼る人が少なすぎます。無料の塾や、絵画教室など趣味人やリタイヤした先生のボランティアで運営すれば良いと思います。
		企業・事業所	敵対する事もない程、同業者が無くなりました。であれば、他の市町村、県外とコンタクトを取って（ネット）外にもアピールして欲しいです。
		市民	正直、私を含め市民は立佞武多から離れています。宵祭りも縮小、夜のスタンプラリーなど工夫はありますが、全員向けではありません。過去の町内会が懐かしいです。
		その他	もっと子ども・老人向けの交流を町内が作れば良いと思います。
39	まずは雇用だと思います。若い人ももっと働く場所があると良いと思います。駅前周辺に活気があれば、働けるお店などがあれば良いと思います。あと、病院が少ないと思います。皮膚科のある病院・眼科・耳鼻科も少ないと思います。それと観光もどうでしょう。五所川原には来てくれても、すぐ青森や弘前に流れ	市民	このアンケートを無作為に送ったように、どこか公民館などに人を集めて、意見を出し合うというのは？午前・午後・夜など時間を分けて、来てもらえる時間に集まってもらうとか。
		その他	誰がどのような取組、と言われても私にはすぐには思いつきません。こういう風になったら良いなと思う意見はたくさんあるけど。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	て行ってしまっていると思うので、もう少し目玉なものがあると良いと思います。		
40	子ども達が健やかに成長し、成人になっても安定した職業に就け、住み続けたいようなまち。	行 政	スポーツ施設の充実。 現在、市内に陸上競技場・サッカー場がなく、公的な試合では他市町村の施設を借りて大会を行っているのが現状。
41	市民一人一人が互いを尊重し、相手を思いやりながら自分も成長していける場が、もっと増えていたら良いと思う。	—	—
42	老人が住みやすく、交通の発達しているまち。将来車が乗れなくなるので、考えてほしい。地下鉄や地下街を作ってほしい。	—	—
43	つがる市のように、子どもの医療費を無料にしてほしい。	—	—
44	この度、短命県日本一という恥ずかしい結果になりました。津軽の人はじょっぱりな人が多く、酒・タバコをやめると言ってもなかなか家族の忠告を聞いてくれません。あと、昔の雪国の知恵で保存食が多く、塩分の取りすぎもあると思います。（自分も）健康で安心して暮らせるまちになってほしいです。	市 民	市民一人一人が健康を意識して生活習慣病に気をつけて、生活していかなければいけないと思います。
		その他	難しい行政等の事は分かりませんが、もっと病気の怖さを多くの人に知ってもらう為に、テレビのCMで観てもらおうなど。
45	若い世代が住みたい、地元に残りたいと思えるような五所川原市にして頂きたい。	行 政	子ども達が少なくなっているのは知っていますが、五所川原市民なら五所川原市内で学校を選べるくらい、高校・専門学校などがほしい。よその地域からも来るような。
		関係機関・団体	教育委員会、交通関係者。
		企業・事業所	学校で学べたらそのままこの地域に残れるような職場。例えば老人ホーム・病院関係・飲食・ファッションなど。
		市 民	もし若い人が地元に残ったら盛り上げるよう、利用したりお世話になる。
		その他	若い世代にチャンスを与えられるようお願いしたい。
46	雇用の拡大。仕事が無さ過ぎる。年齢制限がないとは言いが、結局は若い人が独身で採用されている。女性はなおさらその傾向が強いように	行 政	企業の積極的な誘致。もっと努力すべきでは。
		企業・事業所	企業としては、結婚している、または、子どもがいる人でも積極的に採用してほしい。急な休みになっても、出産や病気になったとしても、安心し

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	思う。一番お金がかかる世代（30代後半～40・50）の雇用が少なすぎる。税金ばかり高くなって生活できない。もう少しゆとりを持って生活する為に雇用を増やしてほしい。子どもとの時間も取れない。賃金も上げてほしい。		て職場に戻れるような体制と人間関係をつくる。
		市 民	資格取得など。
47	雇用を確保し、高齢者が住みやすく、それ以上に子どもや若い人達が五所川原市に定住できるよう取り組んでほしい。	行 政	五所川原市に代々住んでいる若者を優先的に雇用するべきだと思う。
48	子どもが増えてほしい。	行 政	10年20年後、子どもが大人になった時、住み続けたいと思える環境づくりに取り組む。今以上に未来に目を向けてほしい。
49	若者達が地元で働ける大きな企業会社（電子系）を、弘前市内の航空電子など集まった会社を設立して欲しい。なぜなら、北部（金木方面）は交通の便（通勤手当？）で就職を断られる。良い技師も他県へと流れつつある。若い人達がこの小さな五所川原を守って発展させていかなければいけないから。伝統の無い県もあるが、五所川原の立ちネプタは誇りを持って活性化させる必要があると思う。その為にも学校の参加を多くして、熱くなれる思いや思い出を身体で感じ、子孫へ伝えて、伝統を大切にしたいと思う。	企業・事業所	他県との交流の上、企業会社の運営を試みる。大きい会社を設立。
		市 民	立ちネプタなどの祭りに参加する。
50	自然環境は良いのだけれど、とにかく買物が大変。仕事も無いし。それを解消出来るといいなと思います。	行 政	企業誘致をしてほしい。
		関係機関・団体	上記に対して働きかけ。
		企業・事業所	市浦地区にスーパー・コンビニどちらでも良いので出店してほしい。
		市 民	市民もアイデア等出していき、働きかけを行うと良いと思う。
51	もっと市浦から五所川原のまちに行くのに便利になれば。そういう取組を行うべき。	行 政	障害者やお年寄りにも楽なバスとか、バスの回数をもっと多くする。
		関係機関・団体	市浦からの病院のバスを出してほしい。
		市 民	これらのことを行うと、もっと市浦からも市内に行ける。
52	教育活動の充実。 市街地への利便性の強化。	行 政	教育に関する予算が十分に取れていない。現地学習・スポーツ（スキー・水泳）の機会が無い事へ



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	スポーツの活性化。 指導者の育成。		関心を持ってほしい。
53	障害者雇用をもっと増やしてほしい。苦しんでいる人の為に働ける五所川原市。	企業・事業所	障害者事業所、増加。
54	子どもとお年寄りが安心して住めるまち。	行 政	福祉と医療の充実。
55	もっと働ける工場がほしい。(年をとっても働ける。例えば製造業・弁当・おかし他)。 祭り→カラスハネトのパワーでネプタを作らせる。あのパワーを使う。	—	—
56	企業の誘致と雇用の安定。働く所が無いので、みんな市外・県外に出てしまう。救急病院の駐車場の少なさ。歩きタバコの多さ。ゴミの不法投棄のモラルのなさ。	行 政	企業誘致
		企業・事業所	雇用の拡大
		市 民	個人の意識を高める
		その他	年寄りだからって甘やかさない。年寄りのマナーの悪さ。
57	雪道の安全確保をお願いしたいです。車線がなくなりとても危険です。車もそうですが、歩行者が一番大変そうです。小学校へ通う道も歩道が無くなり、車道を歩いています。とにかく危険なので何とかしてほしいです。	—	—
58	明るくて平和なまちづくりにしたい。 市民が寄り添うまちにしたい。	—	—
59	子どもが成長してからも、五所川原に住みたいと思えるまち。	行 政	働く場所、福祉の充実、暮らしの利便さ。
60	夕張市になりたくない。大丈夫？立ちネプタのまち？	—	—
61	市の中心部（駅周辺）がもっと賑わいを見せるようなまちになると良い。また、福祉・医療の面で、もっと充実していけば良い。無料検診とか、他の市はもっと充実している。	—	—
62	五所川原市は雪に弱いまちである。雪国対策をすれば若者も地元に残る人が少しは増えるし、来るべき高	行 政	除雪を依頼する会社を1社にする（毎年、会社が違くと除雪する人が変わるので、除雪が下手で困ります）。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	高齢化社会に備え、税金で流雪溝を設置してもらいたい。	その他	立佞武多を4年に1回にして、余った財源を流雪溝工事に運用してほしい。
63	子育て支援の充実	行 政	保育料の見直し（第3子無料など）。 医療費助成制度の見直し（限度額の引き下げ）。
64	便利で安全なまち	行 政	環境整備等
		市 民	共生
65	問題が山積みすぎる。	行 政	中小企業、個人事業者へ対しての助成金を積極的に。
		関係機関・団体	運営の透明化、意識の向上。
		企業・事業所	連携強化。
		市 民	行政に関心を持つように。
		その他	助成金の増加。
66	子どもの医療費無料化（人口増加に繋がる）。 スポーツイベント（マラソン）を開催して有名選手を呼ぶ（県外からの参加者を呼ぶことで、まちの活性化に繋がる）。	行 政	子どもの医療費無料化。 市民税の減税。融雪溝増設。 廃雪・除雪整備。 スポーツ施設の増設（屋内プール・武道館・剣道場）。 テーマパークも作ってもらいたい。
		その他	中央小学校に屋内プールを増設してもらいたい。五所川原市民体育館の整備（水漏れ・床のこぼこ）。
67	人口が減少し続けている→学校の統合→通学が不便→市外へ流出→さらに減少!デススパイラルではないか?もう死んでいる。生き返ることは可能なのか?	行 政	税金を取っている自治体がしっかり考えてほしい。給料泥棒じゃないか。
68	賑わう1年に1度の立ちネプタ、素晴らしいと思うが、お金のかけ過ぎでは。	行 政	他にもお金をかける所を分けてほしい。駅が汚すぎ。バス停も。
		関係機関・団体	市職員だけ良い思いをしていないか。
		企業・事業所	服どこで買えば良いのか。デパートにレコードショップが無い。
		市 民	旅人に対して、ハネトの姿恥ずかしい。もう少しちゃんとしてほしい。
69	夜中、救急当番の病院に連絡しても電話に出ない事がないようにしてほしい。 何についても平等になってほしい。	—	—

■50 歳代 (76 件)

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
1	人口減少、少子高齢化の時代でもあり、異文化、異国人を積極的に交流及び受け入れ体制が有るまち。	行 政	個人所有の山林を買い取り。
		関係機関・団体	山林の整備、森林の構想。
		企業・事業所	移住者の募集、広告（自然災害被害者及び海外）。
		市 民	交流の場を設け、人と人の繋がりを親密にする。
2	財政の安定した市	行 政	税の無駄遣い。駅前商店の整備必要なし。
		関係機関・団体	立ちネプタやめるべき。お金の無駄遣い。
3	観光と自然を生かしたまちづくり	行 政	全国への PR 活動
		関係機関・団体	全国への PR 活動
4	若い人が定住したいと思われるまちに。 働く場所が少ない→多くする。 町名の変更、姥范、下り枝とか→エルム通り一丁目とかに。	行 政	とにかく行政の企画・立案・実行が良き市町村を作り上げると思っているの、行政サイドの行動力に期待します。
5	1 若者の雇用の場所が少ない為、働く意欲が薄れているので、産業・企業の誘致を積極的に行ってほしい。 2 旧市街地が貧しい状態なので、道路整備などと併行して都市づくりに着手してほしい。	行 政	雇用場所の確保。
6	地球環境保護への取組。安定雇用。	行 政	わら焼の廃止。企業への保護。
7	大手企業の誘致で農産業の活性化でまず人口増を目指す。 行政・関係機関の努力が他県・他市より劣っているのでは。	—	—
8	本当に弱い人・困っている人が安心して住めるまち。 跡継ぎの子どもたちが育つまち。 職員が市民を上から目線で見ないまち。	—	—
9	高校生などが卒業した時に就職でき暮らしていけるまち。	行 政	税金を免税してでも企業の誘致を進める。
10	財政が健全でなるべく国からの借り入れ等が少なくても運営できる、財力のある自治体であってほしいと思う。	行 政	今以上に事業の無駄を省く。
		関係機関・団体	市からの補助金助成金に頼らない。
		企業・事業所	政治力を使った事業の発注を望まない。
		市 民	市政運営に関心を持ち、行政の取組を注視する。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
11	高齢者が安全・安心して住み続ける事が出来るまち。障害ある子どもの支援の充実。	行 政	受け入れの出来る施設、スタッフの確保。広報活動。
		関係機関・団体	同上。 在宅療養支援。
		企業・事業所	訪問支援。
		市 民	ボランティア活動。
12	1 雇用の確保 2 中心街の活性化と整備	行 政	1 雇用確保は現時点で非常に難しいが若い世代を中心とした NPO 法人等に活動を促してもらいたい。 2 中心街（本町・大町）の駐車場・道路の拡張、小公園の設置を望む。
13	活気あるまち	行 政	企業の誘致。
		企業・事業所	雇用の拡大。
14	駅前活性化	行 政	もっと身近なものにしてほしい。
		企業・事業所	誘致企業を増やしてほしい。
		市 民	若い人が仕事を出来るように。
15	社会保障や社会福祉が充実したものになること。農業復興。	行 政	障害者年金、生活保護の充実。
		関係機関・団体	農業復興、雇用の促進。
		市 民	孤独死を防ぐ為にも、隣近所の見回り。
16	小さくても、穏やかな生活が出来るまちになってほしい。	行 政	1 まちの将来を真剣に考えた仕事をしてほしい。 2 本当に必要な仕事を、市民の目線ですてほしい。
		関係機関・団体	馴れ合いでただあるだけでなく真剣に責任ある行動をお願いしたい。
		企業・事業所	市の発展、市民のために仕事してほしい。
		市 民	市民の行政への意見提出、選挙権行使などで参加する。 市の将来を決めるのは、市民の意志であり責任も市民にある事を考えなければならない。
17	第一にここは雪国であり、冬期間（12月～3月）が一番の問題。例えば札幌市内の大通り公園にある地下道を作って、両側に商店・食堂・レストラン等の施設等を集めて、中心街地～エルムまで歩いて楽しめる、そして寒くない移動手段がとれないものか?何といっても雪国は地下街が一番良いと思う（夏でも涼し	行 政	今まで以上にもっとまちが活気付く取組を、どんどんしてほしい。例えば国道7号線の道の駅、弘前のサンフェスタとか。浪岡のアップルヒルのように、いつ見ても駐車場が満杯状態で地域の商品が売れ行き良好というような施設。エルムの街は一つの成功例と言って良いと思う。近隣の町村及び黒石や平川市等からもかなり買い物に来ているようです。その分、つがる市のジャスコには人が行かなくなってしまった（五所川原から出なくて

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	くなるのでは)。		も良くなった) 何もかも五所川原で用が足りるまちづくりをしてほしい。
		企業・事業所	もう農業は終わりです。若者が何故あんなに東京・名古屋(関東・中部)方面に出て行くのか。周りを見ても商・工業関連の工場・事業所がないことと賃金の安さがあげられると思う。もっと誘致を。
		市 民	—
18	若い人・年配共に働ける場所がある市を望みます。その他にも行政関係機関の協力が必要と思われます。	行 政	県・国に対し、状況を把握した上で企業を誘致する。
19	新卒者の地元就職希望者が全員仕事に就けるように、会社誘致に積極的に取組み、若者が働ける場所があるまちであってほしい。	行 政	会社誘致活動を今以上に進める。
20	旧商店街を中心市街地ではなく、エルムの街を中心とした、夢と希望の五所川原市を作ってほしい。	—	—
21	何を目指したいのか分からない。商業都市か教育か文化都市か観光都市か行政都市かそれぞれが各々勝手に思い描いて推進しているので、暮らしている市民も中途半端なイメージしか出来ません。何か一つ重点を置いて(売りを作って)アピールしてくれないと、この設問に答えられません。	—	—
22	五所川原の中心市街地を昔のように賑やかにするのは、無料の駐車場の整備が必要だと思う。	その他	五所川原の隅々の村にも、弘南バス(120円)を走らせてほしい。午前1本、午後1本でも良いから。
23	希望のある五所川原市。	行 政	仕事の出来る環境。
		関係機関・団体	住みやすい五所川原。
		企業・事業所	働きやすい環境。
		市 民	心の豊かさと愛情。
24	環境整備(換地の整備)	行 政	10年前からの整備実施を前市長時代からの公約としていたものが、未だになされず、夏になると悪臭が漂う。一刻も早く整備して頂きたい(上平井町から下平井町一帯)。
25	まちを良くするには、やっぱり雇用しかありません。社会保険のある職場が少なく、そういう会社に入社す	行 政	誰が行っても同じ。良くなりません。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	る事が出来ません。これだと年金ももらえず、そのような環境でどうして良いまちになる事ができましようか。		
26	人口を増やす。 市民が安心して暮らせるまち。 若者の雇用対策。 福祉・医療の充実。 教育施設の誘致。	行 政	高齢者の多い農業に市が若者を雇用し仕事をつくる。 子どもの（18歳まで）医療費を免除する。 高齢者が安全に買物や病院へ行けるように自宅まで送迎タクシーを走行させる。 医療大学の誘致
27	雇用。若者が働ける場所と人口が増える!!	—	—
28	市内の商業は望みが無いので、農業分野を充実させ大企業を誘致する。	行 政	新しい農業の模索（大規模だけでは駄目） 企業の誘致
		関係機関・団体	やる気のある人への支援
		企業・事業所	働く環境の充実
29	医療機関をもっと充実させて欲しい。	—	—
30	工業団地の増設。低所得者の保護。	行 政	国保料金の見直し。
		企業・事業所	事業拡大。
31	環境に配慮し、地元で就職でき、子どもを安心して育てられるまち。	行 政	市民のエネルギーを取りまとめる。市財政には限りがあり、市民が行政だけに頼る事なく皆で出来る事を行う。
		関係機関・団体	表面的な会議ではなく、成果・行動を意識した連携・協力。
		企業・事業所	ボランティア（市財政の負担を減らす）に取り組みした分、税負担の軽減を図る。
		市 民	自ら行動する気持ち、その力を発揮できる環境づくりを行政が行う。
32	私利私欲の為に行政を行う議員市長のいない市にしたい。	行 政	市長議員にはっきり意見を言ってほしい。
		関係機関・団体	市長議員を監視オンブズマンに開示。
		企業・事業所	年収を増やしてほしい。
		市 民	市政を監視する。
33	C02 を出さない電気バス等での移動。仕事での車の一人乗り禁止をしてバス等（電気）を利用して仕事に行ける仕組みを作る。	—	—

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
34	雇用の安定をしてほしい!!行政・関係機関が行うべき。	行 政	雇用の確保
		関係機関・団体	雇用の確保
		企業・事業所	アルバイト・パートではなく正社員を増やすべき。
		市 民	市民組合を作り、雇用の確保。収入の安定に力を入れる。
35	五所川原市を中心とした行政ではなく、市浦・金木も重点を置いてほしい。このままだとますます地方区は過疎化してしまうと思う。	—	—
36	雇用の安定。 自分の好きな仕事に就けて、楽しく仕事をして欲しい。給料の安定。	行 政	いろんな職種の取り入れ。
		関係機関・団体	いろんな職種の提供。
		企業・事業所	仕事場の提供、給料の安定。
		市 民	自分の好きな仕事に就き、長く働けるよう心がける。
37	若い人は誇り、愛着を持って、働き住み続けていけるようなまちであって欲しい。 全機関が連携していく事が不可欠だと思う。若い人の発言の場を増やして行く事が大事だと思う。	—	—
38	将来、子ども達が地元五所川原市で働けるようにする。	行 政	何か新しい産業を起こす（企業と協力）。
39	五所川原市は、災害等無いに等しい住みやすい安心なまちだと思っている。しかし、もしもの時の為に備えもしていると見えており良いと思うので、このまま進行してもらいたい。子ども達が勉強・スポーツでできる環境がもっとあったら良いと思います。	行 政	弱い者の立場になる（除雪に工夫して下さい。）。
		関係機関・団体	バラバラにならず同じ方向性で取り組んでほしい。
		企業・事業所	活性化。
		市 民	協力する。
40	優秀な子どもがたくさんいるので仕事の出来るまち。	行 政	若い人達をもっとたくさん必要としてほしい。
		関係機関・団体	若い人達をもっと長い目で育ててほしい。
41	安心して働ける場所があり、利用しやすい福祉の体制が整っているまち。	行 政	福祉・医療において、総合的にいつでも相談出来る場所があれば良いと思う。
42	高齢者が安心して健康に治療に専念出来るまちづくり。 若い世代にあまり負担をかけなくても2世代3世代が同居し、仲良く	関係機関・団体	新しくつがる総合病院完成が間近ですが、高齢者が他市町村で受診したり、入院治療を受けなくても良いように病院の充実を目指してほしいです。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	生活出来るようなまち。		
43	高齢社会に向かっている日本、五所川原市も同じ。若者に頼る事なく、元気に過ごせるまちづくりを目指したい。医療体制の充実、道路の整備、除雪対策。誰か一部の者だけが「いい思い」をするまちづくりだけは避けたい。	—	—
44	老人・子ども・孫などと遊べる緑の公園があれば？	—	—
45	高齢化社会に向けて、老人・障害者・病人など全体が分け隔てなく、また、隔離される事なく保護され助け合えるように、市がそれを補佐し、それによって若者がまた住みやすさを感じるようになっていけば良い（自分の将来に安心できれば若者も安住しやすい）。	行 政	意識改善の為に専門知識などを一般向けに発信する。
		関係機関・団体	ひきこもりがちな人達が、気軽に出られるようなイベントの企画。
		企業・事業所	イベントに必要な物などの提供。
		市 民	人事と思わず、気軽に声かけイベント参加。
		その他	できればまず、病院の椅子が体調悪くてもゆったり座れる椅子にしてほしい。
46	青森県内でも五所川原市は雇用が少ないので、雇用を増やすような取組をしていかないと、定住も無理になってくるのではないのでしょうか。他県のように移住する人も多くなってくるのでは。具体的なことはよく分かりません。	—	—
47	道路に雪がないまち。 エルムの街以外の場所も元気になるように。	行 政	太陽光エネルギーを使って歩道の雪などの処理が出来ないものか。
48	雇用が安定し、産業が活性化し、高齢者や障害者が安心して豊かに生活できる市。	—	—
49	駅前、商店街を小規模でも良いので趣のある、例えば鎌倉のような雰囲気のあるまちづくりをした方が良く思う。近代的には、どうしても都会のようにはいかないので和みのある愛されるまちにしたい。	行 政	市の財政に負担がかかるとは思いますが、工事関係は地元が発注し予算を抑える。
		関係機関・団体	駅前にパチンコ屋等を置かない。郊外に移ってもらいたい。
		企業・事業所	老人や学生が安心して入れるような飲食店や小売店を出店してほしい。JR 駅をもっと大きくしてほしい。
		市 民	市政に苦情ばかりしないで、協力的になってほしい。市の活性化には税金の値上げも仕方ないか



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			も。
50	若者が希望を持てる職場作り。 公正な支援（生活保護者や障害者への給付金のあり方）。	行 政	私の知り合いの生活保護者は一日中遊んで、酒・たばこを飲み暮らしています。給付金はただ支払うのではなく、働く場を作ってもらいたい。
51	津軽平野の中心のまちとして、交流ができ、交通の便が良く、これから年老いて行く身になると、医療・福祉施設・介護が心配なく手続きができる、家族にも迷惑をかけないよう、公的機関がしっかりできているようお願いしたいものです。また、若い人達が生活できるよう、仕事ができる場所がもっと増えたら活気が出て来るように思う。つがる総合病院も病人が待たされる病院になるのでしょうか。是非スムーズに流れるシステムにしてほしいです。	行 政	原燃はいらないが働き場所を増す企業誘致をもっと進めても良いのでは。
		関係機関・団体	学校にも勉強がしっかり出来る施設を。せめて冷暖房完備にしてほしい。
		企業・事業所	今はエルムの街が中心になっているが、やはり駅・元の中心街にも人が集まるようにしてほしい。
52	中心街の活性化と整備 雇用の安定 未来の人口増加	行 政	商店主との話し合いの場を多く取ること。
		市 民	若者の定住を求める。
53	駅前開発 交通の利便性 除雪が隅々まで行き届いた安全安心なまち	—	—
54	五所川原市内にいても、せめて年金が頂ける（65歳）年齢まで。安心して勤めていける企業ないし職場がほしい。 現在、3年程前よりつがる市より移り住みましたが、五所川原市はやっぱり都市になっているのが感じられる。 消防・防犯に不安を感じたが、家主は取り扱ってくれない。	行 政	一人暮らしの方、ならびに知的障害のある方、アパートの家主さんへの調査をしてほしい。個人的なプライバシーもあり、難しいかと思いますが。
		関係機関・団体	消防署関係の方へお願いがあります。今は各家庭で火災警報器を取り付けていけると思っています。不動産へ伺ったところ、これは個人ではなく、家主が取り付けるものだと、そして不動産も私の入居しているアパートの家主に言ってくれたが、取り付ける気はなしの答えでした。そのようなアパートは市内には随分多いのではないのでしょうか。家主宛に各アパートを調べてほしいです。隣に住まわれている方も不安に感じています。
		企業・事業所	各職場へ、個人に対し就業規則を記載した書類を配布するように指導してほしい。自分はあと何年勤めていけるかさえ分からず不安です。60歳を過ぎても職場内にいる人もいるし、早くに退職された方もいるからです。
		市 民	今新しく取り組んでいる事業には、極力協力し、他から観光で訪れた方々を笑顔にして送りたいと

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			思っています。
55	若い人が仕事に就けて、安心して子どもを産み、育てる事が出来、一人暮らしの老人がなく、大家族で笑顔で暮らせるまち。	—	—
56	市街地には駐車場スペースを設けなければ、何の行事を計画しても人が集まらないのでは。 緑を増やし、公園を主としたまちにして、店舗もその周りに設けるなど（現在も軽トラ市大町祭り等、人が少ないのでは。）。	行 政	土地の買収、整備
		市 民	緑の植樹
57	人口が現在の倍以上になっている五所川原市になってほしい。若者が流出しない（雇用がある）経済水準が最低賃金脱出（正社員雇用、安定性）。人口が増える事がまちの活性化に繋がる。他市町村の人が住む事を希望するようなまちづくり。	行 政	若者夫婦が住みやすくするには、住宅（県営・市営）を綺麗にして部屋を増やす（戸数を増やす）。
		関係機関・団体	医療の充実。弘前や青森へ重要検査に出かけなくても良いようにしてほしい。医療（看護師含む）のレベルアップ。対応能力を上げる教育システムを作してほしい。
		企業・事業所	最低賃金を基本とした人件費にしない。従業員教育は大事。それ以上に雇用主の理念責任を高いところに持ってこそ、従業員に伝わり商売に繋がる。離職率も低くなる。人があってこそその経営。
58	自然の豊かさを利用して、野菜の栽培など、市が中心となって雇用を促進できたら良いと思われれます。	—	—
59	若い人達が安心して生活出来る環境を作してほしい。	—	—
60	高齢者一人暮らしの人が買い物出来るように、中心商店街に大きめのスーパーがほしい。	—	—
61	働く場所を増やす。活性化。若い人の雇用の確保。	行 政	企業の誘致 農業支援の取組 漁業支援の取組
		関係機関・団体	農業従事者の高齢者支援 農産物の PR 農産物の加工品の開発
		企業・事業所	駐車場の確保（市の中心地）
62	雪対策の行き届いたまちづくり。 教育環境を整える。	行 政	融雪溝に温泉水を利用する。
		関係機関・団体	今の子ども達に 40 人学級は無理。スクールサポーターや人材を教育現場に入れて子どもを支援する

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			事。
63	医療の充実した五所川原市になってほしい。例えば、今建設中のつがる総合病院が、市民にとってとても良かったと思える病院になってほしい。	行 政	国からも病院建設の為の予算を出してもらおう。県出身の国会議員に働きかけて行く。
		関係機関・団体	県、五所川原市近隣の市からも十分な予算を出してもらおう。県医師会に働きかけて、医師の数を確保する。病院外来にダイエットの相談をしてくれる科を設けてはどうか。
		企業・事業所	病院内のサービス業の充実。例えば理・美容院は低料金とする。車椅子の人も安心して利用できるように。食堂や軽食喫茶では、市内の特産物を食べてもらおう。売店にも特産物を置く。立体駐車場から病院玄関まで、雨や雪をしのぐアーケードを設置する。
		市 民	病院の職員は、患者さんに親切に対応すること。
64	全ての分野において充実しているまちだが、現実はなかなか難しいと思う。	—	—
65	五所川原人としては、何事もこのまちはいいねと住みやすく環境の整ったまちになる事を希望します。エルムの街だけでなく、中心街をもっと活発にして欲しいです。	行 政	岩木町（西北病院）の周りに公園とかを作り、安らげる場を。明るく誰でも使用出来るように！
		企業・事業所	駅を修理して綺麗になったのは良いですが、それより駅ビルを建てて、もっと人が集まるようにして欲しいです。今のままだと変わらないと思いました。
		その他	エルムの街の歩道も草が生えていたりとちょっと残念に思いました（川の所も）。
66	最近エルムの街は日々たくさんの人で賑わっていますが、買物に来る為だけではなく、他の目的で来る人もたくさん増えて、「五所川原」が発展して欲しいです。	—	—
67	若い人が働ける場所があるまち。会社も増えると良い。	行 政	農家は高齢者が多い。若い人がどうしたら農業を続けられるか考えて欲しい。例えば会社に似たような。
		市 民	仕事をしたい人がアルバイト・パートに参加させる。
68	若者が地元で働けるまち 子どもの育成 綺麗なまちづくり	行 政	子ども手当の支給が高学年まであったなら。子どもの遊べる公園の施設。
69	雇用、若い方の仕事をもっと色々あると良い。	企業・事業所	女性は若いうちに子どもを産み、子どもを育てながら長く仕事が続けていけるような仕事があると良いと思う。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
70	農家の方々の高齢化をよく耳にします。素晴らしい知恵を若い人に伝授してほしい。伝授により若者は良く変われると思う。高齢者の技・知恵、そして若者の力がとてももったいなく感じる。	—	—
71	市民の要望が行政に届き、行政は要望について実現できるか検討して、実現出来ない場合は、なぜ出来ないかを市民に説明して納得させ、実現出来る事は、優先順位をつけて計画を立て、インターネットや広報に進捗状況を公開する。税金が少ない場合は、どのように税収を上げれば良いか市民の意見を聞く。	行 政	全国と比較すると水道料金が高いと思うので上下水の料金を現在の7割にする事を目標にしてほしい。
72	松島～稲実間の小用水路は所々水が流れていなく淀んでいます。もっと良い環境に出来ないものか!!一部だけ工事されていないのですが!	—	—
73	雪国ですので、まずは除雪で、一番困っています。融雪溝を作って頂きたい。税金を目に見えるものに使ってもらいたいです。	—	—
74	今建設中の病院ですが、また駐車場が狭いと言われない事を願うばかりです。	行 政	駐車場の確保。
75	駅前の区画整理、病院の建設、消防署の移動、今あちこちで工事が行われているが、全体的にこれが五所川原の為になっているか不安になっている。全てが終了して全体が見えた時、安心するのでしょうか?	—	—
76	50代と言っても60歳近くになりますと、あちこち体の衰えを感じるこの頃、新しい病院も建設されているとのこと。もっと患者と医師との繋がりが、前にも増して薄くなっている感じではないのは私だけでしょうか。	—	—

■60 歳代 (61 件)

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
1	1 農・漁業の生産から加工まで出来る仕事。 2 中心街の賑わい。	行政	基盤整備等
		関係機関・団体	集約等（農地）の手立て
		企業・事業所	1、加工等などに参加 2、コミュニティバスの導入
		市民	1、積極的に利用。
		その他	農業については、自分の地域では若者がいないので企業の参加も有りか。
2	安全健康利便快適はどのまちでも基本。五所川原らしさ、例えば平坦な地形、新旧市街地の分離など。	行政	指導者→広報活動 CM の役割
		関係機関・団体	支援者→文化活動
		企業・事業所	生産者→生産活動
		市民	消費者→消費活動
		その他	観光客など→交流
3	子どもを産んでも良い、子育てしても良いと思えるような市にすべき。これが出来れば様々な問題が連鎖的に解決するはず。どうすれば、どうなればどのように思ってもらえるか条件を検討していけば、行政等が何をすべきか見えてくるはず。	—	—
4	安全・安心なまちづくりは強く希望しますが、具体的な事についてはよく分かりません。	—	—
5	青森市や弘前市と比較すると、図書館の本の貸し出し数・種類が少ない。本を読めるスペースが小さいので整備してほしい。	行政	公費を投入し整備する。
6	若者が定住できる環境	行政	一次産業を活性化するため、何が地域に合致するか調査・研究体制作り。
		関係機関・団体	農協・加工業者との連携作り。
		企業・事業所	上記三者情報共有。
7	駅から本町・大町の活性化を望みたい。	企業・事業所	市役所・病院を相互に入れ替えた事は大いに賛成。
8	まずは雇用の確保です。働く喜びがあつてこそ、生活も安定し、県外へ働きに出なくなり、人口減少を防ぐ。その為には市長自ら、企業の誘	行政	未来ある子ども達の安全の為、歩道の整備、学校給食の見直し（粗悪な内容と孫から聞いています）。
		関係機関・団体	つがる総合病院に、腕の良い医師を確保すること。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	致に動くべきです。	企業・事業所	率先して企業を誘致して雇用を確保し、若者の生活の安定を図る。
		市 民	この五所川原市の未来の為に、本気でこの市を良くする事を考える人物を選んで行くべき。
9	雇用の安定（若者に夢が無い）。 農業者の育成を目指す。	—	—
10	わがまちは（農村地帯の中の商業のまち）一般財源の少ない小都市。可能な財源を活用して、インフラ等を造成してきた。しかし、1000兆円の借金を担うどっかの国と同じに感じる時もある。いっそのことインフラより助け合って生きるまちづくり、福祉・医療のまち化を進める。五所川原に住めば安心だというまちへ（現在進行中）。もっと若い者の意見を聞きながら成功してほしい。	行 政	大きくなる必要はないが、団体・組織を活用（無いものは育成しながら）し、論じあう場、機会に参加してもらいながらのまち・人づくりを進めて。
		関係機関・団体	積極的に協力し合う（ただしエゴは脇に置いておいて）脚引っ張りほしない。
		企業・事業所	行政をどんどん利活用する。もちろん、行政にも大いに協力はする（自分達に返ってくるのだから）。
		市 民	文句ではなく意見をどんどん述べる。積極的に協働する。
11	市民がこれからも安心して暮らして行けるまちづくりを!!	行 政	財政基盤の強化に最大限の努力を。 市民の協力を引き出せる市としての具体的提案が必要。
12	明るく楽しく挨拶のあるまち。	行 政	特別職、市議会議員等の報酬の更なる圧縮を期待。 数年前から検討されている給食センター設備の新築早期着工。
		関係機関・団体	中高年及び若者等が安心・安定出来る職場。企業誘致。
		企業・事業所	介護施設の充実及び新築・増築・改築を推進。
		市 民	自転車等の舗道でのマナー。
		その他	生き活きセンター開館時間を遅く、閉館時間を30分～1時間ほど延長を指導できないものか。
13	1 市浦・金木町と市町村合併したが、この3地区を繋ぐものが岩木川であり（道路以外）岩木川を活用できないか（文化・資源・産業・観光etc）。 2 立佞武多の館周辺の開発失敗の反省と改善工夫が必要。	行 政	1 つがる市も含めた（木造、車力）文化産業経済観光の連携組織作り。 2 一年に桜祭りと立佞武多と虫送りだけの観光資源では不足。通年で集客力ある催事を。
		関係機関・団体	1 私利を追求していないで活動している団体組織。 2 市民の多くは冷めてしまっており、もっと文化的で歴史観を大切にしてピュアに考えてほしい。
		企業・事業所	1 新規の企業誘致。海、十三湖の活用できる産業の育成。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			2 まちづくりの基本の研究と専門家企業の利用。
		その他	経済より文化の復興を基礎にした連携。 NPO との連携。根本から駅周辺を含めまちづくりを考えるべき。 市議が問題意識を持って活動していない。人材難であり、かつ定員も無駄に多い。偽善と私利私欲に利用していると思ってしまう。
14	農業や水産業にもっと力を入れて取り組んでほしい。後継者の問題、生産方法・養殖・加工・ブランド化・販売方法等。 漆川工業団地への企業誘致。働く場所の確保。人口増加。	行 政	一日でも早く誘致企業を見つける。他で視察したり聞いたりした事を参考に。
		関係機関・団体	指導・援助。
		企業・事業所	協力。
		市 民	出来る事は協力する。
		その他	個人は無理でも町内会・市・団体等を作って運営。
15	市内の通りですが、以前の駅前通り、大町・新町・寺町・柏原町と布屋町とか賑わっていましたね。今はまちそのものが死んでいます。人が集まるような事をやるべきだと思います。市内に人が集まる、元気の良いスーパー、道の駅、子どもと親が遊べる公園とか。	行 政	市役所の人々の服装ですが、その役所によって決まっている所もあるが、中にいる方は男はワイシャツの色は統一して、女性は決まった制服にして、受付担当者には明るく親切に言葉が綺麗で対応する事。とにかく皆さんが元気のある姿で、関係団体と元気な行動を。
		企業・事業所	企業・事業所も同じく、元気な企業、元気な事業所でやっていけば、より皆さんにも良い結果が来て、明るい良い仕事は来るはず。
		市 民	五所川原市民を1人1人元気で助け合って、隣・知り合いなど、皆さんで元気なサークルを作る事だと思う。
16	基礎、インフラですね。徹底した整備。地味だけど一番大事ですよ。物事のスタート基本ですからね。	—	—
17	学園都市にしたい。	—	—
18	若い人達が安心・安全に働けること。学校が統合になって廃校になった学校が荒れている。芦野公園の整備。ごみの清掃について老人クラブに補助をしていたが今は無いという話を聞く。住民の行政への頼りすぎ。	行 政	何でも要望ですと予算が無いと言われ、ないないづくしである。市議会議員達も合併後、責任がなくなっていると感じられる。
		関係機関・団体	各団体で大変であるが、ばらばらで足並みが揃っていない為、団体力の力不足が感じられる。
		企業・事業所	企業の成長がないように思われる。活性化になってほしい。
		市 民	—
		その他	役所の職員のマナーを勉強させてほしい。
19	歩道の整備が大切だと思います。安	—	—

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	全に歩けない道路がたくさんあります。		
20	ポイ捨ての無い五所川原市。	行 政	ポイ捨て禁止条例、キャンペーンなど。
		関係機関・団体	子どもから大人までのマナー教育。
		企業・事業所	ゴミの分別、再利用、社員教育。
		市 民	地域でのゴミの出し方教育。マナー教育。ゴミの減少法など。
		その他	資源の再利用の徹底。
21	農業以外の産業が必要。特に若者達が、安心して働き生活出来る事が、これからもまちに求められる重要課題。	行 政	特殊性を持つ会社やその他の事業を応援する。
		関係機関・団体	アドバイスをする。
		企業・事業所	会社独自の特殊性を持つ事。
		市 民	一人一人が出来る事を協力する。
22	林業の活性化を望む。このような状況では技術が途絶えてしまいます。農業を大型化するには共済を任意加入にすべきである。また、農協も肥料等、資材は経済連を通さず仕入れして安く販売すべきである。森林組合等も若くて自由に山を歩ける人が役員につくべきである。道路は青森へ行くのに朝は混んで時間がかかり過ぎる。せめて幅 50メートル位の直線道を一本通すべきと考える。	行 政	五所川原と青森間に幅の広い道路を 1 本通すべきである。行政指導で共済（農業）は任意にすべきであろう（保険会社の参入を望む）。
23	総合的には活力のある生き方の持てるふるさと五所川原市の確立です。上記に書かれている事は全て大事ですが、あえて文化の向上・推進を述べたいと思います。文化で生活出来る訳ではありませんが、教育等にも連動すると思うからです。豊かな人間性、幅広い思考力等が見込まれるからです。このような事が福祉・医療などにも繋がると思います。	行 政	1 平素から文化の向上を促進・推進していく。市・教育委員会などが中心となってやっていく。芸術・文学に詳しい人、また、全く正反対の人達で委員会を作り、市のあるべき姿を語り結論を出して行くのも一案かも。
		関係機関・団体	2 全面的に協力していく事とする。場合によっては行政共に推進していくように常に行政と連携して行く事とする。
		企業・事業所	3 2 と変わらないが、2 に常に連動するように呼応して行動をとる事とする。また、平素から文化というもの存在感の重要性を上司から部下へと浸透させる。
		市 民	4 1・2 に呼応するように、行政が広報等を使い理解を得られるようにする。また、町内会長などに呼びかけ、推進していく。



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
		その他	5 1・2・3・4 が上手く行った時に創意・独創性が生まれ活力のある生きがいの持てる五所川原市が誕生する事になり、アイデアも生まれ、産業・雇用にも良い結果が生まれるのでは。
24	地域経済の活性化 1 米・トマト・野菜の加工品開発。 2 水産物の加工品の新開発（しじみ、あわびなど）。 3 これらのブランド化。	行 政	漁協・農協との連携でアイデアを出し合い、行政で出来るものはどんどん提案する。
		関係機関・団体	漁協・農協は、採って出荷する現体制から加工品の新開発でブランド化し、雇用の場を広めることが将来大切だ。
		企業・事業所	各協同組合員も自分の考えをアイデアを組織に反映させたら良い。
		市 民	ブランド品が多くあれば、わざわざ買い求めに人が集まる。金も地元に落ちる。
25	金木地区・市浦地区の人達でも、合併して良かった、便利になったと思えるまち。 買い物ができる店がなくなって、高齢者世帯の人達は大変困っている。	行 政	お買い物バスみたいのを走らせる事は出来ないか。
		関係機関・団体	移動販売車とか病院行のバス。
		企業・事業所	関係機関等への協力。
		市 民	引きこもり・寝たきりにならないように。
26	生活環境の分野で、自然の豊かさは重要な事だと思います。私がこの地に住み続けたいと思うようになったのは、20年程前にこの地にマイホームを据えた時からです。家の前には十川があり、野鳥の宝石と言われるカワセミや数十種類の野鳥が来ます。そして今ではエルムの街より便利さも加わりまた、土手を散歩する人々は、様々なストレスを抱えているかもしれないが、それでも皆穏やかな顔をしています。心の豊かさや健やかさに自然の豊かさは欠かせないと思います。ところがつい先日、土手の斜面の草や木を刈り払ってしまいました。これまでずっと土手の道端は安全上刈って来ました。それは良いと思います。よしきりが雛を育てている最中でした。それ以後野鳥のさえずりがあっさり減ってしまいました。税金で自然破壊をしていると思います。北上川の河川敷に学ぶのが良いと思います。	行 政	自然の豊かさを守るには業者に潤いを与えるのではなく、野鳥や川の命を守ることを優先にした方が良いと思います。時々、農家の都合で川の流れをせき止める時があります。へどろの中で大きな鯉が生きたまま干からびていくのを見ると心が痛みます。自然の保護は市民に潤いを与えます。思いやりのある行政で、住みたいまちづくりに取り組んでほしい
		関係機関・団体	一年に一度、ある団体がゴミ拾いをしています。感謝しています。339号線からエルム街の土手沿いはゴミのポイ捨てが目にあまります。我が家の前の土手にゴミ箱を設置したら、ポイ捨てが減った気がしました。管理が大変なので今は撤去しました。ゴミ収集車がゴミ箱を管理するのは無理でしょうか（本当は市民のモラルが一番の解決策なんです）。豊かな自然に癒されるなら、それをあえて汚染しようと思われないように、心に訴えるような景観作りを。専門家の意見を考慮。人為的な設置物は破壊感を誘います。自然をありのまま保存を。
		市 民	7・8年前になりますが、中央6丁目一帯の中央分離帯に花を植え、町内の人達で世話をしました。エルムに来る人達も増え、交通量の多い道路なので朝早くに水やりの当番を課し、町内の連帯感も

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			深まりました。何よりも五所川原の入り口で美しいまちという印象を与える事が出来ました。行きたくなるまち、住みたいまちづくり（エルムの街は大いに寄与しています）に市民も参画させる事が出来ると思います。
		その他	エルムの街は頑張っています。その集客を利用し、来客を五所川原へ来る事に付加価値を与える事が出来ればと思います。五所川原に行ったら、必ず食べて帰りたいという店です（エルムの内外に）。盛岡に行ったら冷麺というように、エルムの活力を五所川原のまちへと波及できるように。弘前の食産業は主婦層のランチグルメで保たれているそうです。
27	若い世代の意見が積極的に行政に取り入れ（高校生を含む）られるまちづくりを希望します。	—	—
28	若い人達がもっと生き生きと活発に行動し、自ら発揮出来るまち。	行 政	若い行政職員の意見がよく見えない。 市中心部と近在の職員の地域における行政サービス等の市民に対する周知。 中心部以外の地域には住民サービスが悪いと思う市部に片寄り。
		市 民	市の施策について、多くの人に関心を持って行動できる事。
29	住みやすいまち	行 政	税金等の引き下げ
		関係機関・団体	後期高齢者の保護
		企業・事業所	雇用の増進
		市 民	ボランティア活動の参加
30	駅前、または、まちの中が寂しくなりました。もう少し何とかならないものか。	—	—
31	若い人が働ける場所。 老人が安心して暮らせる環境。	—	—
32	自分が年寄りな為、お店などに偏りがあって買物など大変不便です。誰もが自由に買物出来るまちであって欲しいです。車社会重視でしょうが、身体の不自由な人には決して優しいまちになっていません。若者も年寄りも平等な便利さがあると良いです。	—	—
33	まちに食品スーパーがあったら良	企業・事業所	雇用

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	いと思う。		
34	目指したいまちの姿と言うか、いろんな催しとかがあっても、車に乗れないと参加したいと思ってもなかなか…。今はもう少し年をとると、どうやって生活するかそれだけが心配です。	—	—
35	若い人達の雇用だと思う。産業が発展して多くの人達が働く場所があったら、安心して暮らせるんじゃないかと思う。	—	—
36	雇用に力を入れて、若い人達が地元によく残れて、活気のある市にして欲しいです。	—	—
37	以前の半分でも良いのですが、まちの中を人が歩いている姿があれば良いと思う。	企業・事業所	エルムまで行かなくても、まちの中に50歳以上向けの洋品店があれば良いと思います。年金生活にあった店、食品も同様です。
38	まちの真ん中が空っぽです。アーケードがあった時の方が安心して帰れました。	—	—
39	各歩道の除雪にももう少し高低差を無くして歩きやすいようにして欲しい。	行 政	こまめに小型の除雪機で除雪をして欲しいです。
		市 民	自分の家、または店の前を除雪する。
40	働く場所があり、安心して暮らしていける五所川原市。	その他	行政・企業・市民、みんなで協力しながら考えてほしいと思います。
41	五所川原市は駐車場が少ない為、買物客も少なく夜も早く閉めてしまうので、会社勤めの人達は10時までのユニバースやエルムに出向いてしまうので、まちまでは行かないと思います。とりあえず駐車場とスーパーがあれば良いと思います。	—	—
42	若い人が働ける安定した職場が多くあるまち。その中である程度の年齢（60歳）でも働ける、軽度な職場（仕事場）が現在より多くあるまち。高齢化の進む中、生活環境もある一部のみの繁栄ではなく、全般の人が安心して暮らせるようなまち。	行 政	商工会議所・青年会議所等が主になり検討して欲しい。
43	明るいオープンなまち。	行 政	人材教育。 本当に市民の為に働きたい人を採用・教育・笑顔で仕事を出来る人に育てる。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
44	旧金木・市浦地方も活性化してほしい。良い所や田舎を利用して、他に無い事を売り出して、元気が出る田舎にしてほしい。	行 政	資源の掘出し
		関係機関・団体	P R
		企業・事業所	P R
		市 民	地元愛・ボランティア
45	高齢者が多い現在、元気なお年寄りが少しでも働ける職場が（年齢に合った）あれば良いのではないかと思います。そういう事によって、お金もそうですが健康にも良いし、周りの人達との交流も出来、若い人・お年寄りも元気で明るいまちづくりにつながるかなと思います（うまく表現できませんでした）。	行 政	上記のような職場が出来るように窓口を作ってもらえたら良いと思います。
		関係機関・団体	行政と緊密な関係をとってもらい、各事業所などとの話し合いの場を作ってもらいたい。
		企業・事業所	年齢・仕事内容などの表示を出してもらい、作業に適した人員を募集する。
		市 民	表示された作業内容など、自分に適しているかを判断して仕事に就ける事が出来れば幸いです。
		その他	このような書き方で良かったのかな？
46	若者が住めるまちづくり（企業が無い為、若者は県外へ働きに出るだけ）。 駅前活性化を図る必要がある（大町周辺の都市計画はダメ。古い建物を壊したが統一した建物が無く、田舎だよ）。	—	—
47	高齢者でも容易に1人で買物や通院出来るよう、交通機関を充実してほしい。	行 政	無駄な市民に理解されない出費を無くする。
48	中心をエルム中心としたまちにして、活気ある市にしてほしい。雪も問題である。歩道の雪を取り除き、安全性を保つべきである。	行 政	除雪、物事に真っ向から取り組んでほしい。
49	現在のような飛地になっているような行政区域ではなく、中泊町を含む一体となった行政区域となり、住民が協調してまちづくりに取り組んでいく事が出来るまちになってほしい。	行 政	合併を働きかけてほしい。
		関係機関・団体	交流を大切にする。
		企業・事業所	交流を大切にする。
		市 民	交流を大切にする。
		その他	交流を大切にする。
50	子ども達が住みやすく、また、育児するにおいて横との繋がりを多くし、出産・子育てを安心して出来るまちにしてほしい。	行 政	五所川原は出産する場所が少ないと思うのでもっと多くしてほしい。 子育て世代の家庭を対象とした、各種イベントを開催してほしい。
		企業・事業所	出産・子育てまで、お母さん方の不安などを聞いて

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内容
			てくれる場もあってほしい。
		市 民	近所や町会など、住んでいる人達と子育てしている母・子と一緒に話をするなど、地域で子ども達を守る気持ちでいてほしい。
51	医療の発展	—	—
52	ゆっくりでいいから前に進んでほしいですね。連携も必要。エリアを広げて見てほしい。	行 政	連携
		関係機関・団体	連携
		企業・事業所	連携
		市 民	連携。進めていません。健康なら良いのですが、大病した場合移動が不安。何かにつけて不安。
53	町内会の役員をやっていますが、住民の高齢化が進み、一人暮らしの人が増加し、孤独死が一番問題です。気が付かないと数ヶ月後に白骨化で発見となりかねません。町内会では毎日チェックは不可能。	行 政	他の行政等の実施事例を調べて、何か良い案がないか検討して頂きたい。
54	パチンコ屋と病院、老健経営者が隆盛を極め、低賃金に苦しんでいる若者。特に派遣労働者を酷使している環境の改善が必要である。	行 政	昔の出稼ぎと変わらない生活環境。
		関係機関・団体	首都圏の高額な老健施設より住みやすい施設、環境の整備で老人居住区を造る。
		企業・事業所	派遣業を利用せず、正社員の雇用を増やす。
		市 民	選挙投票率アップで政治参加。
55	行政に関わっている方々は五所川原中心部が腐っているのに周りが発達して行くと思いますか？	—	—
56	中泊地区は毎戸に無線放送機器を設置されております。五所川原市でも、それに似た物を設置したらどうでしょうか。 救急車の件ですが、現場に到着しても病院へ運ぶのに 20 分近くも発車しないのは、病状を重くしていると思うので改良して下さい。 子ども手当等、現物支給しないで給食代や医療費を無料にした方が、給食費の未納など無くなるので良いのではないのでしょうか。	行 政	金木地区に住んでおりますが、防犯無線の放送がほとんど聞き取れません。改善して下さい。 市浦方面からの無料バスは無くして下さい。市役所への用事は支所でも出来ると思います。買物や病院への利用に使用していると話しているのを耳にしたので一言申し上げます。
57	五所川原（旧市）・金木・市浦、特に金木地区・市浦地区の住民について不公平な気持ちが市民に生まれないようにしてほしい。	—	—

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
58	医療の面ですが、その前に待っている時間が長く、高齢者は体力が大変だと思います。そこを改善してほしいです。	行 政	市民中心の(金木・市浦) 含む市政を宜しく願います。
59	少子化が気になる。 堺野沢遊歩道を手入れして下さい。	行 政	子どもに補助を厚く。
60	ショッピングセンターの近くに駅が無い。	行 政	各部門の受付の対応が悪いと思う。
61	観光で来た人達の宿泊できるホテルが少なすぎる、と思います。	行 政	行政相談に行った時、次の人が耳をすまして聞いてました。プライバシーの問題ですので配慮してほしいです。

#### ■70 歳代以上 (60 件)

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
1	これからの五所川原を背負っていく子ども達や若い人達が、安心して将来を生活出来る場所であってほしいです。	—	—
2	観光・地域文化の分野（立佞武多・芦野公園の桜・十三湖産シジミ・赤～いりんご・太宰治・虫おくり）。	行 政	企画・予算
		関係機関・団体	参画
		企業・事業所	参画
		市 民	協力
3	何処でも見られる一律的な広大な市街地では無く、その土地特有の風土を醸し出す（感じさせる）市街地を形成し、例えば旧五所川原市を中心に、旧合併市町村がそれを取り巻く市街地の形成が望ましいと考える。従って医療機関・商店・文化施設等も一ヶ所に固まることなく、広く市民に利用され易いよう、いろいろな所に設置されるよう望みたい。市街地を歩いてもいろいろな所に小さくて良い、小さいオアシス（小公園）があっても良いのではないか（宮城県のあるまちで拝見した事がある。大変気が休まるものである）。	関係機関・団体	市商工会議所 県医療厚生課、医師会等

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
4	福祉の充実、活力のあるまち、及び賑わいや若年層の地域求職、安定した就業環境。	行 政	中心市街の活性化 買い物など魅力ある商店街 工業団地への企業誘致をお願いしたい。
		関係機関・団体	高齢者が安心して生活できる環境
		企業・事業所	若年層の雇用
		市 民	男女の性別に関係なく、文化活動や地域の伝統を受け継がれ、交流・ふれあいやコミュニティ活動が行われる事。
5	老後になった人達が、病気や福祉の面で安心して暮らせるのが、子ども達から見て分かるようなまちになってほしい。	行 政	70 歳以上は窓口負担をゼロにする。年金を増額する。
		市 民	支え合い。交流を深める。
		その他	エルム→ジャスコ、その周辺だけの繁栄ではダメ、旧町内に歩いて行ける店を。
6	スポーツにもっと力を入れてもらいたい。	関係機関・団体	ウォーキング・ジョギング。
7	まちの活性化による再生を。全体に向けて言える事だ。	—	—
8	駅前開発に着手される事を切望します。まちの発展はよく駅前に出ると述べられておられるように、目玉はその賑わいにあると思慮されます。それにまた、中心商店街の活性化に重点を注ぐ事です。昭和 40 年 50 年代当時の消費者の多く、好景気だった姿に匹敵するまちの経済にもう一度着目したい。	行 政	見識者を選任し、いずれの分野に対しても意見を拝聴し決定したら良いでしょう。
9	町内会活動の活性化。 活動が停滞している町内会が多く見られる。今度、町内会のあり方や活動の内容の見直し、いっそうの活性化を推進したい。	行 政	町内会の縦のつながりを重視したスポーツ活動の推進や、それに伴う活動費の助成。
		関係機関・団体	モデル町内会の設定と活動の推進。
10	大町、布屋町、寺町付近に、八戸の八食センタークラスは無理かもしれないが、大型食品スーパーを作る必要有り	行 政	大店法改正以前は、地方の商店もそれぞれ営業ができておりましたが、改正後、資本力のある企業が郊外に大型店舗を次々に設ける事により、今までの中心商店街はシャッター街になってしまいました。また、行政においては、大町二丁目、立佞武多をメインにして都市計画事業を行ったと思うのですが、終了したところ空き地ばかりで商店は無し。全く情けなし、個人商店がいくら努力しても前のような活力ある賑わいは無理でしょう。今一番困って（生活するのに）いることはマルコー

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			センターがありますが、食料品の買い物が思うように出来ない。
		企業・事業所	行政・商工会議所・企業が一体になって、八戸の八食センタークラスとは無理かも知れませんが大型スーパー（食品）作る必要があると思います。
		市 民	人が集まる事により、自然と商店も次々出来、それこそ年寄り生活者に優しい五所川原になるのではないのでしょうか！1回には無理、1つ1つ小さい事より実施して下さいますようお願いいたします。
11	短命県の汚名返上について	行 政	人口予測を正確に
		関係機関・団体	補助金を当てにしない
		企業・事業所	特色のある企業
		市 民	支え合い
12	津軽平野の中心部として、あらゆる面において、優秀な便利で快適な田園都市になる事。	—	—
13	若い人達の雇用（企業の誘致）。現状だと五所川原市のまちづくりはますます後退し、人口減少、将来の見えないまちになってしまいます。どちらかと言えば、農業で言えば、ハウス栽培ブランド物等、メロンとかスイカ、そのような事で収益を上げて頂きます。	行 政	市の職員の中からでも、知識の優れた職員がいると思いますので、その中から何人か会合を持つ。今後の未来像を探って行くことです。それからでも関係機関・団体等とアイデアを出し合う。
14	現在の五所川原市は、何が他の市町村より優れているのか、何を売りにしたいのか全く見えて来ません。観光を売りにするなら、昔から商業のまちと言われていたものを上手く利用して、今は空き地だらけの中心商店街付近を、昔の街並みに再現するなり、五所川原にしか出来ない何かを考えるべきだと思います。	行 政	こういうアンケートを年に何度も行い、中心商店街の活用方法を市民に聞くなり、行政内でも意見交換するなり、もっと真剣に考えるべき。
		関係機関・団体	商工会議所も中心商店街の活性化について、会員同士で意見交換するべき。虫送りと火祭りをやっている場合ではないでしょう。
		企業・事業所	そもそも五所川原市に商業が少なすぎ。
		市 民	やる気なし。
15	防災減災のまちづくりの考えから、道路は歩道、自転車道、自動車道及び街路樹は所によって常緑樹・落葉樹（低・中・大）を出来るだけ多く植えて、緑の多い街並みにしてCO <sub>2</sub> （地球温暖化防止）対策を図る。	—	—
16	教育・文化・福祉・雇用に力を入れてほしい。	—	—



	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
17	若い人が意欲的に働く事の出来るまち。 高齢者が安心して生活出来るまち。	—	—
18	現在は何かエルクムが中心になって動いている気がします。駅前とか大町2丁目の都市計画は良かったのか悪かったのか、理解出来ません。	行 政	今の状態では市民に対して何か物足りない気がする。ただ市の行政が先に走っているようなので考えて、市民の為に欲したい。
		関係機関・団体	西北病院も出来るし、市役所も新しくなっても、中心地に勢いが無いのでみんなで頑張りたい。
		企業・事業所	企業を持ってきて、若者の働く場所を作って欲しい。
19	年中観光都市へ。	行 政	発案。
		関係機関・団体	指導・役割。
		企業・事業所	独自性を持って。
		市 民	市民の意見を参考に。
		その他	他の市町村との比較。
20	福祉施設の充実。施設の入所希望者が安心出来るよう望む。	行 政	施設入所待機者の解消。市民への市政情報の開示。
21	現在のままで頑張って下さい。	—	—
22	日本は生活が豊かだが、心が貧しいと言われるがわがまちも例外ではない。心の豊かさなくして市発展もなく優秀な人材も育たない。心の豊かさ・優しさ・暖かさ・支え合いの心の持ったまちづくりを願う。	—	—
23	産業基盤の確立と雇用の確保が第一である。	—	—
24	雇用と安全	行 政	雇用
		関係機関・団体	雇用
		企業・事業所	雇用
		市 民	安全
25	医療・商業において半端でなく、県一のサービスがあれば自然に重要な都市になると思う。	—	—
26	今後も、これからも、今も思っている事は、少し気軽に安心して休む場所がありましたらいかかと思えます。	行 政	皆の意見を聞く事だと思います。
		関係機関・団体	一つのまとまりだと思います。
		企業・事業所	仕事が無い事でしょう。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
		市 民	市政が良くなる事を願っております。
27	住民が安心して住めるまち。 観光客が来やすいまち。来たいというまちを作る事によって市も活性化していくと思う。 医療の充実→総合病院の医療・医師・看護師等レベルアップ。	市 民	安心して住めるまちに。
28	リストラのない、安心して働く事が出来る市。健全な家庭を目指す。	行 政	子育て中の婦人は8時間労働をしない、出来れば6時間労働が理想。先生・保育士→考える事。外国ではどうしているか勉強してほしい。
		関係機関・団体	労働基準法が本当に守れているか、もっと厳しくして、安心して子育ての出来る職場を。
		企業・事業所	企業は時間を守る。農家の人会社がやっている時、従業員に農業をさせない。会社と農業は別、けじめをつける事。
		市 民	役所の方針に従う事。贅沢をする為に働くのはやめてほしい。家の事も仕事も楽しんでもらうにはどうしたら良いか考える。
		その他	五所川原市の為に毎日の仕事を各自しっかりやって、共に楽しくをモットーに。
29	若者達（20歳・30歳・40歳）の雇用があって、安全・安心の出来る五所川原市の姿であってほしいです。	—	—
30	働く場所があり、安定している事。	行 政	雇用する場の提供
31	若い人達が安心して働ける場があれば良いと思います。出来れば行政で。	行 政	企業を持ってくるとか。
32	文化芸術を大切にする都市づくり	行 政	五所川原市に関係のある芸術家文学者の資料収集及び整理。 ネプタ館などに関連づけた展示・広報。 安東水軍、サイの河原等のPRの工夫。
		関係機関・団体	上記に関係ある者によるNPOの創設活動（現在の関係団体の活動も可であるが、単なる地位名誉によるリーダー登用を排除）。
		企業・事業所	将来を見据えた上での資金やその他の協力。観光ルートの設定及びリピーターを増やすような暖かい接遇などの工夫。
		市 民	当市に関わる知識を蓄積（例えば名物・名所・特

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
			産物・著名人等の知識検定等)。
		その他	当市の商人・事業者のおもてなし心養成。
33	大町や元中三通りにもっと人・人・人の姿が見られるようなまちがほしいな。	—	—
34	産業（企業）。雇用（事業所）。	関係機関・団体	まちづくりの為にエンジンをかけて欲しい。
		企業・事業所	生産やサービスを提供
		市 民	若者が働く場所
		その他	市長が市民の事をもっと考えて欲しい。
35	まちの活性化の為に立佞武多をあと1日のぼしてほしい。それが市の活性化に繋がります。	市 民	まちの活性化には各市町村の対抗による体育大会をやって活性化を図ると良いと思います。
36	旧市内の中心がもっと明るい姿になってほしいと願っています。	行 政	経験不足で正直よく分かりません。
37	一度県外に出ても、地元に戻って来たいと思えるような所になればと思っています。具体的にどのような取組を行えば良いのか分かりませんが、行政・関係機関・企業事業所・市民（学生も含めて）全部協力が必要だと思います。	行 政	働く場所を増やして欲しいです。
		その他	毎月軽トラ市が大町で開催されていますが、買物を済ませると寄りたい店もなく帰って来ます。大町がもっと魅力ある通りになって欲しいと思っています。トラック市に合わせて立ちネプタの館で人が集まるような催事をやって欲しいです。
38	市の行政等、普段の生活の中ではそんなに深く考えた事は無いが、頂点となる市長を中心に、あらゆる行政が共に連絡を取り合い、市の向上の為に協力を惜しまず、努力し合い、市民の我々は出来る限りの支え合いを旨とし、市の姿、思いやりのある美しい五所川原市の姿である事を望む。	その他	後期高齢者で、行政等の仕組みを云々する事は出来ないが、企画・行政・実行となれば、出来る限り従って、この五所川原市で生きていきたい。
39	自然の豊かさを大切にし、子ども達が心身共に健やかに、故郷を愛し、国を愛し、平和を大切に作る人間になるよう、文化の向上と常に学ぶ心・意欲を持って、目標に向け構築する努力を惜しまない事。支え合い、より添い高齢者にとっても希望の持てる社会であるように。また、まちづくりの担い手の若者や中年層にとっても、希望の持てる、活力あるまちと働けるまち、人間尊重の上にたって良い仕事の出来るまち、	行 政	各々の分野において、市民の声に耳を傾け、行政・市長・専門家を交え、長期・中期計画の元に、今何をすべきか、しっかりした着眼で公正に聡明に市民にわかる行政を進めて欲しい。
		関係機関・団体	市民の意識向上にも機会を作って欲しい。
		その他	人々に優しいまちづくりを。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	生き甲斐のあるまちになれるよう、小さな努力をして行きたい(欲しい)。また、医療に大きな期待を持っています。		
40	老人や歩行者が安心して歩ける、健康に優しいまちづくりに努めてもらいたい。私は持病で市内の病院に通院中。駅前の大町をどうしても通なければならない。その度にパチンコ店の前からタバコの臭いで気分が悪くなる。タバコは吸わない人に受動喫煙による害が吸う人より遥かに健康に害を与えられている。	行 政	大町は歩行者の一番多く通る中心街である。市民の健康を守る上で、パチンコ店を他の場所へ移転させてもらいたい。行政側をお願いしたい。
41	老人の住みやすいまちづくり。	—	—
42	協調性のあるまちづくりと、心の豊かさを持ち、行政に関わりをもちながら取り組んで行けたら良いと思います。	—	—
43	緑の田園、山林の保存、自然の豊かさを支えて、雪害・洪水等が起きないように都市基盤を整えて、安全・安心の環境整備に努めるように、地域住民が協力していけるように、行政・団体・企業等が頑張っているようにしよう。	行 政	市広報等を通して、どしどしみんなに伝えてほしい。これからは高齢化社会が増えてゆくので、お互いに福祉医療に関心を持って健康増進を勧めるように指導してほしい。
		関係機関・団体	学区長の顔合わせを増やし、夢と希望の持てるまちづくりを目指して実現していこう。
		企業・事業所	各専門の事業所・企業は皆で支え合い、共生・調和のとれたまちづくりに努めたら良いと思う。
		市 民	地域住民が知恵をしぼって良く話し合い、機会がある度に皆さんの意見を聞いて実現出来るようにしたい。
44	市の中心街をもう少し活力のあるまちにしたい。年寄りにも中心街で買い物ができるまち(エルム・ジャスコなどに行かなくても)買い物しやすいまち。歩道を平らに(デコボコが多すぎる)。	行 政	どこを歩いても平らな道。
45	1. 中心街の活性化 2. 自然保護	行 政	1. これからの姿をはっきり提示すべき。2. 安易に古木老木を切らないでほしい。
46	除排雪の徹底。地域間の不平等を無くしてほしい。 西北病院の駐車場の少なさ・遠さ・診察までの時間の長さ等を改善してほしい。	行 政	市民の事を第一に考えた行政を行ってほしい。

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	いろいろな行事やイベントがあっても、高齢者の人はそこまで行くのに大変だ。無料バスが出るとかの支援がほしい。いくら広報に案内が載っていても、車を持ち乗れる人、健康な人に限られる。		
47	雪道の確保	行 政	電話等ですぐ対応を。
48	若い人達の働く所を増やしてほしい。老人達のいる場所を増やしてほしい。福祉の人達がどのようにしてお金をくれているのか、どうなっているのか不満です。周りに聞いて回して下さい。	—	—
49	みんなが仕事のあるまちであれば良い。	—	—
50	今後ますます車が増加する車社会を考えると、無料駐車場の増設が何よりも一番必要だと思います。現在、公立病院の駐車場の確保も困難な状況です。それとやはり、駅前周辺を整備して、ビル街や観光案内所・市内循環バス・観光バス発着所などを新設したら良いと思います。それと併せて、市内各地の見学場所などの発掘も必要ではないでしょうか。	行 政	各関係機関などと連絡協議会を設置して財政面や企画など、いろいろ検討されたら良いと思います。
		関係機関・団体	将来まちづくりチームを作り、行政・企業などと連携を取っていったら良いと思います。
		企業・事業所	会社は自分たちの利益につながる方法で、どのような協力出来るか、会社全体で考える検討委員会を作ったらどうでしょうか。
		市 民	一人一人での参加は難しいのではないかと思いますので、町内会・老人クラブ・各サークルなどを通じて協力して行くべきだと思います。
51	福祉に力を入れてほしい。	—	—
52	1 冬の道路（除雪）の整備。 2 まちの中心地にスーパーほしい。 3 道の駅があればと思います。	—	—
53	子ども・高齢者、安心して楽しめる緑豊かな公園があったら良いと思います。	—	—
54	観光都市。	行 政	窓口対応がよくない。
55	都市基盤を充実させ、住み良い生活環境を作り、この五所川原で暮らしたいと思うまちづくりをしてき、人口を増やせる方法を取る。大企業の無いこの地では、もちろん雇用は生まれない。だとしたら徹底した商業都市を目指す。また、観光とタイア	行 政	一次産業に付加価値をつけ、インターネット販売の拡大をする。個人の方では限界があるので是非行政の力を。
		関係機関・団体	商工会・バス・タクシー等連携して誘客（観光）活動する。
		企業・事業所	商店の場合は従業員は案外そっけない。というか

	目指す姿	取り組むべきこと	
		実施主体	内 容
	ップする手立てを考えるまちづくり。		呑気なのかサービス心が足りない気がする。
		市 民	一人一人は良い人が多いが、将来のまちづくりや災害等、自分を入れて関心が薄いように思う。自分を律し、住み良い環境づくりに努力が必要。
		その他	活力が無い、魅力がないまちかな？でも住みごこちが良いのは何故か。
56	公務員、団体職員、大企業の社員だけが住んでいて、若者も子どももない地域はいずれ消滅します。貧しい人や弱い人が安心して暮らせる地域活性化なしに未来は無いと思います。弱い人達に光が当たるまちづくりが必要です。	行 政	企業誘致。 人件費を減らす（働かない人達がたくさんいるように見受けられます）採用の公平化。
		関係機関・団体	雇用創出。 学生の職員に対しての研究拡充。
		企業・事業所	社員教育の徹底。
		市 民	ボランティア参加。
		その他	公務員 OB のボランティアが少ないと思います。まずボランティアの先陣を切るのは公務員 OB から。
57	老人福祉について。 現在 80 歳の老人ですが、ボケ予防・転倒予防の為の教室（いきいきプラザ）に通っています。健康管理にはウォーキング・食事なども重要ですが、楽しく出来る事も大切です。とても良い活動だと思って感謝しています。	—	—
58	市営住宅移転後空地、その後の町内は発展性のない死の町内である。	行 政	高年齢になり何ら夢・希望ゼロになりました。
59	全部の項目の取組を必要だと思います。	—	—
60	病院での待ち時間の短縮。 あまりに待ち時間が長いので、行政関係機関で検討してもらいたい。薬をもらうだけで半日かかります。他の病院だと 1~2 時間です。	行 政	良く検討してもらいたい。
		関係機関・団体	良く検討してもらいたい。

### Ⅲ 自由意見





### Ⅲ. 自由意見

今回のアンケート調査では、921 人のうち 291 人 (31.6%) の方から自由意見をいただきました。意見の中には、複数の分野、テーマにまたがっているものがあったため、その内容から、以下の分野 (テーマ) に分類した結果、総意見数は 483 件となりました。

分野別で最も多かったのは、「行政経営など」の分野についての意見となっており、全体の 40% 以上を占めています。テーマ別では、市政運営・行財政改革、雪対策、中心市街地、観光に関する意見が多く寄せられています。

【表-46 自由意見の回答数】

回答構成	回答数	(構成比)
記述あり	291	31.6%
記述なし	630	68.4%
合計	921	100.0%

【表-47 自由意見分野別件数一覧表】

分野 (テーマ)		意見数	(構成比)
1	都市基盤 (中心市街地、都市環境、道路整備、公共交通、エネルギー)	68	14.1%
2	産業 (農林水産業、商工業、観光、雇用・就労)	70	14.5%
3	保健・医療・福祉 (保健・健康づくり、地域医療、高齢者福祉、子育て支援、障がい者福祉、社会保障)	55	11.4%
4	居住環境 (雪対策、ごみ、上下水道、居住環境、消防・救急・防災、交通安全・防犯・消費生活)	63	13.0%
5	教育文化 (学校教育、スポーツ、社会教育・生涯学習、芸術・文化・伝統)	15	3.1%
6	行政経営など (市政運営・行財政改革、市民参画・広報広聴・情報公開、コミュニティ活動・地域交流、まちづくり・将来のまち、少子化対策・定住促進、市町村合併・地域格差、市議会運営・市議会議員、税金・使用料・手数料、市職員、窓口対応、市役所庁舎・公共施設、アンケート調査、その他)	208	43.1%
7	その他	4	0.8%
合計		483	100.0%

【表-48 自由意見】

1. 都市基盤

(1) 中心市街地 (34 件)

中心市街地	
1	私は7年前に五所川原に引越して来ました。でも正直、今は前の市の方が住みやすかったと思います。中心街「エルムの街」ができ、大変まちは賑やかになった一方で、五所川原駅周辺が孤立して人がいなくなりました。たちねふたの館を建てましたが、その周りに住宅がたくさん新築しているのを目にしました。正直、何のためにここに家を建てるのだろうと疑問に思いました。駅周辺は観光客が楽しめるような建物が無いから人が来ないのだと思います。結局エルムしか行く所がないから、エルム周辺に人が混雑し、土日なんかは渋滞です!!もっと駅の周りにお店や飲食店(居酒屋以外)などを増やせば良いと思いますけど…。
2	中心市街地の整備を進めてきたが、本来の目的に近づいているのか? 空き地や駐車場ばかり目につき、活性化を失っていると思えません。今後の取組・方針をもっと一般市民に具体的に示してほしい。次期計画というのは、前回の計画のバージョンアップなのか? まったく異なる別の計画を目指しているのか?
3	中心市街地の整備も良いが、中心ばかりに目が行って地方がないがしろになってはいないでしょうか? 中心といっても五所川原は若者が少ない。地方に行くともっと居ない現状を市政ではどう捉えているのか。
4	エルムだけではなく、昔みたいに街も活性化してほしい。昔はすごく楽しかった。
5	大町の区画整理は一体何の為にやっているのか分からない。私達の税金をなぜ大町だけに使われているのでしょうか? 市浦や金木地区も同じ五所川原なのに…。大町をキレイにして結局人は集まって来るのでしょうか? ただ立佞武多の為に、観光客の為に区画整理で大町だけをキレイにしたと思えない。税金を払っている市民はほとんどそう思っているはず。どうせやるなら大町だけでなく、もっともっと広い範囲をやるべきではないだろうか? 大町だけ特別扱いをするなら私達の税金を安くしてほしい。
6	五所川原の魅力はエルムだけ。駅も狭くて有り得ない。駅前も何も無さすぎ。五所川原の中心地がどこか全く分からない。シャッター通りを若い人(起業した人)に安く貸し出すとか、軽トラ市ももう少しお洒落にした方が良いと思う。ただひたすらにダサイ。ものすごく残念。一部しか盛り上がっていない感じがダサイ。
7	駅周辺の環境が整備されていない。ショッピング、飲食店街等、駅周辺に整備してほしい。バスや列車を待つ所も無い。
8	自分の幼年期の頃は、母が買い物に行く時に連れてもらい、一緒に大町通りを歩くだけでも楽しく色々な店が建ち並び、一軒一軒入っては見て、一通りのお買物で全部揃えられたものです。それがとても懐かしく思う年齢になり、今この母が買い物に行く時、車を出して乗せて“エルム”に行くという、母一人歩きの買い物は、市内では無理になりました。母は70歳そこそこですが、まだ元気なうちに「一人で買い物に行って来るよ」と言えるような市内の街を1日でも早く進めてほしいものです。この問題は自分ばかりの願いではなく、

中心市街地	
	高齢者のいる家庭は、一人で買いに行けると、家族みんなが便利になると思います。宜しくお願い申し上げます。
9	立佞武多の館の周辺整備計画がどうなっているのか説明がほしい。当初公園にするとの話で、営業していない店等は立ち退きさせたはずなのに、また店や住宅が建っているのはなぜ？
10	駅前開発は意味があるのか？
11	大町や駅周辺の整備がそこまで重要と思えない。
12	五所川原駅からもっと整備してほしい。そこから活性化の範囲を広げられたら良くなると思う。
13	不便な所。五所川原駅の地下道または一ツ谷方面から「東口」入り口があれば良い。
14	市内で(川端)で飲もうと思っても、駐車場が少なく不便です。鶴田町のように、銀行などの駐車場を解放し、気軽に車を駐車できるようにしてほしい。
15	立佞武多の館周辺の土地区画整理事業は、レトロな大正時代のまちになるはず(新聞で見た)だったのに、まるで統一性がなく、ただ単に新しい家を建ててあげているようにしかみえない。何をしようとしているのか。税金の無駄遣いにしか見えない。
16	難しいことだと思いますが、一ツ谷側にも駅入口があれば大変便利だと思います。
17	五所川原も駅ビルがあればいいなあ。エルムは若い人達の洋服ばかりで、年配の方にとってははいまいちです。また、軽く食事する店がないので、軽食の店がほしい。たちねふたの時期は市内が賑やかですが、祭りが過ぎると、やはり人が居なくなります。もっと人が集まる店があれば良いと思う。
18	駅前開発も全く進んでいないのではないか。大町は死んでいる状態。市の中心部を何とかしたらどうか。建物だけあっても利用されていないと意味が無い。使用方法を早急に考えるべきである。
19	駅前から大町までの開発についてですが、道路は整備され既存の建物も新しくなったのは良いのですが、立佞武多の館は別として今まであった花屋・薬局・靴店等、ただ新しくなっただけで、市民としてはあまり魅力ある店とは言えず、また入りづらい。観光客にとっても同じだと思う。個人の持ち物なので、仕方ないとは思いますが、ただ新しくなっただけで、今ひとつコンセプトがはっきりしないように思う。どうせ税金を使うのであれば、外部のコーディネーターの意見を聞くなどして、もう少し工夫して欲しいと思う。五所川原が大好きな市民としては、何とも残念な気がしてなりません。一部市民の間では大正時代の街並みになるとの噂もありますが、本当なのでしょうか。
20	祭り期間だけでなく、大町・寺町・本町に一年を通して人が集まる環境を作ってほしい。昔のように西北五の中心都市を目指してほしい。
21	なぜか大町など、市の中心が昔と随分変わり、今では旧ロータリーの所など、とても懐かしく思い起こされます。町内名も変わり、私には生まれは五所川原市内で五所川原小学校中学校を卒業したのですが、中央〇〇って、どこの場所?いまだに分かりません。勉強していくつもりですが思い出が消えていくのが…。それも時代の変化ですね。
22	五所川原駅・大町整備した理由は？弘前駅のように、綺麗に出来なかった訳は？身体で言えば心臓だと思います。

中心市街地	
23	駅前から大町・旧はいから町・寺町までのまちづくりについて、西北病院移転以外、長期的展望は示されていない。特に大町再開発のずきんさは目に余るものがある。これではいくら立ネプタで集客してもリピーターは増えないと思われる。
24	駅裏開発ですが、現一ツ谷地域は ELM に通じる道路もあり、マリユウ結婚式場やオルテンシアなどにもつながっています。駅裏の道路、または、商工会館をお土産専門店、喫茶店などとして活用し、駅周辺を開発すれば、まち全体が明るくなり、良くなっていくように思います。
25	大町再開発地域の商店街形成に取り組むことが活性化に繋がると思います。
26	大町の都市計画は当初画期的なアイデアと思いました。大正ロマン風の街並みはきっと多くの人々の郷愁を誘い、魅力的なまちになると期待していました。しかし統一感もなく全く期待はずれです。
27	私がまちに行くと、シャッターを閉めている店がたくさんあります。淋しい限りだと思います。昔のまちの賑やかさが思い出されます。これも時代の流れかと痛感させられます。
28	車社会になって、車を無料で駐車出来ないような駅前～大町の整備はいくらやっても無駄（たちネプタ含む）。郊外の大型店へと流れて行きます。まちづくりはよく考えて頭をやわらかくして工夫を!!
29	五所川原は ELM にだけ力を入れすぎではないか。中心部は空きだらけで見る場所がないと思う。仕方ないのかなあ。
30	早く大町の商店街を完成させてほしいです。道路も。
31	気になる事は、駅から橋までの商店街が閉まっている所が多い事です。
32	店の前を往来する人の多さを見て来た私達にとって、今は例えようがない日常です。歯抜け状態の商店街に商店が並んでくれたらと思います。
33	エルムだけでなく、本町の方にも食品スーパーなどがあったら、もう少し人が来ると思う。車がない人、老人達などが買物できるようにしてほしい。
34	つがる総合病院が出来たら、ますます活気が出ると思いますので期待しています。

## (2) 都市環境 (18 件)

都市環境	
1	市役所付近にある羽柴秀吉の看板は非常に景観を損なうので速やかに撤去すべきである。
2	近所に公園がなさすぎです。せめて ELM の付近とかに出来れば良いのにとします。もっと歩道も整備して木を植えたりしてほしいです。
3	市のシンボルになるような大きくて綺麗で安全な公園があれば良いと思う。五所川原に遊びに来る方々は、エルムの街に行くかねぶたの時期くらいしか来ていないと思う。心地よい市だとは思いません。
4	子ども達が遊べる所をもっと増やしてほしい。ぜんぜん外で遊べる所がない。結局違う所(市外)に遊びに行ってしまう。
5	公園を子ども達と利用してもトイレの無い所がありすぎる!!子ども同士遊んでいても、近

都市環境	
	くにお店屋さんがあったり、トイレを貸してくれる所が無いと大変だと思う・・・。
6	公園の遊具が老朽化で撤去されてから、公園に子ども達の姿が見えなくなりました。撤去してもまた新しい遊具を置いてほしいです。
7	歩道を整備せよ。幅が狭い。段差が多い等、歩きづらかったり危険を感じる場所がまだまだ多すぎる。市役所周辺や観光施設付近の整備ばかりではなく、もっと市民を意識した整備がされることを望む。
8	市内や駅前が開発・整備より郊外の道路・公共施設の整備に力を入れてほしい。
9	子ども達がサッカーや野球などのスポーツを安心して出来る場所があれば良いと思います。北斗グラウンドは、市のイベントがあると何日も使えなくなるからです。
10	お祭りに予算を使うのもそろそろ縮小し、もう少し市民生活が向上するようなものに予算を使って欲しい。例えば「歩道」、ベビーカーや車椅子で歩いてみてほしい。段差があちこちにあり、とても危険。子どもが赤ちゃんの頃、ベビーカーを押して歩いた時、でこぼこにつまずいて前のめりになり、もう少しで怪我をさせるところでした。実際に歩いてみないと危険は実感できません。是非、市役所の職員の方々に実践してもらいたいです。
11	五所川原は川が多いですが、エルム近辺だけでなく、一般の人が生活する為に必要と思われる川の整備を進めてもらいたいです。
12	五所川原は堰が多いです。しかし整備されていない所ばかりです。春に町内の掃除で草刈等はしますが、後は草だらけ。人工的に固めなくても、もっと自然に近い形で、水草や魚が住めるような環境にして、みんなのお手本になればと思います。
13	コンパクトで平坦な地形なので市民生活で、自転車の利用を促進しましょう。サイクリングロードは冬期雪置き場です。 空き家を解体して空き地にすると固定資産税が大きいです。空き地を雪置き場に活用し、固定資産税を減免し、家の解体も補助すれば空き家対策になります。
14	私が居住するのは旧市内の中心部だが、例えば近くの牧水公園や菊ヶ丘公園の遊具などの状況を見ると、錆付いていたり、不具合が目立ったり、長年の間更新されていないので破損に近い状態だったり、利用する幼児・児童が怪我するのではないかと危惧する事も多い。除草等の管理も適時行われているとは言いがたい。市外からの来訪者は、そのような所からその市の民度を計るものである。
15	五所川原駅に階段がある為、足腰の痛い人は利用したくても出来ない。
16	公園が整備され、高齢者が集まりやすい場所。
17	私は金木在住、時々気分転換に芦野公園を散策します。招魂堂にお参りし、蓮の池を眺め、太宰のブロンズ像の前で一休み。最後に芦野児童動物園と一廻りすると、ちょうどよい運動になり、心も体もリフレッシュ出来ます。ところが最近、気になる事があります。動物園の中は草が伸び放題、昔飼育されていた動物の種類が少なくなり、心もとない気持ちです。以前にはたぬきやきつね等も飼われていて見物客の目を楽しませてくれたものでした。今は空になった飼育舎がやたらと目につくだけです。そこで行政当局にお願いとして、常駐の管理人、または、動物を世話する人を是非とも雇ってもらいたい。以前のような綺麗な活気に満ちた動物園を再生でき、せっかくいらした見物客にがっかりさせぬよう、満足できるよう切に願います。

## 都市環境

18 北斗グラウンドの犬の糞を何とかしてほしい。

### (3) 道路整備 (7 件)

#### 道路整備

1	道路もボコボコで車で走っていてもとても不愉快。
2	道路がボコボコの所は早く直してほしい。
3	地方部の道路ももう少し整備してもらいたいです。
4	柏からエルムの街に続く道路の渋滞を何とか出来ないか？
5	新病院が出来た時、木造方面（乾橋）から来た車の右折による渋滞が心配。今のままのでは対応が出来ないのでは？
6	川倉部落に農免道路からの大型バスが出入り出来るようにしてもらいたい。
7	車社会で実際道路を歩くことは少ないのが現状だと思うが、私達は歩いて買物に行くか、営業車を利用するかである。歩ける間はできる限り歩きたいと思っている。道路のことであるが、歩道にしても、私は湊の住民で湊大橋のあたりを歩くのですが、非常にデコボコが多くて危ない。転ぶのが一番心配である。できる限り歩いて買物し、自分の事は自分でできるよう運動をし、筋力が衰えないように日常努力もしていくので、道路の管理を宜しくをお願いします。

### (4) 公共交通 (7 件)

#### 公共交通

1	路線バスが本数のある街なかに循環バス（120 円）が走って、本数の少ない郊外にバスが来ないのは不公平。雪道をバス停まで徒歩 1 時間（片道）かけて歩くのは辛い。板柳みたいに、郊外の人用の無料お買い物バスがほしい。このまま住み続けることは不可能。
2	行政のバスを病院にも停めるようにしてほしい。市役所だけでなく、市でやっている病院にも。歩くのが大変です。
3	五所川原市が高齢化していくことは目に見えています。それなのに車を運転する老人は決して減っていません。これから事故等増える事が予想されます。それについて市は何か考えがありますか（バス・タクシー・電車の利用等使いやすくするなど）。
4	中心街だけでなく、市の郊外にも目を向けて下さい。120 円バスは、市全体に走らせるべきだと思います。
5	今はまだ車に乗っていますが、この先の事を考えると心細いです。病院・買物、その他……。周りも同じような人ばかりです。
6	市民が生活しやすいまちにしてほしい（高齢者になると運転はもちろん、自転車に乗ることも不可能となるので、交通機関を整備・充実させてほしい。特に通院の場合、治療費よりタクシー代にお金がかかり困っている現状である）。
7	金木～五所川原の行政バスですが、役場～市役所ではなく、途中何ヶ所かに停めてほしい。

### (5) エネルギー (2件)

エネルギー	
1	風力発電に力を入れてもらいたい。バカでかい風力発電ではなく（コストがかかり過ぎる為）小型の風力発電の方が元もとれ、その為の雇用も増えて良いと思います。
2	無駄な施設への投資を止め、除雪費用を掛けるのではなく、融雪など自然エネルギーを採用する。

## 2. 産業

### (1) 農林水産業 (3件)

農林水産業	
1	6次産業化の推進。農業の ICT 推進。
2	単身赴任で五所川原市にお世話になっております。農業関係の仕事をしておりますので、生産基盤の整備が継続的に進められるような財政支援が重要と考えます。
3	とにかく農村には子どもの姿が何人も見る事が出来ません。これでは農業はどうなるのかと心配です。

### (2) 商工業 (8件)

商工業	
1	外食する所が少ない。美味しい店が少ない。五所川原名物が少ない。他県に行く時は、お土産は何にしたら良いか迷う。
2	100円ショップを30年以上利用して来ました。東京でビル全部がダイソーや300円専用・500円専用の大型ショップがあり、五所川原で100円だけ300円だけ500円だけの商品を1つのデパート、ホームセンターみたいに店があればいいなあ。
3	地域貨幣（地区商店街商品券）の発券。
4	五所川原市で働く人、特に商品を売っている企業では、お客様対応が上手ではない。特に商店街の人。”売ってやるよ”と言わんばかりの態度。もう少しおもてなし精神が見えるなら気持ち良く買物が出来る。エルムの街には都会からの企業が出店している。
5	市の生産業は、一次産業だと思いますが、今交渉している TPP 対策として農水産物の6次産業化はもっともですが、工業関係の企業誘致も活性化に繋がると思います。
6	最近マイカーで旅行する家族等が多くなっているが、私もドライブ旅行が好きで、目的地で市内観光をし、近くの道の駅でお土産や食事をし、車中泊をしますが、その道の駅での車中泊の多さに驚きです。五所川原市も他市町村を参考に、国道沿いに道の駅をつくって、少しでも雇用の促進、地域産業の消費拡大に繋がればと思います。

商工業	
7	自動車社会にマッチするような郊外型スーパーに移行する現代商店になりつつあるが、決して市民にとって便利効率的であるとは思われない。まちの空洞化を嘆く前に、今こそ一つ一つアイデアを絞り出して工夫してみるべきではないか。いくつかの小さな薬局、いくつかの小さな食堂、雑貨店、金物屋等々、少しでも行政で支援して育てるべきではないか。一番寂しいのは、本屋が鶴常一店しかないことである。これでは文化が泣くというものである。
8	湊地区にはほとんどお店がありません。何か一つ買うにもエルムまで行かなければ日常生活が出来ないのです。出来れば一店でも良いので、市民の生活の援助の為に考えてもらえないでしょうか。私達が手伝って、店番ぐらいは出来ると思うので、我々後期高齢者がもう少し住み良い五所川原市にしてもらえないでしょうか。 以上、2点宜しくお願い致します。

### (3) 観光 (33件)

観光	
1	今年の立ねぶたを観覧し、道路や街なかが整備され、とてもすっきりした感じで良かったと思います。ロータリー周辺の出店なども祭り感があり雰囲気も楽しめました。 花火大会では花火の打ち上げ直前のアナウンス、他にバックの曲が流れ、青森の花火より雰囲気が良いと好評です。巷では秋田の大曲の花火大会の小型版と言っている人もいます。今後も心あるアナウンストークとバックミュージックに趣向を凝らし、ヒット曲などバンバン流してほしい。
2	お盆休みに十三など、家族と一緒に巡りました。その時、ある旅行者の方が「青森は素晴らしい自然や色々なイベントもあるのに、他の同じ東北でもこんなに廃れてはいない。観光客もいっぱいいる。住んでいる人達のアプローチが足りないのが残念!!」と言っていたのが思い出されます。
3	もっと芦野公園の桜に気を使うべきだと思う。せっかく観光バスがたくさん来るのに桜が咲かないのはありえないです。また来たいと思えるようにしなければ青森に良い印象が無いまま一生来てもらえなくなってしまう。リピーターを増やしてたくさん「お金」を落としてもらって経済が回るようにしてほしい。どうせ税金を使うんだったら市が潤うように、それが市民にも伝わるようにしてほしい。
4	冬の時期になると活気が無くなるので、イベントがあったら楽しみがあって人も集まるのではと思います。例えば B 級グルメ集合とか鍋大会とか。夏にはフェス（音楽）とかやっても楽しそうだと思います。
5	昨年（2012年）の立佞武多のロータリーでのアナウンスはやぐらの場所が引っ込んだ場所にあり、アナウンスが聞こえにくかったですが、今年はやぐらの場所が移動になり、とてもアナウンスが聞こえ、祭りを楽しむ事が出来ました。来年も同じ場所でのアナウンスをお願いします。 是非、ご検討宜しくお願いします。
6	ねぶたですが、昨年、今年と見てつまらなかった。10年前からねぶたに参加していま



観光	
	した。今では青森市と同じ正装でないと出られないとの事で最近では参加していませんが。観光客が増えてくれれば仕方ない事かなと思いましたが、10年前から出ていた時は、今で言う正装ではありませんでした。ぞくに言う「カラス」？らしいですが、私はそんな迷惑な行為はしていませんし、エルムなどで売っている衣装で出て「カラス」呼ばわりされ、なんで？とっていました。きちんとマナーを守れば、衣装とかは関係ないと思います。一部の人のおかげで私を含め、ねぶたに出たい人が出れない事になっています。私の周りでも多数そう思っている人がいます。きちんと整備すれば、もっと賑やかになると思います。若い人達のはねる場所・会の人達・子ども連れなど出る場所を決めてしまえば良いのでは？以前子どもを連れて出たら、近くにいた若い人のタバコが子どもにぶつかりそうになって困った事がありました。ルールをつくり皆が参加できるようにしてほしいです。
7	たちねぶたが年々活気がなくなってきた。青森ねぶたみたいに正装していれば、誰でも参加できるようにした方が見てる方ももっと楽しいと思う。
8	カラス族に対する取締りをもっとしてほしい。五高・農業・工業の3高校のねぶたは、是非復活させてほしい。
9	青森市・弘前市（その他も）では中心商店街を歩行者天国にして、YOSAKOI ソーランを毎年やっていますが、この経済効果はなかなかのものだと思います。周辺の飲食店の売上はもちろんです。遠い所から参加するチームの宿泊や交通、また、市内で活動している様々な団体の発表の場にも出来るのでは？克雪ドームでも同じような事をしていますので、是非、春の歩行者天国、秋の産業まつり、冬のストーブ列車、夏のたちねぶたと、市民が毎年楽しめるイベントをどんどん企画してほしいと思います。それでこそ、市民の一体感が生まれるのではないのでしょうか？以上。
10	立佞武多を見に行ったが、がらの悪い人達が跳ねるのは参加させない方が良いと思う。見学している人々はみんな引いていたし、五所川原の質が落ちる。
11	もう少したちネプタで観光客を呼べるようにしたい。気軽に帰省して、たちネプタに出られるようにしてほしい。あまりにもルールがあり過ぎると思う。たちネプタに参加するのは若い子達なのだから、それに合わせた方がもっともっと盛り上がるのでは??と思います。観光客を見ていけば、その子達を見るのも1つの楽しみにしていると思う。五所川原らしさがなくなっている!!
12	花火大会の期間を長くしてほしい。
13	立佞武多すごくカッコ良いと思います。私は蚊に刺されやすく、人ごみが苦手で、暑い所に行くのが嫌だからテレビを見て五所川原のねぶたが、青森のねぶたや弘前のねぶたよりも見ごたえがあると思う。テレビドラマやサスペンスで立佞武多が出るととても嬉しい。他県の人達にもたくさん見てほしい。
14	立佞武多についての感想。祭り開始の先頭が暗いイメージ。もっと灯籠を使う等して華やかにしてほしい。お囃子メインのように感じたが、参加している人はあまり楽しそうには見えない。小・中・高のはねとの参加を増やす等して盛り上げてほしい。ねぶたの数をもっと増やし、青森ねぶたのように踊りを考えると良いと思う。個人参加する人が増えると見ている人も楽しめると思う。五所川原地域ブランドイメージキャラクター「ごしよりん」をもっと全国的に広めると良いと思う。歩道に場所取りのガムテープを貼っている人がい

観光	
	るが、帰りの後片付けのマナーはきちんと守ってほしい。青森ねぶたのように、もっと化人を増やすと見ている人も楽しめると思う。結果的に立佞武多は暗いイメージなので、LEDの灯笼を増やす等して、明るい雰囲気にしてほしい。参加している人が楽しそうでなければ、見ている側もあまり面白くない。楽しく明るく元気に祭りに参加して頂かなければ、来客も増えないのではないかと思います。
15	立佞武多に力を入れて全国にアピールしているが、実際の期間中のあのしらせぶりはかなりのビックリ。みんなが立佞武多が好きとか楽しいと思っているわけでもなく、苦痛・不愉快と思っている市民もいるということを知ってほしい。
16	花火大会が素晴らしくて五所川原市民になる前から見に来ていました。音と花火のバランスが素晴らしく毎年徐々に観光客も増えているような気がします。また、たちねぶたも年々観光客も増え整備されているように思います。
17	たちねぶたなどの観光については、積極性があると思う。これからも自然と共生しながら、五所川原というまちを県外へ発信して行って欲しい。たちねぶたとまちが一体となれるよう、市民も綺麗なまちづくりと、観光客の方を温かく受け入れる努力が大切。
18	たちねぶたにだけ力を入れてもダメだと思う。通年でイベントをしないと飽きられてくる。
19	観光面においても、立佞武多はまだマイナー。太宰治や吉幾三の名前を出した方が他県の人には伝わりやすい！
20	多額の金を掛けて、巨大な物を県外へ運んで、市の観光をPRし、実際に運行の観客は集まってはいるが、観光客は市に金を落とすというよりは、通過しているだけという感じで、PRに掛けた分の経済効果が市の方へ表れているような実感が無い。
21	ねぶたは「カラス」が下品で嫌いです。近頃見ていません。観光はまだまだ標識が足りず不案内。近くで言えば弘前市の取組を参考にしてみてもいいですか。歩いてワクワクするような街並みや案内が欲しいです。 市内をもっとよく観察して下さい。
22	私は少しですが観光に関わる仕事をさせて頂いております。観光客によく言われるのは、金木のメインストリートに活気がないと…。あと金木町の人達は観光客に来て頂いているという意識が足りないと思います。マナーも悪く、タバコの吸殻、ジュースなどの空き缶など平気で捨てていきます。仕事の合間に拾っていますが、きりがありません。道路もヒビが入っていたり、つぎはぎだらけでそれでも全部はやってくれません。あと今ひとつ金木町はインパクトが無いと思います。太宰・津軽三味線・芦野公園などもあります。例えば子ども用のお土産のお菓子とか。大人用のはありますけど。津軽鉄道の電車のクッキーなどあったら。すいません、子供用のお菓子はあんまり無いので。最後にアテンダントさん達の活動、アイディアはすごいです。これからも続けてほしいと思います。ちょっと意地悪ですけど、電車の窓が汚い時があります。せっかく綺麗な風景がくすんで見えます。忙しくて手が回らないですよね。すみません。
23	新聞報道にもあったが、たちねぶたのホイッスルを認めるのはいかがなものか？祭りを盛り上げる為らしいが「カラス」が増える原因にもなりかねない。若い人の盛り上げは必要かと思うが、「カラス」に祭りの盛り上げをゆだねているのはどうかと思う。何の為の実行委員会か？大型たちねぶたの囃子の団体はどのようにして決めているのか？

観光	
24	先日の立佞武多でのことです。大阪から来たお客様の前で、吉幾三さんを囲んでしまったこと、整備員さんでもいたら失礼でなかったのでは。遠くから来ているお客様に、また「来たい」と思うようなマナー・親切さが必要かなあと思いました。
25	今年の芦野公園の桜は、観光客に恥ずかしいものであり、鳥への対策が出来なかったのかと悔やまれてなりませんでした。せつかくの五所川原市の見所を減らしてほしくないです。
26	《たちねぷたの館》は市営なのですか。それとも NPO 法人なのですか?接客マナーと食事処の改善を望む。他県の人達に恥ずかしい。研修会など開いていますか?東京にあるアンテナショップに出向いていますか?他県で成功している事例を参考にしていますか?（最近は入っていません。客人はかめの屋に連れて行きます）。
27	観光ボランティアの育成。
28	観光行事を行う場合、地域の人々が知らない間に行っては困る。
29	たちねぷたという、全国に知られる祭をもっと良いものにする為、カラス跳人は完全に排除すべきだと思います。
30	たちねぷたの館から、ねぷた囃子を外に流したらどうでしょう。少しでも聞いたら観光客やまちを歩いく人達の気持ちだけでも活気づくのでは…。
31	観光都市を目指すなら、全ての入館料が高すぎる。外県では200～300円で入れます。それくらいの金額なら地元の人達も入って良いと思う。
32	五所川原市として立佞武多は力を入れてる行事の一つだと思いますが、今年の佞武多開催中、道路の両側に出している店にビックリした事があり書きました。 200円と値段を表示しているのはまだ良いとして、表示が無く、目玉焼き1ケをのせるからと500円ですと言われビックリしました。焼そばは普段3ケ入って100位で売っているのに、鉄板で焼いて1ケ200円なんです。もう少し野菜を入れるべきなのではないでしょうか。キャベツ・人参・ピーマン・玉ねぎ等は入れても良いのではないのでしょうか。健康の為、野菜をもっと食べるようにと保健師さん達は話していますが、指導をこんな所にも入れてほしいですね。小さい事、細かい事、そんな所に目配りできていってこそ発展に繋がって行くと思います。
33	今年、久しぶりにねぷたを見ました。自分が子どもの頃と違って、賑わいがなかったのがとても残念でした。はねる人、踊る人、統一感が良くなっていませんでしたね。立ねぷたならではのものが無いというか、中心となっているものが無いようではや一っとしていた感じでした。

#### (4) 雇用・就労 (26件)

雇用・就労	
1	教育免許や簿記等の有資格者を市で把握し、市内外の求人を出している企業へ情報提供を行う。
2	就業規則・労働基準法を度外視している企業の摘発・改善。

雇用・就労	
3	五所川原市に住み続けたいと思っていますが、ハローワークに行っても希望する仕事がありません。職員に五所川原地区は仕事が無いので、ある程度条件を下げて探してと言われました。こちらも我慢するところはしますが、それにしても募集している職種が偏っていて困っています。さすがにこのままの状況だと県外に行く事も考えてしまいます。勝手な意見かもしれませんが、もう少し仕事する環境が良くなれば嬉しいです。このままでは自分達世代が生活して行く上で厳しいです。もっと選択肢が欲しいです。
4	働く場所がもっと多くあれば助かります。
5	雇用の安定を求めます。地方に雇用がないから過疎化が進むのであって、過疎化するから雇用が無い。雇用がないから過疎化する。負のスパイラルを絶ちきるにはどうすべきか。
6	福祉事業に対する離職者が減らないのは、医療と密接であるはずの介護がサービス残業（賃金未払いと言えるのではないか）ばかりや、低賃金、保障の無さやリスクの大きさが原因だと感じている。地域の伝統や農業の担い手が減っているのも、保障が無い事やリスクの大きさが関係している。TPPとかそんなのいう前に今の現状をどうにかしないと、地方の人間は死んでいきますよ。
7	給与は安く、ボーナスも福利厚生も退職金も無し。行政は現場の労働者の労働条件をチェックすべきだ。能力のある熱心な若い人達が希望を持って働く事が出来るように取り組んで頂きたい。自分の生活を守れない若者が数多く住んでいる事を忘れてはいけません。五所川原が少しでも豊かになることを望んでいます。行政はもっとしっかり取り組んで下さい。
8	住みやすいまちづくり、若者が都会へ仕事を探しにいかなくても良い、雇用の安定した五所川原市になるよう取り組んでいってほしいです。
9	現在、五所川原市から弘前市へ働きに行っています。いずれ五所川原で仕事をしたいと考えていますが、給料が低くボーナスも無し、休みも少ない条件ばかりで転職できないでいます。
10	女性が働きやすいまちにはまだまだ遠いと思う。核家族やシングルマザーでも働きやすい環境づくりは住みやすいまちの1つだと思う。
11	若い人の仕事が無い。五所川原に住み続けたくても生活出来ない。これが一番の問題。パート等、一時的な雇用では将来不安で結婚も出来ない。子どももつukれない。行政は本気で取り組む気があるのか。
12	将来、雇用を考えると五所川原には住めない。出て行く予定。
13	病院建設それは大事ですが、大型企業誘致も実現し、今後の若い人達の為に仕事をする場を作ってあげれば、一生涯五所川原へ住む事ができ、そこから活気がうまれると思う。
14	観光（たちねぶた）やイベントより、企業誘致や雇用対策に予算を!!観光で飯が食えるのは市内の一部の人のみ。それより若い人達に仕事を与える事に力を入れて!!高校生の市内での就職は皆無です。若者の県外流出は止まりません。
15	五所川原市はコネやお金でのやりとりで就労や仕事量に偏りが有り過ぎる。市民が平等に暮らせる市を望みます。
16	もっと企業を誘致して下さい。
17	職安で仕事を探していますが、年齢の為なかなか採用されません。将来の不安もあるの

雇用・就労	
	で、今のうちに仕事がしたいです。 中高年が安心して仕事出来る環境を望みます。
18	都内で働いていますが、物価は青森県と比較してみると、都内の方が食品のほか様々な点で安く感じられます。青森県は物価が高いと何人かの人が話すのが聞こえます。その中で賃金は最低、税金はほどほどに高いので地元では生活が困難を極めています。雇用場所を増やし、賃金もそれなりに増やし、働き甲斐のあるまちになってほしいです。
19	行政・企業の癒着関係・利害関係が大きい為、力がある方にかたむいているように思われる。地元企業にこだわらず、就業場所を増やし、若者が定着することが大事かと思う。
20	できれば65歳頃まで何かの仕事を続けていきたいと思っています。市でのボランティアはあくまで無給なのですね。病院内でも案内とかやりたいと思っているのですが、お給料が頂けないことには一人暮らしには厳しいです。
21	まちを歩いても若い人が少ないと思います。市を活性化させる。そして、これからの事を考えると若い人の雇用の場を市で作るという事は大事だと思います。
22	若者が仕事を出来る環境を作ってほしい。
23	当市においても例外ではなく、地方経済は厳しいわけですが、現状を打破する為に、若者の安心して働ける、そして安住できる場所を市が率先してつくることをご提案申し上げます。
24	若年層の働く場が少ない。
25	高齢者の働く場所。
26	雇用状態が良くなるように市全体で考え、若者が他市・他県に行かないようにすべき。

### 3. 保健・医療・福祉

#### (1) 保健・健康づくり (5件)

保健・健康づくり	
1	集団検診の案内が分かりにくい。
2	国保と社保で検診の違いがあるのにびっくりしました。仕方が無い事情があるのかもしれませんが、希望した人だけでも出来るようにして欲しいと思います。特定健康診断、血液とか血糖値とか、もちろん尿、眼底検査はしばらくしていません。すごい不親切だと感じました。
3	健康診断等では相当無駄金を使っている。健康診断の受診率が上がれば寿命が伸びると思っているなら、それはとんでもない誤解である。国民健康保険税を下げられるよう無駄が無いか精査してほしい。取るものは取っても、それに見合うようなサービスが全く見えない(だから本当は住み続けたくない)。
4	高齢者が多くなっている現在ですが、それに対する取組が必要だと思います。怪我や病気になる前に教室等の開催を多く行う事が必要です。そういう事が全く不足だと思います。
5	昨年「近大の名誉教授と出会って、色々話をしましたが、勉強不足で良いお話が出来ませんでしたが大変参考になりました」と喜んで帰って行った姿を見て、「人生長生きす

	るといろんな方向が見えて来るもんです」と言った老人がいましたが、その通りだと思った。老人の話も大変参考になります。長寿の市を目指して頑張りましょう。
--	--

## (2) 地域医療 (18 件)

地域医療	
1	西北病院は、救急の病院なのに緊急で行っても、担当の先生がおらず用が足りません。市民を助ける病院なのに、宿直の先生が皮膚科の先生などではダメだと思います。医者への雇用を増やすなどした方が良いでしょう。 五所川原は産婦人科が少なすぎます。弘前や青森などの病院に通うのは大変です。
2	姉が妊娠してもうすぐ出産ですが、産科が減ったのは大問題だと思う。一生に一度かもしれない出産が無機質に西北で行われるのはどうなのか。市で何とか出来ませんか？子どもがいない、産む場所もない、新しい世代が出てこなければ市に未来は無いと思う。何とか、何とか、今後産まれる子どもの為に、子どもが欲しい大人の為に産科を。そして、また、友達が一人でも多くなるような地域の交流の場をお願いします。
3	現在、つがる総合病院を建設中ですが、立派な建物が出来た事で安心・満足してしまうのではなく、そこで働く病院スタッフの言動が、患者に対し適切で思いやりのあるものなのかという事にも関心を寄せながら、安心して治療に通う事が出来る病院にしてほしい。このことに力を入れて頂けると、市民として本当に助かります（院内での話になるのかもしれませんが、行政の面でも何らかの働きかけができればなどと思います）。
4	小さな子どもを持つ親として、救急外来が減ってしまった事に不安を感じています。
5	医療と行政についてですが、五所川原は人的レベルが低いと思います。行政は、とりあえず活動内容が目に見えて分かるので、もう少し市民に対して親切・丁寧・確実に接していただくと満足です。問題は医療の人的レベルの低さです。個人医療ではとても良いのですが、総合医療があまりにも残念です。総合医療機関を利用した時に、安心・安全が守られていない事により、人的な豊かさ・誇り・支え合い・連携・活力がされていないので、これからの五所川原の総合医療が心配になりました。今、病院を建て替え中ですが、外側が新しくなっても中身が充実されないと（人的）これから市外へ利用する人が多くなり、せっかく便利・快適に綺麗な施設になっても、利用したくありません。市外の医療を利用していますが、大きな差があり、五所川原市民で応援したい気持ちはすごくありますが、このままだと応援したくないです。どうか五所川原の為に改善をお願い致します。
6	医療機関に高齢者用の時間帯を作ってもらいたい。午前中に病院に行くと高齢者が大半を占めている。待ち時間が長くなると、仕事にも支障が出る。
7	医療面では、子どもの急病（土日・夜間）などで、金木病院に連絡すると「小児科の先生がいないので、西北病院へ電話をして下さい。」と言われることがよくある。何の為に救急か？それでいて西北病院に行くと、金木の人であれば金木病院へとと言われる。私達は病院を選べないのか？不愉快だ。きちんとした対応策を考えるべきだと思う。
8	西北病院の事で（市政とは直接関係ないかも）、順番を取るため朝早く並んで待ってたりするのですが、夏場は良いとしても冬場はと～ってもキツイ。新しい病院が出来ても、そういうことが無いよう、配慮してくれたら良いと思う。本当大変なんですよ。

地域医療	
9	新病院建設中であるが、入院ベット数は減少する。その事を市民は知らない。産婦人科と小児科病棟が一緒になる事も知らない。市民にはいつ伝えるのか。急性期の患者しか入院出来ない。入院日数も短縮される。市内バスも少ない。市民は何も知らないのが現実。
10	医療の充実について。中核病院がもうすぐ完成だが、今後、どんな利便性や不便が出てくるのか見えてこない。また市内で歯科医は増えているものの、産婦人科は不足し、若い人達にとっては不安ではないか。
11	医療に関しては、この地区は本当に立ち遅れている地区だと思います。
12	つがる総合病院の完成が迫っているが、その駐車場が第一柳町側に位置している。西北中央病院や弘前大学病院の様子をみると、駐車場へ入りきれない車が路上に列をなしている。明年4月開業後、当町内の路上で車列が渋滞し、特に朝の通勤通学等に支障を生じさせないようお願いしたい。積雪の多くなる冬期間は、特段の配慮をお願いしたい。
13	私の周りの方達は、西北病院の診察に不満を抱いております。建物の老朽化による新築は止むを得ませんが、要は腕の確かな医師の確保です。内科・外科・眼科……。様々な科で誤診が多いと聞きます。結果、市民は弘前や青森、果ては東京まで治療に出向いている方もいます。せっかく建物を素晴らしくても中身が無ければ経営難となり、第2の夕張になるものではと不安になります。市民が安心して命を預けられるような病院「あの病院に行けば大丈夫!!」と言われる事により、五所川原市だけではなく、他県からも治療に来るような病院を目指してほしいものです。
14	来年度、新しい病院が完成ですが、一言お願いしたいと思います。今までの西北中央病院の看護師さん達の態度の悪さにびっくりしております。外来、入院両方の人達です。もう少し優しい対応はできないものでしょうか。他の病院の看護師さん達と比較されます。患者さんの気持ちになって、もう少し優しい対応を希望します。
15	西北病院の泥棒事件は2年になろうとしています、どうなっているのか教えて下さい。
16	新病院への通院車道と駐車場の安全整備を徹底して進めて貰いたい。
17	西北中央病院の診察の事で、朝に行列で長い列で並んでいるが、新しい病院では外に並ぶことは（雨が降っても並ぶ事）はやめて頂きたい。良い方法を見つけて下さい。今でも病院も新しいが、看護師も新しい気持ちで患者にも新しい気持ちを与える事。
18	今までの西北病院のシステムが悪い。朝病院に行くと午後までかかり、弁当を持って行かないと駄目だった。検査の結果を聞きに行くだけで、異常のない人には通信で連絡できないものかと思います。

### (3) 高齢者福祉 (11件)

高齢者福祉	
1	高齢化している地方にこそ福祉の充実が必要ではないのでしょうか?
2	老人の為に市で格安でエルムや病院付近や温泉などバスを出してあげた方が良い。足腰が弱く、買い物が大変になるし、大変そうにしている老人がたくさんいる。
3	一人暮らしの年寄りが暮らせない市。これからどんどん高齢者の人口が増えるのに、まち

高齢者福祉	
	への交通手段も無く、まち、特に駅周辺はアーケードも無く冬場歩くことも出来ない。集合住宅を市中心に作り、医療、福祉、行政サービスを冬場も利用出来るよう、低所得者も入居出来るよう早急に検討。
4	高齢になり車を運転出来なくなったら、バスも少なく、特に冬場どう通院していいか不安。
5	有料老人ホーム等の施設も足りないと思うので、車を使わなくても会いに行ける所に施設を建設してほしいです。
6	高齢化社会が進み、老人はエルムの街ぶらをするか、エルムの中のベンチで老人合コンをしたりして一日を過ごしています（老人も若い人に囲まれていたいようです。）。若い人達は職場に向かう途中でエルムに老人を降ろしていくという事もあるそうです。行き場のない老人がもっと活力と楽しみを得る事が出来れば、病院が集い合う所とまらないのではと思います。それによって減税になると思います。薬を袋いっぱい処方されて、老人はまじないのように安心していますが、それは税金の無駄遣いであり、息子や孫、子にそのつけを払わせる事になります。健康な老人を増やす事は減税にもつながります。高齢化社会のニーズに応え若い人達の足手まといにならない環境づくりを考えてほしいです。
7	私の周りにも 80 歳過ぎの老人が 1 人暮らしでたくさんいます。お金がかかるので施設に入れないと言います。私達もいつかそうなる立場上、何とかならないかと思えます。年金は下がるし引かれるお金は多くなるシア～アです。
8	市民も高齢化している事と思えます。私も主人の両親の老後を看取りましたが、家庭内での介護は並大抵の事ではないと感じました。頭が死んでも身体だけが生き続ける姿を目にしてきました。かと言って最初から施設にお世話になるのも淋しいものがあり、費用のかかるものだと感じました。介護の職員を増やして、家庭で出来るだけの事をして、地域でも協力して。みんなが辿る道です。
9	政治はあまり詳しくないのですが、住み良いまちにするにはどうするか。老人の介護の事、安い老人の施設をもっと多く作る事。家には 80 過ぎの老人がいる為、ボランティアとかサークルなどにはなかなか行けないので、一緒に暮らしている人の立場としてはストレスを抱えています。出来るだけ一緒にいないようにデイサービスも利用しています。でもそれだけでは無理なので、早く安く誰でも入れる老人施設（市営）をつくってほしい。
10	介護サービスの充実。
11	全体的に高齢化社会に応じた対策を強化すべき。

#### (4) 子育て支援 (13 件)

子育て支援	
1	子ども人口数百人に対し必ず確保される機関・事業等（預ける幼稚園・保育園・児童クラブ・公園遊具スペース・教室・塾）の展開。
2	もっと子どもに対して優しい市になって欲しいです。ワクチンや病院代は無料にして欲しいです。所得で何でも決まっていますが、親の援助無しだと、アパートを借りて車に乗って、色々生活にお金を使ってとなると、子どもがいて夫婦 2 世帯だときついです。なので子どもに関するサービスは充実させてほしいと思います。



子育て支援	
3	子どもの医療費を他の市町村のように、会計での支払いを無料にしてほしい。五所川原市でも無料ですが、払ってくれるのが3ヶ月後とかなので、その所考えてほしいです。
4	つがる市のように子どもの医療費を無料にしてほしい。
5	子どもの医療費全額助成を是非ご検討頂きたいです。0歳～15歳まで。
6	保育園を増やせないものか？保育料が高く、子供を預けながら働く事が出来ない方がたくさんいます。高いのは幼稚園だけで十分。
7	子どもが自由に遊べる無料の施設（ヒロロの中にあるような）もあるといいなと思います。
8	私は鯉ヶ沢から五所川原へ嫁いで、あと少しで5年経ちます。子どもにも生まれ10月で3歳になるのですが、五所川原市役所による子育て支援の無さに驚きました。他の地域では、子どもが高校を卒業するまで、病院にかかった医療費ゼロ、おむつ引き換え券（5万円）、粉ミルク無料配布、ベビーカー・チャイルドシート・ベビーバスなど色々無料貸し出ししている事を聞きました。立ねふたに力を入れるのは素晴らしい事だと思います。でも立ねふた以外に力を入れなければならないのは子育て支援だと思います!!
9	子どもを産みたいけど産めない状況に気づけ。
10	子どものいる家庭に対しては行政はもっと力を入れてもらいたい。これだと高齢者だけが増えていき将来がダメになってしまう。冬遊べる施設が有料の所しかないので、小さな子どものいるところはとても苦勞する。
11	うちは母子家庭で、他県から来たため頼れる人が誰もいません。遅くまで働いているので、子ども達の事だけが心配です。私の勝手な希望は、子ども達（もちろんどこの家の子どもも）が元気に安心して過ごす事が出来るまち。私のような人達が気軽に（もしくは困っている）相談にのってくれる所があればと思います。母子家庭で市からの援助と自分の給料だけでは・・・と泣く日もありました。子どもが登校拒否になったりと困り果てました。どうかそんなお母さん方の頼りになってくれる場所がある、安らげるまちになってくれたらと思います。子どもが私の手から離れれば、私もこの五所川原から出て行く事になると思います。20年以上も住み続けて「五所川原はすごく良い所だよ」と年を老いてから言いたいと思います。よろしくお願いします。
12	夜間託児所（24時間または夜10時まで）があれば良い。
13	子育てのしやすい市にして行くことが大事だと思います。明日の市の担い手になる子ども達の、出生や成長にはあり余る程の手助けして欲しいものです。

### （5）障がい者福祉（2件）

障がい者福祉	
1	障害者に対して、若い人や年配の人も人に指をさしてひそひそしている。こんな県は初めて。
2	精神重度1級の私が言うのも何だか悪いけど、これからはガス・電気料金も高くなる。それとゴミ。あの寒い今年を1人暮らして乗りきったこっちの老人。たいてい台所に立つのが辛いから、ま、味噌汁・ご飯・納豆・豆腐・卵、それぐらいふぶきの時、売りに来てくれ

## 障がい者福祉

れば、デイケアに通うよりありがたいけど。金木でもどっかスーパーと知的障害の子どもに作ってもらい、売りに来たら、お金とか分かってきて、自宅にいれるようになると思います。そうしたら、仕事が無い、免許をはなしてない人や（運転手）もらうお金をもらえない私でも、少しの糧になればありがたいです。それにいつも中にばかりいる子どもが外に出たら、自分で稼いだお金で買うというお金の価値が分かれば、病気の人も元気づけられるし、老人もありがたいと思います。そしたら私達 40 歳～50 歳代はまだ教えてもらえる仕事と運転手が、市で認めてくれれば妻子を食べさせれる仕事を持ったら定着（市）率も上がるし、出生率も出てきて、市も将来良くなるのではと思います。

## （6）社会保障（6 件）

### 社会保障

1	お年寄りの中には年金が少ない人がいます。援助して下さい。
2	五所川原は審査基準が甘く、母子家庭や生活保護の不正受給者が多いと聞きます。不正に生活保護をもらいパチンコをやっているような人がいないよう、受給対象者を定期的に確認し、不正受給がないかをチェックしてもらいたい。
3	生活保護金の不正受給の撲滅
4	生活保護を貰っている人達は病院はタダなので、少しの事でも病院へ行けるが、私達みたいな低所得者な人間はおいそれと病院へも行けない!!保護を貰っている人達は羨ましくらい良い暮らしをしている。働かなくても生きていけるのは良いと思う。私も生活保護で生きていきたいです。
5	生活保護を受けている人達を、あと少し厳しくした方が良いと思います。見かねる行動をしている人がたくさんいます。
6	私たちは少しの年金で食べております。福祉からもらったお金で、どうどうと働いています。どうなっているのですか。納得いかないです。お金をもらってパチンコに行っている人もいます。もう少し厳しくして下さい。腹が立ちます。

## 4. 居住環境

### （1）雪対策（35 件）

#### 雪対策

1	雪の多い地域なのに、通学路の除雪作業が中途半端で危ない!!雪が高く踏み固まった上を、子ども達が歩いているのをよく見かける・・・。雪の壁で車も見えないのに・・・。何か事故があってからでは遅いのでは!?
2	梅田、虫流の除雪が来なすぎて通勤にすごく困りました。軽自動車に乗っているので、わだちにはまって抜け出せなくなった事が何度もあります。何とかありませんか?いちいち

雪対策	
	市役所とかに TEL するのも気が引けます。
3	雪が多くて除雪が大変なのは分かるのですが、もう少し丁寧に除雪してほしいです。また、雪がある時に（吹雪の時など）道路を自転車で走っているお年寄りの方がすごく多くて大変危険なので、危険性について周知する機会を設けてほしいです。
4	除雪などきちんと行き届いていない。もっとちゃんとやって欲しい。綺麗に!!通勤時間内に除雪。
5	五所川原市内の除雪がヘタクソ（十三も）。
6	冬の米マイロードとかの雪囲いが撤去が早すぎて、いつも毎年困っています。もう少し考えてほしい。
7	除雪をこまめにお願いしたい。税金を高くしてもいいので。市の管理地（公園等）にある一定の方（家族）だけ雪を捨てる。みんなで使用したい。使用範囲が異常である。広報で周知してもらいたい。
8	除雪が出来ていない！車が埋まりました。つがる市では綺麗に除雪出来ていると聞きました。除雪が入らないので、たまに入ると大きな氷の固まりのような雪を置いていかれ、大変困っています。
9	他市町村より除雪が劣っている。予算をつけて、業者に委託しているなら、それをきちんとやって欲しい。きちんと市が巡回し指導して欲しい。
10	除排雪対応が遅い。除排雪が下手。最低限通学路の除排雪は迅速かつ丁寧にやるべき。保護者として安心して学校に送り出す事が出来ない。
11	中央地区は住宅が多くなりましたので、希望として融雪溝を作ってほしい。
12	とにかく行政にお願いしたいのは、冬場の除排雪を徹底して欲しいと言う事です。特に歩道に関しては、子どもや高齢者の事を考えて欲しいです。いつ事故が起きてもおかしくない状況だと思います。自分自身が高齢になった時の事を考えると、これからはずっと住み続けたいとは思いません。
13	五所川原市全域に融（流）雪溝を早く作って欲しい。
14	金木～五所川原（339号）、防雪柵の手前に歩道があるが、冬の吹雪時は吹き溜まりが出来て、しかも真っ白で何も見えないので、車が乗り上げたり、事故が多いのだが、毎年何の対策も無く非常に危険。市ではどう考えているのか？今後も対策は無いのか？
15	昨年の冬の雪の道の除雪について、とても除雪の仕方が粗末で走行していて段差を感じた事があった。また、誰も予期せぬ出来事だったが、今年の3月中旬か下旬？最後の雪が降った日は息子を五工へ送迎する際、吉幾三ハウス側の国道が渋滞で止まったままだったので、中柏木を通り、五農の通りに抜けて走行すると、五農の前、車は雪に突っ込み、左右に交差出来ないでいるし、もう鉄筋の囲いは外されているので、吹き溜まりはあるし、AM7:40分頃なのにその場所から脱出できず何分も立ち往生、私は途中でミニストップで息子を降ろし徒歩で行かせ、また、五農の前を通らないと勤務場へ行けないので、電話1本「すみません5分程遅れます」で状況を伝え向かったわけですが…。除雪はどこの市内でも一斉に行われる事を知っていますが、市民の為にもう少し年度の雪の状況で囲いを遅く外すとか、早めに除雪を心がけるとか。一方的な事を言ってすみません。早期に起きて除雪をしてくれる人の身を考えて頭が下がります。でも私のように夫が出稼ぎだったりす

雪対策	
	ると、金木方面も朝五時半頃除雪に来る時もあり、平日は戦争のように雪投げを六時五分頃、ブルの除雪と競っています。結構時間もかかり重労働ですし、あと日曜日となるとAM6時30分頃来たりしますが、我が家は息子がテニスの試合があったりすると、五所川原市民体育館へ朝7時20分まで集合の時もあります。みんな考えはあると思うのですが、早めの除雪をお願いしたいと思います。
16	エルムの街の歩道は広いわりに冬は除雪が出来ていないので歩きづらいのでは？
17	雪に泣かされている一人です。除雪の仕事がされている人も苦労があると思いますが、「市民に優しい除雪」を心がけてもらいたい。イジメですか？と毎日のように泣きながら雪片付けしています。どうして岩のような雪を上げて行くの？雪片付けに10万円は掛けています。悲痛です。除雪の会社の人に現金を渡したら、きちんと家の前をやってくれるんですか？噂を聞きます。
18	以前は、温泉のお湯が側溝に流れていて、雪かきをしても、どんどん溶けて困った事がなかったのに、一昨年夏から温泉水が流れなくなり、冬は雪を片付ける所も無くなり、夏はずっと流れながら悪臭がすごくなりました。生活環境が悪くなりました。せつかくお金を出して下水道の工事にも協力したのに、悪臭がすごくて損した気分です。こうなるのだったら、自分の家のお湯だけでも排水したら雪も溶けるのになって思います。温泉の排水、元に戻して下さい。元ひなたさつき町。
19	除雪問題でのお願い。ニュータウンに住んでいる人々も皆、40代後半50代と高齢化してきています。除雪後がどうなっているか、雪の固まりを道路に置いていってないか、見回りして欲しいです。毎年死者まで出る雪かきです。是非パトロール隊を作って欲しいものです。
20	冬の除排雪の面でも、年々苦労しています。この雪国の土地で、何故、雪捨て場に頭を抱えなくてはならないのでしょうか？メインストリートは綺麗に片付いているので同じように出来ないものかと希望しています。
21	除雪をもっと丁寧に回数を増やしてやってほしい。車1台通るのがやっとの時がある。少し溶けてシャーベット状になると、なかなか進めなかったりする。歩道の除雪をもっとやってもらえれば、歩行者はそっちを歩けるようになると思う。
22	夏場は良いのですが、冬の除雪、雪捨て場の問題は、今から頭の痛いことです。朝早く除雪しても、ブルが隣の雪を置いて行くので雪のことは今から考え中です。
23	この五所川原、雪国において冬の除雪が全てです。今年もよろしくお願い致します。
24	雪の件です。歩道は歩くことが出来なく、車道を歩かなければいけないので、怪我をする人が多いですよ。歩道は雪が降ったらすぐにでもやって下さい!!
25	冬の除雪はダメです。作業員7人に聞いたら粗末でも良いから早く終われと言われているとの事です。誰がそのような事言うのか広報に出して下さい。
26	朝早く、道路の除雪は大変結構ですが、入り口に大量の雪を置いて行くので困ります。除雪機が押し持ってきた雪を入りに押し込んで行くように思います。除雪のマナーがあまりにも悪すぎます。除雪に来たのか、入り口を塞ぎに来たのか分からない。若者のいる家はまだしも、高齢者の入り口に、手押しダンプが入らない硬雪を山と入り口に置いていければ、通路の雪片付けどころではありません。高齢者の入り口だけでも手加減して頂き

雪対策	
	たい。役所が高齢者の家を調査し、入り口に目印を付けるなどして、雪を押し込まないようお願い致します。
27	”どちらかといえば住みたくない”に○印をつけたかと言うと雪が多いこと。それも吹雪が凄い事。除雪が行き届いてないのが一番。雪のある2~3ヶ月は、私達にとって”地獄”のように感じる人が多いと思います。五所川原に住んで38年になりますが、住んでいる近隣の人達には良くしてもらい、買い物も便利である。何もかも満足して生きる人はいないと思いますがあえて言うなら(私の願望と思って下さい) 雪はあっても3つの件が無ければ(雪がある所で生活して来ましたから言えるのでは・・・) とても住みごこちが良いです。除雪の件ですが、私は運転出来ませんので、特に感じます。歩道の除雪が行き届いていないので歩く時に危険を感じます。また、除雪の粗末な事もそうです。
28	自然災害・事件・犯罪などが少なく住み続けたいと思っています。冬以外は満足しております。ただ雪が降ると除雪車が道路の固くて重い雪を(時には大きい固まりまで)家の前に多量に置いて行きます。若いころは道路に降り積もった雪も片付けたりしたのですが、年と共にとても負担になってきました。他の町内の方に聞いた所、あまり雪を置いていかない業者さんもいるようです。雪片付けで肩・腕・腰など痛めて通院し医療費の負担にもつながっています。業者さんによって除雪の仕方が違うかもしれませんが、一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えています。出来る事でしたら、もう少し高齢者に優しい除雪をお願いします。
29	除雪車はもっと丁寧に除雪すべき
30	一番先に頭に浮かんだ事は、冬の除排雪の事です。我が家は角地に建っており、除雪の雪の置き方、量が多く半端ではありません。この事で近所の方とトラブルになった事もあり、不公平な感じがしていや～な気分です。雪を多く置いていく側の道路は北側で、日当たりが悪いのです。除雪車を運転する人の技術によるのでしょうか、昔は両側の家に均等に雪をかき上げ、車庫や玄関も少なく外すような配慮をしてくれる人もいましたが、今は皆無です。何時間もかかって車庫の入り口を綺麗にかき上げた所に、これでもかという位に、シャッターが開かないまで雪を入れて行きます。市役所の方にお願ひがあります。早起きして除雪したばかりの道路の状況を、一度見回ってほしいです。仕方がないと思う反面、自分の所だけがという不公平さ不満を書きました。今後、除排雪になお一層のご配慮をお願い致します。
31	雪道以外ありません。除雪。
32	雪対策や除雪が不十分。
33	冬の除雪…大通りは丁寧。脇道とかはとにかく後回し。優先順位あるだろうけれど、昼過ぎ。それ以上ほったらかしにされたことも。その時、通りまで人力でかいたこともあるので、その辺りを考えて下さい。
34	除雪業者の不良作業(差別化)。
35	私は国道101号線沿いに住む者ですが、冬の除雪にほとんど参っています。税金を取られた上に、家の前のブルドーザーのあの固まった重い雪の片付けは重労働で、それがほぼ毎日です。降り積もった雪とは重さが違います。また捨て場が無いので歩道が埋まっています。妙案は無いもののでしょうか。雪国に住む者の宿命でしょうか。道路の雪を各家々

## 雪対策

	の入り口前に山積みにする除雪は少し対策してもらわないと。一週間家を出れば、山積みになった雪が凍り、スコップやスノーダンプでは歯が立たない状態となってしまうお手上げです。排雪してほしいです。道路の雪をただ両脇に押しやっている除雪はもうたくさんです。税金を取られた上にくたびれもうけの骨折り損はいりません。どうか御一考をお願い致します。
--	--

## (2) ごみ (4件)

ごみ	
1	以前青森市に住んでいましたが、ゴミ分別が大まかでした。五所川原市も、青森市のように大まかな分別にしてほしいです。少し細かすぎる気がします。高齢者も多いので分別は大変だと思います。
2	ゴミの分別が分かりにくい。ポスター1枚で分別の種類を示されても、細かい物は分からない。青森市のように詳細が分かる冊子等があると便利だと思います。
3	ゴミを埋め立てして地球に優しく無いことをするより、プラスチックなど焼却出来る施設を作り、その熱でプールを運営するなどしては。市民の健康の向上にも役立つ。
4	旧十川河川について。私は旧十川沿いに住んでいます。土手からのゴミの不法投棄が非常に多いです。看板設置をお願いします。お菓子の袋や小さなゴミは、中学生の子ども達が捨てている。これは学校教育で指導する事が出来ます。第一中学校生徒に十川のゴミ拾いをさせるとゴミ捨てが無くなるばかりでなく、大人になってもゴミを捨てなくなる人間になるそうです。※ゴミ拾いをやると大人になってもゴミを捨てない人間になるとは本当の話です。

## (3) 上下水道 (7件)

上下水道	
1	自分の住んでいる地域は、下水道の整備がされていません。その為、浄化槽で自分の家で処理しています。地域によって差があることに不満を覚えます。
2	今年の4月に五所川原市に引っ越して来たのですが、子どもと散歩している時など、所々悪臭がする所があるので、下水整備をしっかりとってほしいと思いました。
3	まちなかから離れたところの下水道の完備をお願いしたい。昔使用したため池に流している状態で、不衛生そのもので困っている。
4	私は稲実米崎ですが、排水がまったく良くありません。大雨になった時、水びだしになるので排水を良くするため工事をして下さい。
5	私は栄地区で農業をやっています。下水・し尿・生活排水等で堰が汚れて困っています。早く下水道整備して衛生的な環境を整えてもらいたい。
6	下水道整備の早期着工。
7	市内ですが、下水道の排水が悪いので早く整備して欲しいです。

#### (4) 居住環境 (10 件)

居住環境	
1	市営住宅も新しく建設してもらいたいです。
2	犬の糞は持ち帰ってほしい。
3	市営住宅(新宮団地)の改修が進まない。少しでも1つでも行って欲しい。住宅は独居の高齢者も多く、安全性がない老朽化された住居での暮らしは不健康で危険だと思う。
4	沼田地区(自宅前)側溝の整備
5	市営住宅をもっと整備してほしい。壊れている所を直す時、住民のミスなどが原因でなく、長年使っていて壊れた時は、市に直してもらいたい。元々低所得者が理由で住宅に入って人が多いと思うので、直すものがあつたら市で直してほしい(住民が故意で壊したなら別ですが…)
6	子どもが成人しても家にいる。なぜなら賃金の大半が家賃に消え生活していくのが困難です。仕事がない、賃金が安い、年金は払えない、出口が見えない状態です。五所川原は特に民間の家賃が高いそうです。市営アパートを(一人用も含め)増やしてほしいです。
7	市での草刈りに一言。私達の住んでいる所は草刈りをしてくれません。今年初めて草刈りしてくれました。でも粗末。後片付け無し。なぜこんなやり方なのか分からない。人は何人もいるけどそれなり。それぞれの町会にお金がおりにている。でも私のいる所は町会も無い。いつまでこのまま続けるのか、隣の人達のことでも良く分からない。町会を作って色々参加したい。
8	主人とたまにドライブするのですが、本当に空き家が目立って廃校も目立ちます。どうにかならぬものかと思えます。観光などにも差し障りになるのではないかと思います。
9	草刈などきちんと行き届いていない。
10	側溝の泥上げは無理。フタを持ち上げることが出来ない。

#### (5) 消防・救急・防災 (4 件)

消防・救急・防災	
1	災害対応体制は、市ではどのような体制になっているのか、いまいよく分からない。とっさの時にすぐ行動に繋がるよう皆にいきわたるアピールを普段からお願いしたい。
2	自然災害の時、1人で避難できない時、どうすればいいのですか?他県はすぐ教えてくれました。
3	また災害が起きた時には、どのように行動したら良いか、避難場所も分かっていない人が多いと思う。また高齢者は特に大変なことなので考えて欲しいと思う。今の状態だと当市の場合、災害に備えての準備が出来ていない気がする。知らないのは私だけかもしれないけど。
4	昭和58年5月26日は日本海中部地震が起きた日です。今年はちょうど30年目の節目の年。当時旧市浦村では、6名が津波の犠牲になり、尊い命を亡くしている。隣の中泊町、当時小

## 消防・救急・防災

泊村では死者 5 名の犠牲者出した。中泊町では毎年この日に行政が主体となり、慰霊の式を行い亡くなった人の御霊に哀悼の意を表してきている。他方市浦地区では、訪れる人も無く、ひっそりと淋しい限り。慰霊の塔は浜の風が冷めたく吹き付けるだけ。全く対照的である。盛大さは望まない。ささやかながらも市民の代表たる行政のトップが中心となり、犠牲者の御霊に哀悼の意を捧げて欲しい。私達は東日本大震災から何よりも絆の大切さを思いしらされたはずである。行政はこの事にもっと目配り気配りをお願いします。

## (6) 交通安全・防犯・消費生活 (3 件)

### 交通安全・防犯・消費生活

1	警察はスピード違反を取り締まるだけでなく、もっと他にやる事があるのでは??
2	例えば、夜になるとまちが暗すぎ危ないです。だから反射シートって。考えてみて下さい。夜、外に出るからってシートを付けて歩いている人を見た事無いですよ。ここにかかる費用を LED の街灯に替えたら良いのでは? もっと街灯の本数を増やして、LED に替えた当初は費用がかさみますが、現在の料金より安くなるわけですから、エコでは。交通安全にも犯罪防止にもなるのでは? 最近 LED より良いものが出てるらしいですよ。
3	消費生活についての体制について、どのようなものなのかよく分からない。

## 5. 教育文化

### (1) 学校教育 (5 件)

学校教育	
1	市街地に近い施設 (小・中学校) を新しくして市街地から離れている所は放置が多いようです。財政難を理由に、それは良くないと思います。子どものいじめもまだあります。ちゃんと理解していますか? 今後住み続けるにも考えてしまいます。役員会に出て話を聞くと、なぜ市街地が優先なのかと疑問です。ちゃんと考えて欲しいです。
2	未来の担い手である子ども達の教育 (心を育てる教育) を大切にしたい。 幼児期のうちに、ハンディーのある子や親をしっかりサポートできる環境を作りたい。 検診で情緒・行動面等で気になる子をしっかり見つけ、その間にその子に合った周囲のサポート体制が出来れば、小学校入学時点での受け入れ方も変わってくると思う。その点をもっと強化する為には、事前に幼稚園・保育園側にも個人アンケート (受診予定児) の協力を依頼するなどしても良いのでは…と思う。
3	観光産業が発展することも大切ですが、小さい村の少ない生徒数で育った子に幅広い教育・体験・希望が得られない。人数が少ないからバスが出ない (現地学習など)。これでは個々が持つ能力が埋もれてしまう。バスが出ないことで、親の負担が増える為、共働き家庭のスポーツ離れ。サッカーに続く野球も深刻な状況です。指導者の確保。人数が少ない為、選択肢も少ない。



学校教育	
4	合併した村や町同士ではなく、近隣町村で小学校、中学校の統合をしたら良いと思います。あまりにも少人数でかわいそうです。
5	企業人の講演を小・中学生に聞いてもらい、低年齢の時から社会の広さ・コミュニケーションの大切さ、夢を持ち、達成する為の方法を考える力を感じさせる。教育から始めることも大事だと思う。

## (2) スポーツ (3件)

スポーツ	
1	五所川原はプールも少ないです。市民プール 1 つだけですよね？もう少しあっても良い気がします。
2	スポーツ施設が「市」なのに貧弱すぎます!!他の市町村から借りなければならないのは異常に恥ずかしい事です。県大会クラスが開催出来るようになれば、年間を通してそれに伴う宿泊・食事・お土産 etc 活性化するはずです。陸上競技場とサッカー場必要です。
3	子ども達のスポーツが出来る場所を与えてほしい。

## (3) 社会教育・生涯学習 (5件)

社会教育・生涯学習	
1	大人の為の勉強施設を作ってください。
2	磯松公民館の建て直しをよろしくお願いします。
3	市民の教育力を上げる努力をしてほしい。生涯学習に誰でも参加出来る場所や環境を整えてほしい。
4	個人的な希望ですが、読書が趣味なので、青森県立図書館レベルの図書館があれば人も集まると思う。そのぐらいの税金は払っているつもりなので、そういった所に役立ててもらいたいです。
5	ボランティアの日本語教室に参加して来ました。この度中央公民館改修で、9月以降追い出しです。市には無料で利用できる所が無いとのこと。やむなくジャスコで続けます。津軽地域の ALT の方対象なので儲かる?!

#### (4) 芸術・文化・伝統 (2件)

芸術・文化・伝統	
1	<p>市民全体に関する利益を追求し、一部の為の経済優先から文化的な施策を展開することを強く望んでいる。地域的な交流、歴史的な背景の理解と人的資源や地理的な要因の活用などを融合させ、時間をかけて市民の人格形成、人間性の発展に行政として取り組むべきものと模索してほしい。人が地域の財産となる。やがて必ず。その為にも。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地域伝統文化・祭り等の広報。</li> <li>2 各地域の人材バンク作成と活用（分野別）。</li> <li>3 各地域外で活躍している文化人の活用。</li> <li>4 文化施設の整備（図書館他）。</li> <li>5 岩木川から海につながる水の道のもつ文化的（経済的・観光的も）資源として一考と具体的な活用。</li> <li>6 営利企業と一線を画すような、個人的に各支援活動（ボランティア含む）をしている存在のサポートと活用。</li> </ol>
2	<p>五所川原は文化度がとても低いと思います。生活水準が低い事もその一因だと思いますが市民の心にゆとりが無い事も示唆していると思います。</p>

### 6. 行政経営など

#### (1) 市政運営・行財政改革 (38件)

市政運営・行財政改革	
1	<p>市政はよくやっていると思います。</p>
2	<p>「たちねぶた」にばかり力を入れないで、もっと市民サービスを優先してほしい。</p>
3	<p>年寄りが体調悪くないのに病院に来て井戸端会議。あんな人の為に税金が使われる。何故1割負担？むしろ子どもや小さい赤ちゃんに税金を使うべきだと思う。少子化対策にもなるんじゃないのか？子どもの病院代もいちいち面倒くさい。ハガキ送ったりとか、紙もったいなくない？どうせ返金するならタダでよくない？</p>
4	<p>財力が無い中、万民が満足できるまちづくりは不可能である。</p>
5	<p>改革における失敗は許されない。ホームページに担当者を開示し、見える化する事で失敗した時に問い合わせが来るようにでもしないとプロジェクトが成功しない。ネットが普及する中で、一度落ちた評価は二度と上がる事はなく、すべて市民の税金で片付けられると思っていたら失敗するに違いない。</p>
6	<p>自治体の財政状況が悪化し、市民の職員に対する要求は厳しさを増すばかりだと思いますが、今回のアンケートを参考として、より住みやすい五所川原市のまちづくりを実現して頂きたいと思います。市民の要求すべてを実現する事は不可能ですが、優先順位をつけて改善出来る点から実現できるようお願いします。</p>
7	<p>市民税をもっと大切に使ってほしい。地域活性のため「たちねぶた」よりも、下水道を普及させたりすること。雇用問題などにも役立ててほしいと強く願っている。</p>
8	<p>もっと必要な事は何か、いらぬものは何か考えろ。</p>

市政運営・行財政改革	
9	一気に消防署とか作りすぎ。
10	無駄な大きな箱物が多い。そんなに使頻度が無いので改善した方が良いと思う。
11	目に見える問題に取り組む事も大切ですが、その手前にある事柄にも目を向ける事も大事なのではと思います。自分にも言える事ですが「なぜ？」を考える事を忘れず、より良い環境にしたいと思います。えらそうな事ばかりですみませんでした。
12	辛口な事を言わせていただきますが、五所川原市政は様々な分野に手を広げ、行政を行っている事は理解しています。しかし、少ない予算の中で、あまり手広く推し進めてもどれもが中途半端になってしまっているのではないかと感じています。その中でも特に重要なものに絞り、予算を充てていく事の方が重要なのではないかと感じています。現在、西北中央病院の工事が進んでいますが、高齢化が進み短命と言われる西北五地方の拠点となるものとして期待しています。ただ完成後、中途半端な医療機関が出来たというだけで終わってしまっただけでは残念です。是非、津軽地域の本当の意味の拠点となるような病院にしてほしいです。ここでは私見として病院について言及しましたが、私が再度言いたいのは、あまりに手広く事業を広げるのではなく、重要項目を絞り、十分予算を配分して行政を実行してほしいと言う事です。今後の五所川原市の行政に期待しています。
13	市長の考えがよく分からない。何をどうしたいのか、市民の事を考えた計画を進めているのかどうか疑問です。若い者は郷土への思いが薄れるばかり。古いものを残しながら新しいものを取り入れてほしい。
14	五所川原は第2の夕張になるとの声も多い。私自身、五所川原の市政には全く期待していないし、今後五所川原に住み続けたいとは思わない。こんなアンケートを提案したとしても、あまり意味がないのではと思う。立ねぶたも重要だろうが、それより大事な事項があることに気付く必要があるでしょう。今のままの五所川原市政だと本当に第2の夕張になると思うし、五所川原市の人口は減っちゃうよ。
15	立佞武多に金をかけ過ぎだと思う。立佞武多に興味のない市民も多数いる。一部のねぶたマニアの為に多額の税金を使うのはおかしいのでは。 町中心部に金をかけ過ぎでは？車で通り過ぎるだけの状況の中、今更・・・無駄。
16	経費削減（例えば、紙とかコピーなど、気が付いた事から行ってほしい）。税金の無駄使いに気づかない職員はいらない。また、それをもみ消す上司はもっといらない。クビ！
17	市長の考えが決まらなないと、その方向に行かないと思う。目標とか財政とか。
18	このままでは市がいつ破綻するか不安です。市長さん頑張っただけの気持ちです。
19	横の連携を取り、無駄な道路工事を減らす（例えば水道・下水・電気等で道路を掘る工事があるなら、一度に全部行い、何度も掘ったり埋めたりしない）。除排雪予算が少雪で残ったら、積み立てておき、大雪の年のための準備金にする。または、雪関連の工事（融雪溝）に使う。雪に関係ないことに使わない。
20	私は介護事業所に勤務しております。前々より介護保険業務内での無駄使いはどうにかならないものかと思っていました。例えば、介護認可更新のお知らせ、各個人ではなく担当ケアマネに送付する事で月幾らの経費削減になるのではないのでしょうか。市からの郵便だってタダでは無いですよ。家庭福祉課にもお世話になりますが、ひとり親医療費について、以前は支給額通知をしていませんでしたが、今は毎月送られてきます。自分たちで申

市政運営・行財政改革	
	請したものについての金額は把握しています。わざわざ手間とお金をかけて郵便で通知する必要はあるのでしょうか。ほんの些細な事といっても、塵も積もればではないでしょうか。
21	病院や庁舎の建て替えなどで、市の財政は今後ますます大変な事でしょうから、予算の使い方ももっと市民の事を考えたものであってほしい。
22	自分が生まれ育った五所川原市は大好きですが、市政（行政）についてはいまいちピンとこないです。もっと市民を巻き込んで、市民に浸透する様な政治（活動）を望みます。
23	毎年立ネプタをするには予算がかかり過ぎる。立ネプタの運行は4年に1回、もしくは10年に1回とし、その分の予算を流雪溝の設置に使ってもらいたい。五所川原ウインズ（競馬場）を誘致してほしい。パチンコ屋ばかりに儲けさせないで、ウインズを作れば市に落ちる税金はかなりのはず。そのお金で流雪溝を設置してほしい。立ネプタの回数を減らす代わりに、市民に賞金付きアイデアを募集して、お金がかからず活気のある祭りを検討してみてもいい？
24	消防・病院等、わざわざ地価の高い所に建築。一部議員・平山市長のため。市民はこれから税金が増加。これからも五所川原に住みたいと思いません。大町も何の為に開発をしたのか不明です。一部借金の多い人は喜んでいと聞いています。何より市長・一部議員が市民の手本になるような、また、市民が誇れる市にしてほしい。
25	人口が増えて納税者が増えなければ財政は良くならない。納税者を増やすには五所川原で働く場が必要。または、企業の税収を増やす。
26	これから市長はどういう思考で発展させるのか。期待しています。
27	無駄なものは省いて必要なものにお金を払ってほしい。
28	今の市政は市民に理解出来ません。一部の人達にとっては好都合でも、一部から見れば生活が苦しくて、きちんと税金が活用されているのかと思われまます。特定の人達の為の政治があからさまに見えます。
29	大きなミスも少なく、市政関係者の方々に感謝しております。
30	どのような現場もいつも同じ人の再任が多く見られるが、若くてやる気のある人達の積極的な取組を考えてほしい。老人が老人の事を考えると、意見を取り入れるのも良いが、実行に移すのはもっと若い人達の力を利用することを考えてほしい。
31	外部から見ての意見ですが、市の仕事等は一部の企業のみならず、全般に振り分ける方向で進めた方が良くと思います。
32	後追いではなく、問題点を先取りしていく市政である事を期待します。
33	道州制への対応。
34	近年、世界的に見ても、ギリシャの財政破綻、国内では北海道の夕張市の財政破綻、色々と困難な財政事情がテレビの映像、新聞等に記載され、地方で繁華街の店舗のシャッターが閉ざされ、景気の悪化が知られています。それに2014年～2015年にかけて消費税の引き上げがされ、地方もますます生活の苦しい時代がやってきます。国では地方の交付金の削減、少子高齢化時代を支える子ども達が少なくなってきました。 1 街の活性化。 2 農業の活性化。

## 市政運営・行財政改革

	<p>3 格差社会。</p> <p>4 やがては貧困者がやってきます。</p> <p>このような苦況を踏まえ、時代を乗り越えるには色々と有識者の知恵を借りて、市政発展の為に頑張っていかななくてはなりません。私達市民も節約時代です。この先を考えると若者はますます地元就職できず、都会に就職を求め、市の人口も減少し、市の財政運営も厳しくなります。その為にも若者の雇用、企業が地元に必要なになります。有識者・市民のアイデアを募って頑張っていたきたいと思います。</p>
35	<p>市政に携わる方達の苦労や努力によって五所川原が少しずつ変わってきていると思います。これからも頑張ってください。応援しています。</p>
36	<p>財政が厳しい中、各種事業を実施しなければならないので、職員には負担がかかっていると思います。そのような職員からの提案をボトムアップして有効な事業をして下さい。これからもお願いします。</p>
37	<p>箱物はどんどん出ていますが、財政的にどんなだろうと市民は不安ばかりです。</p>
38	<p>市のお金の使い方みんな不満を持っています。今、色々建て直されていますが一気にやる必要はあったのですか?借金ばかり増やして私達の生活がマイナスで出て行くお金ばかり増えるのでは困ります。</p>

## (2) 市民参画・広報広聴・情報公開(13件)

### 市民参画・広報広聴・情報公開

1	<p>市民の有志が集える機関の発足・支援・情報ツールを発展させる事ができれば、市民一人一人がまちづくりに参加し、隣の住人と交流も深まり、助け合いの輪の中、安心しては働けて子育てが出来、自分も必要とされることで、自然に活気あるまちになっていけるのではないのでしょうか。せっかく夢いっぱい抱ける若者を落胆させるのではなく、どんどん必要なんだと声がけして、勇気をくれるような市政に進展するよう、一市民として出来る事があれば挑戦したい気持ちでいます。</p>
2	<p>良く言えば市民参加型市政創造。これをキーワードに一時的では無く、恒久的にやっていかなければならない。市民皆頑張っているし、市関係者も同じく頑張っている。もっと一般市民を巻き込んで、より良いまちづくりをしてほしい。</p>
3	<p>私はまだ23です。こんな私でも思う事がいっぱいなら、他の人達はもっとだと思います。みんなの意見を活かして行くのは大変だと思いますが、アンケートを通して私も少しでも協力出来たらなと思います。変える事は大変ですが、変えようとする事から始まると思います。他の市や町から羨ましがられるような市になれるようみんなで頑張っていきましょう。</p>
4	<p>便利帳等の作成をしてくださってありがとうございます。とても助かっています。いざという時に何かあった時の参考にできると心強いです。</p>
5	<p>広報での情報の少なさ。運動をしたくても、どんなグループがあるのか、催しがあるのかわからない。職員が情報収集に動かないのか。内容充実を期待。</p>

市民参画・広報広聴・情報公開	
6	行政と企業の連携がまず重要。いくら窓口や効果的な取組をしても、周知され、誰でも分かりやすく、行きやすくなければ意味がない。利用しやすい、分りやすい情報発信はただ発信して終わるのではなく、それが活用されるよう工夫するのが行政の仕事だと思う。
7	インターネットで、子どもの予防接種の日付や場所等を確認しますが、更新がされておらず全く情報を得る事が出来ない。結局電話するが、担当まで繋がるまで時間がかかり過ぎる。また、電話で「更新されていない」旨を言うと「そうです」と当たり前のように答える職員…。だったらホームページをやめたら良いと思う。
8	引っ越して来ても広報とかもらえないので、今何を知りたいか分からないし、何かあっても参加できない。
9	市で行っているイベントなど、色々やっているとは思いますが、PR力が少ないと思います。広報などに書いてあるようですが、だいぶ前に書いてあるのですっかり忘れてしまったりします。ポスターを貼るとか、もっとPRに力を入れても良いのでは？（パソコンなどホームページでお知らせしているとは思いますが、そういうのやらない人もいます）お金がかかるのは分かりますが人が集まらないう意味がないと思います。
10	市外で勤務しているとはいえ、市の取組に無知であると感じた。今まで町内会への行事のみの参加でしたが、もっと広報紙を見ていきたいと思った。
11	街づくりの競争（市民参加）。
12	毎月2回の広報を1回にしてはどうですか。また、その紙も、もっと安価な紙にしてはどうでしょうか。
13	市民の声をもっと聞いて、活気ある五所川原市にして欲しいと思う。

### (3) コミュニティ活動・地域交流（4件）

コミュニティ活動・地域交流	
1	一市民としての意見ですが、やはり生活していく上で、人間同士のコミュニケーションはなくてはならないものだと思います。忙しい中でも、そういった心の触れ合いが生まれるとお互い気持ちの良いものです。生きていくうえで、人との係わり合いはとても大事なことでと思います。一人一人が安心して暮らせる街にするには、そういった心のコミュニケーションが大事になってくるのではないのでしょうか。
2	若い世代の私たちにも、もっと分りやすく親しみやすい関係を築きたいです。
3	市と町内会の位置が分からない。町内会に入っていないと広報ももらえないし、粗大ゴミも捨てる事が出来ない。町内会に入っても回覧板ぐらいしか必要性を感じないのに町内会費が高すぎる。
4	町内の活動

(4) まちづくり・将来のまち (18 件)

まちづくり・将来のまち	
1	20 年前、10 年前、5 年前と今と比べて感じる違いは、良い点はエルムの街が繁栄した事により、県外・市外から客足が増えた事が一つ。一方では、駅前の商店のシャッターが降り、個人経営では生きていけなくなってしまった市民が苦勞している事。企業店からの雇われ体制に移行する事によってアルバイト・パートで保障もない生活から抜け出せないため、結婚・子育て・自立という夢を見失っていく若者が増加している。そしてこれらの影響を受けているのは子ども達である。伸び伸びと遊ぶ場所も無い（校庭・公園・神社の遊具撤去や塾や芸術等の教室減少や駄菓子屋消失により）。趣味を共に行える環境がことごとく消えていった。地域のお祭りや親子クラブの活動も無くなり、おめでたい結婚を機に五所に戻って就職したものの、今後このまちで子育てするのかなと思うとゆううつな気持ちになっているのが正直な個人の“思い”であります。五所川原市にこうした市民の声が届けられる機会があるのでしたら、知恵を絞って提案させていただきたいと思います。
2	都市を真似する必要は無いが、五所川原だけに限らず、青森県は北海道の札幌を見本にした方が良いと思う。同じ豪雪地域なのに、あれだけ住みやすいまちは珍しいと思う。人口・雇用の規模は違うが、参考にすべき点はたくさんある。
3	色々意見はありますが、第一に市民性が粗悪すぎる気がしています。自分自身も含め。まずは基本がなっていないと夢を叶えるには難しいのではと考えます。マナー1つとっても、大人も子どもも出来ない人が多すぎます。親のマナーの悪さが子どもにも遺伝し、しっかりマナーを守っている人がバカを見る。こんなこと有り得るのでしょうか。保育園・幼稚園・小中学校・職場すべてに通知をし、五所川原の未来を考えるのであれば、全員で協力しようと呼びかけましょう。いくら観光を目玉にしても、迎える側のマナーがなければ、10 年後・20 年後どうなっているのでしょうか。五所川原の将来の為に一つ、全市民で取り組みましょう。まずは基本から。
4	教育や福祉でも良いので、何か一つ、日本全国に誇れるものがあれば良いと思います。
5	私は五所川原市に嫁いで、ここに定住しているのが不満なのですが、ここで生まれ育った子どもにも「ここはダメだ出て行く」と思われるようなまちにはしないで下さい。今はまだ、子ども達の声が聞こえていますが、数十年後限界集落になるような状況のような気がしてなりません。
6	私は弘前出身なのですが、最初はお店も病院も何もかも少ないので（五所川原が）本当に住みにくかったです。今は慣れてきましたが、たまに弘前に行ってまた五所川原に戻ってくると、改めて弘前は住みやすかったと思います。今は私も五所川原市民なので、もう少し住みやすく、五所川原はいいなあと思える所になれば良いと思います。
7	春になると溶けて無くなってしまいう物に莫大な金がかかるのですね。でもしょうがない。でもでも何とかしないと。例えば冬の産業として観光客を呼ぶっていう取組をしているけれど、正直ほとんどの人が二度はないよ。だってなにせ寒いっていうのが心を閉ざすよね。そこで夢の話だけど、テレビで見たけどヨーロッパのどこかの国だけど、青森津軽もこうなれば良いのになあーって、例えば新青森の駅から地下鉄で各市へ繋がって、そうなれば雪に費用はかからないし、観光客も暖かい中での移動だから寒さを楽しめるし、食べ物は最高だからね。客も二度三度、別荘地になるのでは。とにかく潤いのあるまちになっても

まちづくり・将来のまち	
	raitaitaiです。(余談)千葉市の取り組んでいるシステムは市民との円滑な関係。検索して参考に見て下さい。
8	活気ある明るく住み良い豊かなまちのためには、皆一つの心で前進あるのみです。
9	福祉が充実したまちづくり。
10	質の高い都市建設と行政を行って頂きたい。
11	当市はたちねぶたを発想するまで、単なる土建の市としか評価されなかった。しかし太宰をはじめとする文人・俳人・音楽家なども多く、歴史的資源・津軽三味線・スコップ三味線・民俗風習などにも特別なものがあり、観光や住民の憩いの場としても他都市と遜色ない土地柄だと思う。心豊かな都市づくりを期待しております。
12	都市計画しても何も良くなりませんが、道路は広くなりましたが何の意味もありません。市でももう少し考えてやるべきだと思います。五所川原のまちは何一つと良い所はありません。不便でなりません。まちの中は死んでしまっています。もう少し考えてみたらと思います。
13	誰もが住んでいて良かったと思うまちにしてください。
14	若い人達にとって魅力あるまちなのかな?!エルムは成功。たちネプタも!!
15	五所川原市は小さい市ですので、暮らしやすいです。パリのように、小さい範囲で生活ができ、住民のコミュニティがとれる、住民同士の協力がお金のかからない暮らしやすい市を作れるのかなと感じています。
16	この市で生活することの素晴らしさを、住民の知恵ももちろん、財政力もつけて、無い袖も時には振って、少しは財政も血を流して、すべての面で住みよいまち No1 になって下さい。ぴかぴかだけでなく良い。人に見せる為でも無く、心から安心して住民が「ささやかな安心を抱ける」五所川原市になってもらいたい。頑張ろう。やれば出来る!!
17	市政だよりもありましたが、観光の面でも道路や施設を魅力あるものにし、外からの収入も得て、まちを豊かにする事もとても大事だと思います。その一方、そちらに力を入れすぎて予算を取ってしまうと、日々このまちで暮らしている市民の住みやすさ魅力ある施設の整備までなかなか出来なくなるのでは・・・と考えてしまいます。例えばですが、金木にある芦野公園ですが、桜の名所で太宰治ゆかりの地でもあり、十分観光目的地として成り立つ場である以上に、日常において幼児から老人までゆっくり散歩したり、ピクニックをしたり、無料プールを利用したり、また、遊具も少なからずあるので、小さい子ども達も利用しやすいとても良い所なのに・・・。青森唯一の動物園と言われていた動物達は減り、小屋も壊されたまま放置され、小さい頃に祖母に手をひかれ行った賑やかな雰囲気は全くなく、とても残念に思います。駐車場も整備され、キャンプ場もあり、噴水もあり、近くには図書館まであり、そんな誇れる場所(芦野公園以外にももっとあると思いますが)もあります。五所川原中心部だけでなく、ほかにも目を向けて考えてほしいです。
18	市中心部だけにお金を掛けるのではなく、市全体を活性化する事が大事だと思います。マナー化して見えないものが、若者・市民・外部からの意見で見えてくるのではないのでしょうか。



### (5) 少子化対策・定住促進 (3件)

少子化対策・定住促進	
1	色々と課題はあると思いますが、子どもが増えていかないと若者は減る一方。日々の生活が苦しく、子どもなんて持とうと思わない若年層、税金すら払わない人、そういう気持ちは分かりますが、今、多少無理してでも子どもを増やしていくべき。税金を市民が全員払えばきっと先行きが明るくなります。
2	五所川原の人口を増やそうという取組をしていない。
3	今は少子化が最大の問題となっている。人口が減る一方では市が何をしようと活力など生まれて来ない。若者が結婚し、子どもをつくりたいと思うようなまち、家族として暮らしたいと思うようなまちを目指すべきと思う。

### (6) 市町村合併・地域格差 (10件)

市町村合併・地域格差	
1	市町村合併その後。旧金木町のトレーニングセンターの新築はどうなっているのか。
2	そもそも三市町村での合併は良かったのでしょうか？市の汚点・失策はアンケート取りづらいでしょう？
3	五所川原市と合併してから何も良い事がない。
4	旧金木町に住んでいます。すべての面で取り残されているように思います。平等に扱ってほしいと思います。差別されているように思います。
5	五所川原市はすでに死んでいる。例えば、旧三好村や飯詰村はどうなんだろう？旧金木町・旧市浦村はどうなるんだろう？金木支庁の方はロボットか？中心市街地のまちづくりは市全体の為なのか！津軽半島の人々が気軽に通える場所になり得ないでしょうか。統廃合で廃校にした校舎はどう利用するのか、すぐ解体するのかを決めてから実施するべきです。芦野公園のトイレや津鉄の無人駅は市外に誇れませんか。 「周辺自治体」「消防」「警察」「JA」がバラバラになりました。うまく連携できているのでしょうか？
6	まちの活性化に向けた整備が五所川原に重きを置くのは仕方ない事かもしれませんが、金木や市浦に対しても皆が実感できるような整備をして頂きたいと思います。ハード面でなくても、これまで行われていたスポーツ活動や公民館教室のようなものが復活し、住民の交流の場が確保されるだけでも充実したまちづくりにつながるのではないかと考えます。
7	五所川原市内の整備にだけお金をかけているように思うので不満です。
8	市内中心部の整備ばかりが進んでいるように感じる。早急にしたいのは分かるが、金木・市浦地区は後回しになっていないか？一中の施設が公立学校にしては豪華過ぎはしないか？
9	飛び地である市浦地区を決しておろそかにしない市政を!!
10	市浦地区に住んでいて市からないがしろにされている感があるので、今後もそんなに期待していません。高い税金を払っていても、私達には何の得もなくという感じです。たちねぷたにだけお金をかけているような。市役所や消防署、西北病院などが古くなっているの

## 市町村合併・地域格差

も分かりますが、金木地区や市浦地区ももっと良くなってほしいと思います。税金も安くなるのを切に願います。

## (7) 市議会運営、市議会議員 (8 件)

### 市議会運営、市議会議員

1	雪国なので、冬場はどうしても暗い雰囲気になってしまうし、除排雪等多大なお金がかかってしまうが、その為に議員がいるのだから、議員の皆さんで国に理解を求める努力をしてもらい、冬でも街に人が訪れるようなまちづくりをしてもらいたい(国からもっと予算を出してもらってという事です)。
2	選挙に勝って終わりではなく、地域代表の意見をどんどん遠慮なく述べ合い議論していただきたい。活発な議員活動を市民の為にお願いしたい。議場等でも当然紳士的にルール等を守りながら、慣れるまでは仕方がないが、職員いじめは無しで対等に戦って下さい。
3	一時休止していた政務調査費を姑息にも名前を変え復活するとはあまりにもご立派すぎませんか。これが五所川原市議会の人ですか。情けない。そこで提案ですが、現在支給されている政務活動費を活用して、政務調査費を廃止した弘前市議会を調査しては如何でしょうか。
4	市議会議員定数の削減及び日給制度実施。
5	市議会議員が多数なのに仕事をしているのだろうか。もっと地域を見てほしいものである。
6	4・5年前に議会が始まるという事で見学に行きました。初日でもあったので15分位で終わってしまいました。初日からもっと内容の濃い議会にして頂けたらと思います。
7	議員の数が多すぎ。何をしているのか分からない。もっと住み良いまちを作ってください。
8	市議会議員の方達にももう少し実のある活動をしてほしいと思う。

## (8) 税金、使用料、手数料 (18 件)

### 税金、使用料、手数料

1	税金が高い!!収入にちゃんと見合っていない。高く払えない。
2	毎年度の固定資産税、軽自動車の税金通知書は毎年のことなので疑問に思いませんが、今年度はじめて「市民税・県民税通知書」が届きました。何で届いたのか理解できませんでした。周囲の方に確認したところ、収入が多かった為ではと言われましたが…。市の職員は通知書を見ればそんなこと分かるだろうしと思いますが…。2行~3行程度の簡易文書で構いませんので、分かりやすい通知をしたらどうでしょうか?ちょっとしたサービスが市のイメージアップにつながって行きます。
3	五所川原市が大好きなのですが、正直ここ数年税金が高い事、子どもの医療費など、他の市の方が良いのかなと家族で話をする事が増えました。子どもの成長につれ、お金はかかります。つがる市の知り合いにも、子どもの医療や教育をもっと市が助けてくれたら良い

税金、使用料、手数料	
	ね、と言われます。母子家庭の方がいくらもらっているか知りませんが、本当に手当てが必要なのかな?っていう方もたくさんいます。もっとじっくり調べた方が良いと思います。税金これ以上上げないで下さい。
4	上下水道料金値下げを検討せよ。10 億円を超える余剰金があるにもかかわらず、市民へ還元しないのはおかしい。
5	立佞武多の館の入館料を市民無料にしてほしい。
6	税金が下がるような工夫を考える。
7	市民税が近隣の市町村に比べ非常に高く、その割に住みやすい環境と思えない。
8	税金が他の市町村よりも高く、また、医療費の控除も無い。お金（税金）の使い道をしっかり考えてほしい。市と癒着している人の為の市になっている。市役所の職員も仕事せず、時間を持て余して一日を過ごしている姿をよく見る。そんな人達に税金を使うのはおかしい。必要ないなら職員や議員の人数を減らして税金を安くしてほしい。特別な業者の為、暇な職員の為に私たちは税金を納めているのではない!!自分たちの事だけでなく、市民の事、下々の人の事を考えてほしい。
9	税金をもっと下げてほしい。生活が成り立たなくなっている。税金の計算式を変えなければいけない。古い計算式では現代とは合わないのではないか。生活水準が上がり、出費も多く、冠婚葬祭などがその月にあったら終わりです。
10	住民税等が高すぎ。1年で倍以上増えてます。駅前の開発、たちねぶた等、経費を掛け過ぎているのではと思います。私は市内ではなく、金木の住民なので、市内にばかり税金が使われているように感じています。 市役所の新設などで税金が上昇するなら、今一度考えてほしいです。以上。
11	70 歳以上の介護保険料徴収（引き落とし）について。国民年金のわずかな中から 1 万円引き落としは高齢者にとっては高いと思います。国・県・市で協力して負担してもらいたい。これ以上市民に負担を求めるのは無理だと思いますけど…。
12	税金が高いですね。主人は身を削って長時間工場で働いて、残業が多くて給料が多いと思っても、高額な税金を支払うと、残るお金は変わらないような気がします。
13	病院に行かず元気であればいいが、大病をしている私達は医療費が大変。少しの年金額にもかかわらず支払いが多く生活は苦しい。苦しいなりにやりくりして生活していかなければならない老後の生活が今後もっと苦しくなると思われる。保険税・介護保険料・市民税の減税をお願いしたい。
14	税金が高すぎる。何とか安くしてほしいです。
15	国保税が高いと思います。財政が厳しいのは分かりますが、まず生きる事が一番だと思うので、他に見直せる事業等があれば、経費の削減等をしてほしいと思います。
16	あまり金をかけないように。納税しかねます。
17	税金が高すぎます。公務員なら問題ないでしょうけど…。
18	市税が高すぎる。

(9) 市職員 (28 件)

市職員	
1	前日テレビで放送していたが、パソコンによる自分勝手な使い方や守秘義務についても徹底して下さい。
2	より良い世の中・市政になって行く事を期待しています。デスクに向かい書面を見るのではなく、現状をもっと見て知って下さい。
3	五所川原の役人は、自らの事しか考えていないと言う人が多数いるが、全くもってその通りだと思う。たちねふたは県外からの観光客も多く賑わっているが、それ以外の事については何をしているのか全く不明。市役所の職員は、市民の血税で生活しているのに市民に感謝しているとは思えない。そういう市民の意見に対し、当人の考えを聞きたい。
4	職員の方々はそれなりに市民に対応してくれ頑張っています。もう少しお偉い方々は原点に戻り、自ら旧町村視察をしてみればどうですか。机上の市政であれば、少し頑張れば私にも出来るかも（それでは駄目）。地元の人達が心から「ありがとうございます」と言える市政をお願いしたい。
5	子どもが 2 人います。保育所に預けて仕事しています。保育所の先生達が子育ての悩みを聞いてくれ、助けてもらい仕事が出来ています。反対に市の職員には、予防接種の時に乱暴な言葉と態度で扱われ、見下したような言動をされた事が忘れられません。民間の方は質の高いサービスを勉強しているのに、市の職員の教育がなっていないのは、質の低い考えを持っている人が市役所にたくさんいるからかなと感じました。保育士にお金をかけて頂きたいです。
6	市役所、市立とつく所で、挨拶や態度など、不快を感じない所は無いに等しい。きちんと職員採用、教育を。
7	職員の仕事中のサボリについて調べた方がよろしいかと思われます。市民の税金を無駄使いしないで下さい。徹底的に調べて下さい。
8	仕事中にネットをしていた事案について。市の職員として恥ずかしい行動はやめてもらいたい。色々な事案があると思います。内部での調査をもっとやるべきだ。
9	お役所仕事をしないで、職員はもっと住民の声を聞いて取り組んでほしい。税金泥棒と呼ばれても今は仕方がないのかな？対応について、また、仕事ぶりを見ても（中も外回りも）。住民が見ている事を一人一人意識して下さい。
10	今ここに住んでいる人達の声を聞いて下さい。臭い物にはフタをではなく、市役所内の奥でお茶を飲みながら眺めているのはやめて下さい。除雪依頼の電話で居留守を使うのはやめて下さい。
11	市の職員についても様々でいらっしゃいます。どこの企業でも同じなのではないでしょうか。せめて窓口など人と接する職員は、もっと笑顔で親切に対応してほしいものです。県や国の職員の方々の対応と比べるとレベルの低さを感じます。五所川原という看板を背負っている職員なので、職員が率先して良くしようと思っしてほしいと思います。
12	市職員が無駄な残業等をする事なく、効率的に働くように心がけ、税金を大事に使うようにしてほしい(人件費が多くかかるので)。
13	一部の課かもしれないが、挨拶がなくなっていると思う。ほとんどパソコンを見て仕事をし、

市職員	
	顔さえ上げない。対応してくれて話をするととても親切だったりするが、人が来ている事に敏感であってほしい。こちらから声を掛けてはじめて返ってくる。一般企業ならあり得ない事である（きつい言い方になって申し訳ありませんが、とても嫌な思いをしたので）。
14	たまに市役所に行くと、職員の中にはダラダラしている人がいます（一人ではなく）。民間企業に勤めている身にとっては、こんなんでも給料が貰えるのかと思います。五所川原の顔です。いつも市民に見られているという意識を持って、職務に臨んでほしいです。市役所であっても“CS”は必要だと思います。今の状態ではCSにつながっていません。
15	五所川原市職員の方々は偉いのでしょうか？市の顔と言える役所関係に携わっている方々は。私達は市の職員よと言わんばかりに威張っている方もおられます。一般市民は不自由な生活にしいられても、まずは第一に職員の方々を一番に思われています。老人の方々の除雪など不自由を感じていても、何もしてくれないですよ
16	市役所職員の休憩時間は、いったいどうなっているのか？喫茶店に12時前に入って、1時半過ぎてもまだ戻らない。マンガを読んだりダラダラしている。一般企業では考えられない。タバコ室にもいつも人がいっぱい。
17	これからも市民の為に市役所職員として仕事を真面目に！みんな見えています。
18	市職員の質の向上をお願いします。
19	市役所に行って、いつも思うのは、窓口の人達は忙しそうだが、奥の机の人達は、新聞を見たり、ぼんやりしていて暇そうにしていることです。
20	市職員があまり親切でない時が多い。
21	大分改善されてきたと思いますが、一般企業で働いている者にとって、市役所職員の暇そうな態度は目に付きます。特に中間層や役職付きの人達です。ただ机に座って高給をもらっているのかと思う人が何人もいます。市長や管理職の人々は抜き打ちで市庁舎を回ってみてください。
22	市役所職員も削減すべきである。理由は言わずとも普段の彼らの様子（勤務ぶり）を見れば明白でしょう。少数精鋭、本当に五所川原の住民の為に思って働く人、そういう人を雇用すべきである。
23	市主催（実は県、実は国からの命令ですね）の健康診断なるものに一度行ってみました。ところが、市職員（明らかに管理職）のあの態度には失望しました。軽蔑に満ちた冷笑。それ以来もう二度と行っていませんし、これからも行きません。
24	市の職員は、職場が変わると市民が聞いても答える事が出来ない人が多い。民間会社では通らない事です。
25	勤務中にパソコンで仕事に関係ないものを見ている人がいるので注意した方が良くと思います。また、出勤してから髭を剃ったり、トイレに行ったりするのは少しおかしいと思います。
26	職員の皆様・公務に精励されていて大変ご苦労様です。一部の職員の中に市営住宅の倉庫が台風で飛んだ時、すぐ通報した所「当事者でないのに何の関係があるのか」と言われ、公職の身でありながら何と言う事と疑問を持ちました。事が発生した時に、すぐ動こうとしない。すぐ予算は本庁が握っている、などと責任転嫁が著しい。すぐ対応しようとする意気込みが感じられない。様々な災害等に対し、ある人が電話をかけたが、動こうとしな

市職員	
	い。側溝があふれ、住宅のトイレに水が入り、衛生社にすぐ来て頂き、汲み取りをしたなどあったようだ。弱者の立場に立った行政が行われていないと思います。もう一回原点に立ち戻って公務に奨励して頂ければと思います。事が起こる前にアクションを起こす。起きたら急ぐ。諸問題を速やかに解決する。適正かつ速やかに。頑張っている職員、今回もまた宜しくお願いします。ダメ職員の指導も併せて。
27	市民税が高いが、市民に反映されているとは思えない。市役所職員 1 人 1 人が責任を持ち仕事して頂きたい。
28	幹部だけが号令をかけても、職員が市民の声に耳を傾けないと。市民の声をつぶさない姿勢が大切だと思います。

### (10) 窓口対応 (26 件)

窓口対応	
1	市役所は、午後 7 時ぐらいまでやってほしい。
2	市民が行政について尋ねた時、何度もたらい回しせず答えてほしい。
3	市役所を訪れた時に何を話しているのか、モソモソと小さな声で話す人がいたり、質問した内容と違う答えが返ってきたりと、親身になって接してくれる人がいなかった。はっきり言って愛想もとても悪くて良い気分した事はありません。
4	市役所に関する事ですが、私はよく子ども関係の事で市役所を尋ねます。ずっと思っていた事ですが、「言われた事、聞かれた事だけを答えれば良い」と思っていないですか。元々接客業をしていたので、すごく目につくし、正直腹が立っているのです。その姿勢では市民との間に何も築けないし、溝ができるだけです。もう一度、市民の窓口である事を自覚してほしいです。中には素晴らしい対応の方もいるかもしれませんが、そうでない方のほうが目立ちます。市が今後どうなってほしいとかそんな問題の前に役所の姿勢を直すべきです。そこが第一歩なはずです。市民により良く生活してもらう為に考え、提案したり相談を受けてくれたり、もっと親身になってくれても良いと思います。これは本当に心底思っている事です。「1 人のクレームの裏には 20 人が同じ事を思っている」私だけではないはずです。どうかお願いします。
5	一部職員の窓口での態度が悪いケースがある（威圧的で見下した態度だったり。）。一番悪いのは、駐車場への誘導である。私が引越して間もないからかもしれないが、手前の駐車場にするか奥なのか分からない時に、事前に市役所に電話を入れて、奥でも駐車出来ると聞いたので奥に駐車したのだが、そこが職員専用だったらしく、市役所職員に「×マーク」を出され、結局 2 度手間になった。「そこは職員専用だから」と何か合図を出せば良いのに、何もしないのは誘導しているといえるのか不満です。また「×マーク」を出した女性職員も、もう少し別の教え方をしても良かったのではと思います。すごくこの点是不満です（市民<職員と考えている職員が多い）。ただ、厳しい財政で観光資源をフルに生かしているのはとても良い。また、全ての職員が悪いわけではなく、対応の良い方もいるので、もう少し市職員の窓口対応を改善してほしい。
6	エルムの中にも窓口が出来るととても便利になると思います。

窓口対応	
7	窓口サービスの対応が良くなってきたと嬉しく感じています。今までのような田舎体質の対応は慎み、これからも継続して欲しいです。支所も見直すべきと感じています。できれば土・日でも、住民票などが取れるようになると助かります。
8	2階の窓口の対応が悪い。17:00まで仕事なのだから、17:00近くに行っても嫌な顔をしないでほしい。16:50に行ったら嫌な顔をされた。親切になってほしい。
9	市政とは関係ないかと思うけど、市役所であちこち歩きまわりたくない。特に年寄りは大変だと思う。弘前みたいに、なるべく同じロビーで済ませられるような環境にしてほしい。まだまだ先の事だろうけど、子ども・年寄りに優しい五所川原でいてほしい。
10	市役所職員の対応は昔に比べて良くなったが、まだ上から目線の生意気な職員がいる。仕事と家庭で毎日がいっぱい生活しているのに、窓口で殿様のような態度をとるといふ事はどういう事か。市役所職員がそんなに偉いのか？市民の税金で給与をもらっているのではないか。市職員に対するアンケートをもっと増やすべきです。
11	10年前の窓口のやり取りで嫌な思いをした事があったが、ここ何年かは柔らかい丁寧な対応の職員も増え、以前に比べて手続き等行きやすく（分からない事も聞きやすく）なった。
12	冬に排雪しないと家の付近が車一台通れないと市役所に電話したら、電話に出た職員の対応が悪く、説明しても態度が人事って話で頭にきた。何の為の役所なの？税金払って、その扱いはそんな役所じゃないし、使えない。
13	市役所の窓口で座っててくれるのは良いと思うが、「何かご用ですか？」という声かけはまったく無く、用事の内容について質問しても、とても無愛想。他の市町村では有り得ない。青森と弘前の役所も利用したが、もっとみんな優しくかった。おしゃべりばかりしているし。窓口の人がそうだと五所川原市にびっくりします。
14	市役所（五所川原）の職員の対応について、若い職員や女性は笑顔で親切な人が多いが、年配の方は横柄な人もいる。忙しいのも分かるが、数をこなせば良いのかな？と感じる。市役所に相談等頼ってきている方に対して、思いやりの感じられないロボットのような対応を見てがっかりした。
15	書類を金木に取りに行ったら五所川原でなくてはならないと言われた。何であれ、金木地区に住んでいる場合は、金木へ行く方が多いので、対応できるようにしてほしい。
16	窓口（市役所の）だけでもエアコンで涼しくしてほしい。夏暑すぎる。
17	弘前とかと比べると対応が下手。2度手間な所が何度かあった。どこに行けば良いのかの案内人もいないし。ねぶただけに力を入れれば良いと思っている。
18	意見提案では無いのですが聞いて頂きたい事があります。昨年、ポリオ接種の仕方が変わったあたりに個別接種になる事をまだ知らず、市役所に電話をかけました。「予防接種を次々と受けなければならない子どもがいて、スケジュールを組みたいと思っている所なので、ポリオの集団接種の日を分っていたら教えて下さい」と聞いた所、電話口に出た若そうな女の方は「どちら様ですか？」と言ってきました。「はあ??」と私は個人のお宅へ掛け間違いをしてしまったのかと思い「そちらは市役所ですよ?」（女性）「はい、そうです。どちら様ですか?」とまた言ってきました。私は名乗りましたが、とても気分が悪くムッとしました。その女性が答えるのか（ポリオの内容）と思っていたら「担当に変わります」と。次に電話に出た方に内容が伝わっているのかと思っていたら、伝わっておら

窓口対応	
	ず、また同じ内容の話をする事に。電話口に出た方は自分の名前を名乗らず、逆に私に「どちら様ですか?」と聞く有様です。まずは自分の名前を名乗ってから「お名前を伺ってもよろしいですか?」などの聞き方はできないのですか?市の顔である職員がこんな事ではどうするのですか?腹立たしく思いました。
19	年度末に市役所の窓口を開いて下さり、とてもありがたく感じています。例えばですが、つがる市はイオンモール内に、つがる市の出張所があります。仕事帰りでもそれなりに書類がいただけましたが、五所川原市内には無いのが残念です。エルム内に、そのような出張所でもありましたらとても助かります。
20	市役所の利用時間の延長、または、休日利用を希望します。毎日だけでなく隔週土日等、今の時代に合った利用法を考えてほしい。市役所の各部署のカウンターには必ず人員を置いてほしい。用事があって行っても、誰も窓口の人がいなく、大声で”すみませ〜ん”と声をかけなければ窓口の人が来ません。市役所に人が多すぎでは。人員があるのでしたらエルム等、人の集まる場所や駐車スペースのある所に出張所がほしいものです。
21	総合支所まで行っても物事が解決できず、五所川原市役所まで行かなければならないのは、時間と交通費の無駄でならない!!もっとテキパキと仕事の分かる人間を置いてほしい。行っても親切に教えてくれる人もいるけど、ツンとすまして無視するのはいかなものか?
22	市の相談窓口どこ!!
23	市役所窓口の職員の対応はひと昔とは比べられないほど良くなりました。親切さに行く度、ありがとうございます!と言っています。ところが、その後ろに座っている課長級の人達は、旧態依然という感じですね。ゆったりお茶やコーヒーを飲み、汗をかくのは窓口だけ。銀行や企業とは異なり、窓口係は誰一人上司へ聞きに行きません。要するにあの人達は飾りなのですね。飾りなら要らないので廃止して下さい。
24	各課ごとにお願ひですが、受付でもう少し親切と優しさがあつたら良いと思います。
25	個人的見解として。いずれ市役所が移転するようですが、いくら建物が立派になり、機器が整備されても、中で仕事をする職員の対応が良くなければ駄目だと思います。つい最近用事があって久しぶりに窓口へ行きましたが、必ずしも親切な気持ちの良い対応ではないと感じました(事務的で無愛想)。病院も同じでドクター・ナースが病む人の身になってお仕事をなさるよう心より望みます。
26	市役所窓口の女性の方、高圧的な態度が気に入らないです。

### (11) 市役所庁舎・公共施設 (7件)

市役所庁舎・公共施設	
1	市役所が五所川原の顔だと思うので、1日も早く新しくなり、夏は涼しい場所になる事を願っています。近年、夏は暑さがひどいので、夏は市役所が少しでも涼しく、冬は暖かいと市民も有難いです。病院の横でひび割れが目立って、見ている側が怖いです。市役所を早く新しくして、整備の整った場所にしないと災害が起きた時、進んで行動出来ないと思うから。市役所=五所川原の顔であって欲しいと願っています。
2	五所川原市に引っ越した当初、何かと市役所に行く用事が有り、まだ小さかった子どもと



市役所庁舎・公共施設	
	一緒に行かなければならず、ベビーカーを押して行ってました。玄関に入るなり、階段が…。隣には車いすの方用のエスカレーターらしきものがありました。ベビーカーを押して行けるスロープは無いし…。仕方なく、子どもを抱えベビーカーを持ってその階段を上りました。なんと不便な…と思いましたが、その時はそれしか無かったと思っていました。去年また子どもと一緒に市役所に行かなければならなくなり、小さな子どもをベビーカーに乗せて行きました。エレベーターは有りますが、玄関とは違う場所に有りますよね。すごくすごく不便です。普通は玄関に有りますよね？何とかありませんか？私だけですか？ベビーカーを押して行くのは。市役所に行きたくても、子どもを抱えて上る階段はすごく大変です。かといってベビーカーが無くては動き回るまだ小さな子どもを連れて用事は足せません。これからの改善を見させてもらいます。
3	公共施設の充実を行ってほしいです。公民館と体育館を立て替える時期ではないでしょうか。もう少しスポーツ施設を充実させると人が集まって、市としての財政が良くなるのではないのでしょうか？観光施設だけでは苦しいと思います。他の市町村と比べて恥ずかしいですよ。
4	西北病院跡地は市役所になるのですか？図書室とか研修室など市民が無料で使える場所を併設して下さい。公共施設もWiFi環境を!!旅行者はそれを先ずチェックしています。スマホの普及で市民にも利便性の提供です。
5	新しい市役所は、市民が使いやすいようにしてほしい。 市役所を移転する時、一般市民も利用できる食堂があるといい。一番おいしくて安いのが大事で、また、五所川原で生産されたもので料理することが大事。市役所に行った時、食堂もあったら助かります。
6	市役所が暗くて怖いと五所川原市全体が暗い。
7	市の生き活きセンターは玄関が入りづらい。稼働率どうなんでしょう?!なんか職員の為の施設なのかな？

## (12) アンケート調査 (17 件)

アンケート調査	
1	アンケートをとって一人一人の意見を反映出来るようによろしくお願いします。
2	今回アンケートを書きましたが生かして下さい。またこのアンケートも質問が難しいです。理解しながら答えた質問は少ないです。小学校でも解るようにアンケートを作り直した方が良くと思います。
3	返信用の封筒ぐらい大きいのを用意してくれても良いのではないのでしょうか？結構多いアンケートにせっかく答えて、最後に用紙を折らないといけないというのはちょっと…。
4	せっかくアンケートに回答したので、調査結果の広報への掲載をお願いします。
5	アンケートの結果をどう生かしていくのか。せっかくアンケートするのだから、是非生かされるものにしてほしいです。
6	こういうアンケートを増やすべきだと思う。

アンケート調査	
7	このアンケートには疑問です。市の能力を疑います。一言で言えばアホです。高い給料をもらっているんだから自分達で考えなさい。でないならやめなさい。
8	今回の 3000 人の市民の意見等が反映され、今後より良い五所川原になっていくのを見守ります。市民が行政等に直接話し合い出来る場所も良いと思います。今の若い人達は意外に不満があります。
9	出来たらこういうアンケートをマメにしてもらいたいと思います。
10	このアンケートは、3年ぐらい住まないと答えるのが難しいですよ。私は五所川原に住んで4ヶ月です。もっと調べてからアンケートを出して下さい。私は転勤族の主婦です。色々言っていますが、すみません。でも、一番住みづらいです。
11	一人一人のアンケートを、一人一人の投げ掛けの言葉を大切にしてほしい。何事も実行あるのみ。
12	3000人規模でアンケートをとり、市政に提言していくという取組を評価します。継続していくことが大切と考えております。
13	市民の考えを聞く為にこのようなアンケートを実施したと思うが、問3・4・7は非常に答えにくく、いかにも行政的な質問だと思う。市民が理解しやすい言葉でアンケートをやって、行政側で分析するのが当たり前のような気がする。こんなアンケートをとって、市民の声を聞いて次期計画を策定しました、といっても大した事はない気がする。市民が行政に対して、持っている不満をもっとストレートに書ける様なアンケートの作り方をするところから始めるべきだと思う。
14	何を提案しても同じ。良くなりません。
15	頭の良い人が作成したのでしょうか、こんな質問で市政の為になるとか、参考にするとか、おかしいと思います。この問題は何も参考にならないです。私には答えにくい質問ばかりで、いい加減に○をつけていますから…。問4なんかは、全く若者向けで年寄りには答えられないでしょう。逆に若者に答えられない問いもあると思いますし、これを反映してもらっても困ります。この事があって言いたくて返信しました。
16	市政に対する意見などと言われましても、私のような先細りしている農業のいち老人としては難しい事は分かりません。
17	お役に立てなくて申し訳ありませんが、このアンケートを機会にもっと五所川原市を勉強しようと思いました。ありがとうございます。

### (13) その他 (18件)

その他	
1	転居して間もない為、しばらくの間五所川原市を肌で感じたいと思います。ますますの発展を期待しています。
2	そもそも市政とはどこからどこまでが市政なのか。私も含めてほとんどの市民が知らないのでは？
3	市長・市議・職員は税金分働け！

その他	
4	エルムに行くと、お年寄りの人達が集まって何時間も座って話をしていたり、ボランティアなのか、内職なのか判りませんが、ポケットティッシュに広告を入れる作業を7・8人くらいで、飲食店のテーブルに広げて楽しそうにやっているのを見ました。それが悪い事ではないけれど、あまり何時間もだと少し迷惑だと思います。お店の人も注意できずにいたようです。なので、そういう人が集まってワイワイ話したり出来るような場所があれば良いと思います。お年寄りの人だけでなく、色々な人が気軽に行けるような所です（1ヶ所だけではなくて）。
5	五所川原市民は「津軽3振り」が多く、自己中心的が多く見られる。即ち、道徳教育、順法精神の欠如・思いやり（おもんばかりの心）・優しさの希薄…。先の東日本大震災時における物資の確保（ガソリン・飲み物・買い物等）状態をみれば、いかに自己中心的か分かる。これは五所川原の一種伝統でもあろう。市政・行政も、五所川原出身・在住者であれば五十歩・百歩。市民の考え方・意識を変えなければ、何をやっても他所の人からも理解も協力もされなくなる。立佞武多を例として、リピーターの確保にはなほだ難しいであろう。その理由は、前述の考え方・意識・思慮分別によるものであり、根幹であろうかと愚考・愚察している。大人はもはや無理、子ども達を良くしよう。
6	毎日のお仕事お疲れ様です。これからも五所川原市民を温かく見守って下さい。お願いします。
7	現五所川原市長さんにはますますの御活躍をお願い申し上げます。
8	私は今の家をこの場所に建てたのは、当時近くに病院もここに移ると聞いていたからでした。でも、病院は市役所の所に決まり、駐車場は立体駐車場で、診てもらうのにも今までとは違う様な噂が流れていて、不安に思う事ばかりです。
9	市内の商店街に住んで40年余りになります。自営業の手伝いをし、子育てし、とても良い環境で生活して来たと思っております。この年になるまで市政のこと等、何の関心も無くただ商売・子ども達のことだけで生きて来たようです。
10	市長はじめ職員の皆さん、ご苦労様です。
11	市に対しては、西北病院の建設予定地が変更になったのに納得しておりません。人としてここで38年生活して思った事は、仕事を離れ、いち市民となった時、市役所勤めの方はちょっと“テング”になっている様に見えます。38年も生活して来たのですから、今更ということにもなりますね（札幌で生活した時は、やっぱり都会ですね）。これからも五所川原で生活しますので皆様のお世話になります。よろしく申し上げます。
12	民間企業、自営業の方をもっと大事にして下さい。私は民間で働いている20代ですが、一軒一軒のお宅や企業・事業所などに足しげく通い、信頼を得て商品購入・契約など頂いています。 市の方が、一軒一軒の家や企業を訪問した事がありますか？特に用事が無くても「市の発展に何卒ご協力お願いします」と挨拶回りなどしますか？私の会社には一度も来たためしがありませんよ。お給料が良くて、収入も一番安定してるじゃないですか。だから公務員が人気です。今年、去年と採用した新職員筆記試験の点数が高かったから何だって言うんです？ 等々、言いたい事を言い終えたのでこれにて。私に協力できる事はしますので、行政とし

その他	
	ても精一杯頑張ってもらえればと思います。
13	五所川原市は、津軽地域では人口等において相当の差があるとはいえ、青森市・弘前市に次ぐ市であり、西北津軽地域の中心をなす市である事に、市民の一人として大きな愛着と誇りを持っている。しかしながら不満を感じる点も少なくない。
14	病院建設や道路整備等、市のあちらこちらで公共工事が行われていますが、五所川原市はそれほど財政が健全なんでしょうか？公共工事の受注先がいつも同じ会社のような気がするのですが、どうしてなのでしょう？
15	市政に関わる人は公私共に良い人であってほしい。賭け事しない、夜更かししない人を選んでほしい。
16	今頃言っても埒があかない事であるが、今建設中の病院の場所は誠に遺憾である。地理的にみても決して良い条件とは思えない。隣から歩いて来る患者だけではない。この車社会、もっと広い場所にゆったり建てた方が、もっとすっきりしたはず。議会で議論して決まった事とはいえ、私の周りの人の概は私と同じ意見でした。また、前市長が決めたこととはいえ、大町・本町のもぬけの殻みたいなまちを見て情けなくなりました。以上、どうにもならない愚痴でした。この五所川原に住んで良かったと思う市政に期待しながら…。つたない文を読んで頂きお疲れ様でした。
17	財政基盤強化のために。 1 首長等の給与のより一層の削減 2 市職員の給与及び諸手当の見直し削減 3 議員定数、給与のさらなる削減 4 議員の政務活動費の廃止。
18	立佞武多の館周辺の開発に相当な税金が投入されていると思うが、結果的に失敗であったとする市民の声に対して、何ら公に釈明されていないし、誰も責任をしっかりととっていないのではないか。

## 7. その他（4件）

その他	
1	市長が変わると仕事がなくなる人もいる。関係がなく、私のようにあまり知識が無ければ、そのまま通り過ぎて行くし騒ぐ人もいない。お金が無くて暗くて矛盾が多いそんなイメージです。
2	市長及び議員様方、一生懸命市の為に市民の為に頑張っていると思います。市会議員の何人かは自分の給料の為にやっているように見受けられます。その点、今後注意して、市の為、市民の為、教育の為、福祉の為にがんばってほしいと思います。医療関係機関・団体グループ・企業・事業所の皆さんも市役所と共に取り組んで協力してやってもらえれば、何かの形で皆さんが良くなると思います。市役所の財政部企画課、毎日大変ですが、良いアイデアの企画に取り組んで、五所川原市発展の為に市民の為に力を貸して頂ければ助か

その他	
	<p>ります。市長・副市長・議員さん方、市民から当選されたのですから、市の為市民の為、是非実行して下さい。安心して暮らせる五所川原市になってほしいです。五所川原市でも大変でしょうが頑張ってください。よろしくお祈いします。字が読めない点もありますがごめんなさい。右手が不自由なのでごめんなさい。市長様、その他関係の方へ、消費増税、市民の方ほとんど今まで通りに5%維持で皆さんお祈いします。以上、よろしくお祈いします。</p>
3	<p>駅前商店街の整備事業必要なし。エルムで十分です。たちねふたの必要性なし。税金の無駄遣い。金の掛け過ぎ。ねふたで十分。虫送りでたくさん。花火大会で十分。五所川原市民が楽しめるぐらいが良い。</p>
4	<p>立佞武多の市長挨拶等は、運行後最後にロータリーでネプタに囲まれてやってほしい。数年間はそうでしたよね!!市役所前は工事中なので、銀行前を運行すべきだったのではないのでしょうか?成人式には東京ドームでの立佞武多のイベントがあるとかで、市長はいつもドームに参加しているようですが、ドームは代理人でも良いのではないのでしょうか。これから五所川原を担う成人若者に、お祝いの言葉を述べる方が大切な気がします。</p>



## IV 参考資料①





## IV-1. 市民意識調査票（五所川原市に関するアンケート調査票）

### 五所川原市に関するアンケート ご協力のお願い

市民の皆様方におかれましては、日頃から市政に対するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

現在、市では、市の最上位計画である五所川原市総合計画の次期計画を平成26年度中に策定するために調査・分析等の作業を行っております。今回のアンケートは、これまでの施策を振り返るとともに、今後の五所川原市の将来像とこれからの施策について市民の皆様のお考えをお伺いし、次期五所川原市総合計画を策定するための大切な基礎資料として活用させていただきます。

今回の調査では、20歳以上の市民の皆様の中から無作為に3,000人を抽出させていただきます。皆様普段の暮らしの中で、どのようなことを感じ、また、今後の五所川原市にとってどのような点が重要と考えているかをお聞きするものです。

ご回答は全て匿名のデータとして統計処理し、プライバシーの保護に配慮することはもちろん、他の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお願いします。また、今回のアンケート調査結果は「広報ごしょがわら」などで公表いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、大切なアンケートとなりますので、趣旨をご理解の上、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

平成25年8月

五所川原市長 平山誠敏

<ご回答にあたってのお願い>

1. ご回答は直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて  
**8月30日(金)までに** ポストにご投函ください。
2. このアンケート調査には、必ずお送りした封筒の **あて名のご本人** がお答えください。  
もし、何かの都合でご回答できない場合は、ご家族のどなたかご回答いただいてもかまいませんが、その場合は、あて名のご本人の立場でお答えください。
3. ご回答は、ボールペンまたは濃い鉛筆などではっきりとお書きください。
4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒037-8686 五所川原市字岩木町12番地  
五所川原市財政部企画課企画調整係  
TEL 0173-35-2111 内線 2151~2154  
FAX 0173-35-3617  
E-mail kikaku@city.goshogawara.lg.jp

問1 ご回答いただくご本人（宛名の方）について、①～⑦のあてはまる番号に○をつけてください。

① 性別	1. 男性	2. 女性
② 年齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代	4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代以上
③ お住まいの地域	1. 五所川原地域 2. 金木地域 3. 市浦地域	
④ 五所川原市での居住歴	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満	4. 20年以上30年未満 5. 30年以上
⑤ 家族構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子（2世代）	4. 親と子と孫（3世代） 5. その他
⑥ 職業	1. 経営者 2. 勤め人 3. 自営・自由業 4. 農林漁業 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦（夫） 7. 学生 8. 無職 9. その他	
⑦ 通勤・通学先	1. 市内 2. 市外	



問3 あなたは、次の表に示した項目について、現状の状況をどのように感じていらっしゃいますか。また、今後、取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。①現在の満足度、②今後の重要度についてご回答ください。

	①満足度 (○は1つ)					②重要度 (○は1つ)						
	満足している	満足している	どちらかといえば	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	い	あまり重要ではない	重要ではない
①満足度、②重要度それぞれ1つに○をつけてください (記入例) ⇒	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5		
都市基盤の整備	1 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	2 歩道や公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	3 公共施設（病院・福祉施設・歩道など）に手すりの設置や段差の解消が施されており、利用しやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	4 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	5 バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	6 省エネルギー対策や新エネルギーの導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
産業の振興	7 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	8 農水産物のブランド化や地域観光資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	9 買い物などの利便性に優れた、魅力ある商店街が形成されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	10 新たな企業立地が進むなど、工業の振興が図られていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	11 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	12 職業訓練や働く場所を増やしたりすること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
保健・医療・福祉の充実	13 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	14 健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	15 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	16 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	17 障がいを持つ方への福祉サービスや相談体制が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

	①満足度（○は1つ）					②重要度（○は1つ）					
	満足している	満足している どちらかといえば	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	い あまり重要ではない	重要ではない	
居住環境の整備	18 道路の除雪がうまく行われ、安全に通行できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 市営住宅が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 災害が起きても対応できる体制が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22 豊かな自然が保たれ、自然に親しめる場所が身近にあること。また、環境保全に積極的に取り組まれていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24 消費生活に関する苦情や被害等の相談体制が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育文化の振興	25 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
参画と協働	30 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31 ボランティアや民間の非営利活動団体などの活動が活発で、行政との協働によってまちづくりが進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34 都会の人に移住してもらったり、外国人との異文化交流をすることによって地域を活性化させること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行政経営など	35 市民が満足できるような窓口サービスが行われていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37 市の財政基盤が安定していること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 あなたは最近（ここ5年間くらい）、以下の地域活動やまちづくりの取組に参加したことがありますか。また、今後（も）、参加したいと思いませんか。①最近、②今後について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	①最近	②今後
1. 自然を守るための活動（環境保護や環境美化活動など）	ある	したい
2. 安全・安心のための活動（災害ボランティア、防犯・交通安全・見守り活動など）	ある	したい
3. 支援が必要な人を援助する活動（高齢者や障がい者ボランティアなど）	ある	したい
4. まちの活性化につなげる活動（観光、地域文化、商店街のイベント、他都市との交流など）	ある	したい
5. 町内会・自治会が行う活動への参画	ある	したい
6. 市が実施するイベント等（祭り、講演など）への参画	ある	したい
7. 市政に対する意見の提出（市のアンケート調査や市のホームページを利用した意見提出など）	ある	したい
8. 上記以外の活動（ ）	ある	したい

問5 あなたは、これからも五所川原市に住み続けたいと思いませんか。（あてはまるもの1つに○をつけてください。）

1. 住み続けたい	4. どちらかといえば住み続けたくない
2. どちらかといえば住み続けたい	5. 住み続けたくない
3. どちらともいえない	

問6 これからの五所川原市のまちづくりをすすめていくうえで、キーワードとなるのはどのような言葉だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○をつけてください。）

1. 自然の豊かさ	7. 移住・定住	13. 安全・安心
2. 心の豊かさ	8. 創意・独自性	14. 支え合い
3. 活力・にぎわい	9. 学び・意欲	15. 共生・調和
4. 便利・快適	10. ふれあい・交流	16. 連携・協働
5. 夢・希望	11. 健やか	17. その他
6. 誇り・愛着	12. やさしさ・あたたかさ	（ ）

- 問7 今後、五所川原市がどのようなまちになるとよいと思いますか。今後こうなったらいいと思う五所川原市の姿をお書きください。（生活環境や都市基盤、産業・雇用、安全・安心、教育・文化、福祉、医療など、どのような分野でも結構です。）  
 また、ご回答いただいた姿を実現させるために、誰が（行政、関係機関・団体、企業・事業所、市民など）、どのような取り組みを行うべきだと思いますか。

目指したいまちの姿



誰が	どのような取り組み
行 政	
関係機関・団体	
企業・事業所	
市 民	
そ の 他	





## IV-2. アンケート集計表（設問ごとの単純集計結果）

(1) 問1-1 性別... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	382	41.5
2	女性	404	43.8
	無回答	135	14.7
	全体	921	100.0

(2) 問1-2 年齢... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	20歳代	112	12.2
2	30歳代	131	14.2
3	40歳代	151	16.4
4	50歳代	166	18.0
5	60歳代	172	18.7
6	70歳代以上	185	20.1
	無回答	4	0.4
	全体	921	100.0

(3) 問1-3 居住地域... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	五所川原地域	731	79.4
2	金木地域	143	15.5
3	市浦地域	44	4.8
	無回答	3	0.3
	全体	921	100.0

(4) 問1-4 居住歴... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	5年未満	68	7.4
2	5年以上10年未満	43	4.7
3	10年以上20年未満	99	10.7
4	20年以上30年未満	170	18.5
5	30年以上	533	57.8
	無回答	8	0.9
	全体	921	100.0

(5) 問1-5 家族構成... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとり暮らし	98	10.6
2	夫婦のみ	185	20.1
3	親と子 (2世代)	395	42.9
4	親と子と孫 (3世代)	161	17.5
5	その他	79	8.6
	無回答	3	0.3
	全体	921	100.0

(6) 問1-6 職業... (SA)

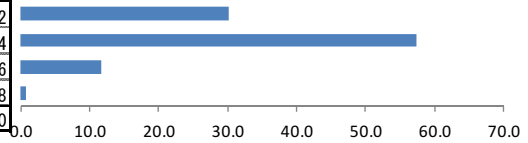
No.	カテゴリー名	n	%
1	経営者	26	2.8
2	勤め人	302	33.0
3	自営・自由業	60	6.5
4	農林漁業	64	6.9
5	パート・アルバイト	96	10.4
6	専業主婦 (夫)	86	9.3
7	学生	23	2.5
8	無職	227	24.6
9	その他	28	3.0
	無回答	9	1.0
	全体	921	100.0

(7) 問1-7 通勤・通学先... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	市内	347	50.0
2	市外	187	26.9
	無回答	160	23.1
	全体	694	100.0

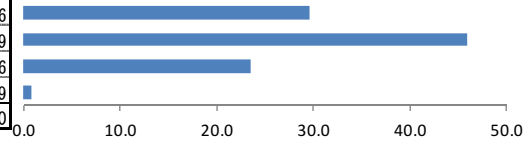
(8) 問2-1 ご近所同士のつながりを大切にしているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	278	30.2
2	それなりに大切にしている	529	57.4
3	重視していない	107	11.6
	無回答	7	0.8
	全体	921	100.0



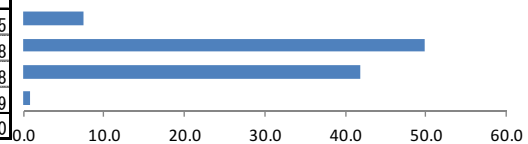
(9) 問2-2 健康増進のための取り組みをしているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	273	29.6
2	時々している	423	45.9
3	していない	217	23.6
	無回答	8	0.9
	全体	921	100.0



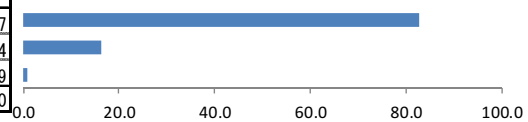
(10) 問2-3 防災対策をしているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	69	7.5
2	一部している	459	49.8
3	していない	385	41.8
	無回答	8	0.9
	全体	921	100.0



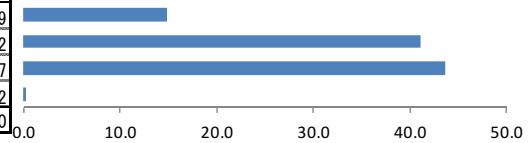
(11) 問2-4 困った時に相談できる人はいるか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	いる	762	82.7
2	いない	151	16.4
	無回答	8	0.9
	全体	921	100.0



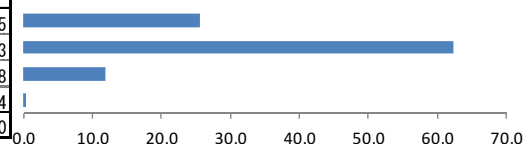
(12) 問2-5 地域のイベントや活動などに参加しているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	参加している	137	14.9
2	時々参加している	379	41.2
3	参加していない	403	43.7
	無回答	2	0.2
	全体	921	100.0



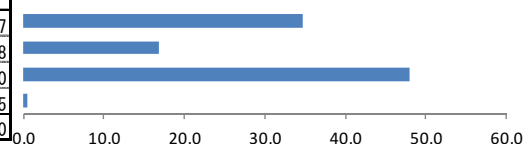
(13) 問2-6 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいるか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	取り組んでいる	235	25.5
2	それなりに取り組んでいる	573	62.3
3	取り組んでいない	109	11.8
	無回答	4	0.4
	全体	921	100.0



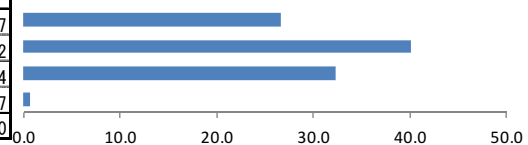
(14) 問2-7 インターネットなどの情報通信を使っているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	使っている	320	34.7
2	時々使っている	155	16.8
3	使っていない	441	48.0
	無回答	5	0.5
	全体	921	100.0



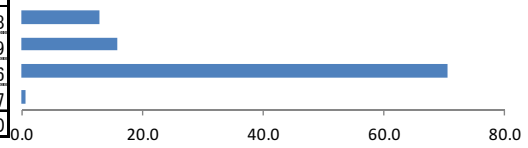
(15) 問2-8 趣味や教養を身につけることに取り組んでいるか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	取り組んでいる	246	26.7
2	時々取り組んでいる	371	40.2
3	取り組んでいない	298	32.4
	無回答	6	0.7
	全体	921	100.0



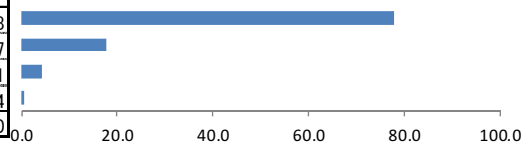
(16) 問2-9 日常的なスポーツ活動... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	118	12.8
2	時々している	146	15.9
3	していない	651	70.6
	無回答	6	0.7
	全体	921	100.0



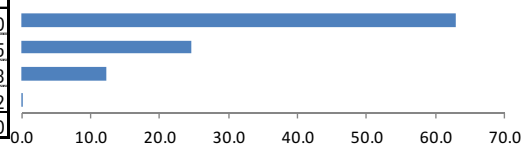
(17) 問2-10 日用品など、日ごろ市内で買い物をしているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	716	77.8
2	時々している	163	17.7
3	していない	38	4.1
	無回答	4	0.4
	全体	921	100.0



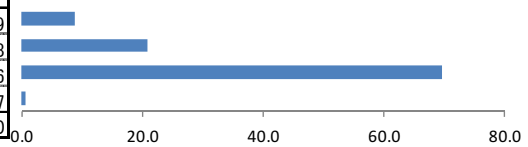
(18) 問2-11 市の広報誌を読んでいるか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	読んでいる	580	63.0
2	時々読んでいる	226	24.5
3	読んでいない	113	12.3
	無回答	2	0.2
	全体	921	100.0



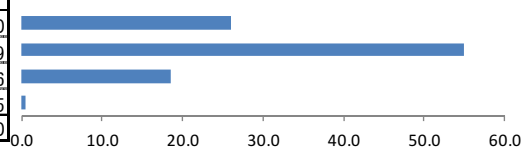
(19) 問2-12 市のHPを見ているか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	見ている	82	8.9
2	時々見ている	192	20.8
3	見ていない	641	69.6
	無回答	6	0.7
	全体	921	100.0



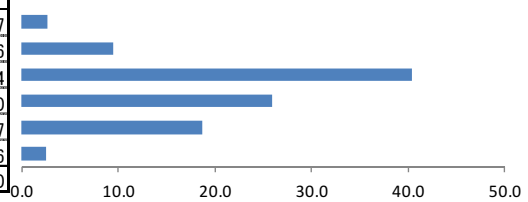
(20) 問2-13 市のまちづくりの取り組みや財政状況に関心があるか... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	関心がある	239	26.0
2	それなりに関心がある	506	54.9
3	関心がない	171	18.6
	無回答	5	0.5
	全体	921	100.0



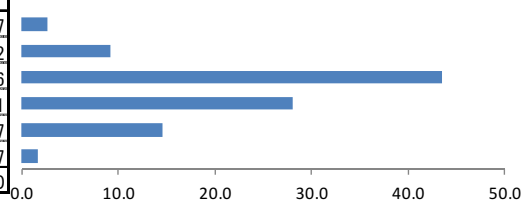
(21) 問3-1 【満足度】 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	25	2.7
2	どちらかといえば満足している	88	9.6
3	ふつう	373	40.4
4	やや不満である	239	26.0
5	不満である	172	18.7
	無回答	24	2.6
	全体	921	100.0

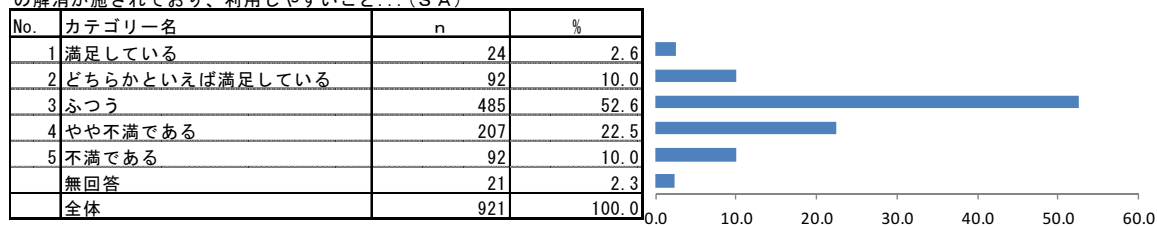


(22) 問3-2 【満足度】 歩道や公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと... (S A)

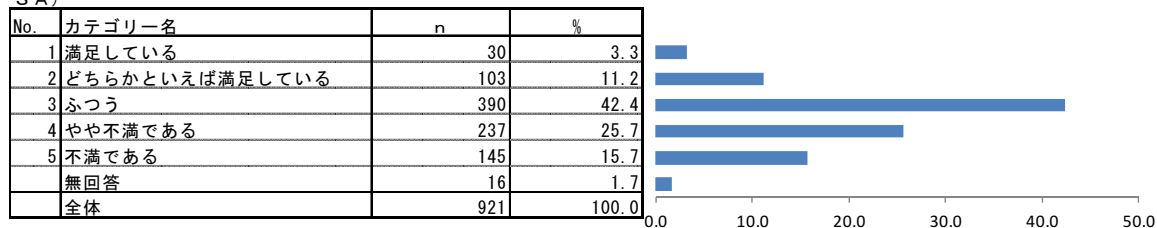
No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	25	2.7
2	どちらかといえば満足している	85	9.2
3	ふつう	401	43.6
4	やや不満である	259	28.1
5	不満である	135	14.7
	無回答	16	1.7
	全体	921	100.0



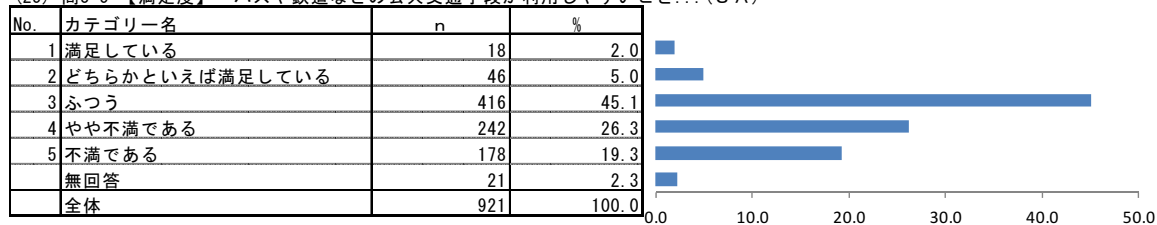
(23) 問3-3 【満足度】 公共施設（病院・福祉施設・歩道など）に手すりの設置や段差の解消が施されており、利用しやすいこと... (S A)



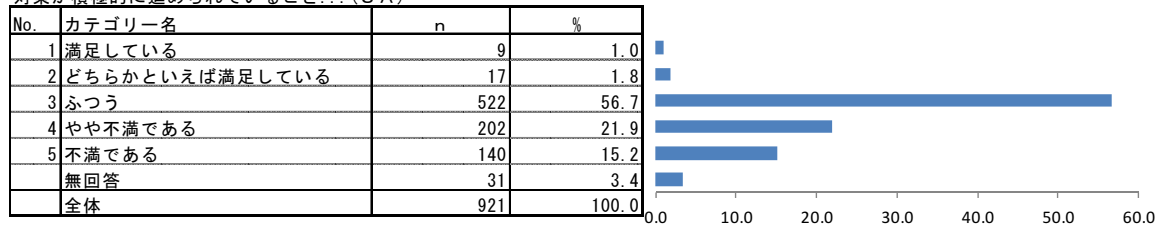
(24) 問3-4 【満足度】 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること... (S A)



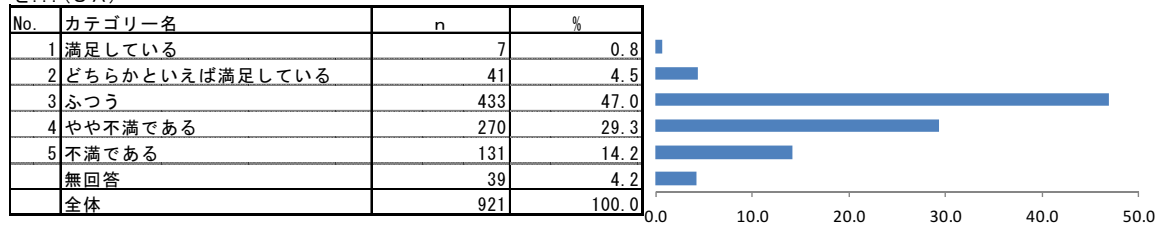
(25) 問3-5 【満足度】 バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと... (S A)



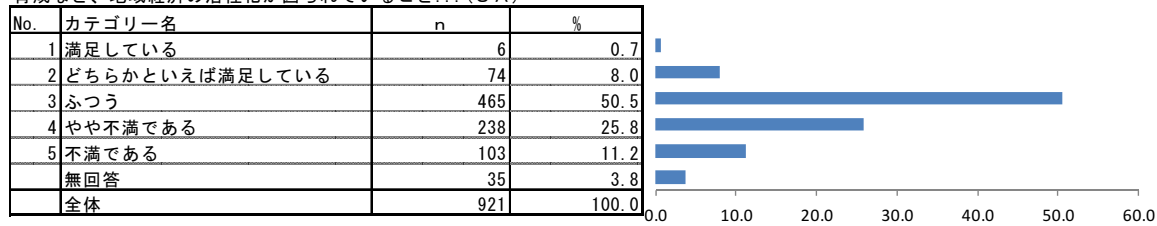
(26) 問3-6 【満足度】 省エネルギー対策や新エネルギーの導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること... (S A)



(27) 問3-7 【満足度】 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること... (S A)

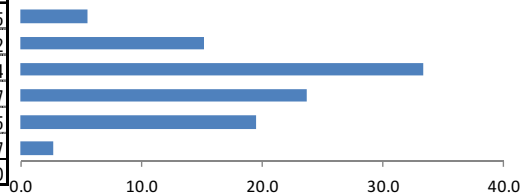


(28) 問3-8 【満足度】 農水産物のブランド化や地域観光資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること... (S A)



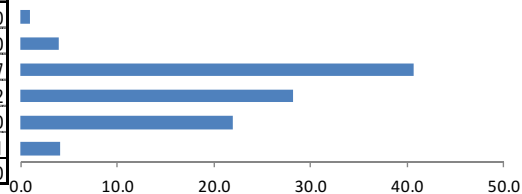
(29) 問3-9 【満足度】 買い物などの利便性に優れた、魅力ある商店街が形成されていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	51	5.5
2	どちらかといえば満足している	140	15.2
3	ふつう	307	33.4
4	やや不満である	218	23.7
5	不満である	180	19.5
	無回答	25	2.7
	全体	921	100.0



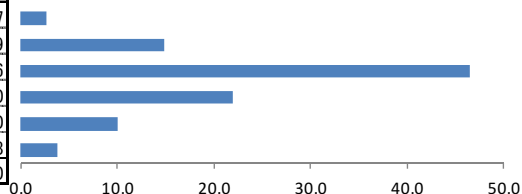
(30) 問3-10 【満足度】 新たな企業立地が進むなど、工業の振興が図られていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	9	1.0
2	どちらかといえば満足している	37	4.0
3	ふつう	374	40.7
4	やや不満である	260	28.2
5	不満である	203	22.0
	無回答	38	4.1
	全体	921	100.0



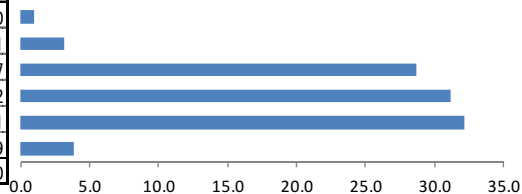
(31) 問3-11 【満足度】 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	25	2.7
2	どちらかといえば満足している	137	14.9
3	ふつう	429	46.6
4	やや不満である	203	22.0
5	不満である	92	10.0
	無回答	35	3.8
	全体	921	100.0



(32) 問3-12 【満足度】 職業訓練や働く場所を増やしたりすること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	9	1.0
2	どちらかといえば満足している	29	3.1
3	ふつう	264	28.7
4	やや不満である	287	31.2
5	不満である	296	32.1
	無回答	36	3.9
	全体	921	100.0



(33) 問3-13 【満足度】 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	45	4.9
2	どちらかといえば満足している	126	13.7
3	ふつう	373	40.5
4	やや不満である	223	24.2
5	不満である	133	14.4
	無回答	21	2.3
	全体	921	100.0

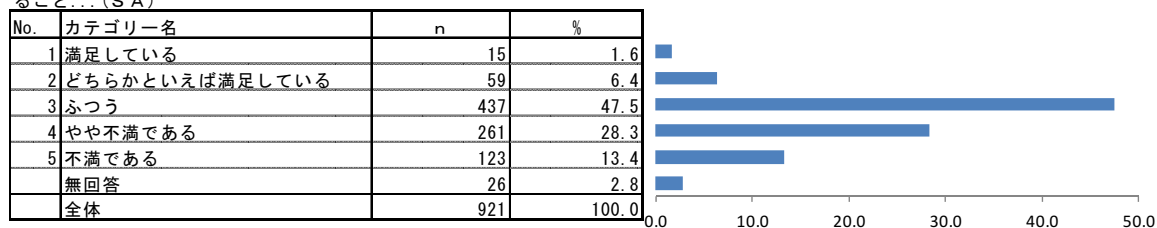


(34) 問3-14 【満足度】 健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること...(S A)

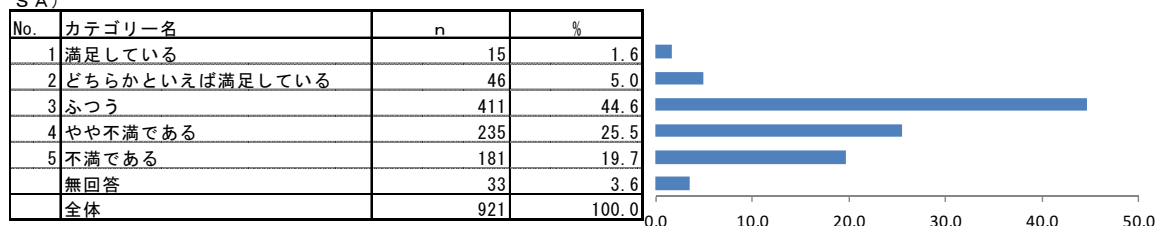
No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	22	2.4
2	どちらかといえば満足している	104	11.3
3	ふつう	581	63.1
4	やや不満である	135	14.7
5	不満である	51	5.5
	無回答	28	3.0
	全体	921	100.0



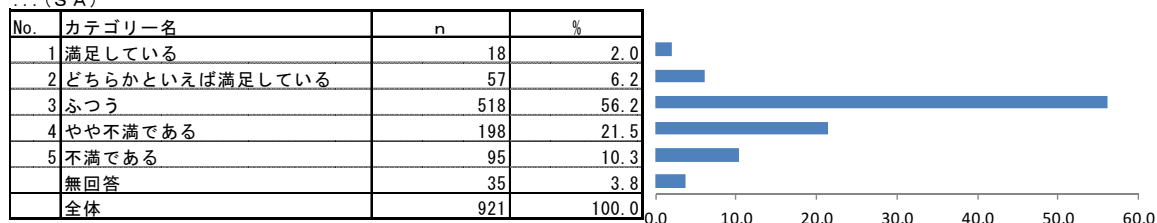
(35) 問3-15 【満足度】 高齢者が生きがいをもち、安心して生活できる環境が整っていること...(S A)



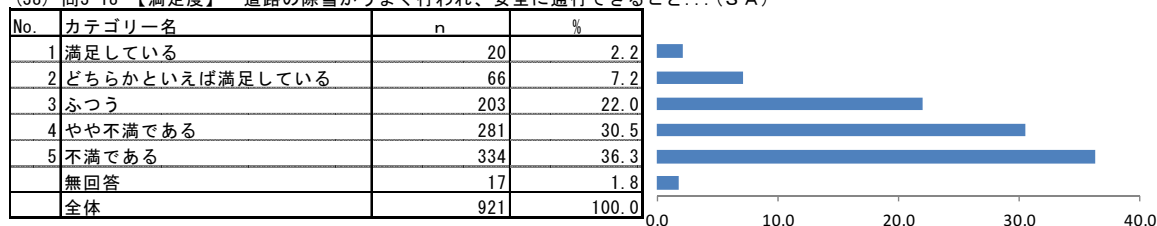
(36) 問3-16 【満足度】 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること...(S A)



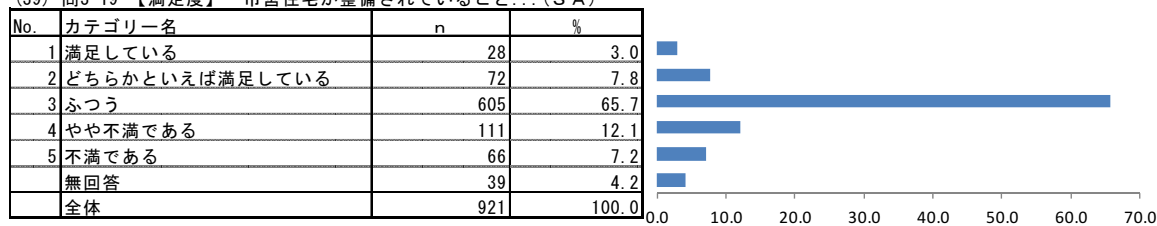
(37) 問3-17 【満足度】 障がいを持つ方への福祉サービスや相談体制が整っていること...(S A)



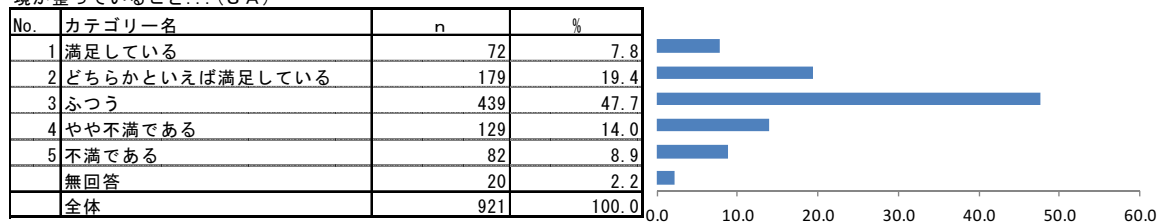
(38) 問3-18 【満足度】 道路の除雪がうまく行われ、安全に通行できること...(S A)



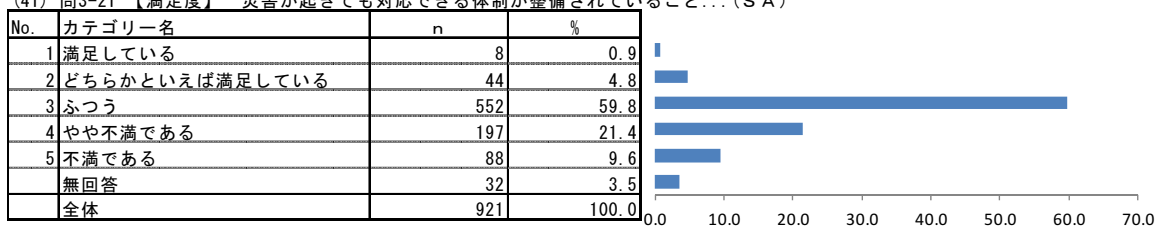
(39) 問3-19 【満足度】 市営住宅が整備されていること...(S A)



(40) 問3-20 【満足度】 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること...(S A)

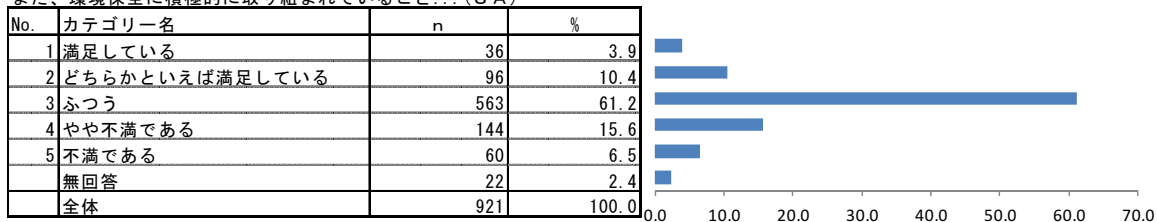


(41) 問3-21 【満足度】 災害が起きても対応できる体制が整備されていること... (S A)

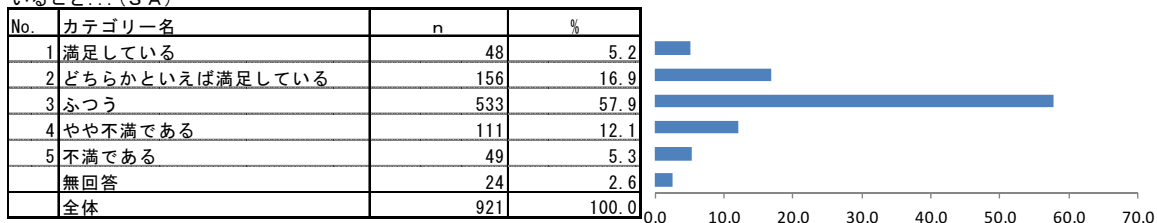


(42) 問3-22 【満足度】 豊かな自然が保たれ、自然に親しめる場所が身近にあること。

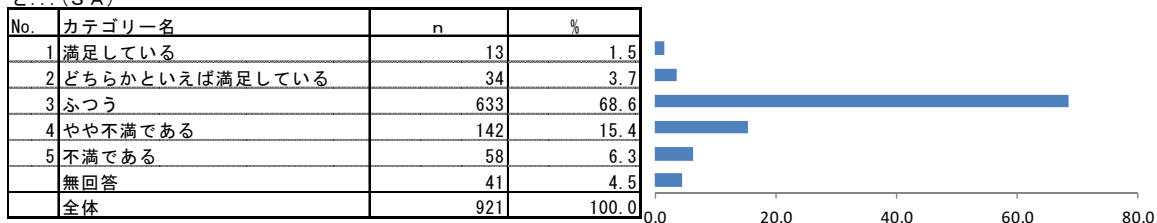
また、環境保全に積極的に取り組まれていること... (S A)



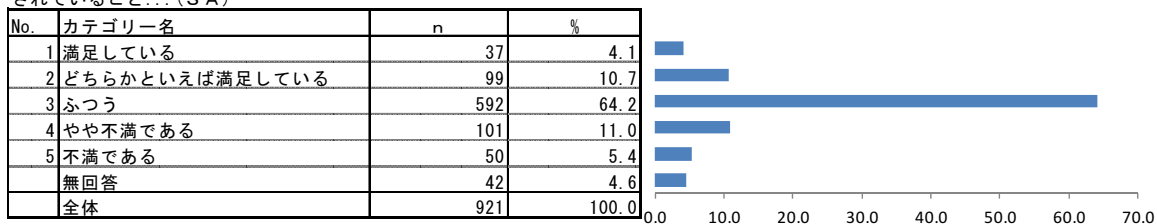
(43) 問3-23 【満足度】 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること... (S A)



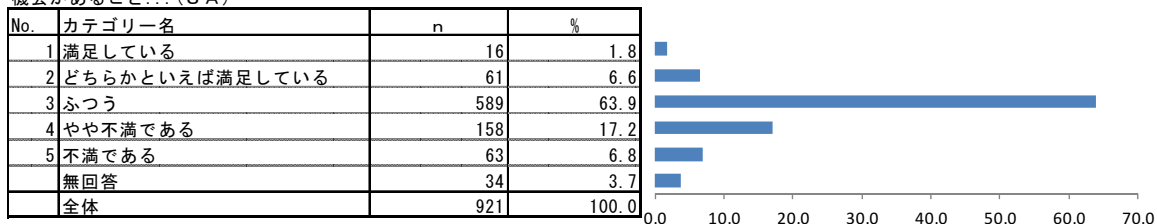
(44) 問3-24 【満足度】 消費生活に関する苦情や被害等の相談体制が整備されていること... (S A)



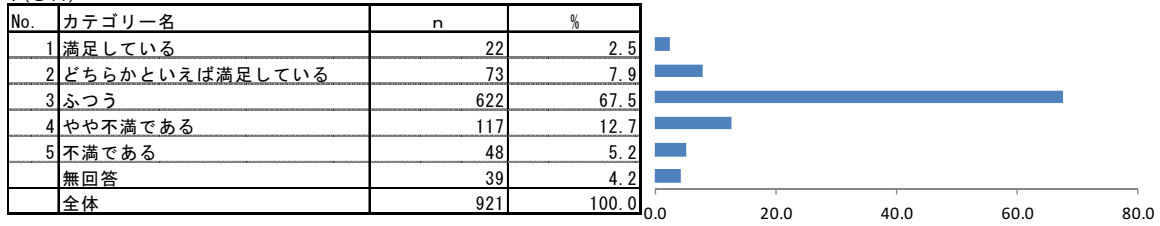
(45) 問3-25 【満足度】 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること... (S A)



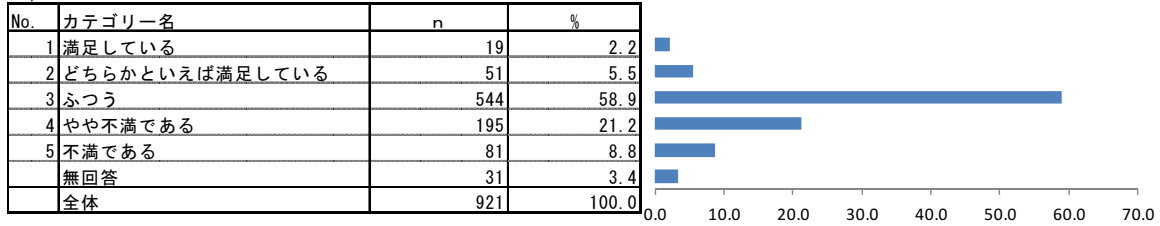
(46) 問3-26 【満足度】 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること... (S A)



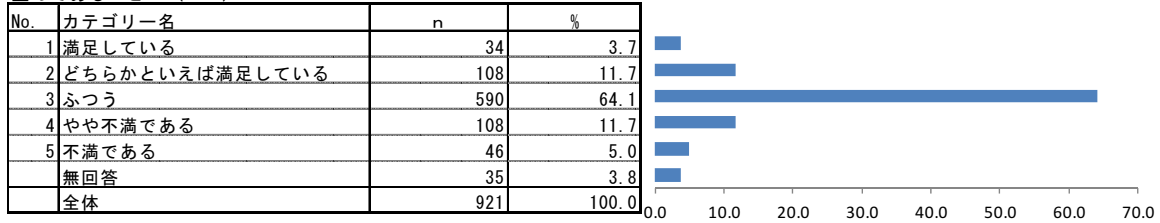
(47) 問3-27 【満足度】 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること... (S A)



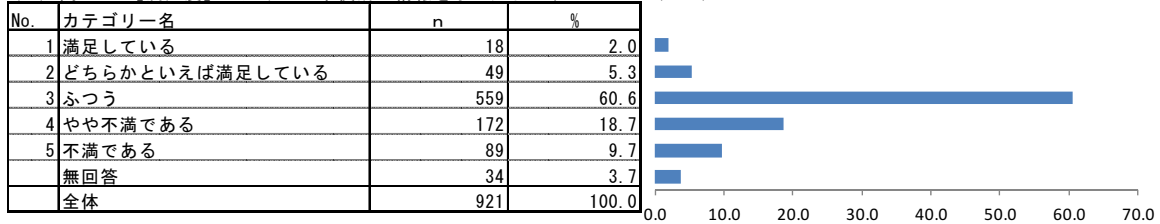
(48) 問3-28 【満足度】 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること... (S A)



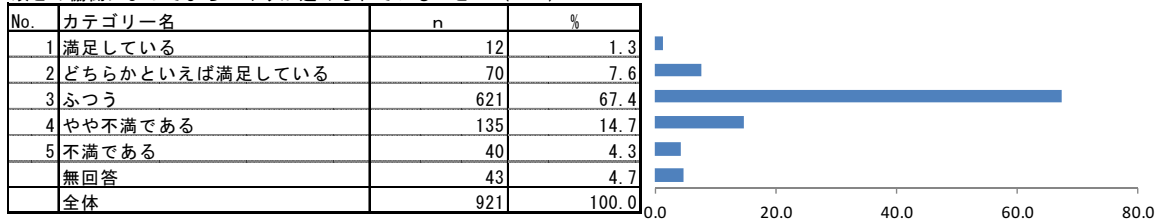
(49) 問3-29 【満足度】 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること... (S A)



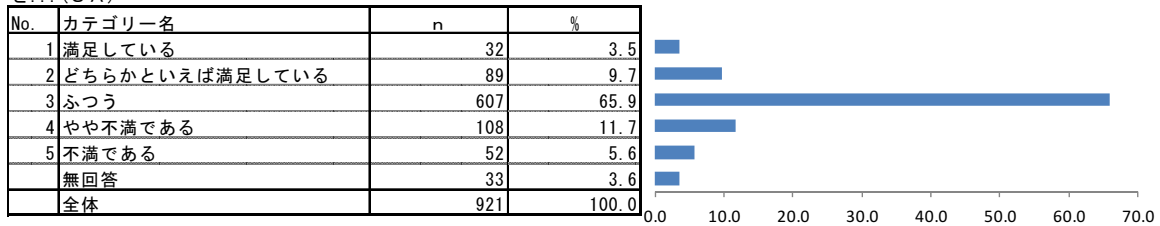
(50) 問3-30 【満足度】 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと... (S A)



(51) 問3-31 【満足度】 ボランティアや民間の非営利活動団体などの活動が活発で、行政との協働によってまちづくりが進められていること... (S A)

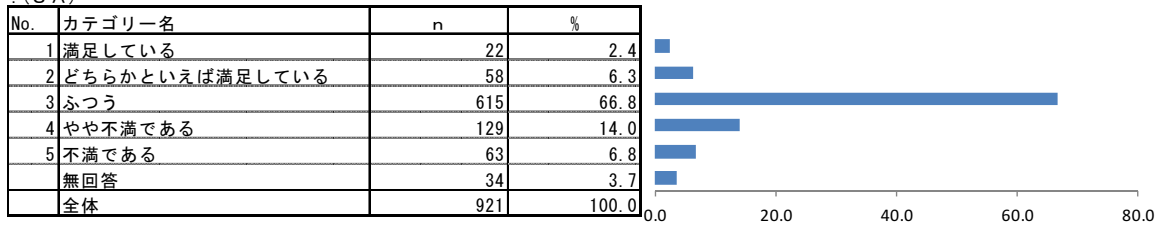


(52) 問3-32 【満足度】 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること... (S A)

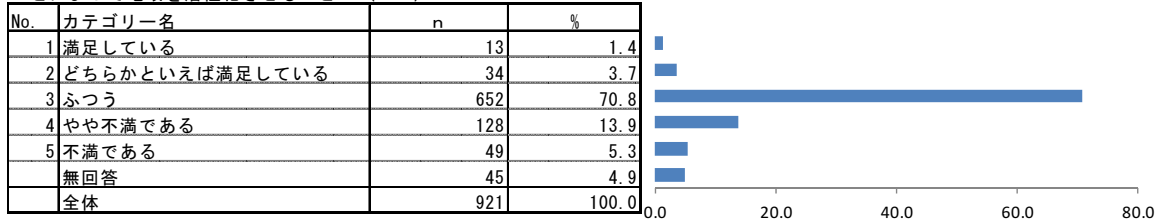




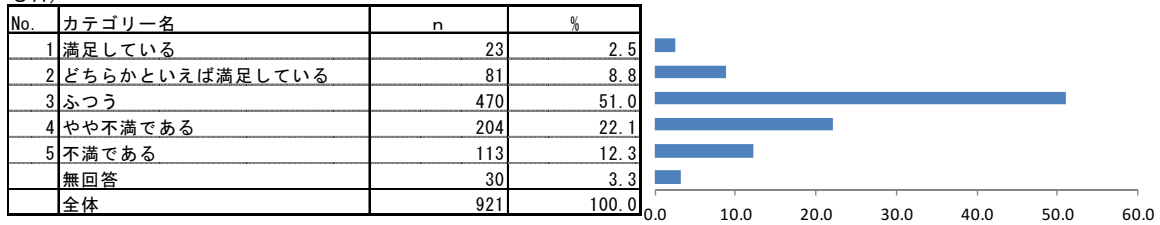
(53) 問3-33 【満足度】 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること... (S A)



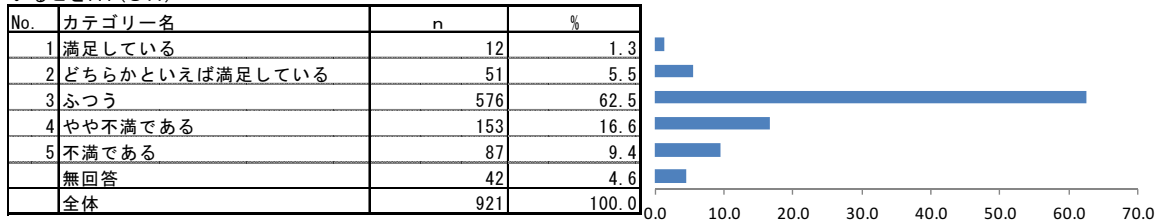
(54) 問3-34 【満足度】 都会の人に移住してもらったり、外国人との異文化交流をすることによって地域を活性化させること... (S A)



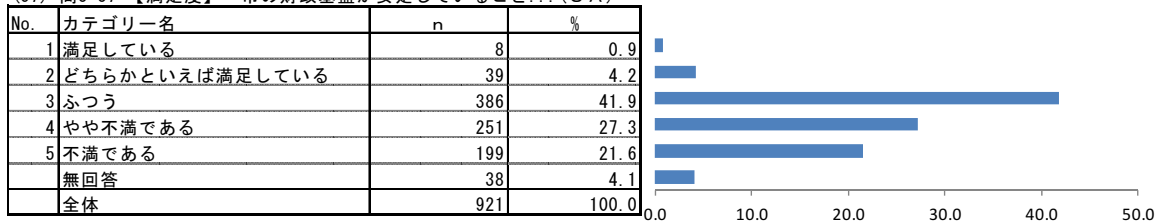
(55) 問3-35 【満足度】 市民が満足できるような窓口サービスが行われていること... (S A)



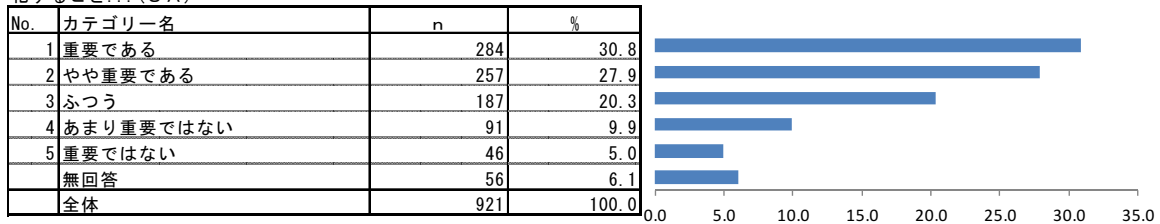
(56) 問3-36 【満足度】 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること... (S A)



(57) 問3-37 【満足度】 市の財政基盤が安定していること... (S A)

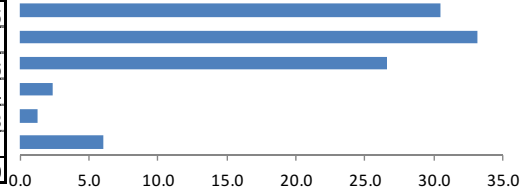


(58) 問3-1 【重要度】 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること... (S A)



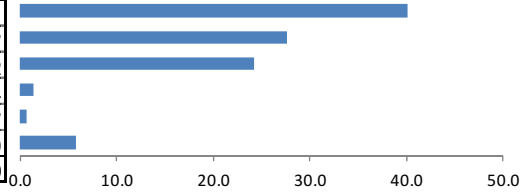
(59) 問3-2 【重要度】 歩道や公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	281	30.5
2	やや重要である	305	33.1
3	ふつう	245	26.6
4	あまり重要ではない	22	2.4
5	重要ではない	12	1.3
	無回答	56	6.1
	全体	921	100.0



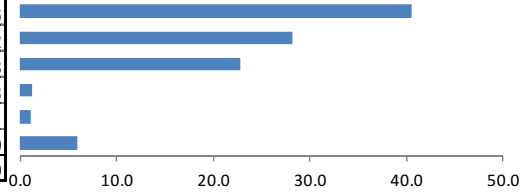
(60) 問3-3 【重要度】 公共施設（病院・福祉施設・歩道など）に手すりの設置や段差の解消が施されており、利用しやすいこと... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	370	40.1
2	やや重要である	255	27.7
3	ふつう	223	24.2
4	あまり重要ではない	13	1.4
5	重要ではない	6	0.7
	無回答	54	5.9
	全体	921	100.0



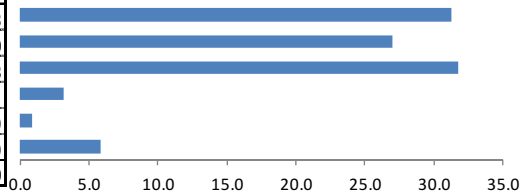
(61) 問3-4 【重要度】 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	374	40.6
2	やや重要である	260	28.2
3	ふつう	210	22.8
4	あまり重要ではない	12	1.3
5	重要ではない	10	1.1
	無回答	55	6.0
	全体	921	100.0



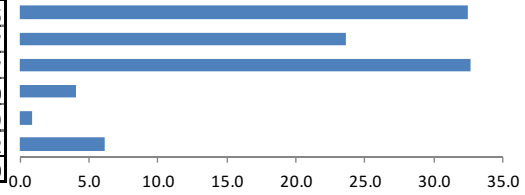
(62) 問3-5 【重要度】 バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	288	31.3
2	やや重要である	249	27.0
3	ふつう	293	31.8
4	あまり重要ではない	29	3.1
5	重要ではない	8	0.9
	無回答	54	5.9
	全体	921	100.0



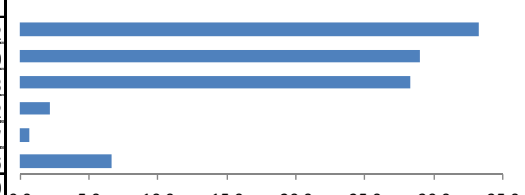
(63) 問3-6 【重要度】 省エネルギー対策や新エネルギーの導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	299	32.5
2	やや重要である	218	23.7
3	ふつう	302	32.7
4	あまり重要ではない	37	4.0
5	重要ではない	8	0.9
	無回答	57	6.2
	全体	921	100.0

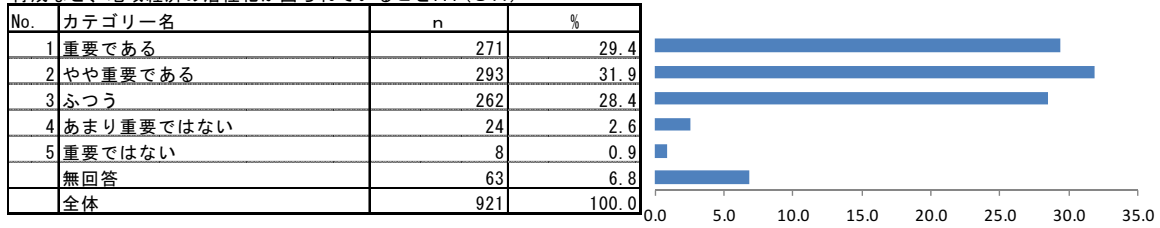


(64) 問3-7 【重要度】 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること... (S A)

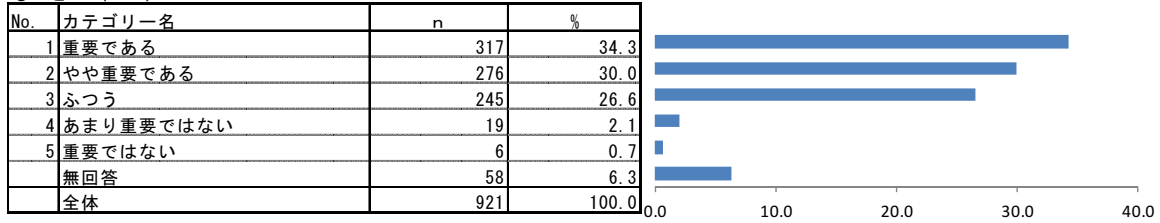
No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	306	33.2
2	やや重要である	267	29.0
3	ふつう	261	28.3
4	あまり重要ではない	20	2.2
5	重要ではない	6	0.7
	無回答	61	6.6
	全体	921	100.0



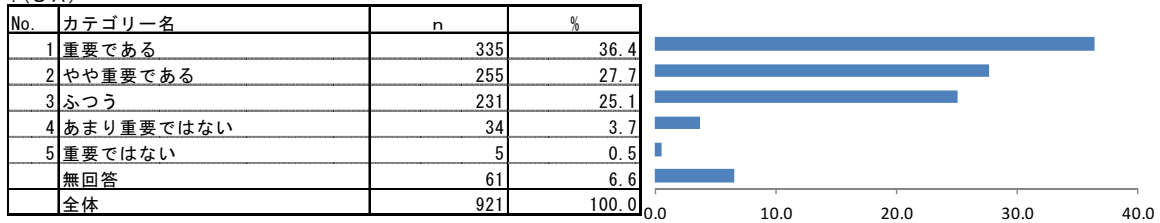
(65) 問3-8 【重要度】 農水産物のブランド化や地域観光資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること...(S A)



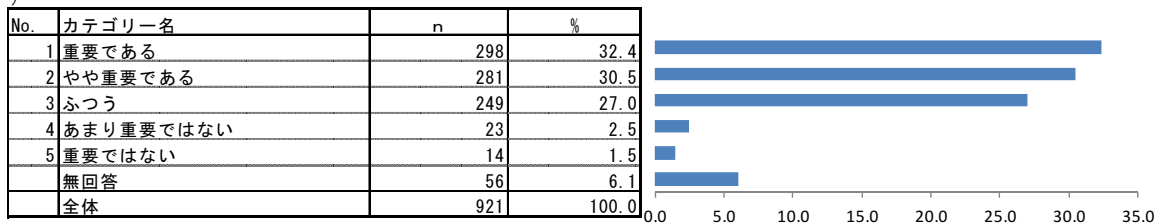
(66) 問3-9 【重要度】 買い物などの利便性に優れた、魅力ある商店街が形成されていること...(S A)



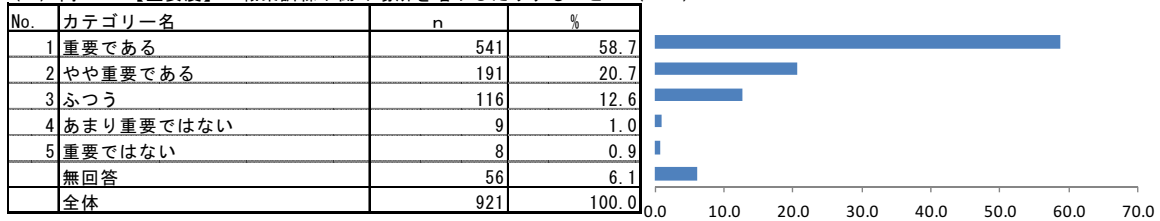
(67) 問3-10 【重要度】 新しい企業立地が進むなど、工業の振興が図られていること...(S A)



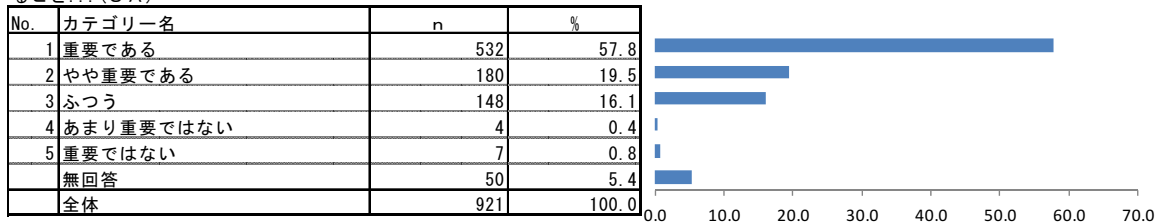
(68) 問3-11 【重要度】 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること...(S A)



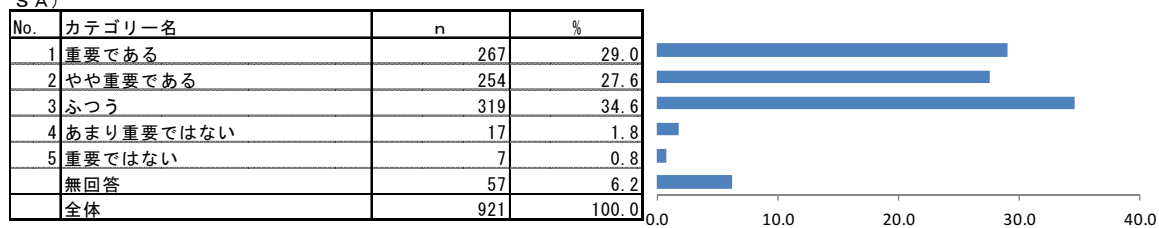
(69) 問3-12 【重要度】 職業訓練や働く場所を増やしたりすること...(S A)



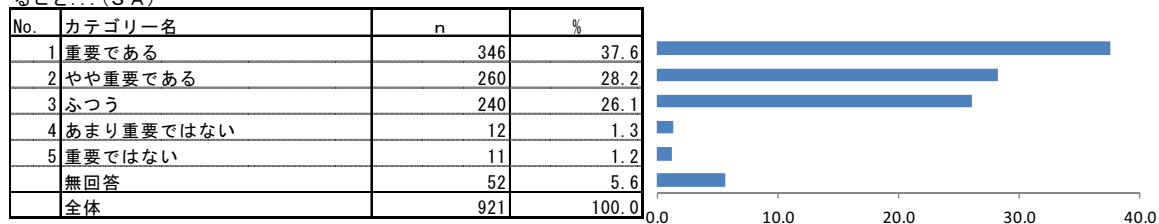
(70) 問3-13 【重要度】 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること...(S A)



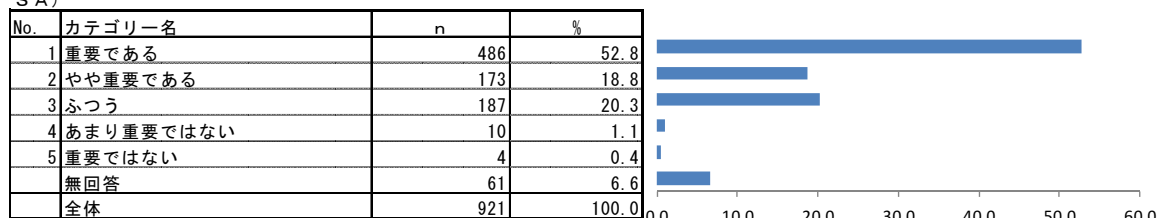
(71) 問3-14 【重要度】 健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること... (S A)



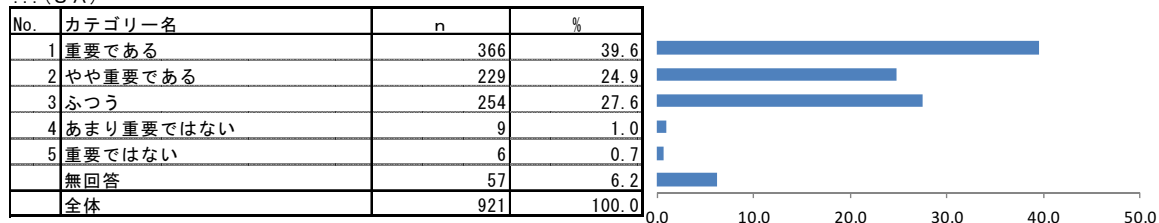
(72) 問3-15 【重要度】 高齢者が生きがいをもち、安心して生活できる環境が整っていること... (S A)



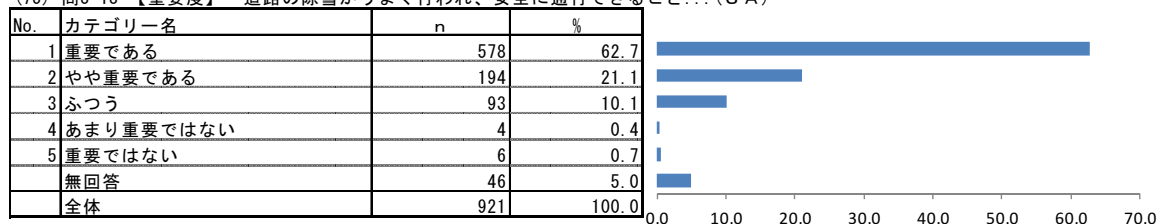
(73) 問3-16 【重要度】 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること... (S A)



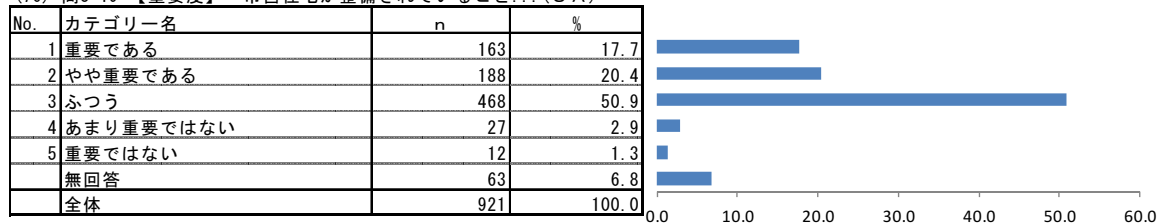
(74) 問3-17 【重要度】 障がいを持つ方への福祉サービスや相談体制が整っていること... (S A)



(75) 問3-18 【重要度】 道路の除雪がうまく行われ、安全に通行できること... (S A)

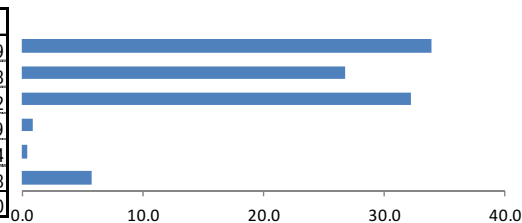


(76) 問3-19 【重要度】 市営住宅が整備されていること... (S A)



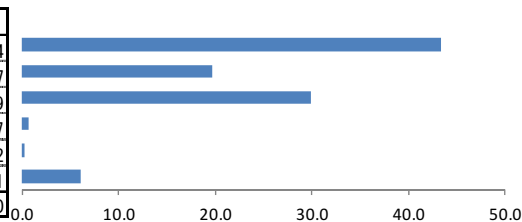
(77) 問3-20 【重要度】 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	312	33.9
2	やや重要である	247	26.8
3	ふつう	297	32.2
4	あまり重要ではない	8	0.9
5	重要ではない	4	0.4
	無回答	53	5.8
	全体	921	100.0



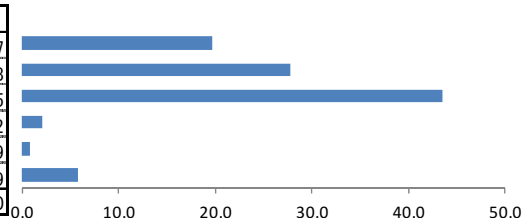
(78) 問3-21 【重要度】 災害が起きても対応できる体制が整備されていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	401	43.4
2	やや重要である	181	19.7
3	ふつう	275	29.9
4	あまり重要ではない	6	0.7
5	重要ではない	2	0.2
	無回答	56	6.1
	全体	921	100.0



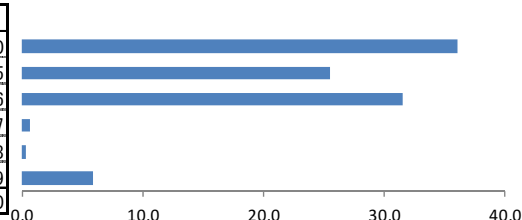
(79) 問3-22 【重要度】 豊かな自然が保たれ、自然に親しめる場所が身近にあること。また、環境保全に積極的に取り組まれていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	181	19.7
2	やや重要である	256	27.8
3	ふつう	402	43.5
4	あまり重要ではない	20	2.2
5	重要ではない	8	0.9
	無回答	54	5.9
	全体	921	100.0



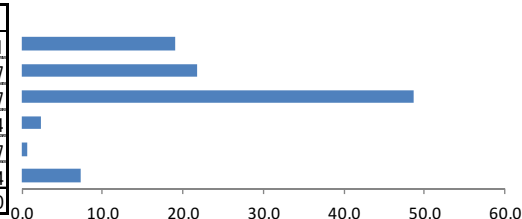
(80) 問3-23 【重要度】 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	332	36.0
2	やや重要である	235	25.5
3	ふつう	291	31.6
4	あまり重要ではない	6	0.7
5	重要ではない	3	0.3
	無回答	54	5.9
	全体	921	100.0



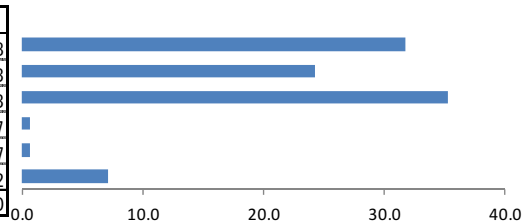
(81) 問3-24 【重要度】 消費生活に関する苦情や被害等の相談体制が整備されていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	176	19.1
2	やや重要である	200	21.7
3	ふつう	449	48.7
4	あまり重要ではない	22	2.4
5	重要ではない	6	0.7
	無回答	68	7.4
	全体	921	100.0



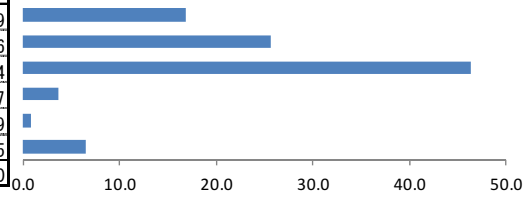
(82) 問3-25 【重要度】 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること...(S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	293	31.8
2	やや重要である	224	24.3
3	ふつう	326	35.3
4	あまり重要ではない	6	0.7
5	重要ではない	6	0.7
	無回答	66	7.2
	全体	921	100.0



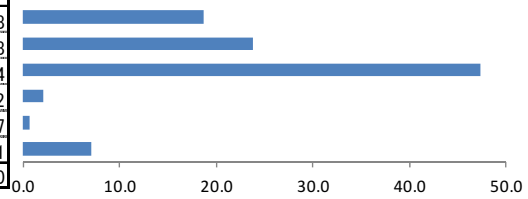
(83) 問3-26 【重要度】 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	156	16.9
2	やや重要である	236	25.6
3	ふつう	427	46.4
4	あまり重要ではない	34	3.7
5	重要ではない	8	0.9
	無回答	60	6.5
	全体	921	100.0



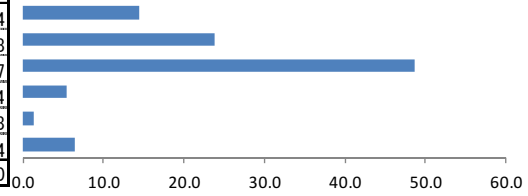
(84) 問3-27 【重要度】 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	173	18.8
2	やや重要である	219	23.8
3	ふつう	438	47.4
4	あまり重要ではない	20	2.2
5	重要ではない	6	0.7
	無回答	65	7.1
	全体	921	100.0



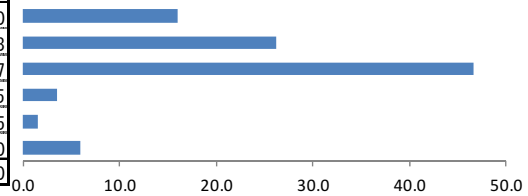
(85) 問3-28 【重要度】 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	133	14.4
2	やや重要である	219	23.8
3	ふつう	448	48.7
4	あまり重要ではない	50	5.4
5	重要ではない	12	1.3
	無回答	59	6.4
	全体	921	100.0



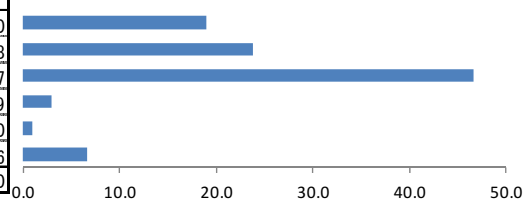
(86) 問3-29 【重要度】 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	147	16.0
2	やや重要である	242	26.3
3	ふつう	431	46.7
4	あまり重要ではない	32	3.5
5	重要ではない	14	1.5
	無回答	55	6.0
	全体	921	100.0



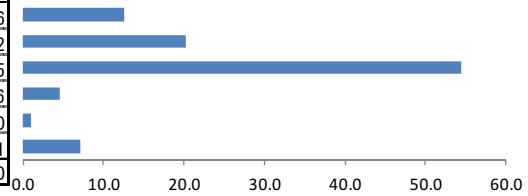
(87) 問3-30 【重要度】 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと... (S A)

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	175	19.0
2	やや重要である	219	23.8
3	ふつう	430	46.7
4	あまり重要ではない	27	2.9
5	重要ではない	9	1.0
	無回答	61	6.6
	全体	921	100.0

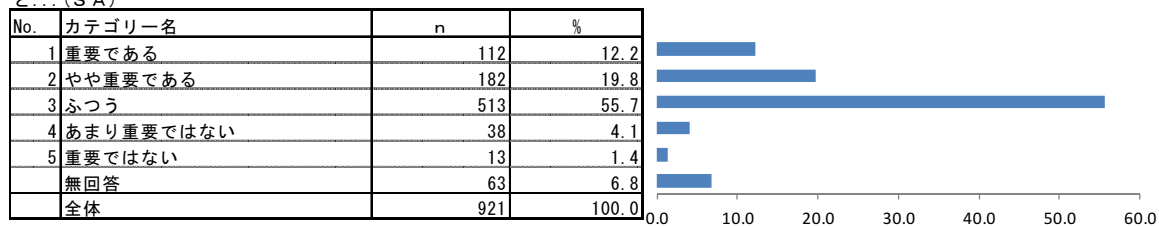


(88) 問3-31 【重要度】 ボランティアや民間の非営利活動団体などの活動が活発で、行政との協働によってまちづくりが進められていること... (S A)

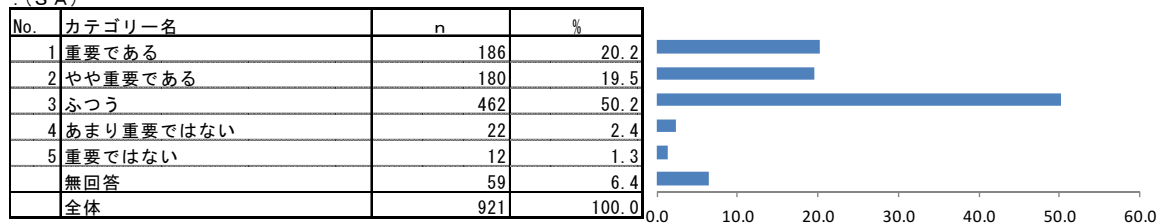
No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	116	12.6
2	やや重要である	186	20.2
3	ふつう	503	54.5
4	あまり重要ではない	42	4.6
5	重要ではない	9	1.0
	無回答	65	7.1
	全体	921	100.0



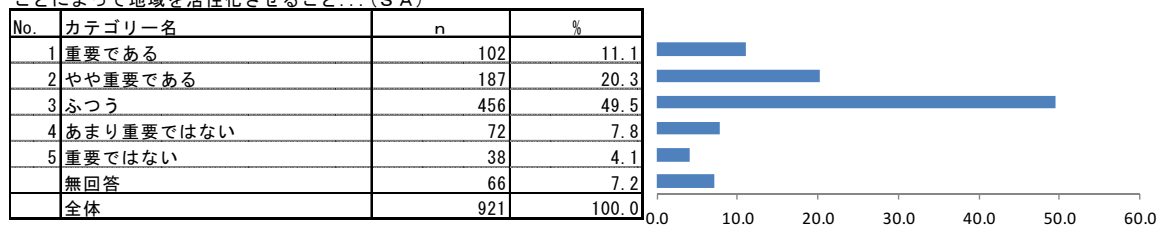
(89) 問3-32 【重要度】 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること... (S A)



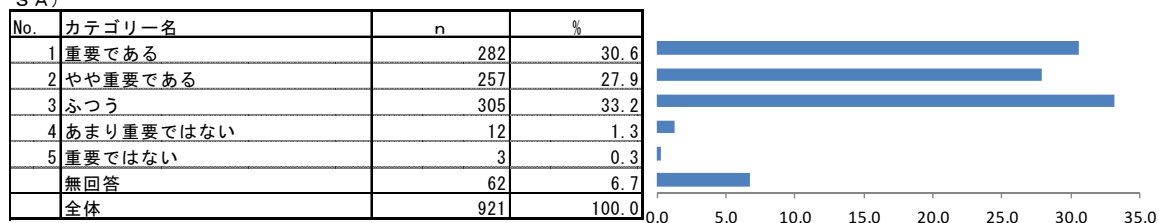
(90) 問3-33 【重要度】 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること... (S A)



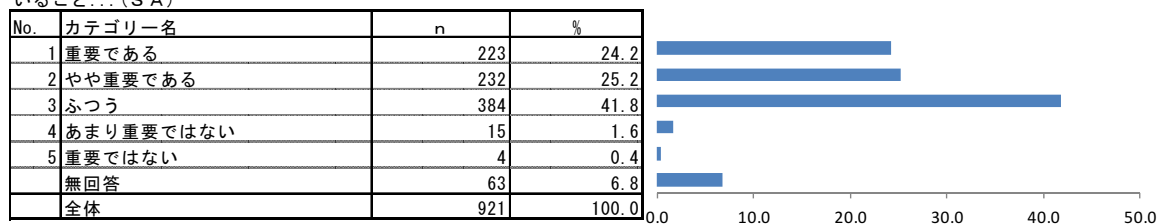
(91) 問3-34 【重要度】 都会の人に移住してもらったり、外国人との異文化交流をすることによって地域を活性化させること... (S A)



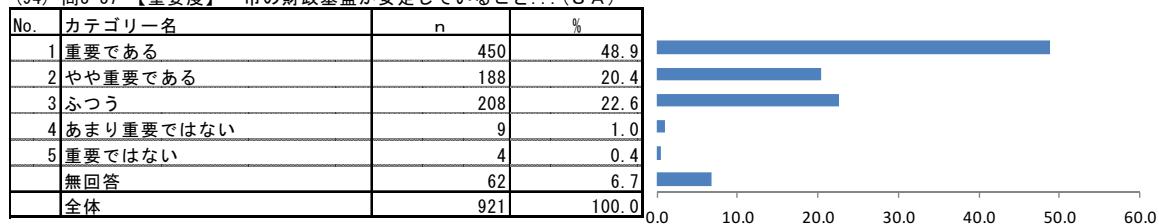
(92) 問3-35 【重要度】 市民が満足できるような窓口サービスが行われていること... (S A)



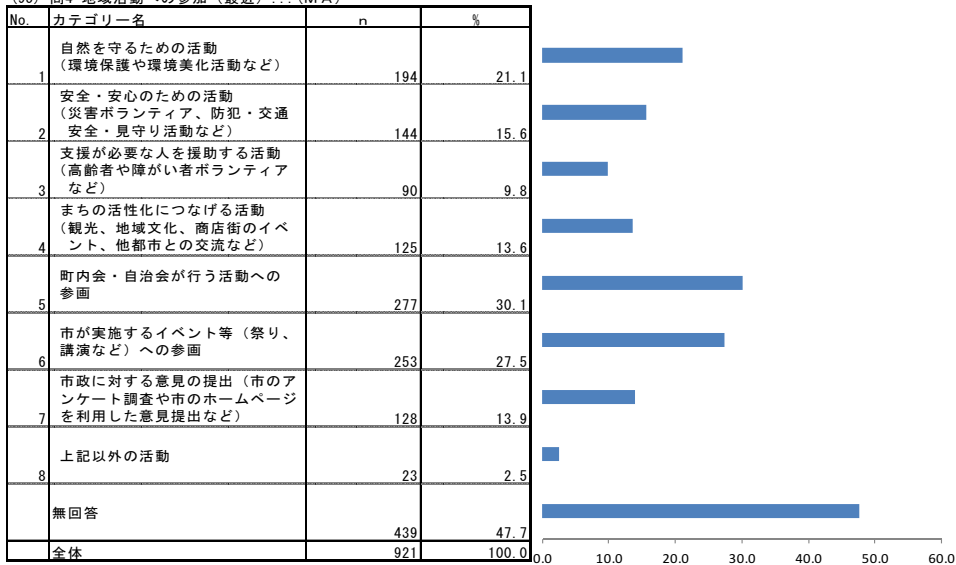
(93) 問3-36 【重要度】 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること... (S A)



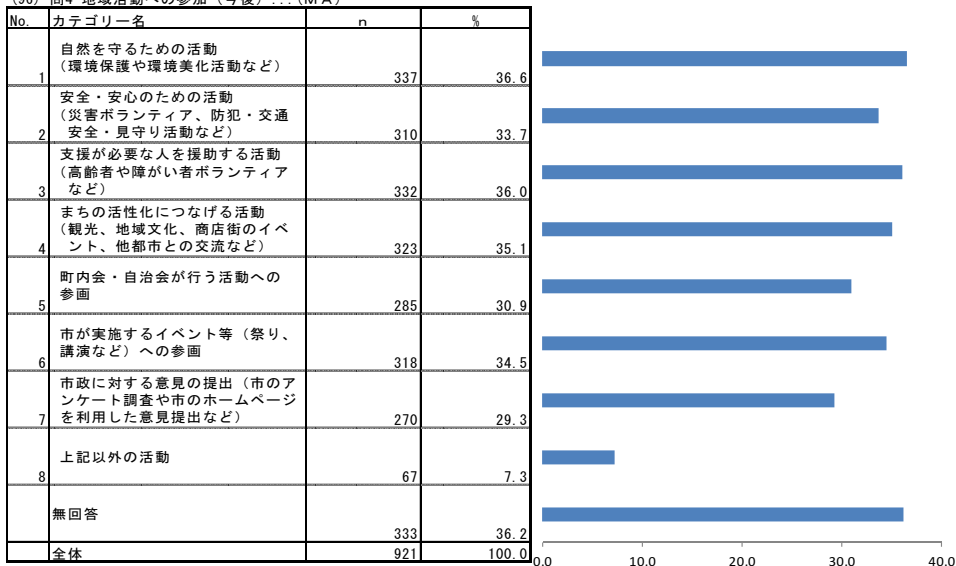
(94) 問3-37 【重要度】 市の財政基盤が安定していること... (S A)



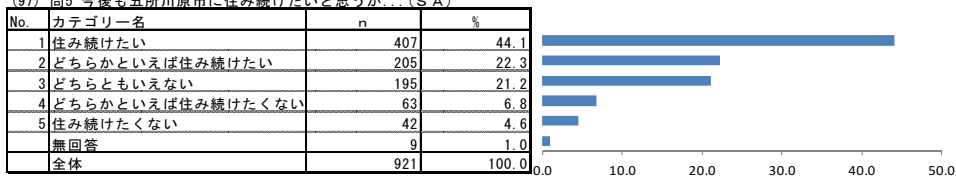
(95) 問4 地域活動への参加（最近）... (MA)



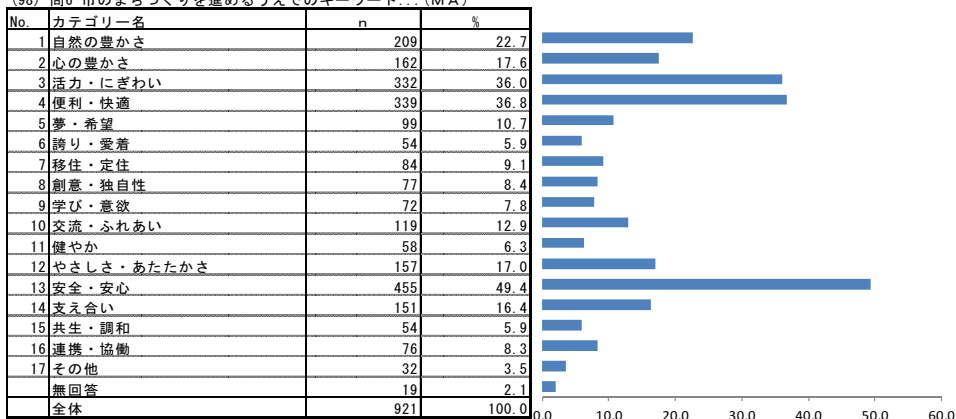
(96) 問4 地域活動への参加（今後）... (MA)



(97) 問5 今後も五所川原市に住み続けたいと思うか... (SA)



(98) 問6 市のまちづくりを進めるうえでのキーワード... (MA)





## V 参考資料②



## V. 中・高校生アンケート調査について

### 調査の概要

#### 1. 調査の目的

五所川原市在住の中学生及び高校生の普段の生活や市について感じていること、まちづくりに対する意見などを把握し、今後の市政運営及び総合計画の見直し・策定の参考資料とすることを目的とします。

#### 2. 調査の実施概要

調査地域	五所川原市全域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）
調査対象	市内に在住する中学生 203 人、高校生 175 人 計 378 人 ※市内の全中学校及び高校の2年生の生徒を対象にアンケートを実施
調査方法	学校の協力による直接配布、直接回収（無記名・自記式）
調査時期	平成 25 年 8 月 30 日（月）～9 月 10 日（金）

#### 3. 調査票の配布・回収結果

今回のアンケート調査票の配布数（対象者数）は、378 通です。回収数は 371 通で、有効回収率は、98.1%となっています。

各学校への調査票配布、回収状況については、表-1 のとおりです。

#### 4. 集計結果の見方

- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が 100 未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。

【表-1 アンケート調査票配布・回収状況】

	配布数	回収数	回収率
五所川原第一中学校	37人	37人	100.0%
五所川原第二中学校	31人	31人	100.0%
五所川原第三中学校	37人	36人	97.3%
五所川原第四中学校	48人	47人	97.9%
金木中学校	25人	25人	100.0%
市浦中学校	25人	21人	84.0%
<b>中学校合計</b>	<b>203人</b>	<b>197人</b>	<b>97.0%</b>
五所川原高校	50人	49人	98.0%
金木高校	25人	25人	100.0%
五所川原農林高校	25人	25人	100.0%
五所川原工業高校	25人	25人	100.0%
五所川原第一高校	25人	25人	100.0%
五所川原商業高校	25人	25人	100.0%
<b>高校生合計</b>	<b>175人</b>	<b>174人</b>	<b>99.4%</b>

# 調査結果

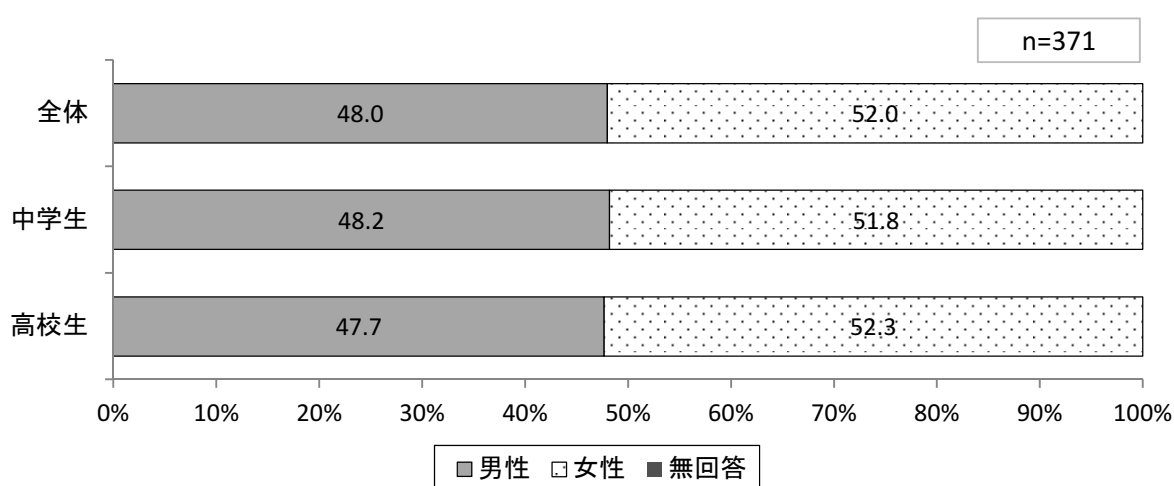
## 1. 回答者

問1 はじめに、あなたについて、あてはまる番号に○をつけてください。

### (1) 性別

アンケート回答者 371 人のうち、男性が 178 人（48.0%）、女性が 193 人（52.0%）となっています。

【図-1 アンケート回答者の性別の構成】



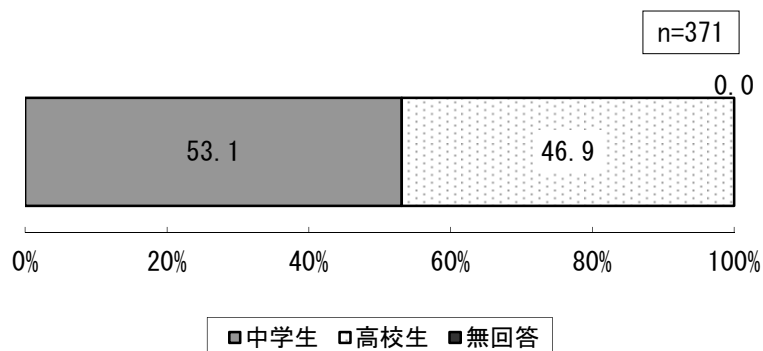
【表-2 性別の構成（中学・高校別、居住地域別）】

		合計	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		371 (100.0)	178 (48.0)	193 (52.0)	0 (0.0)
中学・高校別	中学生	197 (100.0)	95 (48.2)	102 (51.8)	0 (0.0)
	高校生	174 (100.0)	83 (47.7)	91 (52.3)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	273 (100.0)	131 (48.0)	142 (52.0)	0 (0.0)
	金木地域	70 (100.0)	35 (50.0)	35 (50.0)	0 (0.0)
	市浦地域	28 (100.0)	12 (42.9)	16 (57.1)	0 (0.0)

(2) 中学・高校別

アンケート回答者 371 人のうち、中学生が 197 人 (53.1%)、高校生が 174 人 (46.9%) となっています。

【図-2 アンケート回答者の中学・高校別の構成】



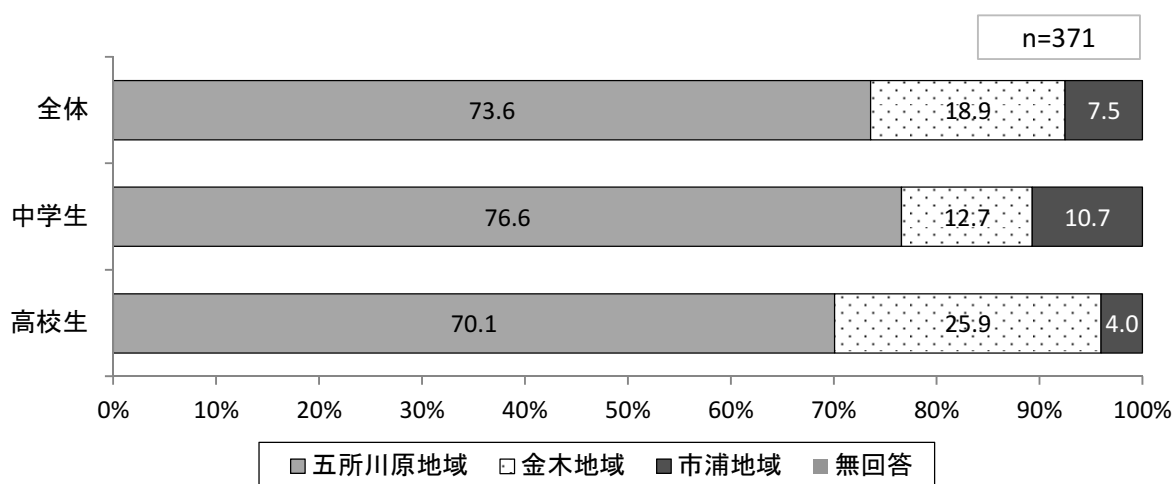
【表-3 中学・高校別の構成（性別、居住地域別）】

		合計	中学生 (%)	高校生 (%)	無回答 (%)
全体		371 (100.0)	197 (53.1)	174 (46.9)	0 (0.0)
性別	男性	178 (100.0)	95 (53.4)	83 (46.6)	0 (0.0)
	女性	193 (100.0)	102 (52.8)	91 (47.2)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	273 (100.0)	151 (55.3)	122 (44.7)	0 (0.0)
	金木地域	70 (100.0)	25 (35.7)	45 (64.3)	0 (0.0)
	市浦地域	28 (100.0)	21 (75.0)	7 (25.0)	0 (0.0)

### (3) 居住地

アンケート回答者 371 人のうち、五所川原地域に居住している方が 273 人 (73.6%)、金木地域に居住している方が 70 人 (18.9%)、市浦地域に居住している方が 28 人 (7.5%) となっています。

【図-3 アンケート回答者の居住地の構成】



【表-4 居住地の構成（中学・高校別、性別）】

		合計	五所川原地域 (%)	金木地域 (%)	市浦地域 (%)	無回答 (%)
全体		371 (100.0)	273 (73.6)	70 (18.9)	28 (7.5)	0 (0.0)
中学・高校別	中学生	197 (100.0)	151 (76.6)	25 (12.7)	21 (10.7)	0 (0.0)
	高校生	174 (100.0)	122 (70.1)	45 (25.9)	7 (4.0)	0 (0.0)
性別	男性	178 (100.0)	131 (73.6)	35 (19.7)	12 (6.7)	0 (0.0)
	女性	193 (100.0)	142 (73.6)	35 (18.1)	16 (8.3)	0 (0.0)

## 2. 取り組んでいること

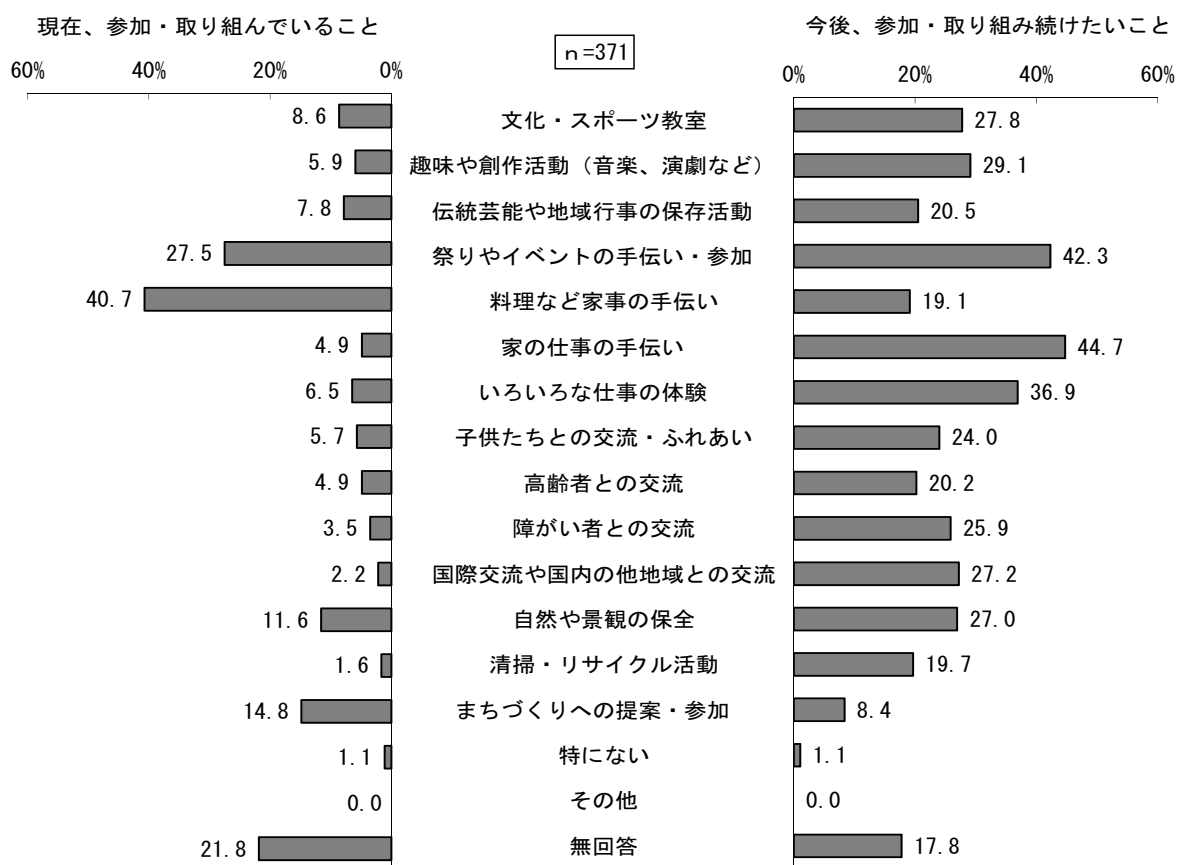
問2 あなたは現在、どのようなことに参加したり、取り組んでいますか。また、今後、どのようなことに参加したり、取り組みたい（続けたい）ですか。

（①、②それぞれの欄にあてはまるものすべてに○をつけてください。）

中・高校生が家庭や地域生活において、どのような活動に参加したり取り組んだりしているか把握するため、上記のようなアンケートを行ったところ、「①現在、参加したり取り組んでいること」で最も多かった項目は「料理など家事の手伝い」（40.7%）となっており、次いで「祭りやイベントの手伝い・参加」（27.5%）、「まちづくりへの提案・参加」（14.8%）と続いています。

また、「②今後、参加したり取り組みたい（続けたい）こと」で最も多かった項目は「家の仕事の手伝い」（44.7%）で、次いで「祭りやイベントの手伝い・参加」（42.3%）、「いろいろな仕事の体験」（36.9%）と続いています。

【図-4 「現在、参加したり取り組んでいること」及び「今後、参加したり取り組みたい（続けたい）こと」】





「①現在、参加したり取り組んでいること」に関する属性別（中学・高校別、性別、居住地域別）の各上位5項目は以下のとおりとなっています。

【表-5 属性別：現在、参加したり取り組んでいること（上位5項目）】

■中学生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	料理など家事の手伝い	37.9%	1	料理など家事の手伝い	52.0%
2	まちづくりへの提案・参加	26.3%	2	祭りやイベントの手伝い・参加	25.5%
3	祭りやイベントの手伝い・参加	17.9%	3	自然や景観の保全	20.6%
4	文化・スポーツ教室	16.8%	4	伝統芸能や地域行事の保存活動	10.8%
5	自然や景観の保全	6.3%	5	文化・スポーツ教室	7.8%

五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	料理など家事の手伝い	47.0%	1	料理など家事の手伝い	32.0%
2	まちづくりへの提案・参加	18.5%	2	まちづくりへの提案・参加	16.0%
3	祭りやイベントの手伝い・参加	12.6%	3	祭りやイベントの手伝い・参加	12.0%
4	文化・スポーツ教室	11.3%	4	自然や景観の保全	12.0%
5	自然や景観の保全	8.6%	5	いろいろな仕事の体験	12.0%
市浦地域（上位5項目）					
1	祭りやイベントの手伝い・参加	100.0%			
2	自然や景観の保全	52.4%			
3	料理など家事の手伝い	47.6%			
4	伝統芸能や地域行事の保存活動	28.6%			
5	文化・スポーツ教室	23.8%			

■高校生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	料理など家事の手伝い	37.3%	1	料理など家事の手伝い	34.1%
2	祭りやイベントの手伝い・参加	33.7%	2	祭りやイベントの手伝い・参加	34.1%
3	家の仕事の手伝い	12.0%	3	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	14.3%
4	まちづくりへの提案・参加	12.0%	4	まちづくりへの提案・参加	14.3%
5	自然や景観の保全	9.6%	5	伝統芸能や地域行事の保存活動	9.9%

五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	料理など家事の手伝い	34.4%	1	料理など家事の手伝い	40.0%
2	祭りやイベントの手伝い・参加	34.4%	2	祭りやイベントの手伝い・参加	31.1%
3	まちづくりへの提案・参加	13.9%	3	まちづくりへの提案・参加	11.1%
4	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	9.8%	4	伝統芸能や地域行事の保存活動	8.9%
5	自然や景観の保全	9.0%	5	家の仕事の手伝い	8.9%
市浦地域（上位5項目）					
1	祭りやイベントの手伝い・参加	42.9%			
2	料理など家事の手伝い	28.6%			
3	自然や景観の保全	28.6%			
4	まちづくりへの提案・参加	14.3%			
5	家の仕事の手伝い	14.3%			

「②今後、参加したり取り組みたい（継続したい）こと」に関する属性別（中学・高校別、性別、居住地域別）の各上位5項目は以下のとおりとなっています。

【表-6 属性別：今後、参加したり取り組みたい（継続したい）こと（上位5項目）】

■中学生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	家の仕事の手伝い	31.6%	1	祭りやイベントの手伝い・参加	55.9%
2	祭りやイベントの手伝い・参加	30.5%	2	家の仕事の手伝い	54.9%
3	文化・スポーツ教室	28.4%	3	いろいろな仕事の体験	51.0%
4	料理など家事の手伝い	24.2%	4	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	35.3%
5	国際交流や国内の他地域との交流	23.2%	5	子供たちとの交流・ふれあい	32.4%

五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	祭りやイベントの手伝い・参加	41.7%	1	祭りやイベントの手伝い・参加	76.0%
2	家の仕事の手伝い	40.4%	2	家の仕事の手伝い	60.0%
3	いろいろな仕事の体験	34.4%	3	国際交流や国内の他地域との交流	44.0%
4	文化・スポーツ教室	25.8%	4	自然や景観の保全	36.0%
5	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	25.2%	5	伝統芸能や地域行事の保存活動	36.0%
市浦地域（上位5項目）					
1	家の仕事の手伝い	47.6%			
2	いろいろな仕事の体験	42.9%			
3	国際交流や国内の他地域との交流	38.1%			
4	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	38.1%			
5	高齢者との交流	38.1%			

■高校生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	家の仕事の手伝い	41.0%	1	いろいろな仕事の体験	51.6%
2	祭りやイベントの手伝い・参加	39.8%	2	家の仕事の手伝い	50.5%
3	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	31.3%	3	祭りやイベントの手伝い・参加	41.8%
4	自然や景観の保全	28.9%	4	自然や景観の保全	36.3%
5	文化・スポーツ教室	28.9%	5	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	31.9%

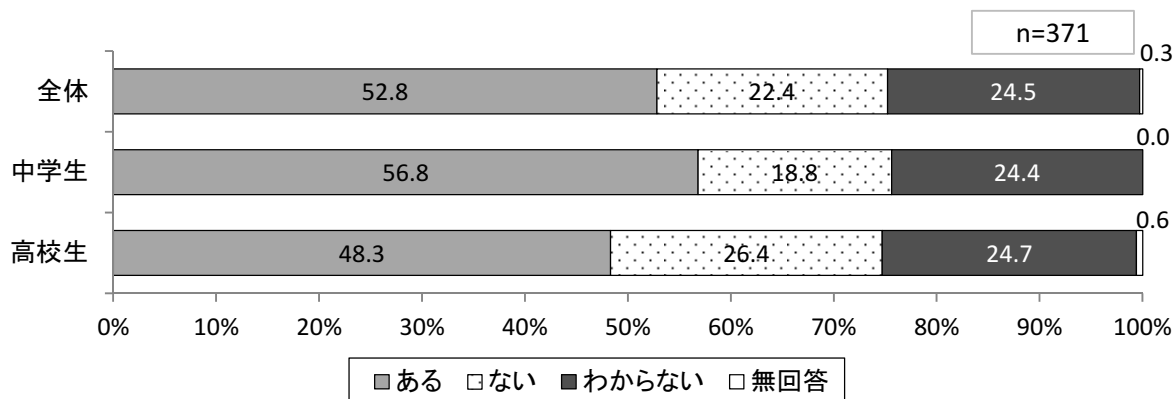
五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	家の仕事の手伝い	45.1%	1	家の仕事の手伝い	51.1%
2	祭りやイベントの手伝い・参加	41.0%	2	文化・スポーツ教室	48.9%
3	いろいろな仕事の体験	37.7%	3	いろいろな仕事の体験	46.7%
4	自然や景観の保全	30.3%	4	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	42.2%
5	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	27.9%	5	祭りやイベントの手伝い・参加	40.0%
市浦地域（上位5項目）					
1	国際交流や国内の他地域との交流	57.1%			
2	祭りやイベントの手伝い・参加	42.9%			
2	自然や景観の保全	42.9%			
4	文化・スポーツ教室	28.6%			
5	趣味や創作活動（音楽、演劇など）	28.6%			

### 3. まちの自慢

問3 あなたは、五所川原市について自慢したいことはありますか。（〇は1つ）

中・高校生が、五所川原市について自慢することがあるかどうか把握するため、上記のようなアンケートを行ったところ、「ある」（52.8%）の割合が最も高く、次いで「わからない」（24.5%）、「ない」（22.4%）と続いています。

【図-5 まちの自慢の有無】



【表-7 まちの自慢の有無（中学・高校別、性別、居住地域別）】

■中学生

		合計	ある (%)	ない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		197 (100.0)	112 (56.8)	37 (18.8)	48 (24.4)	0 (0.0)
性別	男性	95 (100.0)	46 (48.4)	24 (25.3)	25 (26.3)	0 (0.0)
	女性	102 (100.0)	66 (64.8)	13 (12.7)	23 (22.5)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	151 (100.0)	78 (51.6)	30 (19.9)	43 (28.5)	0 (0.0)
	金木地域	25 (100.0)	23 (92.0)	2 (8.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	市浦地域	21 (100.0)	11 (52.4)	5 (23.8)	5 (23.8)	0 (0.0)

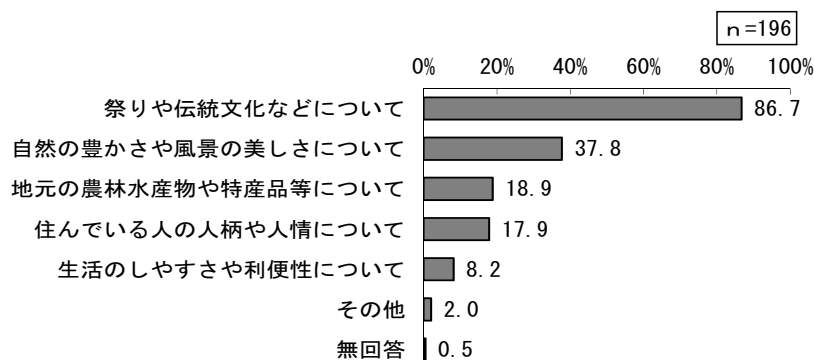
■高校生

		合計	ある (%)	ない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		174 (100.0)	84 (48.3)	46 (26.4)	43 (24.7)	1 (0.6)
性別	男性	83 (100.0)	36 (43.4)	28 (33.7)	18 (21.7)	1 (1.2)
	女性	91 (100.0)	48 (52.7)	18 (19.8)	25 (27.5)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	122 (100.0)	63 (51.7)	32 (26.2)	26 (21.3)	1 (0.8)
	金木地域	45 (100.0)	17 (37.8)	13 (28.9)	15 (33.3)	0 (0.0)
	市浦地域	7 (100.0)	4 (57.1)	1 (14.3)	2 (28.6)	0 (0.0)

問3付問 問3で「1. ある」と回答した方にうかがいます。それは、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

自慢することが「ある」と回答した人に、どのようなことかうかがったところ、「祭りや伝統文化などについて」（86.7%）の割合が最も高く、次いで「自然の豊かさや風景の美しさについて」（37.8%）、「地元の農林水産物や特産品等について」（18.9%）と続いています。

【図-6 まちの自慢の内容】



【表-8 まちの自慢の内容（中学・高校別、性別、居住地域別）】

■中学生

		合計	自然の豊かさや風景の美しさについて (%)	住んでいる人の人柄や人情について (%)	祭りや伝統文化などについて (%)	地元の農林水産物や特産品等について (%)	生活のしやすさや利便性について (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		112 (100.0)	50 (44.6)	23 (20.5)	94 (83.9)	22 (19.6)	7 (6.3)	2 (1.8)	1 (0.9)
性別	男性	46 (100.0)	20 (43.5)	12 (26.1)	36 (78.3)	8 (17.4)	4 (8.7)	2 (4.3)	0 (0.0)
	女性	66 (100.0)	30 (45.5)	11 (16.7)	58 (87.9)	14 (21.2)	3 (4.5)	0 (0.0)	1 (1.5)
居住地域	五所川原地域	78 (100.0)	32 (41.0)	14 (17.9)	62 (79.5)	17 (21.8)	7 (9.0)	1 (1.3)	1 (1.3)
	金木地域	23 (100.0)	8 (34.8)	5 (21.7)	22 (95.7)	2 (8.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	市浦地域	11 (100.0)	10 (90.9)	4 (36.4)	10 (90.9)	3 (27.3)	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)

■高校生

		合計	自然の豊かさや風景の美しさについて (%)	住んでいる人の人柄や人情について (%)	祭りや伝統文化などについて (%)	地元の農林水産物や特産品等について (%)	生活のしやすさや利便性について (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		84 (100.0)	24 (28.6)	12 (14.3)	76 (90.5)	15 (17.9)	9 (10.7)	2 (2.4)	0 (0.0)
性別	男性	36 (100.0)	11 (30.6)	3 (8.3)	32 (88.9)	7 (19.4)	5 (13.9)	1 (2.8)	0 (0.0)
	女性	48 (100.0)	13 (27.1)	9 (18.8)	44 (91.7)	8 (16.7)	4 (8.3)	1 (2.1)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	63 (100.0)	17 (27.0)	10 (15.9)	57 (90.5)	10 (15.9)	8 (12.7)	2 (3.2)	0 (0.0)
	金木地域	17 (100.0)	5 (29.4)	1 (5.9)	16 (94.1)	3 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	市浦地域	4 (100.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

【表-9 「その他」の具体的な内容】

災害が少ない。
エルム
たちねふた

自慢したいことの具体的な内容についてうかがったところ、中学生 80 人 (71.4%)、高校生 62 人 (73.8%)、合計 145 人 (74.0%) の方から回答をいただきました。記述内容は以下のとおりです。

【表-10 具体的なまちの自慢（自由記述）】

■中学生

具体的なまちの自慢（中学生）	
1	たちねふたがすごい。
2	昔から続くたちねふた。
3	楽しい。
4	りんごがうまいから。
5	岩木山の風景や緑が多いこと。
6	森への植林をしていること、漁業が盛んなこと、住んでいる人のやさしさやつがるぬりの伝統文化。
7	たちねふたが高い所。
8	やさしい人がたくさんいる。
9	たちねふた。ELM など便利。
10	ねふたの迫力。高さ 23m のたちねふた。
11	ねふた！ELM！
12	近くにスーパー、コンビニがあるから。坂が少ない。
13	ねふたを他県の人に知らせたい。
14	日本全国に知られているねふた祭りが素晴らしい。大きくて迫力がある。
15	自然の豊かできれいなところ。
16	花火大会、ねふた祭り等の伝統文化について。
17	地域の人たちが明るくやさしいところ。
18	岩木山がとてもきれいで、山脈に属していないから。
19	みんなの挨拶が良い事とやさしい事です。
20	赤一いりんごなどを自慢したい。
21	自然の豊かさ。
22	五所川原たちねふたや津軽三味線などが自慢できる。
23	たちねふた
24	たちねふた。りんごがうまい。人が優しい。
25	たちねふた。花火大会。
26	金木町の桜やストーブ列車、五所川原のねふた。市浦のしじみ貝。

具体的なまちの自慢（中学生）	
27	たちねふた等の観光場所の多さ。
28	たちねふたがある。
29	祭りで夏はとても盛り上がる。
30	たちねふた
31	藤の滝
32	たちねふたが有名。斜陽館がある。
33	相内虫送り
34	たちねふた
35	立佞武多
36	たちねふたの高さと楽しさ。
37	たちねふたとりんご。
38	近所の方は学校帰りに「こんにちは（こんばんは）」とあいさつをすると、「おかえり（夜の場合は、部活？大変だね。）」と言ってくれること。
39	五所川原市民は、すごくきれい好きだと思います。理由は、道路などに落ちているゴミなどがあれば、きちんと捨ててるし、あまり捨てる人もいないから。あと、ゴミ拾いなどの活動もやっているから。
40	りんご、たちねふたが有名。
41	五所川原立佞武多
42	自然のことについて（白神山地など）。
43	立ちねふたを東京のいところが絶賛していたから。
44	ねふた
45	ねふたです。
46	夏の夜に見る立ちねふたは、きれいで迫力があって好き。
47	立ちねふた・三味線
48	ねふたの迫力
49	りんごがおいしいこと。たちねふたの迫力。岩木山の美しさ。
50	たちねふたは、いろんなところから観光客が来ていてにぎやかだということ。
51	たちねふたがとても迫力がある。
52	地域のまつりで出ているアイス屋さんがアイス1個10円！しかも花火付き！
53	立ちねふたなどで人が集まるから。
54	岩木山をいつでも見ることができて、四季をととても楽しむことができるから。今住んでいる地域は、心があたたかく、親しみやすく、優しいから。緑が多く、気持ちが良い。
55	ねふた祭
56	たちねふたは伝統があるし、毎年夏はとても盛り上がるからすごい。
57	たちねふた。りんごとかで多く育てているものがある。
58	建物ばかりではなく、森林がたくさんとてもきれいです。
59	立佞武多などがあり、夏にはたくさんの祭りで盛り上がる。地域があまり汚れていない。自然豊かである。
60	自然が豊かで、祭りや伝統文化が多い。
61	とても空気がよくて、りんごなどがおいしいこと。

具体的なまちの自慢（中学生）	
62	私たちの地域には、緑がたくさんあること。地域の人たちの優しさを自慢したい。
63	五所川原はねぶたが有名で、田畑などの自然がとても美しいと思います。
64	みんな優しい。
65	「たちねぶた」は青森、弘前におとっていない！
66	五所川原のたちねぶたを自慢できると思います。
67	たちねぶた
68	五所川原のたちねぶた。金木町の三味線、嘉瀬の奴踊り、金木の桜まつりなど。
69	たちねぶた。しじみ貝。空気きれい。
70	「五所川原市の人、笑顔いい！！」「とっても優しくて親切！！」「ねぶたが有名！！」「伝統文化が守れている！！」
71	ねぶたがある。
72	たちねぶた
73	五所川原のたちねぶたが伝統的に行われている。嘉瀬の奴踊りは小学校の運動会や中学校の文化祭などで伝統的に続けている。
74	ねぶたがあるよ。
75	たちねぶた。三味線。太宰治。自然豊か。
76	たちねぶた。太宰治。奴おどり。三味線。しじみ貝。
77	五所川原のたちねぶた。金木の桜まつり。金木町の三味線。嘉瀬の奴踊り。
78	たちねぶた。三味線。桜まつり。太宰治。奴踊り。しじみ貝。
79	虫送り。しじみ。
80	自然が豊かで伝統的な祭りがいっぱいあること。

## ■高校生

具体的なまちの自慢（高校生）	
1	たちねぶた
2	立佞武多祭り
3	ねぶた
4	五所川原市の伝統的な祭り。豊かな自然。
5	立佞武多
6	りんご。立佞武多。
7	ねぶたまつりの迫力がすごいこと。
8	立佞武多
9	たちねぶた
10	立佞武多などの祭り
11	店の数も多く、どんどん店が新しくなって、客も弘前とか青森からも来てるから五所川原の自慢できるものだと思う。
12	ねぶた。虫送り。赤いりんご五所川原。太宰治と斜陽館。津軽鉄道。もちろん、五所川原農林

	具体的なまちの自慢（高校生）
	高校（学校の取り組みを市が利用しないのはもったない。）。
13	たちねぶた等の伝統文化。地域の人々の優しさ。
14	ねぶた。店が密集しているところがあり、そこに行くところ。
15	たちねぶたがある！！
16	立佞武多
17	ねぶた。店の充実。
18	金山焼き。十三湖。津軽三味線。芦野公園。津軽鉄道。
19	たちねぶた
20	たちねぶたへの取り組みがとてもよい。
21	太宰治の出身地。たちねぶた。
22	ねぶた。太宰治。
23	たちねぶたなどの祭り。
24	ねぶた。
25	太宰治の出身地が金木町であること。
26	立佞武多の祭りイベント。
27	毎年8月4～8日に行われる五所川原立佞武多祭りのにぎやかさ。
28	立佞武多はねぶた（青森・弘前）より迫力がある！
29	立佞武多。津鉄。りんごなどの農産品。
30	立佞武多の製作過程における様々な人との交流や祭りの楽しさ。
31	たちねぶた。ELM。
32	立佞武多は自慢できると思う。
33	五所川原立佞武多はとても有名なお祭りでたくさんの人々が訪れる。
34	困っている人がいたら助け合えるし、挨拶がいいと思う。
35	たちねぶた
36	近所の間で助け合いしている。
37	虫送り。立佞武多。お山参詣登山囃子。しんせつ。あたたかい。おもしろい。
38	ねぶたは五所川原市のイベントだし、一番盛り上がるからです。また金山焼も独々の皿などを作っていていいと思ったから。
39	自然が豊かで高齢者のための施設が充実している。五所川原市民は人柄が良い人がたくさんいる。
40	立佞武多があること。
41	赤～いりんごとか、たちねぶたとか、五所川原だけのものがあること。
42	五所川原市は緑が豊かで祭りが盛んである。
43	青森県の『五所川原市』は、県外の方達からすると、「どこだろう?」とか、認知度はそう高



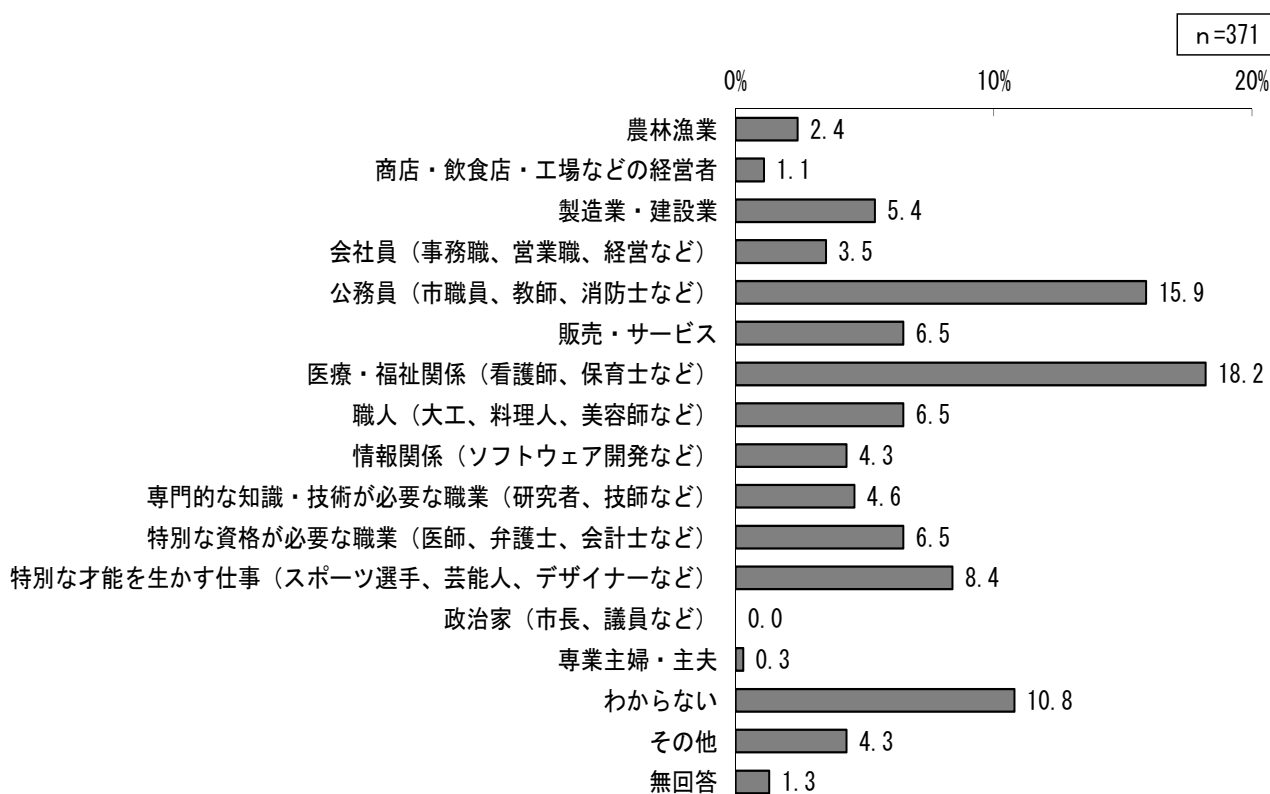
具体的なまちの自慢（高校生）	
	くないのではと思っている。が、ここ五所川原には『ねぶた』・『立佞武多』といった文化的にも世界に誇っても良いと思える祭りがある。その館も建てられている。「五所川原市」は知られていなくとも、「ねぶた」・「立佞武多」の認知度はあるのではないだろうか。参加出来る事を嬉しく思い、誇りに思う。
44	地震、洪水などの自然災害がほかの県にくらべて少なく、安心して暮らせること。
45	立佞武多。津軽三味線。りんご。
46	たちねぶた
47	立佞武多の伝統技術や団体によって変わる音色。りんごが美味しい。
48	白神山地。たちねぶた。りんご。
49	水がおいしい。たちねぶたの迫力。
50	いろんな行事やイベントが多いこと。
51	たちねぶた
52	たちねぶたなどの伝統的な祭りがあること。
53	私はたちねぶたをもっと全国に広げていきたいです。
54	たちねぶたの盛りあがりやねぶた師の思い。
55	三味線。ねぶた。
56	自然が多く、空気おいしいところ。
57	たちねぶた
58	ねぶた。
59	ねぶたなどの祭りや地元の三味線や太宰治について。
60	たちねぶた
61	たちねぶた！！

## 4. 将来就きたい仕事

問4 あなたは将来、どんな仕事をしたいですか。（現時点で考えているもの1つに○をつけてください。）

中・高校生の職業観について把握するため、将来どんな仕事に就きたいかがあったところ、「医療・福祉関係」（18.2%）の割合が最も高く、次いで「公務員」（15.9%）、「わからない」（10.8%）と続いています。

【図-7 将来就きたい仕事】



【表-11 就きたい仕事 「その他」の具体的な内容】

■中学生	■高校生
声優（2件）	獣医
ミュージシャン	通訳
格闘家	アニメーター
五所川原の大型ねぶたをつくる	ナレーター
動物園の飼育員	栄養士
記者	音楽関係
ペットショップスタッフ	トリマー、猫カフェの店員
作家	

将来、就きたい仕事について、中学・高校別、性別、居住地域別の各上位5項目は以下のとおりとなっています。

【表-12 属性別：将来就きたい仕事（上位5項目）】

■中学生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	公務員	16.6%	1	医療・福祉関係	25.4%
2	わからない	13.7%	2	特別な才能を生かす仕事	15.7%
3	製造業・建設業	12.6%	3	わからない	10.8%
4	特別な資格が必要な職業	8.4%	4	販売・サービス	9.8%
5	特別な才能を生かす仕事	8.4%	5	職人（大工、料理人、美容師など）	8.8%

五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	医療・福祉関係	15.9%	1	公務員	16.0%
2	特別な才能を生かす仕事	14.6%	2	医療・福祉関係	12.0%
3	わからない	11.3%	3	特別な資格が必要な職業	12.0%
4	公務員	9.9%	4	情報関係	12.0%
5	特別な資格が必要な職業	8.6%	5	農林漁業	8.0%
市浦地域（上位5項目）					
1	職人（大工、料理人、美容師など）	23.8%			
2	わからない	23.8%			
3	公務員	14.3%			
4	医療・福祉関係	9.5%			
5	専門的な知識・技術が必要な職業	9.5%			

■高校生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	公務員	30.3%	1	医療・福祉関係	30.7%
2	医療・福祉関係	13.3%	2	公務員	13.2%
3	わからない	9.6%	3	販売・サービス	9.9%
4	情報関係	8.4%	4	わからない	8.8%
5	専門的な知識・技術が必要な職業	7.2%	5	その他	7.7%

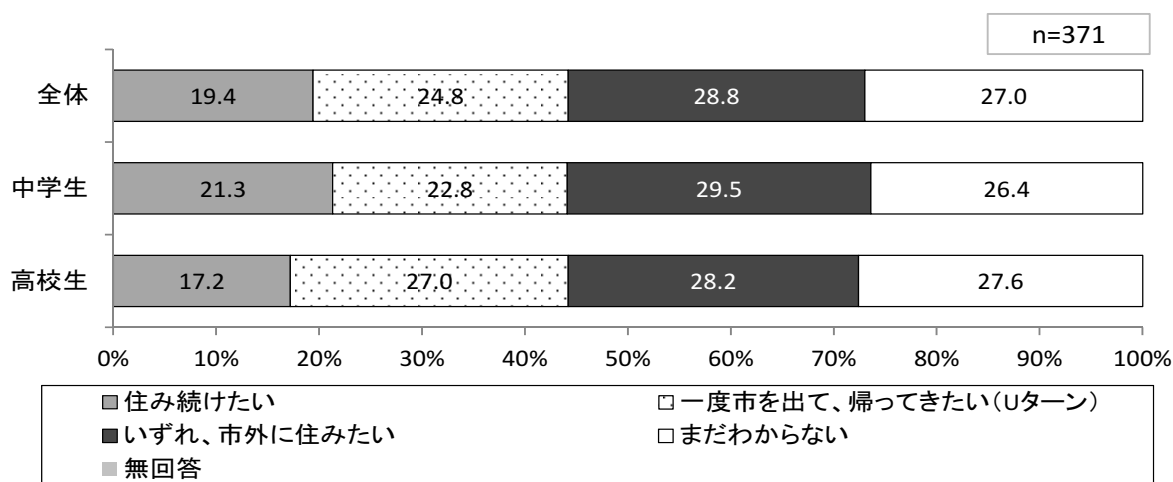
五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	医療・福祉関係	24.6%	1	医療・福祉関係	17.7%
2	公務員	23.8%	2	販売・サービス	15.6%
3	わからない	8.2%	3	公務員	11.1%
4	職人（大工、料理人、美容師など）	5.7%	4	わからない	11.1%
5	販売・サービス	4.9%	5	製造業・建設業	8.9%
市浦地域（上位5項目）					
1	公務員	42.8%			
2	医療・福祉関係	14.3%			
3	わからない	14.3%			
4	製造業・建設業	14.3%			
5	特別な資格が必要な職業	14.3%			

## 5. 定住意向

問5 あなたは、これからも五所川原市に住み続けたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○をつけてください。）

中・高校生の定住意向について把握するため、これからも五所川原市に住み続けたいかうかがったところ、「いずれ、市外に住みたい」（28.8%）の割合が最も高く、次いで「まだわからない」（27.0%）、「一度市を出て、帰ってきたい（Uターン）」（24.8%）と続いています。

【図-8 定住意向】



【表-13 属性別：定住意向】

### ■中学生

		合計	住み続けたい (%)	一度市を出て、帰ってきたい (%)	いずれ、市外に住みたい (%)	まだわからない (%)	無回答 (%)
全体		197 (100.0)	42 (21.3)	45 (22.8)	58 (29.5)	52 (26.4)	0 (0.0)
性別	男性	95 (100.0)	16 (16.8)	22 (23.2)	32 (33.7)	25 (26.3)	0 (0.0)
	女性	102 (100.0)	26 (25.5)	23 (22.5)	26 (25.5)	27 (26.5)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	151 (100.0)	28 (18.5)	34 (22.5)	43 (28.5)	46 (30.5)	0 (0.0)
	金木地域	25 (100.0)	6 (24.0)	3 (12.0)	13 (52.0)	3 (12.0)	0 (0.0)
	市浦地域	21 (100.0)	8 (38.1)	8 (38.1)	2 (9.5)	3 (14.3)	0 (0.0)

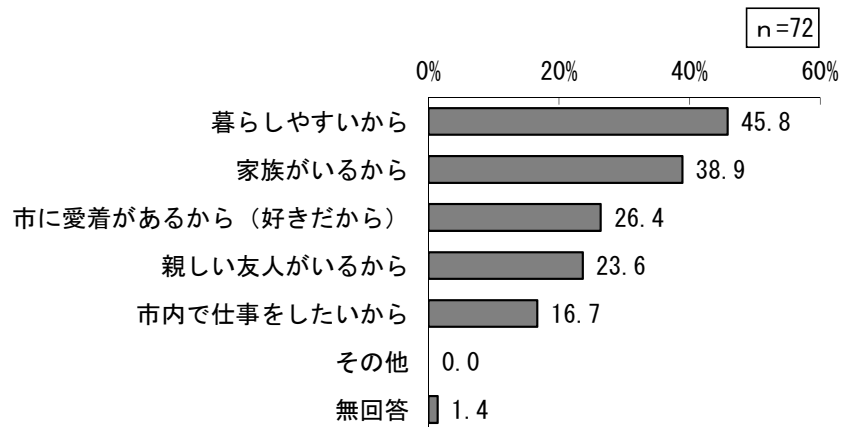
### ■高校生

		合計	住み続けたい (%)	一度市を出て、帰ってきたい (%)	いずれ、市外に住みたい (%)	まだわからない (%)	無回答 (%)
全体		174 (100.0)	30 (17.2)	47 (27.0)	49 (28.2)	48 (27.6)	0 (0.0)
性別	男性	83 (100.0)	13 (15.7)	21 (25.3)	27 (32.5)	22 (26.5)	0 (0.0)
	女性	91 (100.0)	17 (18.7)	26 (28.5)	22 (24.2)	26 (28.6)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	122 (100.0)	24 (19.7)	28 (23.0)	39 (31.9)	31 (25.4)	0 (0.0)
	金木地域	45 (100.0)	6 (13.3)	14 (31.1)	10 (22.2)	15 (33.4)	0 (0.0)
	市浦地域	7 (100.0)	0 (0.0)	5 (71.4)	0 (0.0)	2 (28.6)	0 (0.0)

問5付問① 問5で「1. 住みたい」と回答した方にうかがいます。その理由はなんですか。（主なもの2つまでに○をつけてください。）

「住みたい」と回答した人に、その理由についてうかがったところ、「暮らしやすいから」（45.8%）の割合が最も高く、次いで「家族がいるから」（38.9%）、「市に愛着があるから（好きだから）」（26.4%）と続いています。

【図-9 住みたい理由】



【表-14 属性別：住みたい理由】

		合計	家族がいるから (%)	親しい友人がいるから (%)	市内で仕事をしたいから (%)	暮らしやすいから (%)	市に愛着があるから（好きだから） (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		72 (100.0)	28 (38.9)	17 (23.6)	12 (16.7)	33 (45.8)	19 (26.4)	0 (0.0)	1 (1.4)
中学・高校別	中学生	42 (100.0)	19 (45.2)	12 (28.6)	7 (16.7)	18 (42.9)	10 (23.8)	0 (0.0)	1 (2.4)
	高校生	30 (100.0)	9 (30.0)	5 (16.7)	5 (16.7)	15 (50.0)	9 (30.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
性別	男性	29 (100.0)	10 (34.5)	4 (13.8)	4 (13.8)	17 (58.6)	8 (27.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女性	43 (100.0)	18 (41.9)	13 (30.2)	8 (18.6)	16 (37.2)	11 (25.6)	0 (0.0)	1 (2.3)
居住地域	五所川原地域	52 (100.0)	19 (36.5)	11 (21.2)	8 (15.4)	19 (36.5)	16 (30.8)	0 (0.0)	1 (1.9)
	金木地域	12 (100.0)	5 (41.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	11 (91.7)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	市浦地域	8 (100.0)	4 (50.0)	3 (37.5)	2 (25.0)	3 (37.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

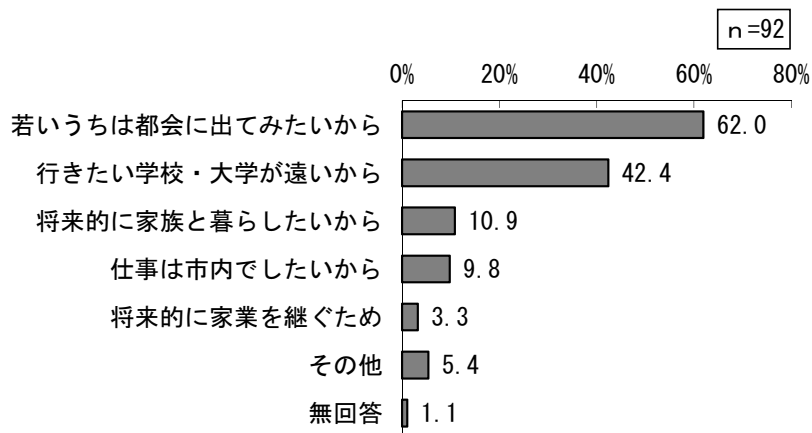
※回答者が限定され、回答数が少ないため、中学生・高校生を合わせてクロス集計しています。

※「その他」意見はありませんでした。

問5付問② 問5で「2. 一度市を出て、帰ってきたい (Uターン)」に回答された方  
 うかがいます。その理由はなんですか。(主なもの2つまでに○をつけてく  
 ださい。)

「一度市を出て、帰ってきたい (Uターン)」と回答した人に、その理由についてう  
 かがったところ、「若いうちは都会に出てみたいから」(62.0%)の割合が最も高く、  
 次いで「行きたい学校・大学が遠いから」(42.4%)、「将来的に家族と暮らしたいか  
 ら」(10.9%)と続いています。

【図-10 一度市を出て帰ってきたい理由】



【表-15 属性別：一度市を出て帰ってきたい理由】

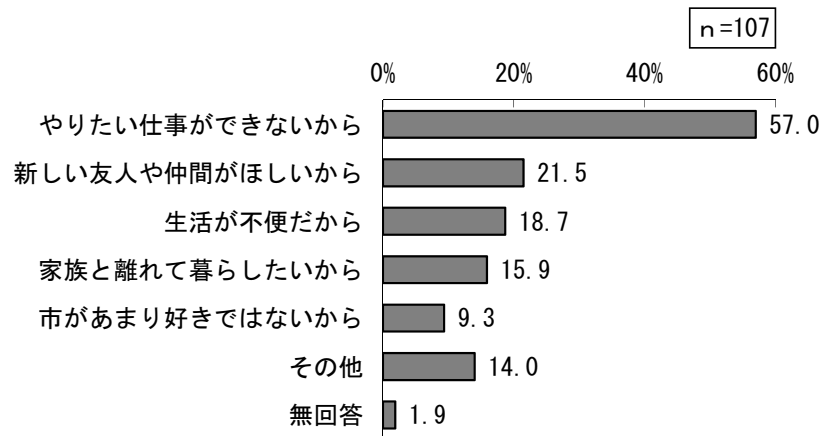
		合計	行きたい 学校・大 学が遠い から (%)	若いうち は都会に 出てみた いから (%)	将来的に 家業を継 ぐため (%)	仕事は市 内でした いから (%)	将来的に 家族と暮 らしたい から (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		92 (100.0)	39 (42.4)	57 (62.0)	3 (3.3)	9 (9.8)	10 (10.9)	5 (5.4)	1 (1.1)
中学・高校別	中学生	45 (100.0)	12 (26.7)	29 (64.4)	3 (6.7)	4 (8.9)	7 (15.6)	3 (6.7)	0 (0.0)
	高校生	47 (100.0)	27 (57.4)	28 (59.6)	0 (0.0)	5 (10.6)	3 (6.4)	2 (4.3)	1 (2.1)
性別	男性	43 (100.0)	15 (34.9)	26 (60.5)	2 (4.7)	5 (11.6)	6 (14.0)	5 (11.6)	1 (2.3)
	女性	49 (100.0)	24 (49.0)	31 (63.3)	1 (2.0)	4 (8.2)	4 (8.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
居住地域	五所川原地域	62 (100.0)	26 (41.9)	39 (62.9)	3 (4.8)	7 (11.3)	9 (14.5)	1 (1.6)	1 (1.6)
	金木地域	17 (100.0)	7 (41.2)	11 (64.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	2 (11.8)	0 (0.0)
	市浦地域	13 (100.0)	6 (46.2)	7 (53.8)	0 (0.0)	2 (15.4)	0 (0.0)	2 (15.4)	0 (0.0)

※回答者が限定され、回答数が少ないため、中学生・高校生を合わせてクロス集計していま  
 す。

問5付問③ 問5で「3. いずれ、市外に住みたい」に回答された方にうかがいます。その理由はなんですか。（主なもの2つまでに○をつけてください。）

「いずれ、市外に住みたい」と回答した人に、その理由についてうかがったところ、「やりたい仕事ができないから」（57.0%）の割合が最も高く、次いで「新しい友人や仲間がほしいから」（21.5%）、「生活が不便だから」（18.7%）と続いています。

【図-11 いずれ、市外に住みたい理由】



【表-16 属性別：いずれ、市外に住みたい理由】

		合計	家族と離れて暮らしたいから (%)	新しい友人や仲間がほしいから (%)	やりたい仕事ができないから (%)	生活が不便だから (%)	市があまり好きではないから (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		107 (100.0)	17 (15.9)	23 (21.5)	61 (57.0)	20 (18.7)	10 (9.3)	15 (14.0)	2 (1.9)
中学・高校別	中学生	58 (100.0)	6 (10.3)	18 (31.0)	29 (50.0)	8 (13.8)	5 (8.6)	9 (15.5)	2 (3.4)
	高校生	49 (100.0)	11 (22.4)	5 (10.2)	32 (65.3)	12 (24.5)	5 (10.2)	6 (12.2)	0 (0.0)
性別	男性	59 (100.0)	8 (13.6)	16 (27.1)	31 (52.5)	12 (20.3)	7 (11.9)	6 (10.2)	1 (1.7)
	女性	48 (100.0)	9 (18.8)	7 (14.6)	30 (62.5)	8 (16.7)	3 (6.3)	9 (18.8)	1 (2.1)
居住地域	五所川原地域	82 (100.0)	15 (18.3)	17 (20.7)	46 (56.1)	12 (14.6)	10 (12.2)	12 (14.6)	2 (2.4)
	金木地域	23 (100.0)	2 (8.7)	6 (26.1)	15 (65.2)	8 (34.8)	0 (0.0)	1 (4.3)	0 (0.0)
	市浦地域	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)

※回答者が限定され、回答数が少ないため、中学生・高校生を合わせてクロス集計しています。

【表-17 問5付門② 一度市を出て帰ってきたい理由「その他」の具体的な内容】

■中学生

いろんなことを学べると思うから。
生まれたところで死にたいから。
光回線が届いていない。

■高校生

五所川原には良い仕事につける場所がないから。
進学して新たな友人を作るため。

【表-18 問5付門③ いずれ、市外に住みたい理由「その他」の具体的な内容】

■中学生

ちがう環境に住んでみたいから。
たくさんのものが見たいから。
市外に出て色々なことを知りたい。
自分の道を歩みたいから。
自分で決めた道をいきたいから。
青森は給料が一番少ないから。
田舎だから。
都会に行った方が将来自分のためになるから。
一人暮らしをしてみたいから。

■高校生

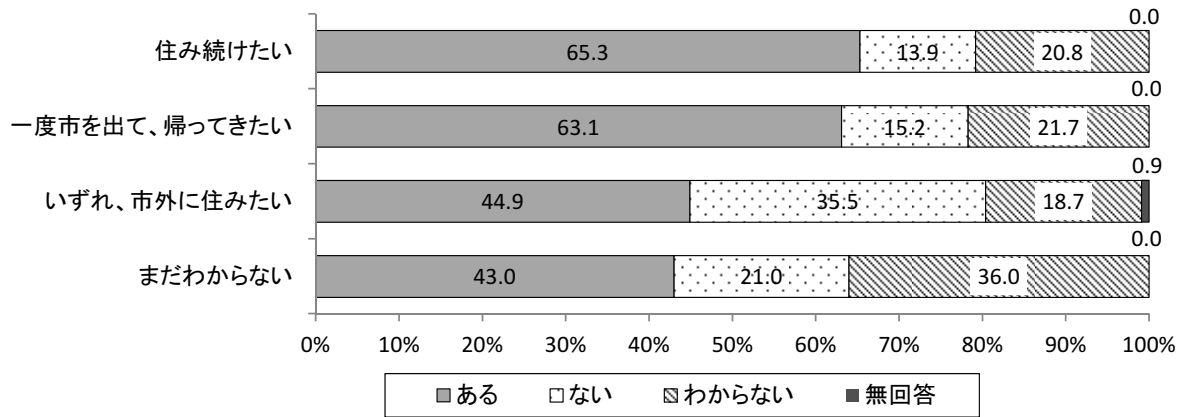
海外へ行きたい。
その場所じゃないとできないことがあるから。
より高い収入を得るため。
自立したい。



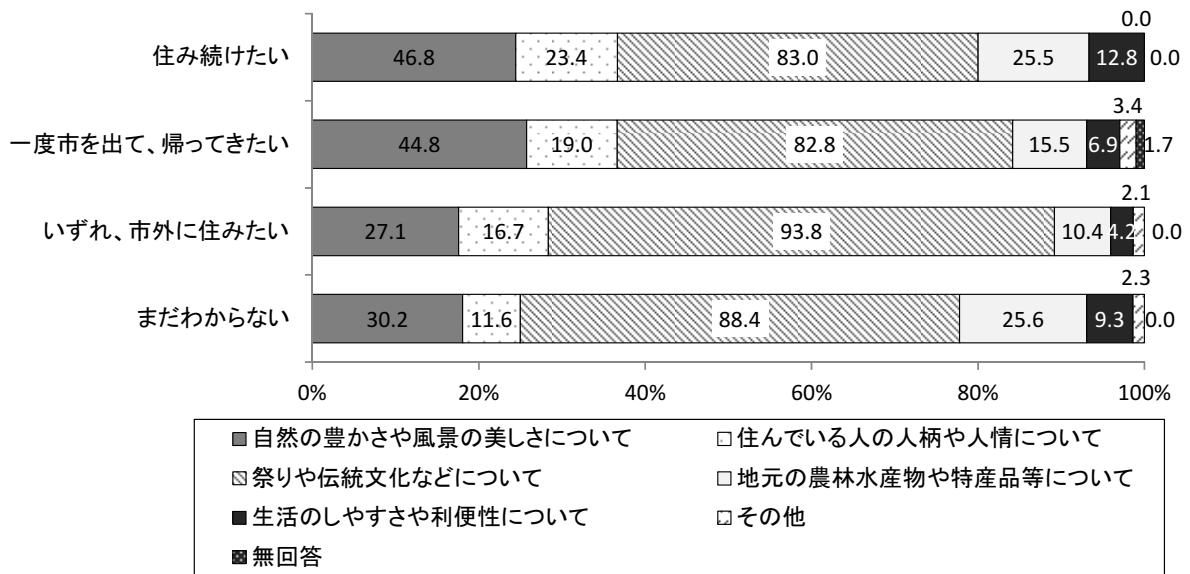
## ■定住意向とまちの自慢の有無

定住意向とまちの自慢の有無の関係性を分析するため、問3を問5でクロス集計したところ、「住み続けたい」、「一度市を出て、帰ってきたい」人は、まちについて自慢したいことが「ある」の割合が高くなっています。

【図-12 定住意向別 まちの自慢の有無】



【図-13 定住意向別：まちの自慢の内容】



## ■定住意向と職業観

定住意向と職業観の関係性を分析するため、問4を問5でクロス集計したところ、「住み続けたい」、「一度市を出て、帰ってきたい」、「まだわからない」では、「医療・福祉関係」の割合が最も高く、「いずれ市外に住みたい」では、「特別な才能を生かす仕事」の割合が最も高くなっています。また、他の定住意向にない項目として、「住み続けたい」では、「農林漁業」（4位）、「まだわからない」では「特別な資格が必要な職業」（4位）が入っています。

【表-19 定住意向別：将来就きたい仕事（上位5項目）】

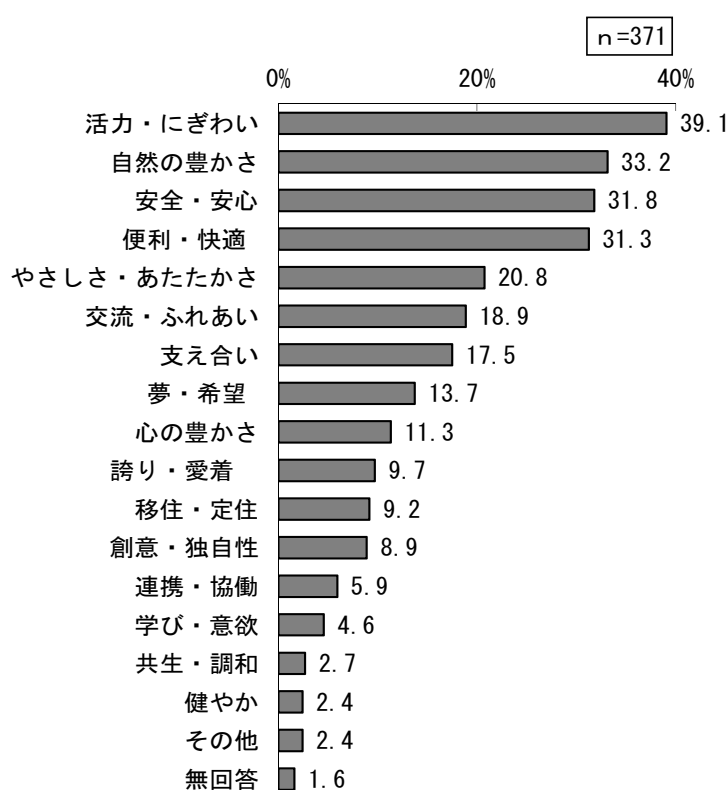
住み続けたい（上位5項目）			一度市を出て帰ってきたい（上位5項目）		
1	医療・福祉関係	24.9%	1	医療・福祉関係	21.7%
2	公務員	16.7%	2	公務員	10.9%
3	わからない	9.7%	3	職人（大工、料理人、美容師など）	9.8%
4	農林漁業	8.3%	4	特別な才能を生かす仕事	9.8%
5	販売・サービス	8.3%	5	わからない	8.7%
いずれ市外に住みたい（上位5項目）			まだわからない（上位5項目）		
1	特別な才能を生かす仕事	17.9%	1	医療・福祉関係	20.0%
2	公務員	16.8%	2	公務員	19.0%
3	医療・福祉関係	9.3%	3	わからない	17.0%
4	職人（大工、料理人、美容師など）	8.4%	4	特別な資格が必要な職業	10.0%
5	わからない	7.5%	5	販売・サービス	6.0%

## 6. まちづくりのキーワード

問6 これからの五所川原市のまちづくりをすすめていくうえで、キーワードとなるのはどのような言葉だと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○をつけてください。）

中・高校生の五所川原市に期待するイメージについて把握するため、これからのまちづくりのキーワードについてうかがったところ、「活力・にぎわい」（39.1%）の割合が最も高く、次いで「自然の豊かさ」（33.2%）、「安全・安心」（31.8%）と続いています。

【図-14 まちづくりのキーワード】



【表-20 まちづくりのキーワード 「その他」の具体的な内容】

### ■中学生

発展・福祉	光回線
スポーツジム	平等
就職	祭り
就職場所	税金の使い方

### ■高校生

仕事を増やす

まちづくりのキーワードについて、性別・学年別・居住地域別の各上位5項目は以下のとおりとなっています。

【表-21 属性別：まちづくりのキーワード（上位5項目）】

■中学生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	自然の豊かさ	38.9%	1	活力・にぎわい	38.2%
2	安全・安心	36.8%	2	自然の豊かさ	33.3%
3	便利・快適	35.8%	3	安全・安心	31.4%
4	活力・にぎわい	29.5%	4	便利・快適	30.4%
5	やさしさ・あたたかさ	23.2%	5	支え合い	28.4%

五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	安全・安心	35.1%	1	活力・にぎわい	48.0%
2	活力・にぎわい	33.1%	2	便利・快適	48.0%
3	自然の豊かさ	32.5%	3	安全・安心	40.0%
4	便利・快適	32.5%	4	自然の豊かさ	40.0%
5	やさしさ・あたたかさ	24.5%	5	やさしさ・あたたかさ	28.0%
市浦地域（上位5項目）					
1	自然の豊かさ	57.1%			
2	活力・にぎわい	23.8%			
3	やさしさ・あたたかさ	23.8%			
4	支え合い	23.8%			
5	便利・快適	19.0%			

■高校生

男性（上位5項目）			女性（上位5項目）		
1	活力・にぎわい	41.0%	1	活力・にぎわい	48.4%
2	便利・快適	33.7%	2	安全・安心	30.8%
3	自然の豊かさ	31.3%	3	自然の豊かさ	28.6%
4	安全・安心	27.7%	4	交流・ふれあい	27.5%
5	交流・ふれあい	20.5%	5	便利・快適	25.3%

五所川原地域（上位5項目）			金木地域（上位5項目）		
1	活力・にぎわい	46.7%	1	自然の豊かさ	37.8%
2	安全・安心	29.5%	2	活力・にぎわい	35.6%
3	便利・快適	28.7%	3	便利・快適	31.1%
4	交流・ふれあい	27.0%	4	安全・安心	26.7%
5	自然の豊かさ	26.2%	5	やさしさ・あたたかさ	20.0%
市浦地域（上位5項目）					
1	活力・にぎわい	71.4%			
2	自然の豊かさ	42.9%			
3	安全・安心	42.9%			
4	便利・快適	28.6%			
5	やさしさ・あたたかさ	14.3%			

## 7. 将来のまちの姿

問7 今後、五所川原市がどのようなまちになるとよいと思いますか。今後こうなったらよいと思う五所川原市の姿をお書きください。

将来の五所川原市の姿の希望についてうかがったところ、中学生 180 人 (91.4%)、高校生 140 人 (80.5%)、合計 320 人 (86.3%) から回答をいただきました。記述内容は以下のとおりです。

【表-22 将来のまちの姿（自由記述）】

■中学生

将来のまちの姿（自由記述）・中学生	
1	良いまちになればいい。
2	もう少し建物がたつといい。
3	アミューズメントパークが欲しい。
4	便利な建物を増やす。
5	どの世代も親しみやすい店やゲーム業者（セガやカプコン）などの店ができてほしい！
6	便利で快適。
7	ゆずりあいなどがあるまち。
8	自然を増やし環境に優しいまち。医療機関の充実。
9	ショッピングセンターがもっとほしい。
10	ショッピングセンターが増えればいい。
11	ドンキホーテがあればいい。ディズニーランドみたいなのがあればいい。自然がいっぱいある大都会。消費税禁止。
12	スポーツ施設をちゃんとしてほしい。
13	遊ぶところほしい。
14	サッカーができる大きな大きな場所がほしい。
15	ディズニーランドがあればいい。
16	テレビ番組がもっと増えてほしいです。 もっと暮らしやすくして、祭りや行事等を増やしてほしい。 大規模な球技場を作ってほしい（プロ野球など）。 プロ野球の球団を作ってほしい。
17	スポーツをできる場所があればいいと思った。
18	これからも市が交流をへて発展していくことと、年寄りにバリアフリーのまちづくり。
19	祭が広まったらいい。
20	若い人が多くなると良い。
21	犯罪や事故のないまち。
22	デパートがたくさん。花がたくさん。
23	安全・安心なまちになったらよいと思います。
24	もっと店を増やして欲しい。
25	緑が多く二酸化炭素を酸素に変えて、涼しく暮らせるまちにすること。
26	税金を安くしていける五所川原市がいい。
27	都市化が進んで、若い人が多いまちになればいいと思います。

将来のまちの姿（自由記述）・中学生	
28	自然を残したままで店などを増やして便利にする。
29	いまのままでいい。
30	市街地以外の道路の整備。歩道、通学路を快適、便利に。交通量に比例した道路。シャッター街がだらしない。旧中三に地域のミュージアム。ヒロロ的なもの。
31	自然を少し切り崩してでもよいまちをつくる。
32	他の市や他の県からたくさんの方に来てほしい。
33	とっともすてきなまちになってほしい！
34	みんなが不満をもたずに生活できる。
35	もっとハイテクにしましょう。
36	働く場所がたくさんあって、にぎやかなまち。
37	経済発展に力を入れている五所川原。
38	自然が豊かで安全なこと。
39	自然が豊かで、いつまでもねふた祭りを続けること。
40	人がもっとにぎわう五所川原市になってほしい。
41	人が多くにぎやか。
42	豊かでのぎわいがあるまち。
43	人口が増えて、にぎわいがあるまち。
44	人口が増えてほしい。
45	人の移住が多く、にぎやかな市でいきたい。
46	自然がきれいで、みんなで支え合って、助け合っていくようなかんじになってほしいです。
47	自然を生かしてきれいな市になったらいいと思った。
48	市内がもっとにぎわっていて、シャッターが閉まっている店が一つもなく、自然が豊かで、住んでて快適な市になっていると思う。
49	地域の人とのふれあいを大切にする。
50	祭りなど伝統文化を大切にし、交流のある市内。
51	住みやすい五所川原になるといいと思う。
52	ゴミが落ちてなく、みんなで助け合えるような五所川原市。
53	明るいまちになってほしい。
54	犯罪のない五所川原市で、安心・安全な地域になってほしい。
55	もっと挨拶を良くし、支え合っていけばいいと思います。
56	明るくにぎわってほしい。
57	安全・安心のできていて自然の良さをくずさない五所川原市。
58	明るく元気で皆が住みやすい市になるといいと思います。
59	市全体が人でにぎわっている。（ねふた以外でもにぎわってほしい。）
60	店がいっぱいあるまち。
61	自然をもっときれいにすればいいと思う。
62	ゴミなどが落ちていないまち。
63	地域に偏らずに、全部の地域が「便利に、楽しいまち」になってほしい。
64	まちが人々にぎわっており、子どもの夢がかなえられて、皆が誇りや愛着を持てるまち。
65	商店街に活気が必要。田舎すぎる。セブンイレブン。
66	商店街を中心に、にぎやかで活気のあるまち。
67	ショッピングセンターを増やして活気がほしい。
68	市全体に活力、にぎわいがある、移動が便利に安全にできるまち。子供たちが元気に遊べる大きな体育館や、大きな広場のようなものができて欲しい。
69	交通や電話回線を栄えていない金木町になどにも充実させて、誰もが住みやすいまちになった

将来のまちの姿（自由記述）・中学生	
	らうれしい。
70	安全、安心で事故が無いまち。
71	スポーツ設備を充実させて、市外から来る人を増やせばいいと思う。
72	安全でまちに活気のある場所。商店街に活気がほしい。
73	商店街などの店がたくさん並んでいる場所などがにぎやかなまち。
74	商店街がにぎやかで文化を大切にするまち。
75	過疎化を止める。全体的ににぎやかなまち。
76	経済の発展。地域の人たちとの交流。
77	経済発達
78	経済の発展
79	祭りが更に盛り上がり、青森市や弘前市に負けない最強の市になったら良いと思う。経済がもっと発展してほしい。
80	自然がある。
81	経済の発展。
82	もっと図書館にいい本を置いてください。
83	子供やお年寄りが住みやすいまち。
84	自然豊かで住みやすく、にぎやかなまち。何か誇れるものがあるまち。
85	皆でまちを救っていきけるような、なんか五所川原のメインになれる仕事があったらいいと思う。安いお金で買える物がほしい。
86	もっとにぎやかなまち。都会のような田舎がいい。もっと品物が安くなる。
87	みんなが住みやすく、年寄りも暮らしやすく、また子供たちのスポーツ施設を増やしたほうがいいかな…。
88	元気で、暮らしやすい市になればいいと思う。エルムみたいなところを増やして！！
89	楽しく生活したい。ゲームセンターを増やしてほしい。何でも安く売ってる店を増やしてほしい。「中学生は大人と一緒に」のようなことをやめてほしい。
90	日本全国に広まるような建物をつくってほしい。有名人が来て、コンサートできる所をつくってほしい。図書館をもっと大きくきれいな所にして、いっぱいの本を置いてほしい。
91	スポーツ施設（陸上競技場）。
92	観光名所ができればいい。大型ショッピングモールを作ればいい。
93	観光名所ができればいい。大型ショッピングモールを作ればいいと思う。
94	図書館をもっとよくしてほしい（いろんな本を置く）。
95	皆が過ごしやすいまち。
96	アニメイトがほしい。公園がほしい。もっときれいな自然になると思う。
97	祭りごと等で賑わっていて、外国との交流等楽しく過ごせる市。
98	自然をあまり壊さないで、緑豊かになったらいいと思う。
99	今よりもっと自然が豊かで、五所川原市民のみんなが安心して暮らせて、笑顔いっぱいの五所川原。
100	東京のように都会で、ビルや建物がつくられて、服などいろんなブランドが五所川原に来て、公式のジャニーズショップができる。若者が住み続けたくなる市。
101	ELM みたいな所がいっぱいできてほしい。
102	ずっと美しいままのまち。ゴミのポイ捨てなどが無いまち。
103	安全でみんなが支えあえる市になればいいと思います。
104	元気なまち。
105	他人に迷惑をかけない、いざとなったらみんな協力して助け合うまち。
106	自然を汚さないようにして、ゴミなどを捨てない。

将来のまちの姿（自由記述）・中学生	
107	交通網をもっとよくしてほしい。遊ぶところをもっとほしい。フジテレビが見たい。アニメイトをつくってほしい。
108	マックの店を増やす。
109	アニメイトと本だらけをつくってください。テレビ番組が少ないです。フジTVをこっちでも放送してください。
110	もっと人が集まるような場所を増やして欲しい。アニメイトを作ってください。お願いします。高齢者が楽しめる場所を増やして欲しい。
111	都会のように便利にならなくても、その分一人一人が健康に過ごせて、積極的に物事に取り組むようになってほしい。あと、どんな人にもやさしさと支え合う気持ちをもってもらおうと更によくなると思う。
112	住民の生活しやすいまち。支え合えるまち。活力があるまち。ボランティア活動がさかんなまち。いろんな人との交流がさかんなまち。思いやりのあるまち。
113	活力、にぎわいがあり、そこに生きる人々が安心して心豊かに暮らせるとよい。
114	もう少し店を増やして就職率を上げたらいいと思う。
115	住みやすく自慢ができる市になってほしい。
116	便利で快適に暮らせるまち。学校などではいじめがなく、安心して暮らせるまち。
117	高齢者との関わりが深く、支え合って生きていくようになっていけたらいいなと思う。
118	あたたかくて人の優しさがあふれていて、支え合えるまちや明るく夢や希望のあるまち。
119	デパートなどの人が集まり、子供も楽しく遊べる ELM やジャスコのような建物がもっと増えてほしい。オシャレなまちになってほしい。公園がほしい（大きくて安全な）。
120	やさしさがあふれて、ゆずりあいができるまちになるといいと思います。
121	自然が豊かですてきなまち。
122	ねふたなどの時カラスとかがいなくて、皆が一緒にまつりなどに参加するようなまち。
123	もっと給料があがって景気のいいまち！
124	五所川原市は仙台のようなまちになるとよい。ELM のように一つの店が1つにまとまるのではなく、弘前みたいな1コ1コの店があればよい。（商店街）まち中に廃れている店は違う店を作ってほしい。
125	ほとんどの人が公共の場でのルールを守り、ずーっときれいで犯罪とかもなく、安心・安全に暮らせるまち！！
126	心地よく住めるまちになればいいです。
127	五所川原市に住むみんなが、心地よく住めるまちになると良いです。
128	みんな優しいまち。いはんのないまち。
129	今まで育った地域だから、このままでいてほしい。
130	活気があり、人がたくさん集まる五所川原。
131	今後、五所川原市が変わるんだったら、自然豊かで伝統芸能がまだあったらいいと思う。誇りに思えるようになったらいいと思う。
132	活気があって、みんなが住みやすい。
133	自然が豊かで、ゴミなどの問題が無くなる。
134	近所の人たちと気軽に話しをできるようになりたい。
135	にぎわいあって、便利で快適な生活を送れるまち。
136	交通事故や殺人などない安全で豊かな五所川原市。
137	にぎやかなまち。
138	にぎやかなまち！
139	もっと活気をつけ、観光客などを増やす。
140	お互いに助け合って、伝統も残しつつ、新しいものも取り入れていく。



将来のまちの姿（自由記述）・中学生	
141	自然を大切にして、安全で、交流が盛んになるといいと思います。
142	五所川原市はこれからも緑がたくさんあり、たくさんの人たちが交流し、みんな仲が良くなってほしいと思う。
143	五所川原市にいる人みんなが、自分のことだけでなく、周りにもっと気配りができたらいいと思います。
144	やさしさあふれるまち。活気あふれるまち。
145	五所川原はねぶたが有名だが、夏のねぶたが終わったら何もない地域みたいになってしまうので、冬のイベントも考えてほしい。
146	活力のあるまちになったら良いと思う。
147	観光地が増えて、建物がもっと増えるといい。
148	楽しく明るいまち。
149	にぎわいもありながら、便利・快適に暮らせればいいと思います。
150	便利で生活がしやすいまち。
151	自然の豊かさを守っていきつつ、活気があふれた五所川原市になったらいいなあと思います。
152	自然が豊かで、支え合いのある五所川原市。
153	今後、もっと年配の方が増えると思う。お年寄りにもっと優しい市にすれば、移住し、定住する人が増えると思う。五所川原市内（駅前）をもっと活気づくように、工事が必要だと思う。
154	福祉施設や老後のことなど安定している市。経済や職に困らないような市。
155	五所川原に住んでいる人全員で支え合い助け合う五所川原になってほしいと思った。
156	明るくにぎわいのあるまちにしたらいいと思う。
157	祭りや伝統文化を伝え続けて、全国に広め、観光客がたくさんくる市。自然豊かな市。
158	自然が豊かで、活力があるやさしさと温かさであふれる五所川原市になればいいと思う。子供からお年寄りまで安心して暮らせる五所川原市になればいいと思う。
159	たちねぶた、奴踊り、郷土芸能などの伝統文化をもっといろいろな人に知ってもらうための活動をする。今の自然を壊さないように、みんなでゴミ拾いをしたり、ポイ捨てをしないようにする。
160	もっと交流やふれあいの場を増やすべき！！五所川原市はねぶたがあるし、人柄もとてもいい！！だからもっと、五所川原市を誇りに思う人が増えてほしい。
161	子供たちが遊べるような場所がもっとほしい。サッカー場を作ってほしい。地域の吹奏楽団をもっと増やしてほしい。
162	事故が無いまち。自然が多いまち。市外の人にも五所川原の良いところを知ってもらうために、貼り紙や呼びかけなどをする。
163	誰が見ても五所川原っていいな、住みたいな、などと思えるようなまちになれば良いと思う。まち全体で支え合っているまちづくりを目指してほしい。
164	遊ぶところ増やしてほしい。サッカー場をつくってほしい。
165	事故や病気が少なく、元気があるまち。観光しにくる人が増えてほしい。
166	他県からの観光客がたくさん来て、いつもにぎわっているようなまちになるといいと思う。
167	にぎやかで笑顔あふれるまち。
168	祭りやイベントが多いまちになるといいと思う。専門店が増えればいいと思う。
169	自然観光になる。経済の発展。
170	自然を大切にするまち。経済の発展。
171	自然観光地がもっと増える。経済の発展。
172	住みやすく、安全なまち。
173	このままで良いと思います。強いて言うなら経済の発展。
174	経済の発展

将来のまちの姿（自由記述）・中学生	
175	自然が豊かで、やさしさ、あたたかさであふれ、支え合える五所川原市になればいい。
176	自然が豊かで、空港などを作り、もっと栄えれば良いと思います。
177	活力があるまち。祭りとか行事とか。経済の発展。
178	経済の発展。
179	経済の発展。
180	祭りやイベントにたくさんの観光客が来るようなまち。

## ■高校生

将来のまちの姿（自由記述）・高校生	
1	やはり昔とてもにぎわっていた駅前らへんの活気を取り戻してほしいです。せっかく新しく病院が建つので、それを生かせるようにまちづくりに取り組んでください。
2	新幹線がいずれ開通して、多くの観光客であふれ、盛り上がっていくことだと思う。市の伝統芸能を大切にしていきたいと思います。
3	支え合い、みんなが安全に仲良く住める市。
4	もつとにぎやかになればいいと思う。
5	住んでいる人が心地よく、健やかに生活できるようなまち。
6	人が自然に集まってくるような市になったらよい。
7	みんなが助け合える市。
8	若い人たちの活気溢れるまちになってほしい。
9	平和な感じ。
10	みんなが助け合ってすごしていける市にする。市外の人たちがたくさん観光するような市にする。
11	五所川原市の伝統的な祭りが有名になる。子どもの学びの意欲を高めて良い人材を育てる。
12	将来不安にならない財政豊かなまち。
13	自然がより豊かに。
14	もっと活気のある市になればいいと思う。
15	将来をにう人を生み出せる市。
16	県外の人たちがたくさん来れるように、店を増やしたらいいと思う。
17	光の回線をもっとよくしてほしい。時給をもっと上げてほしい。
18	路上にゴミが一つも落ちていない日本一きれいなまち。
19	自然豊かで安全。
20	カンなどを捨てられるようにできればいいと思います。
21	市民に必要なと思う建物などにお金をかけるのではなく、必要としているものの意見を聞いて、店などを増やしていければいいと思う。立ちねぶたは、大人になってもずっと残っていてほしいから、なくなっていないでほしいです。エルムの街を中心にしてどんどん広げていって、賑わいのあるまちにしてほしい。
22	陽気な人があふれるまちになれば、誰もが楽しい生活を送れると思う。
23	あまりにも大人は信号無視がひどい。道路には袋に入ったゴミが捨てられ、津軽道の入口（五所川原）はゴミが散乱し、誰も片づけない。市民も市も恥ずかしくないのだろうか。祭りを見に来た観光客に対して、とても恥ずかしい。大人は何をしているんだろう。モラルがない。農業を中心とする田園都市、つまり、学校でやっている6次産業化をどんどん進めていけばいいと思う。津軽鉄道を中心に、地域や駅をもつともつと活力あるものに。市中心部の改革ではない。
24	活気のあるまち。

将来のまちの姿（自由記述）・高校生	
25	高齢者が安心して暮らせるようになればよい。
26	楽しく明るいまち。
27	安全、快適で住みやすくなればいいのと、もっと仕事する所が増えて、給料ももう少し増えればいいと思う。
28	パチンコ店を減らし、もっと便利で豊かな五所川原にしてほしい。
29	自然とまちとが一体となった住みやすいまち。
30	もっと地域間の交流を増やすと良いと思う。そのためには、老若男女が心休まる場所ができたら更に良くなると思います。
31	犯罪のない安全なまち。
32	祭り等で活気にあふれているまち。
33	もっと緑が増えればいい。
34	より住みやすいまちにしていったらよいと思う。
35	人がたくさんいて活気あるまち。
36	もう少し大手企業を集めたり、駅周辺を開発していけばいいと思う。
37	遊ぶ所や電車・バスの便を増やしてほしい。
38	便利になる。
39	スーパーがたくさんできて、少しでも安く食材や調味料を買える、物価の安い場所になればいい！
40	自分は犯罪や事故のない平和なまちになるとよいと思います。
41	観光スポットを多くして、活気あふれるようにする。
42	元気でイキイキとする。
43	就職の安定したまち。
44	ゴミの少ないきれいな市。
45	今後はもっときれいなまちになり、みんな助け合っていくまちになればいいと思う。
46	誰もが安心して住めるまち。
47	自然がとてもきれいな市。街などがにぎやかな市。
48	日本全国からみてすごい市だと思われる市になると良い。
49	ずっと住んでいなくなるような活気のある楽しいまち。
50	今のままの五所川原市でいいと思います。
51	若い人がどんどん出て行ってしまうので、市内でも働きやすくなるといい。
52	もっと優しさがあふれていて、祭りでみんなの参加しているところ。
53	活力があり、支え合いができる人がいるまち。また、健康で自然をうまくつかっていけるまち。
54	五所川原市の「温かさ」が他の所にも広がり、温かいまちとして色んな所に知ってもらいたい。
55	大学などの教育施設が充実したまち。若者がなりたい職が多くあるまち。安全なまち。老後の支援がしっかりしていて、一生住めるようなまち。弘前市や青森市以上に商業施設が充実しているまち。
56	犯罪などが少なくなればいいと思う。
57	様々なイベントがあり、職業体験なども開いて、わざわざ弘前や青森などに行かなくても良いような市になるとよいと思う。
58	観光
59	安全で豊かなまちになればいいと思う。
60	きれいなまち。
61	よりよい交通網を作ってほしい。
62	イベントなどがたくさんある楽しい所になればいいと思う。
63	今のままでいいと思う。

将来のまちの姿（自由記述）・高校生	
64	にぎやかな感じの姿。
65	犯罪がなく安全で住みやすいまち。
66	緑が多くて居心地の良いまち。
67	平和で高齢者でも暮らしやすいまち。
68	よりよいまちになってほしい。
69	ゴミなどのない、そんなまちにしていけたらもっと良くなることでしょう。
70	五所川原市全体を明るくしていったら良いと思う。もっと住みやすくするべき。
71	みんなが元気で活発なまち。
72	立佞武多祭りなどの伝統芸能を目当てに、県外からたくさんの人々が来てくれるようなにぎわいのある五所川原市になればいいなと思います。
73	8月4日～8日の夏祭りを中心に観光客が増え、祭りの手伝いをしてくれる人が住んでくれるといいと思う。
74	今のままでいいと思います。
75	子どもたちが沢山いるまち。地域への参加がしやすく、あたたかいまち。
76	様々な世代や地域の人々とお互いに協力しあっているようなまちになってほしい。安全に暮らせるようなまちになってほしいです。
77	中心街の復興。
78	経済面で安定している。学生にとって良い。観光スポットを増やす。
79	交通の便をもっと快適に。バスや電車の本数を多く。
80	もっと人口が増えて発展していけばよいと思う。
81	田舎らしいあたたかい市。これ以上都会にする必要はない。
82	自然の豊かさを残しつつも交通の便利な活力のあるまち。
83	今よりももっと活気があって、にぎわっている。また、自然が豊かな五所川原。
84	もっと五所川原だからこその名産やイベントを増やしPRすればよいと思う。
85	市の祭りや行事にもっと参加して、生き生きしたまちにしたい。
86	年齢に関わらず、みんなが家族のように親しくふれあうあたたかいまち。
87	にぎわいのある明るい市。
88	清潔な五所川原市。
89	何か災害等が起きた時だけでなく、いつでも人々がつながりあえるまち。
90	誰もが安全で安心に住めるような市になっていったらよいと思う。
91	もっと活気がある五所川原になってほしい。
92	商店街を増やして、たくさんの方が来てくれるようにした方がよい。
93	地域との交流があって、とてもあたたかい地域になっていけばいいと思います。もっと地域の人たちと支え合って暮らせるような所にしたいです。
94	ごみなどが落ちてるのがあまりなくなればよいと思う。
95	まず、五所川原市の大イベントはねぶた祭りなので、このイベントを全国に広まるよう、もっとPRすればいいと思います。また、ねぶた祭り周辺の未工事を建設し、きれいなまちという印象を残せばいいと思います。ねぶた祭り以外のイベントも作ったり、特産物ももっとPRすればいいと思います。
96	<p>・どのようなまちになるといいか？</p> <p>高齢者や障がい者が、安心・安全に暮らすことができるまち。五所川原はだんだん高齢化が進んできているので、その支援ができるまちにする。</p> <p>・今後こうなったらよい！！</p> <p>立佞武多で人を呼んだりするのは良いが、まちづくりは外からやって来た人がそこに金を落とすことが目的ではないと思うので、下手に人を呼んだ事で景観が破壊される（ゴミが捨てら</p>

将来のまちの姿（自由記述）・高校生	
	れる、夜中に騒ぐ、住民が本来の生活ができなくなる）ことがないようになったらいい。
97	五所川原の良さを全国にアピールして、たくさんの人々が来るようにし、にぎやかなまちにすると良いと思う。地域活性化にも繋がると思う。
98	いろんな店をたくさんオープンさせて、活気のあるまちになればいいと思います。
99	活発で住みやすいまちになればいいなと思います。安全で子どもたちが安心して遊べるようなまちになってほしいです。
100	ごみが見えないまちになってほしい。平気で道にごみを捨てる人がいるので、改善すればいいと思う。
101	今の五所川原市は、エルムやスポーツ店、スーパーマーケット、コンビニなど、多くはないかもしれないが、それなりに買い物をする事が出来る場所や、図書館、病院など公共の場所はある。しかし、少し立佞武多の館の方へ行くと、シャッターの閉まっている所もあったりと、少し寂しい場所が存在するのも事実である。こういった場所がもっと活力あふれる場所になれば良いと思うし、田舎であっても地域みんなが連携し、協力して、素敵な田舎であってほしい。ただ快適性を求めるのではなく、自然を大切にしたいまちづくりを進めていってほしいです。
102	市内の求人募集がもっと増えるといいなあと思います。たくさんのお店や祭りがふえて、もっと観光客が増えたらいいなあと思います。
103	もっと活力あふれる明るいまち。
104	もっと交流を深めるため、地域での活動をふやすべき。
105	住民一人一人が五所川原市に誇りをもって、誰から見ても「いいまち」と思えるようなまち。
106	仕事の種類や数が充実していて、若者や外国の人からも人気が出るような祭りが増えて、環境にも気を配っていて、五所川原の田舎らしさも残した明るくて温かいまちになるといいですね。
107	もっと人と交流出来る場所が増えて欲しいです。商店街がにぎやかになればいいと思います。
108	商店街がにぎわうようになると良い。（祭り期間以外も）。スポーツのジムやスポーツが出来る場をつくと健康面でも良くなると思う。
109	お金が安定するまち。
110	五所川原にはあまり店がないので、今後にぎやかなまちになってほしい。
111	建物をたくさん建てて発展する。
112	安全、安心だと良いと思う。
113	ねふたは外国人観光客が多いので、そこをもっとアピールして観光客を増やすといいと思います。
114	人がいっぱいのにぎわう五所川原。
115	にぎやかな感じ。
116	道路や冬の通学路を考えた上での雪かきや整備をもうちょっとちゃんとしてほしい。
117	安全で安心な五所川原市。
118	安全で安心できるまち。
119	にぎやかで安全に暮らせる環境。
120	みんなが安心して暮らせるまちにしたい。そのためにももっとバリアフリー化や色々と増やしてほしい。
121	伝統的な行事を守っていけるまちになるといいと思います。
122	活気があってにぎわっているまち。
123	もっと大きなショッピングモールや観光地を作って、他県の人を誘えばいい。
124	活気があり、元気があるまちになったらよいと思う。
125	活気があるまち！缶とかゴミが道路に落ちているのをよく見かけるので、そういうのがないきれいなまち。もう少し緑や花が増えれば良いと思う。
126	皆が他人を思いやり、いろんなイベントなどにも積極的に参加するまち。

将来のまちの姿（自由記述）・高校生	
127	住みやすく、人との交流が多いまち。
128	さびしくなってきた場所もあるので、にぎわいのある場所になってほしい。
129	五所川原市民みんなが幸せなまち。
130	観光客が増える。
131	もつとにぎやかになると良い。
132	犯罪がなく、いざとなった時にみんなで助け合えるまち。
133	交通手段がもっと便利になったら良いと思う。
134	お店を増やしてほしい。
135	安心して安全な五所川原市。
136	活気あるまちになればいいよね。
137	ねふたなどで人がいっぱいになるようなまち。
138	たちねふたにもつとたくさんの人がくるような元気なまち。
139	住み良いまち。
140	人でにぎやかなまち。

## 8. 自由意見

まちづくりに対するご意見・ご提案についてうかがったところ、中学生 51 人 (25.9%)、高校生 26 人 (14.9%)、合計 77 人 (20.8%) の方から回答をいただきました。記述内容は以下のとおりです。

【表-23 自由意見】

■中学生

自由意見（中学生）	
1	もっとスポーツ施設を充実させればいいと思います。
2	プロ野球の球団を作ってほしい。テレビ番組をもっと増やしてほしい。都会にしてほしい（高齢者が暮らしやすい）。
3	五所川原市の税金の使い道。
4	地域ごとにゴミ拾いをしたらいいと思う。
5	テレビで五所川原を紹介したり地域のことを放送してください。
6	アメリカシロヒトリが大量にいるので鳥を増やしたり、その鳥の住む森を作るか、アメリカシロヒトリを駆除してください。
7	スポーツジムを増やし、いろいろな人のライブを増やしてほしい。
8	たくさんイベントを増やしてほしい。
9	道路の幅を考える。デコボコとか。ねぶたの後継者を育てる。交通が不便。
10	市民プールの改修。歩道の設置。
11	五所川原市に動物園ってやっぱり不可能ですか？
12	エルムに映画館をつくる。
13	エルムのような場所をもう少しつくってほしい。
14	ELM、ジャスコのように遊ぶ所をつくってほしい。
15	ゲーセンを増やしてほしい。
16	もう少し、市全体での税金の使い方を考えてほしい。少し無駄遣いぎみだと思います。
17	みんなが助け合い、年齢が関係なく触れ合う。
18	もっと、中学生や高校生が楽しめる場所を増やしてほしい。
19	五所川原をもっといいまちにできるようにがんばってください。
20	商店街の復活。セブンイレブンがほしい。100円ローソンもほしい。
21	商店街の店を取り壊し、店を建てたい人に提供する。
22	便利な店をつくってほしい。（100均、ショッピングセンター。）
23	アンケートご苦勞様でした。
24	子供がのびのび暮らせるようにサッカー場等のスポーツ場をつくってほしい。
25	もっと楽しい施設を増やしてほしい。
26	人工芝のサッカー場をつくってほしいです（絶対）。大きいショッピングモールをつくってほしいです。よろしくお願いします。
27	もう少し便利な道路をつくってほしい。金木公民館を新しくしてほしい。
28	交流できるような施設を増やしてほしい。
29	金木にもっとコンビニを増やしてほしい。
30	もっと若い人が喜びそうなものをつくってほしい。
31	光回線が届いてほしい。いろいろ不便だから。

自由意見（中学生）	
32	市浦地区の祭りを増やしてほしい。
33	100円ショップもっと増やして。
34	自分の家に行くところの道に街灯ない。自転車などで帰る時など暗くて怖い。街灯をつけてほしい。
35	エルムのようなショッピングセンターを増やせば良いと思う。お金の問題もあると思うけど、エルムだけだととても不便です。あと、五所川原は働ける場所が少ないです。だから人が少ないんです。
36	道路を新しく！給食がまずいので、おいしくしてほしい。
37	駅の近くの商店街をもっとにぎやかにしたらいいと思います。
38	病院をなぜあんな街なかにつくったのか。市役所が近いため、もっと混むのでは？
39	初めて五所川原に来た人のため、「五所川原マップ」を作れば良いと私は思いました。絵や写真、五所川原の良い所など書けばよいと思います。
40	公園の設備を充実してほしい。
41	閉まっているお店がたくさんあって、その建物も残っているので、そういう所を使ったり、その土地を使って何かしたらいいと思う。シャッターで閉まっているのはさびしいです。もっと活気づくように、金木でもイベントを増やしたり、金木の体育館を開放してほしい。
42	これらのアンケートでもっといい五所川原市にしてください！！みんなが協力できるような市にしたいです！！
43	子どもが安全に暮らして遊べるような遊び場所を増やしてほしい。
44	このようなアンケートを行うことで、改めて五所川原のことを考えることができるので、とても良いと思う。これからも、こういう機会を増やしていけば、もっと五所川原は良くなると思う。
45	交通について。直進できる場所は、信号の色を統一してほしい（赤なら赤）。車や自転車などが進んでいると、いちいち信号にひっかかり、車がつまってしまうから。
46	アニメイト五所川原店をつくってほしいです。街灯を増やして欲しいです（金木地方）。
47	アニメイト五所川原店つくってほしいです。
48	県外の人と話さない。
49	高さ23mのたちねふた。しかし一有料にすれば？カラス跳人一危ない。青森などの日とかさなり観光客が減るんじゃない？それと、館も青森みたいに無料にすれば？
50	光回線が通ってない事。
51	「あかいりんご」などもっとPRするべき。

## ■高校生

自由意見（高校生）	
1	ELM付近の光害がひどいので、もう少し光を抑えて下さい。
2	市内の店員さんの接客が不愛想。（他県と比べたらかなり。）
3	五所川原地域にもっと服屋を作ってほしい。服屋少なすぎです。
4	Suicaカードを使える場所を増やしてほしい。
5	市役所がかっこ悪いと思う。きれいにした方が良い。
6	とにかく、大人はモラルがない。はずかしい。冬の歩道の除雪をしないから、とても困っている。車の事も大事だが、歩行者のことも大切にしてほしい。市役所の建て替え。農産物のブランド化を市がバックアップする。エルムを中心とするまちづくりには、限界があると思う。五所川原はラーメンや食物に関する店が多いのでマップやHPを作ればよい。
7	もっと祭りがあればいいと思います。
8	もっと外で遊ぶ場所ができれば、自分より下の子供達が困らないと思う。
9	冬、歩道の雪をしっかりとやってほしい（できるだけ）。



自由意見（高校生）	
10	五所川原市や自分についてあらためて色々なことが分かっておもしろかった。
11	地域の活動や教室など何があるのかよく分からないので、そういった情報をしっかり伝えてほしい。また、その活動に参加しづらいので、学校等で宣伝して、集団で参加できるようにしてほしい。
12	職を充実させた方が良いと思う。職はあると思うが、職幅が狭い。自分の場合、研究者になりたいが、そのような施設がない。また、五所川原市内で自営業をしたい人に支援をもっとすると、地域社会がもっと明るくなるのではないのか。あと観光施設をもっと充実させるべきだと思う。はっきり言って、五所川原の観光施設で面白い所が立佞武多の館しかないから。
13	今の五所川原に満足しているので、特にない。
14	もっと五所川原に祭りを増やしてほしい。
15	フジテレビが入るようにしてほしい。
16	立佞武多への参加についてですが、ベビーカーを使わせてほしいです。また、幼児も参加させてほしいです。なぜなら、子供が参加しないと立佞武多がなくなってしまう可能性が高くなってしまふからです。あと、エルムの中にCDショップがないと柏まで買いに行かなければいけないので大変です。
17	このアンケートで五所川原市がもっと良くなれば良いなと思いました。
18	五所川原市には、学校でのカウンセラーはいるものの、カウンセリングルームという場所がないため、子供たちが「うつ病」になるケースが増えてきている。病院に行かなくても気軽に話を聞いてくれる場所があった方がよいと思います。
19	駅前がいつも閑散としていて、残念な感じがする。エルムの街だけでなく、駅前にも若者向けの服屋をつくったりして、にぎやかになってほしいです。ファーストフード店とかゲームセンターとか。
20	駅の近く、たちねぶたの館近くを活発にしたほうがよいと思います。
21	道路をもうちょっと広くしてほしい。
22	駅前が悲惨。街なかに活気がない。もっと街なかが元気になったらよいと思う。
23	シャッターが下りている店舗をうまく活用して、リーズナブルな、観光客が休めたり、学生が気軽に勉強したり食事をしたりできるカフェ的なものをつくってほしい。
24	歩道がなくて危ない所があるのでつくってほしい。
25	とくに自分の家の近所はELMがあるので、買い物等便利で助かります。
26	館の近くの柱を1つ撤去してほしい。なぜなら、立佞武多の端の部分が折れて事故になりそうだったからです。

# 調査票

## 五所川原市に関するアンケート (中・高校生調査) ～ご協力のお願い～

五所川原市では、今後の市の将来像とこれからのまちづくりの方向性を示すための新しい五所川原市総合計画を平成26年度に策定します。

このアンケート調査は、新しい総合計画の策定にあたり、五所川原市に住んでいる中学生と高校生みなさんに、ふだんの生活のことや市について感じていること、まちづくりに対するご意見などをお聞きするものです。

回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

平成 25 年 9 月

五所川原市長 平山 誠敏

[ご記入にあたって] \_\_\_\_\_

1. 回答は、選択肢の番号を囲むように○を濃くつけてください。
2. 設問ごとに(○は1つ)、(○は3つまで)などそれぞれ指定されています。
3. ご記入いただいた調査票は、9月6日までに担任の先生に提出してください。

問1 はじめに、あなたについて、あてはまる番号に○をつけてください。

性別	1. 男性	2. 女性
学年	1. 中学生	2. 高校生
住んでいる地域	1. 五所川原地域 3. 市浦地域	2. 金木地域

問2 あなたは現在、どのようなことに参加したり、取り組んでいますか。また、今後、どのようなことに参加したり、取り組みたい（続けたい）ですか。

（①、②それぞれの欄にあてはまるものすべてに○をつけてください。）

	①現在、 参加している 取り組んでいる	②今後、 参加してみたい 取り組みたい （続けたい）
1. 地域のスポーツ教室		
2. 芸術文化・創作活動（音楽、演劇など）		
3. 伝統芸能や地域行事の保存活動		
4. 祭りやイベントの手伝い・参加		
5. 家の仕事の手伝い		
6. いろいろな仕事の体験		
7. 小さな子どもたちとの交流・ふれあい		
8. 高齢者との交流		
9. 障がい者との交流		
10. 国際交流や国内の他地域との交流		
11. 自然や景観の保全		
12. 清掃・リサイクル活動		
13. まちづくりへの提案・参加		
14. 特にない		
15. その他（ ）		

問3 あなたは、五所川原市について自慢したいことはありますか。（○は1つ）

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

（付問）「1. ある」と回答した方にうかがいます。それは、どのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

1. 自然の豊かさや風景の美しさについて 2. 住んでいる人の人柄や人情について 3. 祭りや伝統文化などについて 4. 地元の農林水産物や特産品等について 5. 生活のしやすさや利便性について 6. その他（ ）
--

(自慢したいことについて、具体的にご記入ください。)

問4 あなたは将来、どんな仕事をしたいですか。(現時点で考えているもの1つに○をつけてください。)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 農林漁業   | 9. 情報関係<br>(ソフトウェア開発など)                 |
| 2. 商店・飲食店・工場などの経営者  | 10. 専門的な知識・技術が必要な職業<br>(研究者、技師など)       |
| 3. ものづくりや建物などをつくる仕事<br>(電化製品、自動車などの製造や、住宅、施設建設の設計・現場監理など) | 11. 特別な資格が必要な職業<br>(医師、弁護士、会計士など)       |
| 4. 会社員<br>(事務職、営業職、経営など)                                  | 12. 特別な才能を生かす仕事<br>(スポーツ選手、芸能人、デザイナーなど) |
| 5. 公務員<br>(市職員、教師、消防士など)                                  | 13. 政治家(市長、議員など)                        |
| 6. 販売・サービス<br>(アパレル、飲食、ホテルなど)                             | 14. 専業主婦・主夫                             |
| 7. 医療・福祉関係<br>(看護師、保育士、介護士など)                             | 15. わからない                               |
| 8. 職人(大工、料理人、美容師など)                                       | 16. その他( )                              |

問5 あなたは、これからも五所川原市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 住み続けたい              | 3. いずれ、市外に住みたい |
| 2. 一度市を出て、帰ってきたい(Uターン) | 4. まだわからない     |

(付問①) 「1. 住み続けたい」に回答された方にお聞きします。その理由は何ですか。  
(主なもの2つまでに○をつけてください。)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. 家族がいるから     | 4. 暮らしやすいから         |
| 2. 親しい友人がいるから  | 5. 市に愛着があるから(好きだから) |
| 3. 市内で仕事をしたいから | 6. その他( )           |

(付問②) 「2. 一度市を出て、帰ってきたい(Uターン)」に回答された方にお聞きします。  
その理由は何ですか。(主なもの2つまでに○をつけてください。)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 行きたい学校・大学が遠いから  | 4. 仕事は市内でしたいから    |
| 2. 若いうちは都会に出てみたいから | 5. 将来的に家族と暮らしたいから |
| 3. 将来的に家業を継ぐため     | 6. その他( )         |

(付問③) 「3. いずれ、市外に住みたい」に回答された方にお聞きします。その理由は何ですか。(主なもの2つまでに○をつけてください。)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 家族と離れて暮らしたいから  | 4. 生活が不便だから      |
| 2. 新しい友人や仲間がほしいから | 5. 市があまり好きではないから |
| 3. やりたい仕事ができないから  | 6. その他 ( )       |

問6 これからの五所川原市のまちづくりをすすめていくうえで、キーワードとなるのはどのような言葉だと思いますか。(○は3つまで)

- |            |                |           |
|------------|----------------|-----------|
| 1. 自然の豊かさ  | 7. 移住・定住       | 13. 安全・安心 |
| 2. 心の豊かさ   | 8. 創意・独自性      | 14. 支え合い  |
| 3. 活力・にぎわい | 9. 学び・意欲       | 15. 共生・調和 |
| 4. 便利・快適   | 10. 交流・ふれあい    | 16. 連携・協働 |
| 5. 夢・希望    | 11. 健やか        | 17. その他   |
| 6. 誇り・愛着   | 12. やさしさ・あたたかさ | ( )       |

問7 今後、五所川原市がどのようなまちになるとよいと思いますか。今後こうなったらよいと思う五所川原市の姿をお書きください。

--

最後に、その他、ご意見・ご提案などがございましたらご記入下さい。


アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。